

石垣市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 及び石垣市在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

石 垣 市

目 次

第 1 部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

第 1 章 調査の概要	1
第 2 章 調査結果の分析	2
1 リスクの発生状況	2
1. からだを動かす	3
2. 食べる	13
3. 毎日の生活	21
4. 健康	26
5. 幸せ	28
6. 社会的孤立との関係	32
2 社会参加等の状況	38
1. 地域での活動への参加状況	38
2. 地域づくりの場への参加意向	44
3 身体状態と介護予防への取り組み状況	45
1. 介護予防の取り組み状況	45
2. 介護予防事業への参加意欲	49
第 3 章 調査結果	50
1 基本情報	50
2 問 1 あなたのご家族や生活状況について	52
3 問 2 からだを動かすことについて	55
4 問 3 食べることについて	59
5 問 4 毎日の生活について	62
6 問 5 地域での活動について	69
7 問 6 助け合いについて	72
8 問 7 健康について	78
9 問 8 希望する介護サービスについて	85
10 問 9 地域包括支援センターについて	93
11 問 10 認知症にかかる相談窓口の把握について	94

第2部 在宅介護実態調査

第1章 調査の概要	99
第2章 調査結果の分析	100
1 在宅限界点の向上のための支援・サービスについて	100
1. 要介護度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化	100
2. 要介護度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化	102
2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスについて	103
1. 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み	103
2. 就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況	106
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備について	107
1. 保険外の支援・サービスの利用状況	107
2. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	108
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスについて	110
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスについて	112
第3章 調査結果	113
1 概況調査項目	113
2 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答項目	120

資料編

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票	125
2 在宅介護実態調査票	145
3 リスク評価項目	150

第 1 部

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、地域における高齢者の身体状況及び要介護状態になるリスク発生状況を把握するとともに、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い、介護予防などの実態等を把握し、市の高齢者福祉計画・介護保険事業計画を見直す際の基礎資料として活用することを目的とします。

2 調査の対象者と配布件数

本調査の対象者は、令和 4 年 12 月 1 日現在、市内在住で在宅の 65 歳以上高齢者（※要介護 1 ～ 5 を除いた数）の中から 2,500 人を無作為に抽出して配布。

3 調査の方法

郵送および W e b アンケートによる配布・回収

4 調査の期間

令和 5 年 1 月 30 日から令和 5 年 2 月 22 日まで

5 回収結果

配布数：2,500 件 回収数：1,011 件 有効回収数：1,005 件
回収率：40.4% 有効回答率：40.2%

6 調査項目

国から示された調査票（必須項目＋オプション項目）および市の独自項目で実施

7 報告書の見方

- （1）グラフ中の「n」は、その項目におけるサンプル数（標本数）を示しており、回答割合算出の基数となる。
- （2）回答割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答割合が 0.05 未満の場合には 0.0 で表している。
- （3）複数回答の項目は、回答割合の合計が 100%を超える場合がある。
- （4）性別・年齢、地域等の基本属性とのクロス集計は、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。
- （5）集計によっては、基数（n）が 10 人未満と非常に少ない場合もあり、このような集計は参考程度として見る必要がある。
- （6）表およびグラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

第2章 調査結果の分析

厚生労働省の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によれば、地域包括ケアシステムの構築を進めるために、高齢者の要介護度の悪化につながるリスクの発生状況を地域ごとに把握、分析するとともに、地域の社会資源等を把握し、その活用を進めることが推奨されています。そこで、この章では「1 リスクの発生状況」と「2 社会参加等の状況」に分けて、調査結果の分析を行うこととします。

また、身体状態は介護予防への取り組み状況に大きな影響を与え、身体状態に応じた介護予防の取り組みが必要であるため「3 身体状態と介護予防への取り組み状況」に関する設問の回答結果も含め、分析を行うこととします。

1 リスクの発生状況

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目のうち、国が必須項目として設定した、「問2 からだを動かすことについて」「問3 食べることについて」「問4 毎日の生活について」「問7 健康について」は、それぞれ要介護度の悪化につながるリスクの有無を判定するための設問となっています。すなわち、「からだを動かすことについて」は運動器の機能低下・転倒リスク、閉じこもり傾向を、「食べることについて」は低栄養の傾向と口腔機能の低下を、「毎日の生活について」は認知機能の低下とIADLの把握を、「健康について」はうつ傾向の把握をそれぞれ目的としています。

そこで、リスクの発生状況については、上記4つの設問に対応した4つの項目「1. からだを動かす」「2. 食べる」「3. 毎日の生活」「4. 健康」ごとに分析を行うこととします。その上で、リスク発生状況と主観的健康感や幸福感との関係性、さらに、リスク発生状況と社会的孤立を分析することとします。

1. からだを動かす

(1) 運動器の機能低下

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別のリスク判定の結果は以下の図1のとおりで、男女ともに年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなっています。

また、女性は男性に比べ全年齢階層でリスク者の割合が高くなっています。これは、女性は男性に比べ「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の有病率が高い（男性の5.9%に対し女性は16.9%）という男女の疾病構造の違いが影響していると思われます（図2参照）。

図1 男女別・年齢階層別運動器の機能低下リスク判定結果

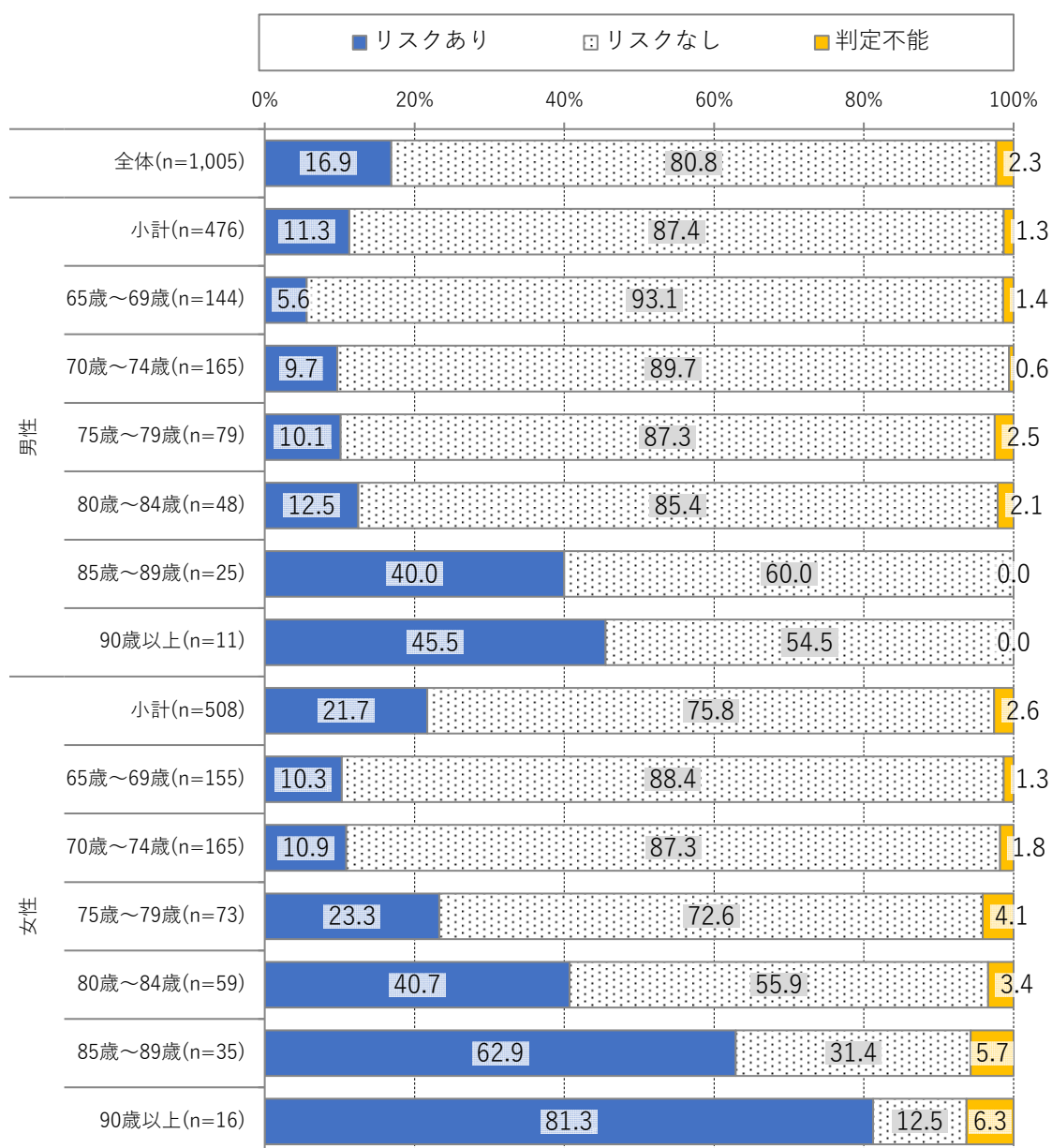
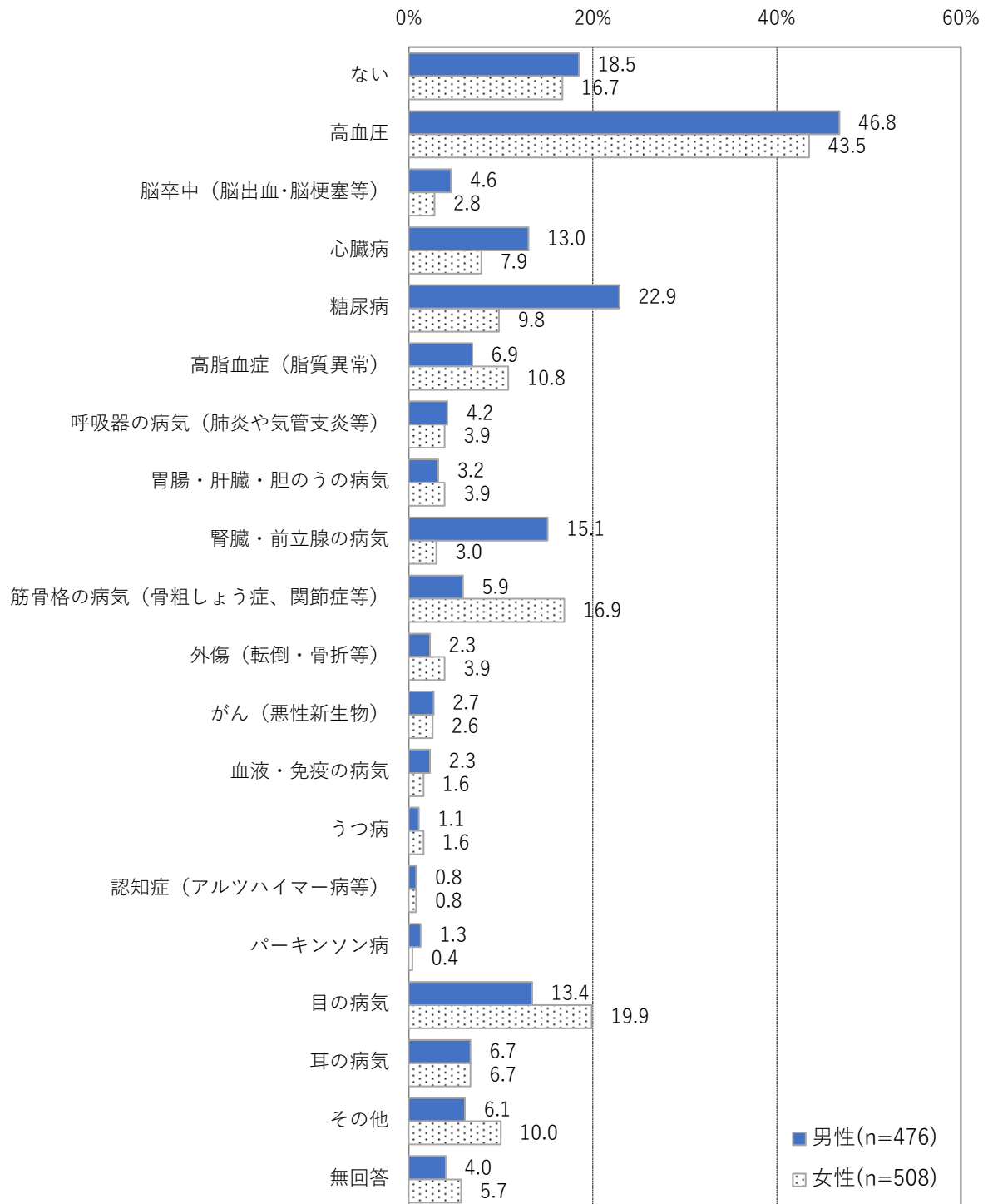


図2 現在治療中、または後遺症のある病気（男女別）



2) リスク者の地域分布

図3によれば、最もリスク者の割合が高い地域は「北部」で20.6%、最もリスク者の割合が低い地域は「西部」で9.8%となっています。

また、より詳細にリスク者の分布を把握するため、字ごとに分布をみることにします（これは、運動器機能に限らず、以下のすべてのリスクについても同様です）。

リスク者の字ごとの分布は以下の図4のとおりです。

図3 地域（エリア）別運動器の機能低下リスク判定結果

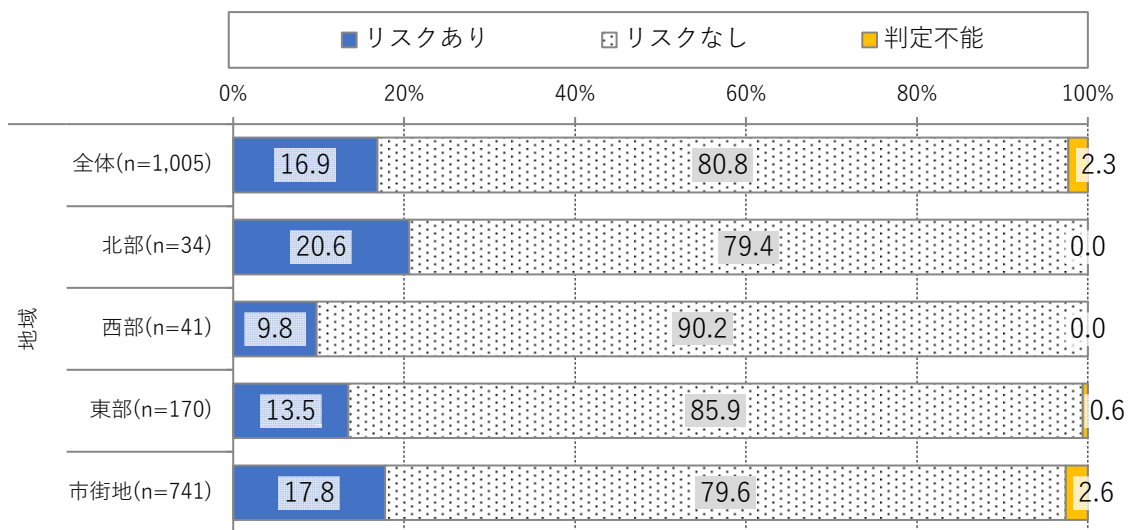
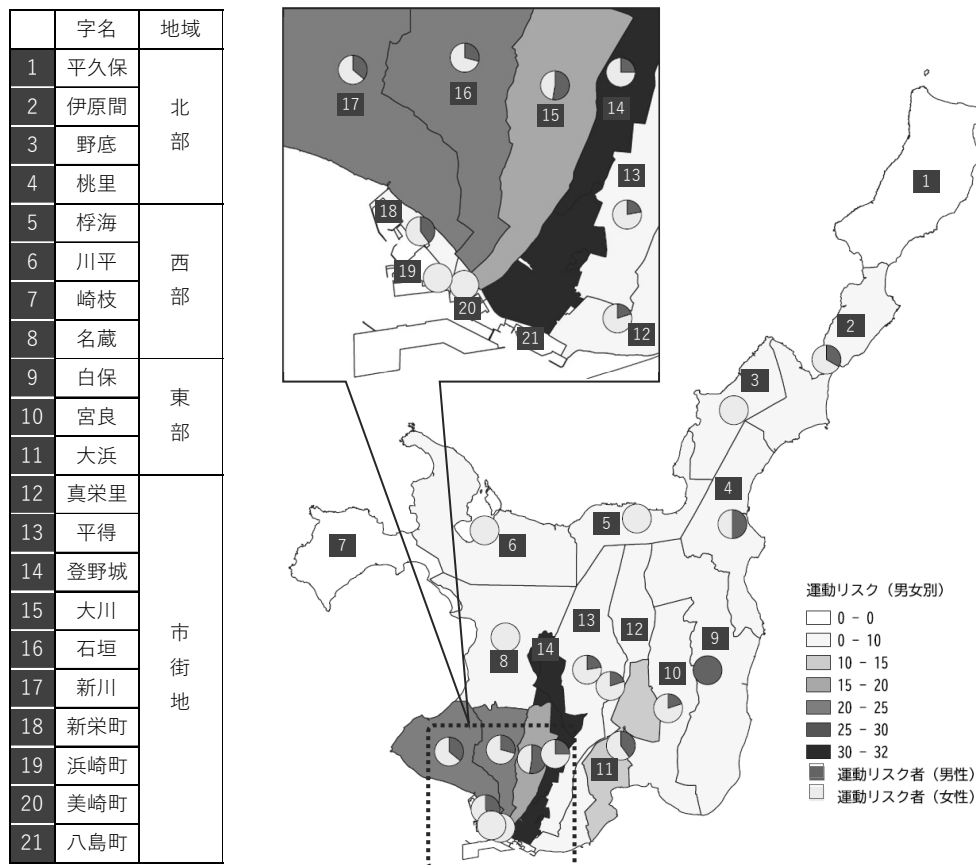


図4 運動器の機能低下リスク者の字分布



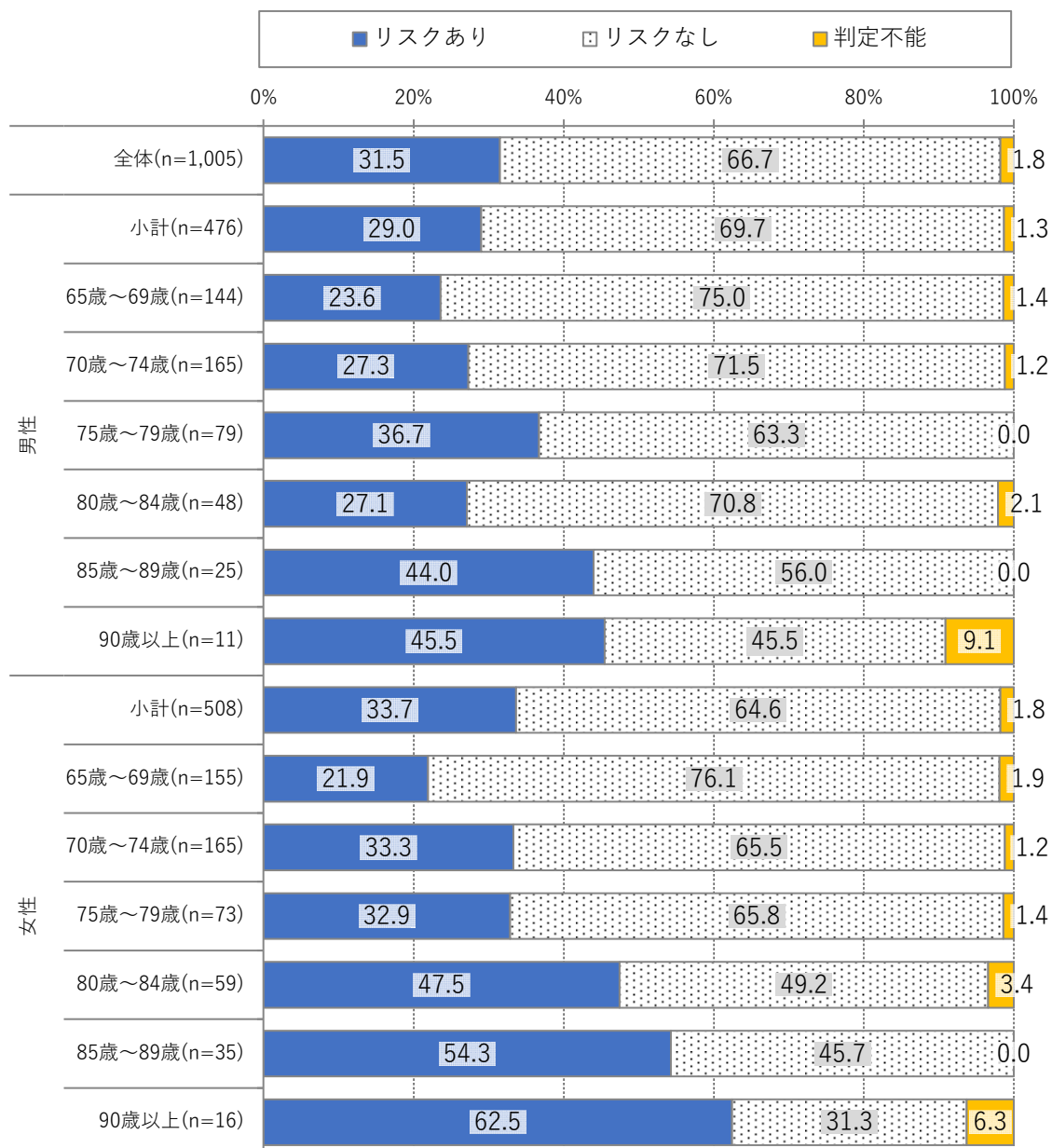
(2) 転倒リスク

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別のリスク判定の結果は以下の図5のとおりで、男女ともに年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあります。

また、女性は85歳以上になるとリスク割合が半数を超えています。

図5 男女別・年齢階層別転倒リスク判定結果



2) リスク者の地域分布

図6によれば、最もリスク者の割合が高い地域は「北部」で47.1%、最もリスク者の割合が低い地域は「東部」で28.2%となっています。

リスク者の字ごとの分布は以下の図7のとおりです。

図6 地域（エリア）別転倒リスク判定結果

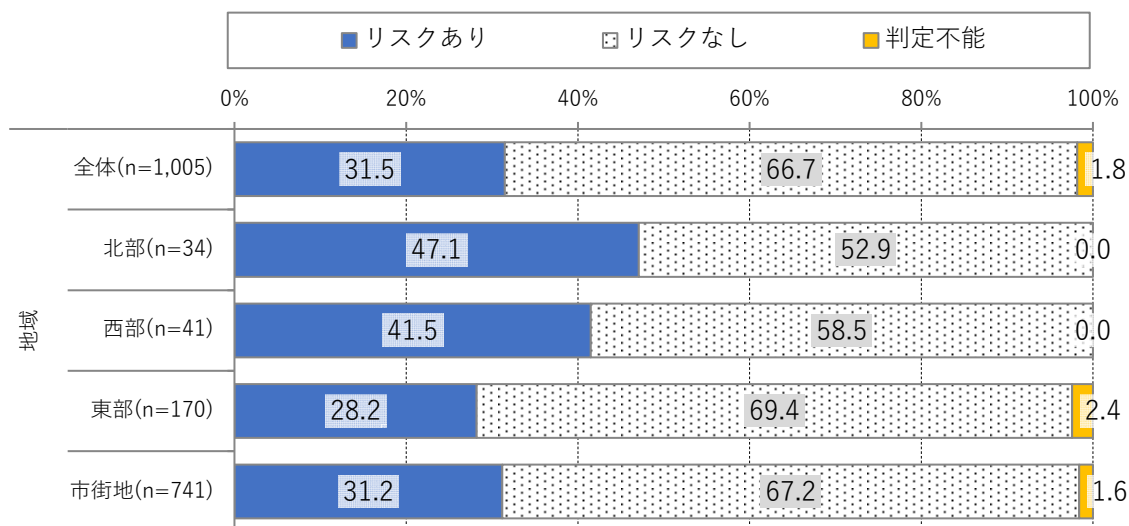
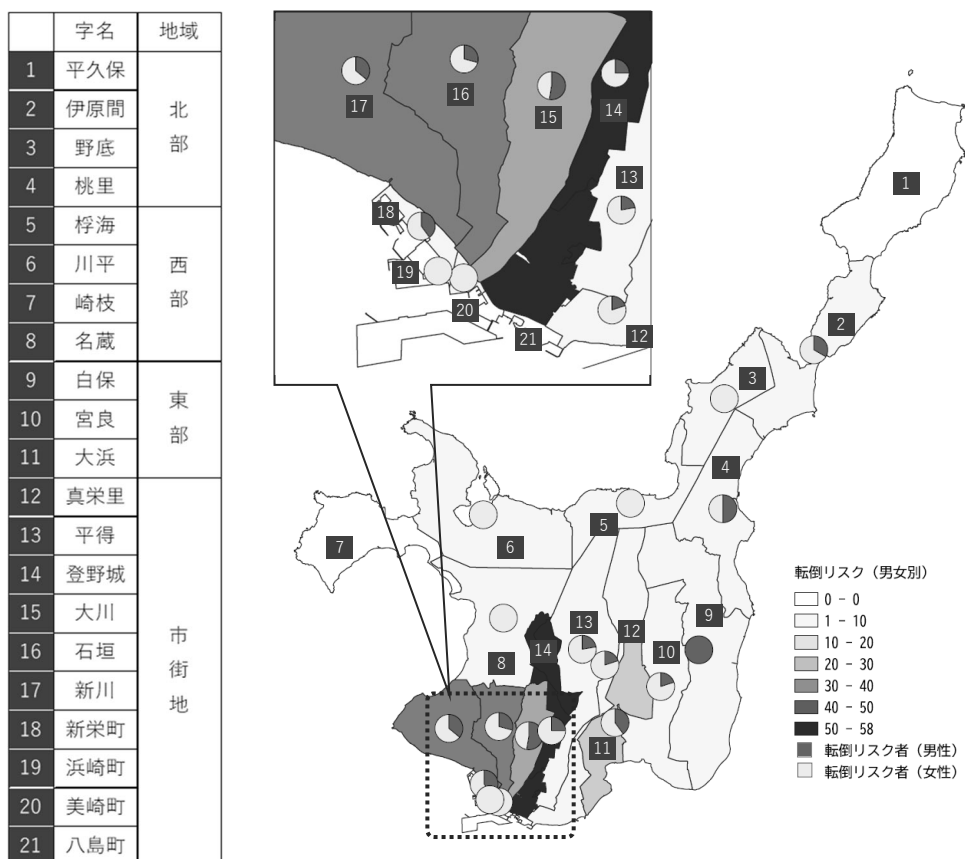


図7 転倒リスク者の字分布



3) 転倒リスクと認知機能の低下、うつ傾向との関係

高齢期における転倒の発生には、様々な要因が相互に影響することが考えられており、なかでも下肢筋力の低下、歩行障害、バランス障害といった身体機能の低下が転倒リスクを上昇させます。一方で、高齢者の認知・精神機能状態についても、転倒リスクを有意に増大させる要因の一つとされており、以下の図8、図9のとおりとなっています。

図8 転倒リスクと運動器の機能低下との関係

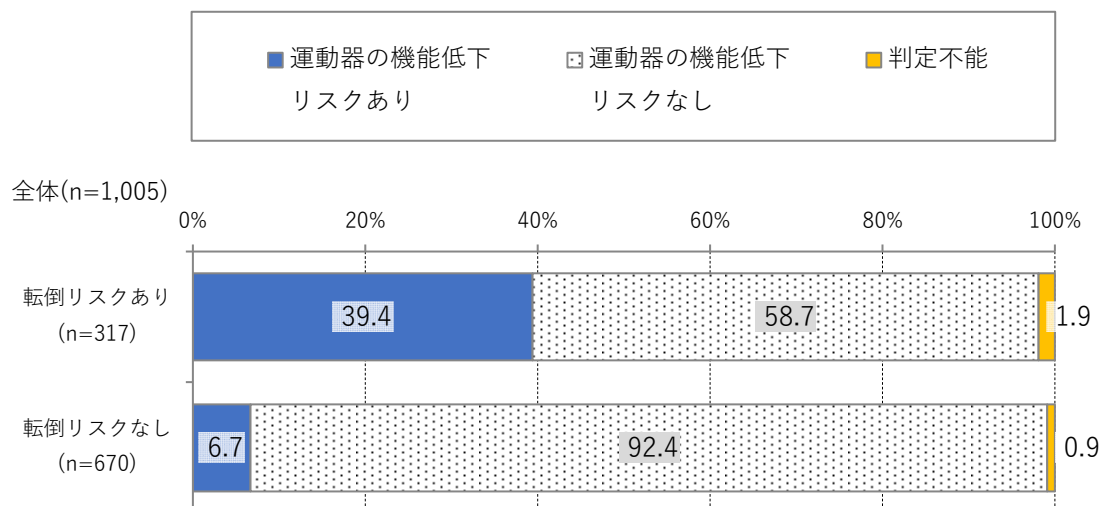
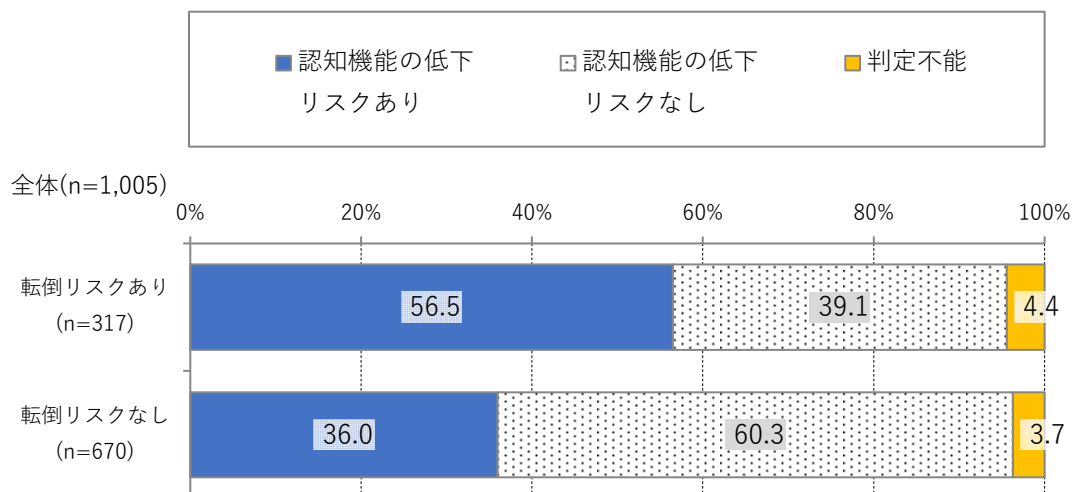


図9 転倒リスクと認知機能の低下との関係



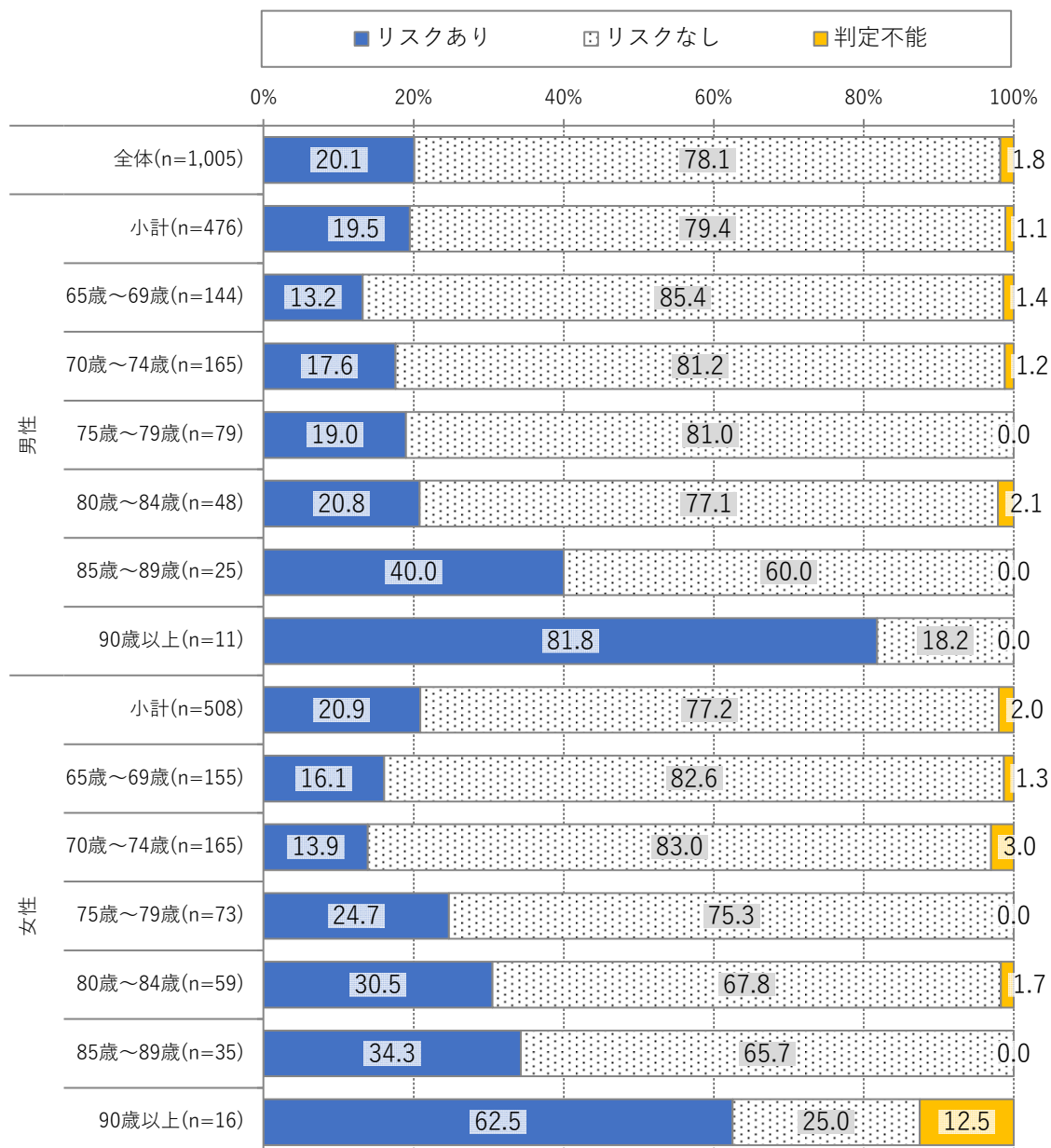
(3) 閉じこもり傾向

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別のリスク判定の結果は以下の図 10 のとおりで、男女ともに年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなる傾向にあります。

また、男女ともに 90 歳以上で急激にリスク割合が高まっています。

図 10 男女別・年齢階層別閉じこもりリスク判定結果



2) リスク者の地域分布

図 11 によれば、最もリスク者の割合が高い地域は「北部」で 44.1%、最もリスク者の割合が低い地域は「西部」で 17.1%となっています。「北部」と「西部」との差は約 2.5 倍となっています。

リスク者の字ごとの分布は以下の図 12 のとおりです。

図 11 地域（エリア）別閉じこもりリスク判定結果

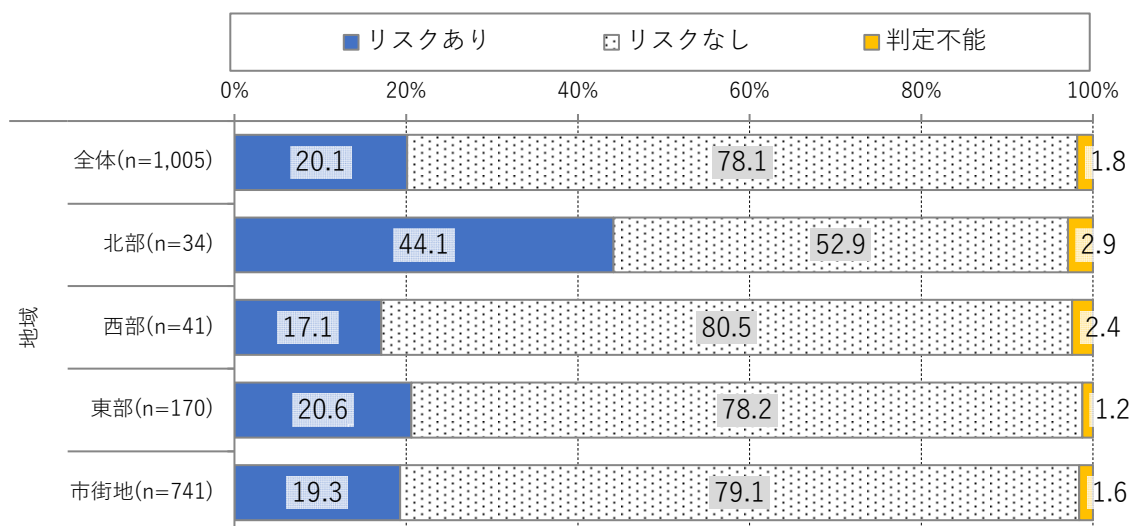
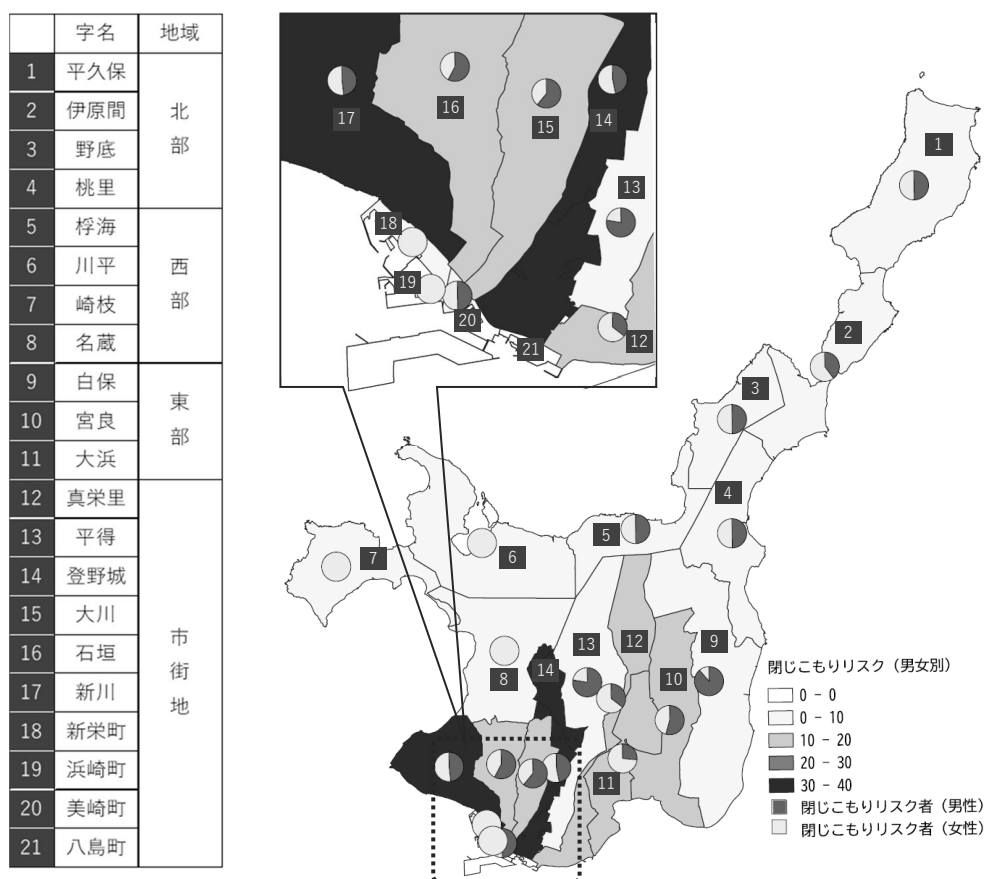


図 12 閉じこもりリスク者の字分布



3) 閉じこもり傾向と運動器の機能低下、転倒リスク、うつ傾向との関係

閉じこもり傾向となる要因は、「身体的要因」の他、「心理的要因」、「社会・環境要因」が考えられます。「身体的要因」については運動器の機能低下者や転倒リスク者の割合を低減する取組によってある程度取り除くことが可能ですが、「心理的要因」及び「社会・環境要因」は家庭や地域で役割を持ち、積極的に地域に関わること、高齢者が自然に地域と関われる環境づくり等、それぞれ特有の取組が必要となります。

閉じこもり傾向と運動器の機能低下との関係は以下の図 13 のとおりで、閉じこもりリスク者のうちで運動器の機能低下リスク者の割合は 41.1%で、閉じこもりリスクなし高齢者のうちで運動器の機能低下リスク者の割合は 11.0%で、約 3.7 倍となっています。

閉じこもり傾向と転倒リスクとの関係は以下の図 14 のとおりで、閉じこもりリスク者のうちで転倒リスク者の割合は 46.0%で、閉じこもりリスクなし高齢者のうちで転倒リスク者の割合は 28.3%で、約 1.6 倍となっています。

閉じこもり傾向とうつ傾向との関係は以下の図 15 のとおりで、閉じこもりリスク者のうちでうつリスク者の割合は 55.4%で、閉じこもりリスクなし高齢者のうちでうつリスク者の割合は 36.8%で、約 1.5 倍となっています。

図 13 閉じこもり傾向と運動器の機能低下との関係

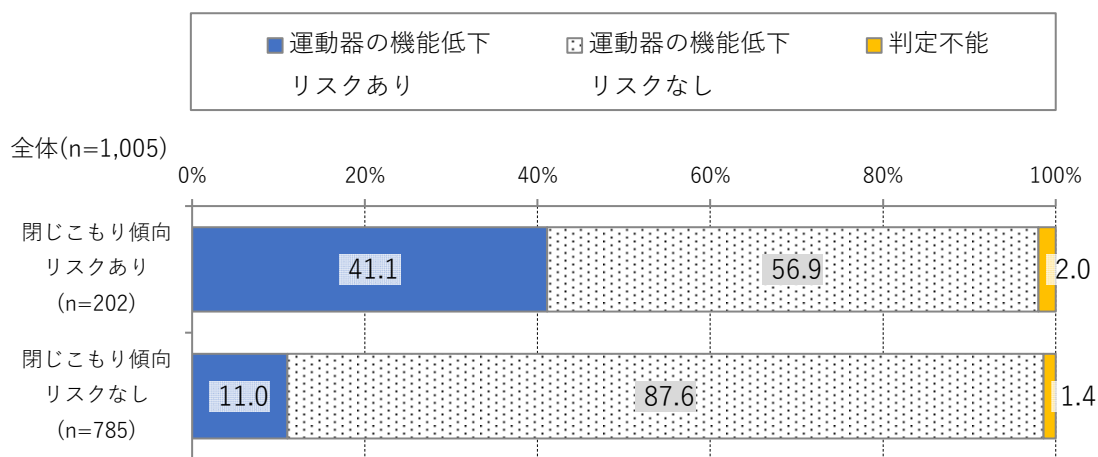


図 14 閉じこもり傾向と転倒リスクとの関係

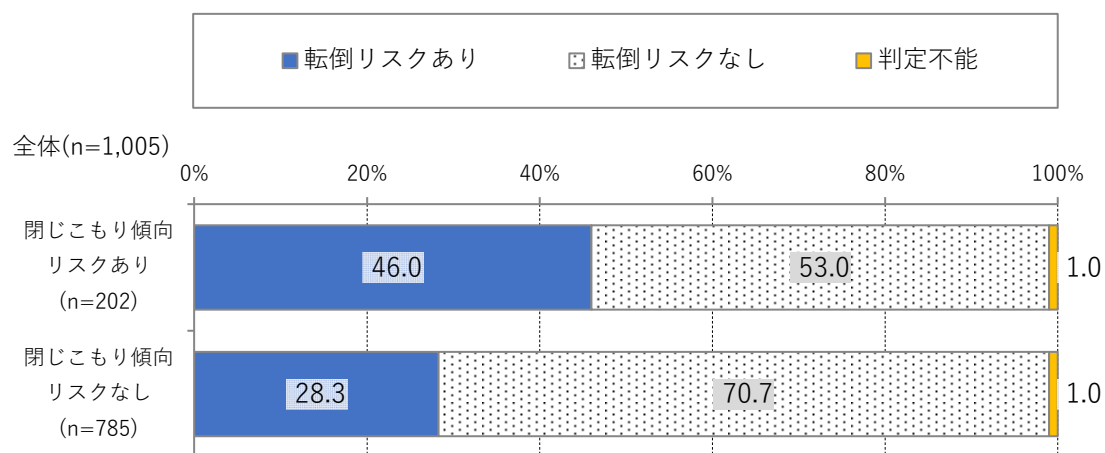
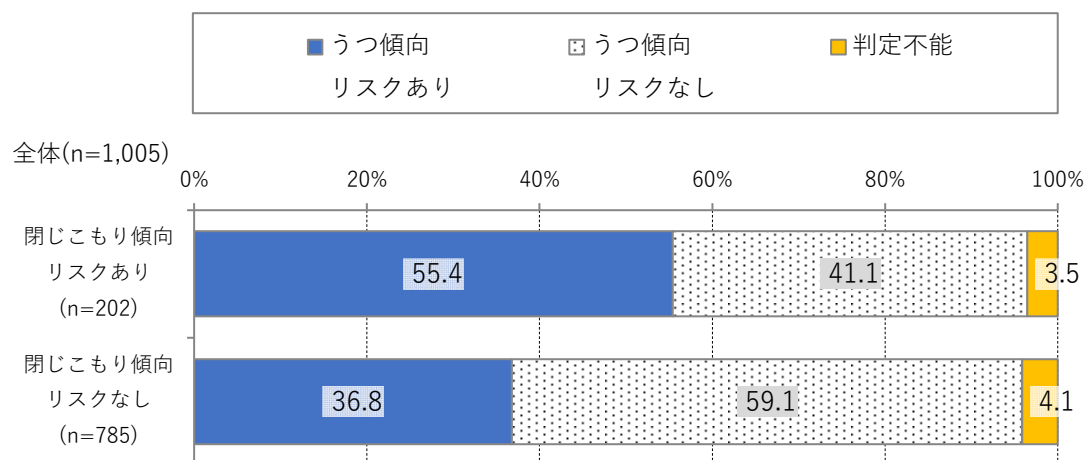


図 15 閉じこもり傾向とうつ傾向との関係



2. 食べる

(1) 低栄養の傾向

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別の低栄養の疑いのある人（BMI 18.5 以下）の割合は以下の図 16 のとおりで、女性は男性よりもわずかに低栄養の傾向があり、また、男性は女性よりもわずかに肥満の傾向にあります。

また、国が示す必須項目に加え、オプション項目を追加し、より正確に低栄養状態を把握した結果は図 17 のとおりで、低栄養リスク者の割合は僅かとなっています。

図 16 男女別・年齢階層別低栄養の疑いのある人（BMI 18.5 以下）の割合

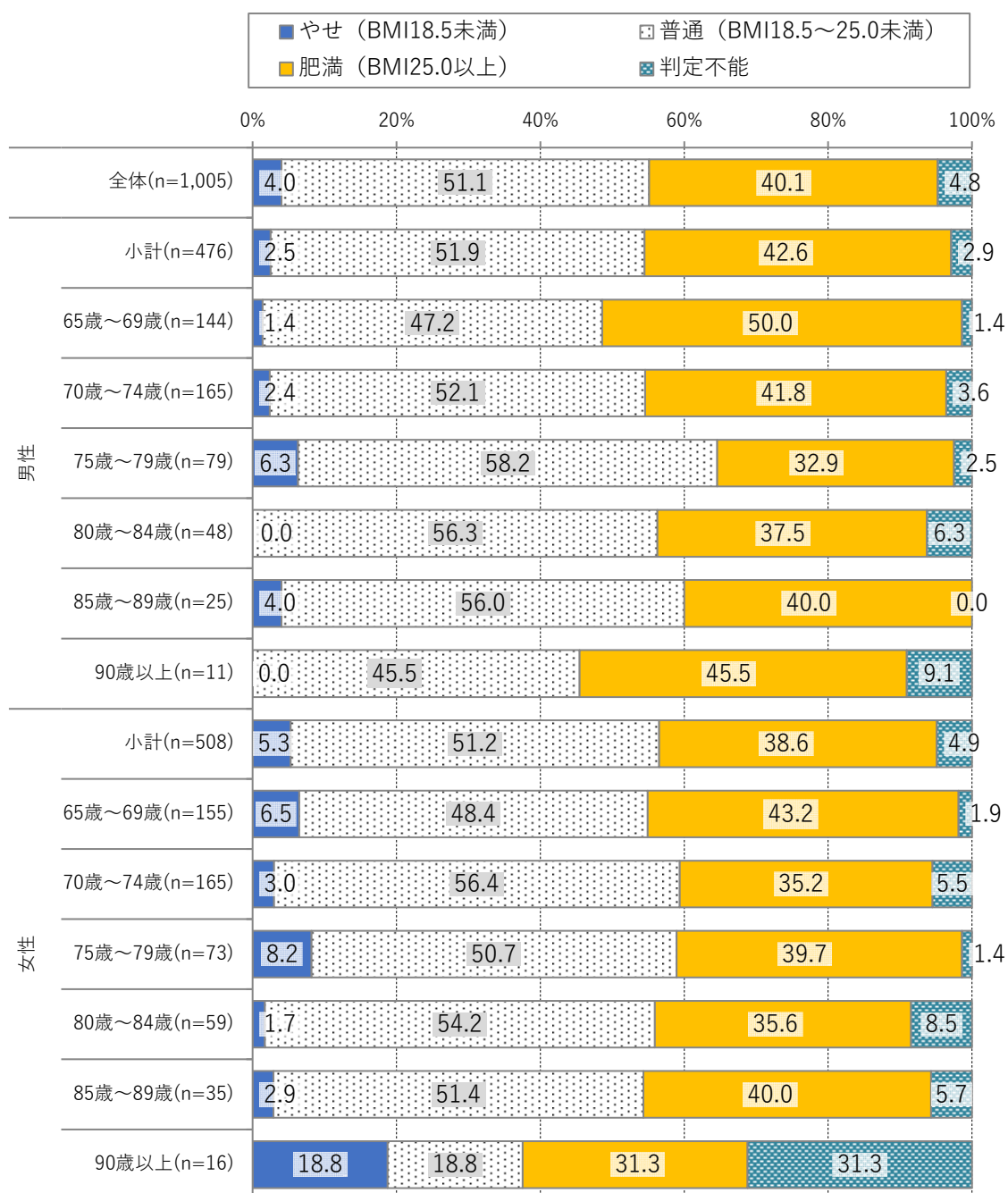
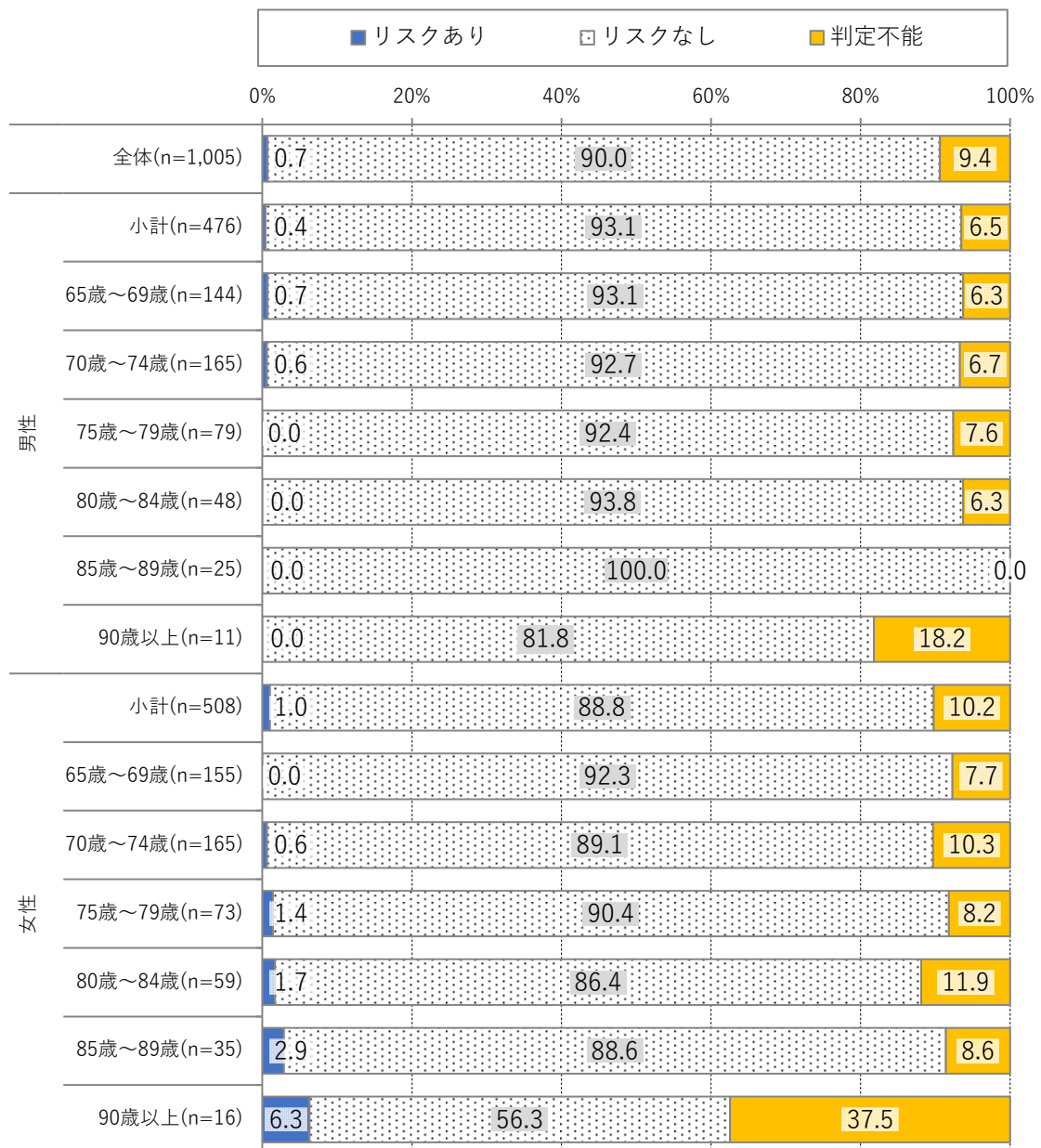


図 17 男女別・年齢階層別低栄養リスク判定結果



2) リスク者の地域分布

図 18 によれば、低栄養の疑いのある人（BMI 18.5 以下）の割合で、最も高い地域は「西部」で 7.3%、最も低い地域は「北部」で 2.9%となっています。

図 19 によれば、低栄養リスク者で、最もリスク者の割合が高い地域は「西部」で 2.4%、最もリスク者の割合が低い地域は「北部」で 0.0%となっています。

リスク者の字ごとの分布は以下の図 20 のとおりです。

図 18 地域（エリア）別低栄養の疑いのある人（BMI 18.5 以下）の割合

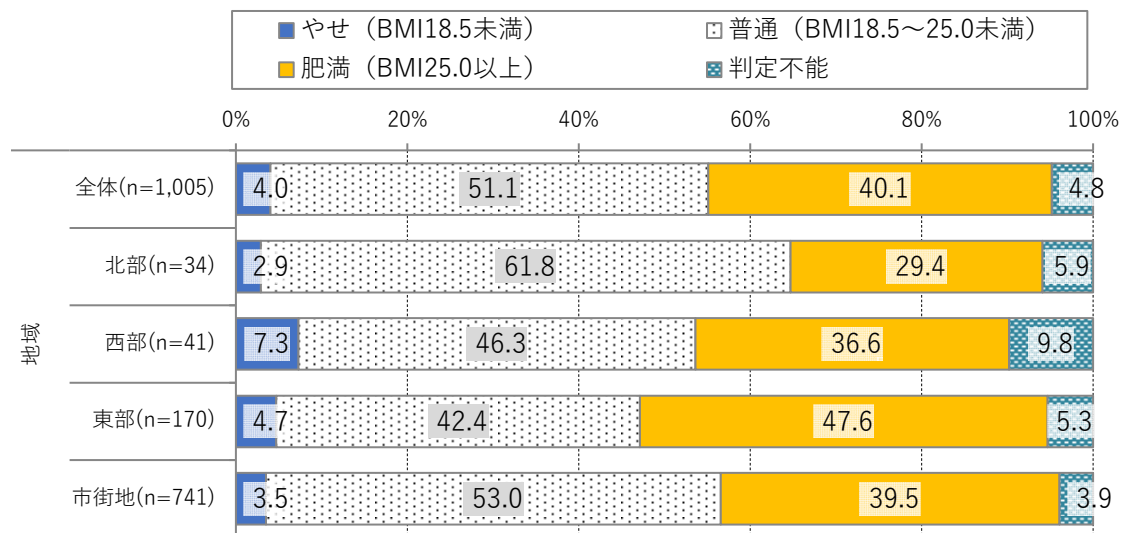


図 19 地域（エリア）別低栄養リスク者割合

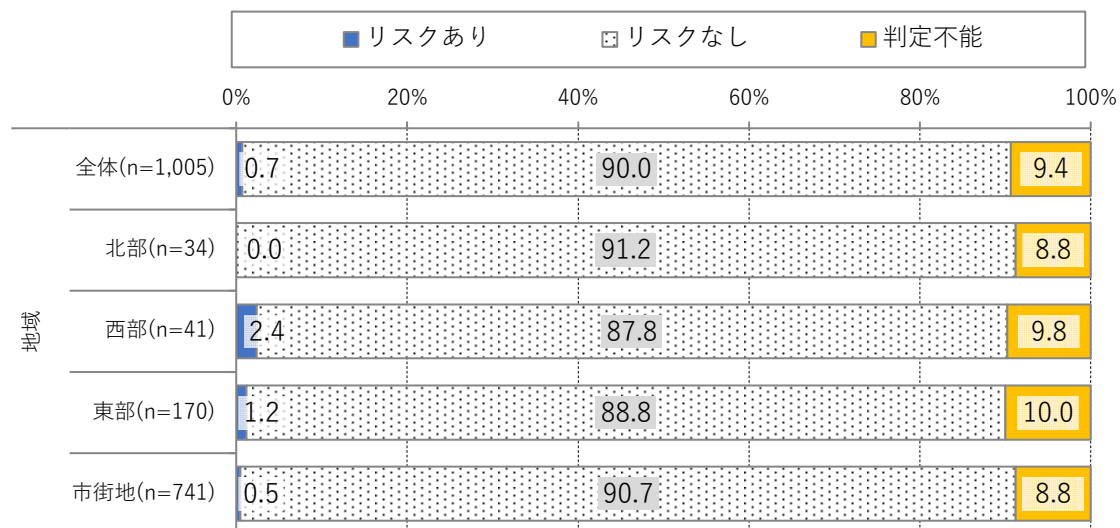
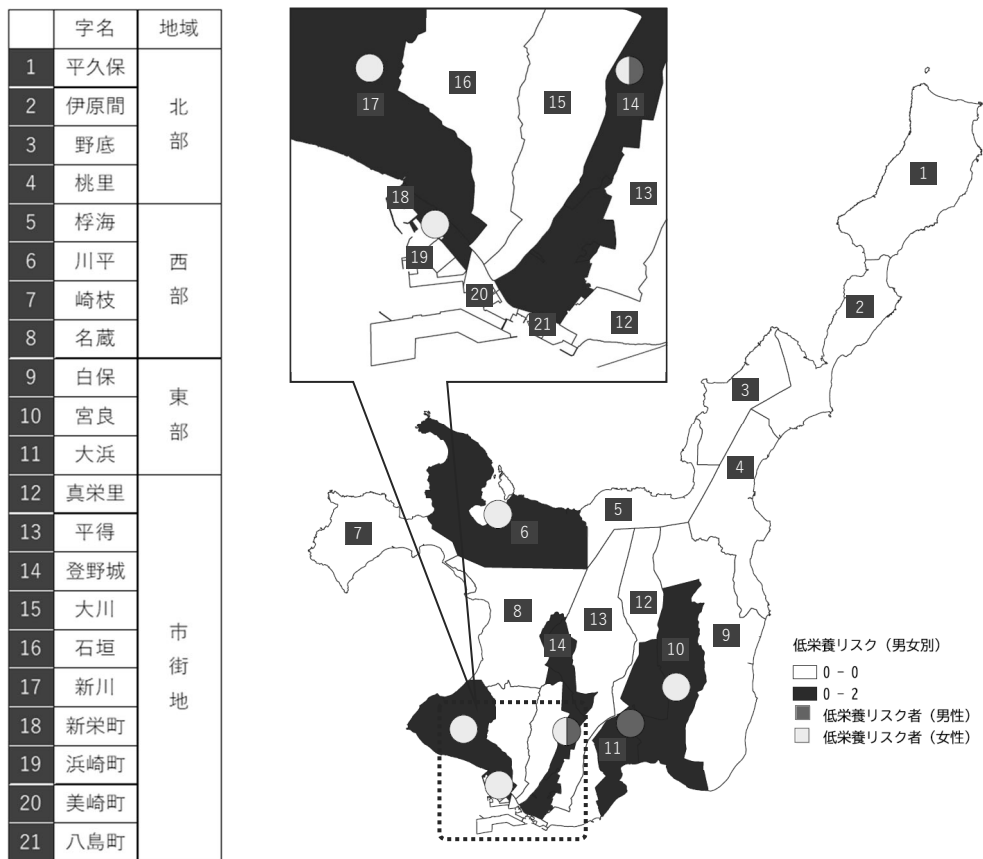


図 20 低栄養リスク者の字分布



(2) 口腔機能の低下

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別の咀嚼機能低下の疑いのある人のリスク判定結果は以下の図 21 のとおりで、男性は年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高まり、女性は 90 歳以上でリスク者の割合が急激に高くなる傾向にあります。

また、今回の調査においては、国が示す必須項目に加え、オプション項目を追加して調査し、より正確に口腔機能の低下を把握することにしました。

男女別・年齢階層別の口腔機能低下のリスク判定結果は図 22 のとおりで、男性は年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高まり、女性は 90 歳以上でリスク者の割合が急激に高くなる傾向にあります。

図 21 男女別・年齢階層別咀嚼機能低下疑いのある人のリスク判定結果

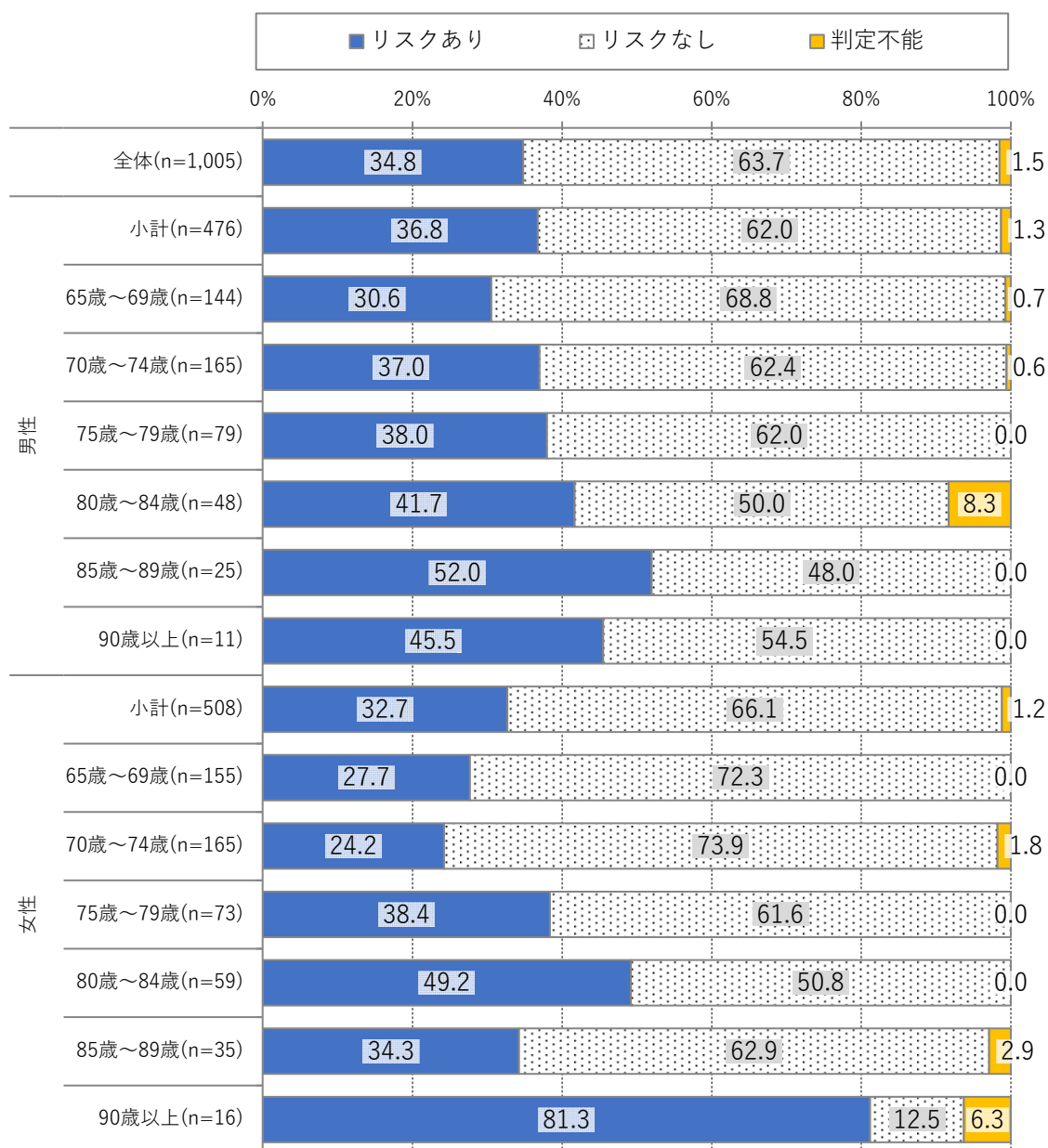
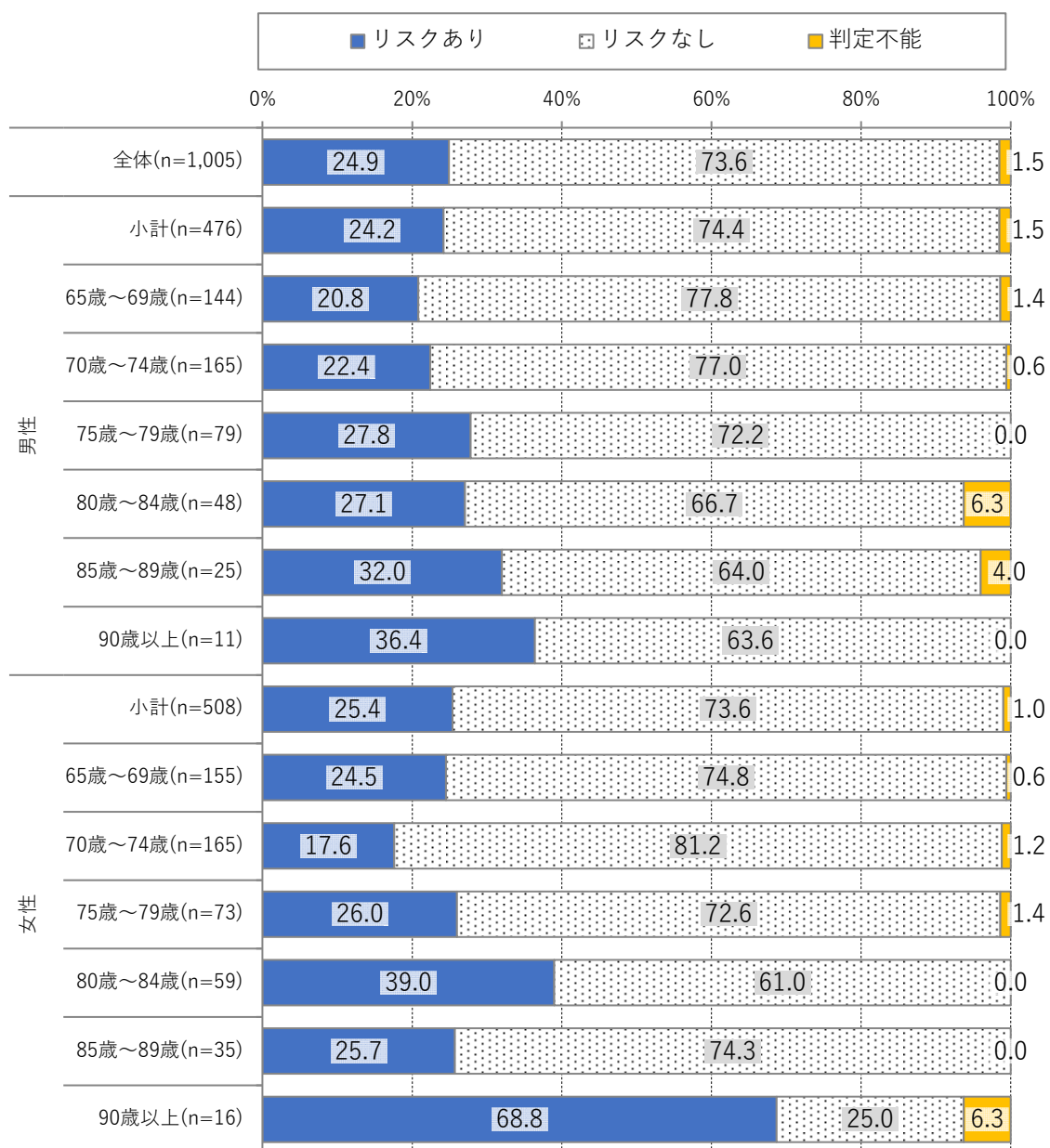


図 22 男女別・年齢階層別口腔機能低下リスク判定結果



2) リスク者の地域分布

図 23 によれば、咀嚼機能低下の疑いのある人の割合で、最も高い地域は「東部」で 36.5%、最も低い地域は「北部」で 26.5%となっています。

また、図 24 によれば、口腔機能低下のリスク者の割合で、最もリスク者の割合が高い地域は「東部」で 27.1%、最もリスク者の割合が低い地域は「北部」で 20.6%となっています。

また、口腔機能低下のリスク者の字ごとの分布は以下の図 25 のとおりです。

図 23 地域（エリア）別の咀嚼機能低下の疑いのある人リスク判定結果

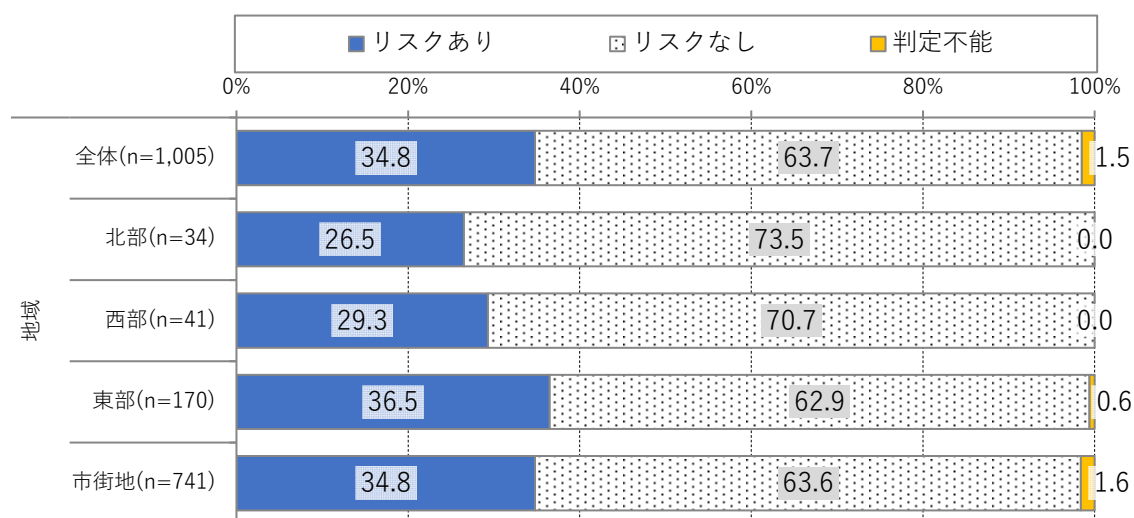


図 24 地域（エリア）別の口腔機能低下リスク判定結果

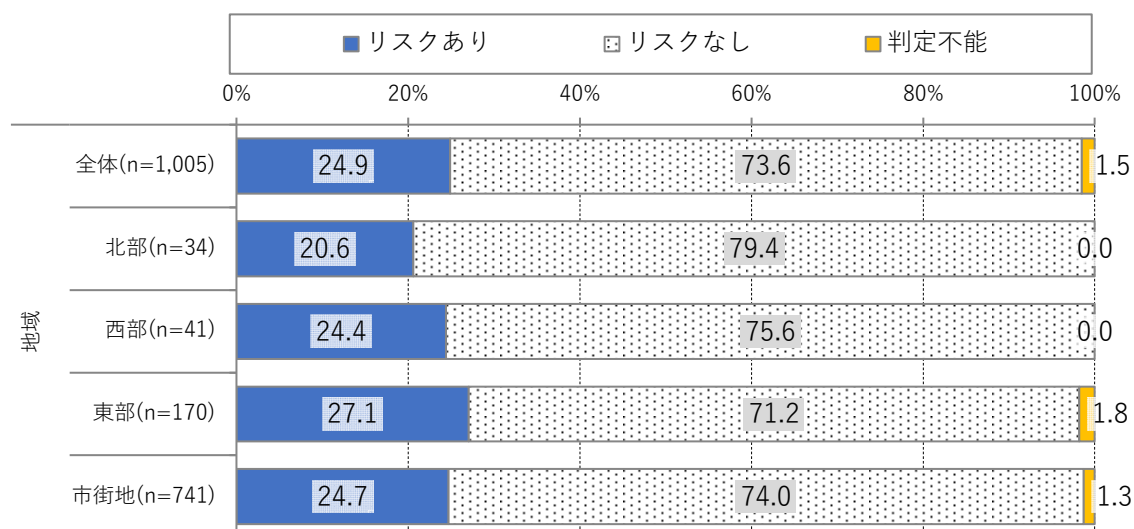
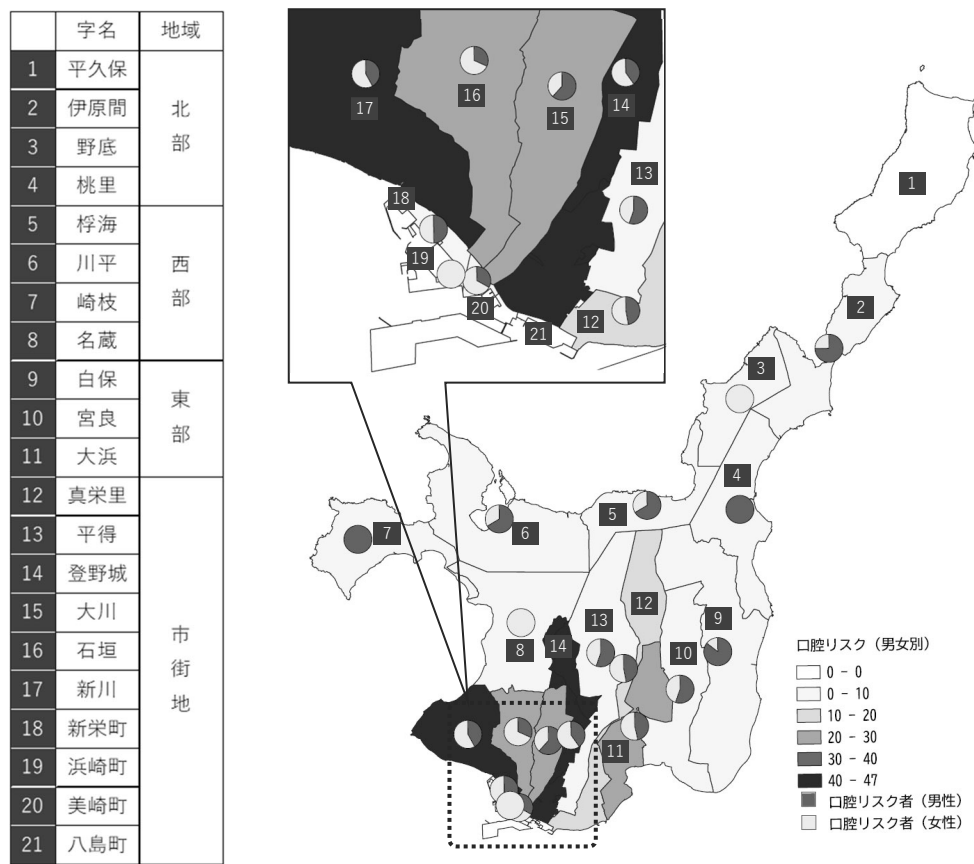


図 25 口腔機能の低下リスク者の字分布



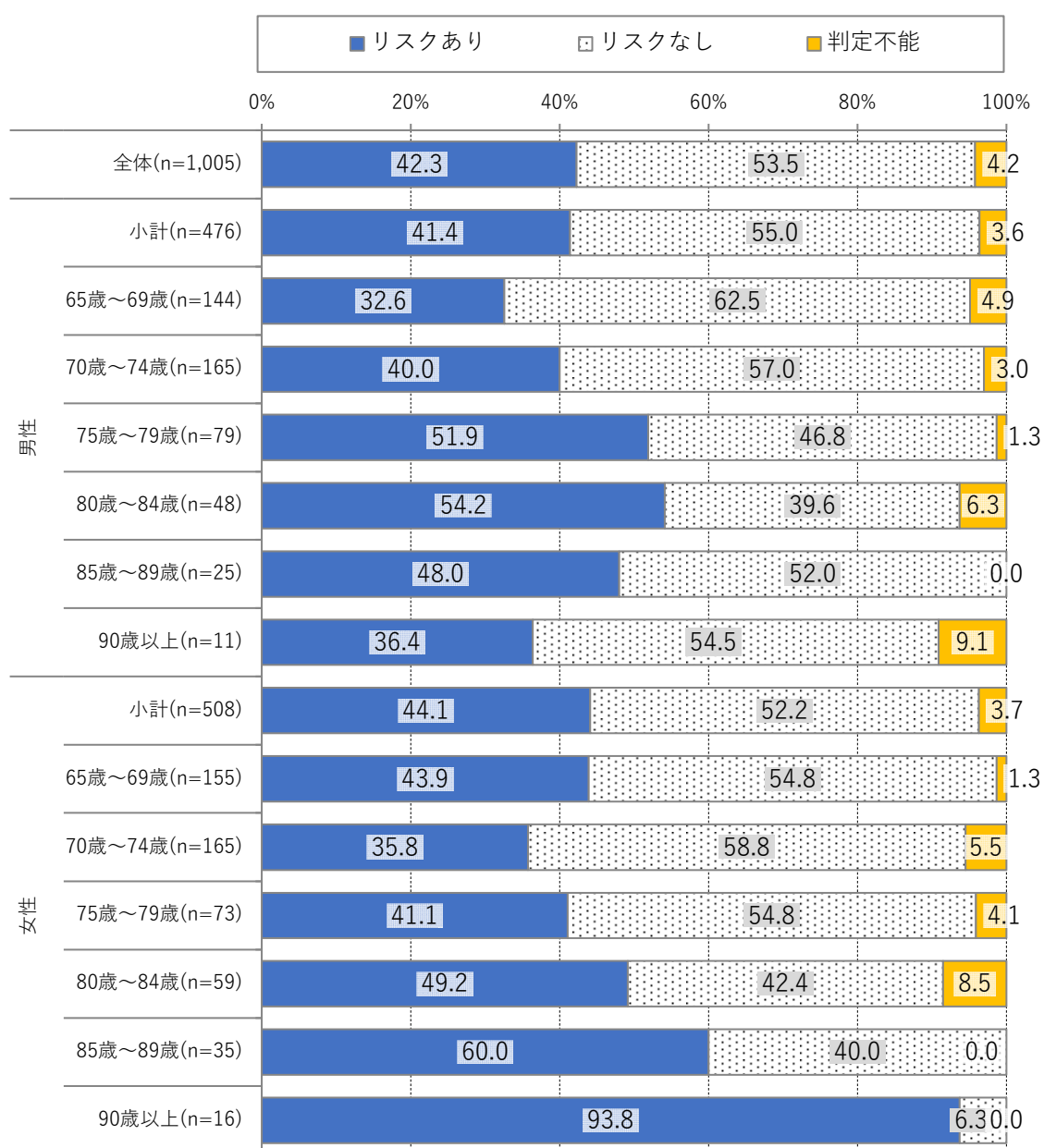
3. 毎日の生活

(1) 認知機能の低下

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別のリスク判定の結果は以下の図 26 のとおりで、男性は 85 歳未満までは年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなり、85 歳以降でリスク者割合が減少する傾向にあります。一方、女性は 90 歳以上でリスク者の割合が急激に高くなっています。

図 26 男女別・年齢階層別認知機能低下リスク判定結果



2) リスク者の地域分布

図 27 によれば、最もリスク者の割合が高い地域は「北部」で 50.0%、最もリスク者の割合が低い地域は「西部」で 41.5%となっています。「北部」では 2 人に 1 人の割合でリスク者に該当することになります。

リスク者の字ごとの分布は以下の図 28 のとおりです。

図 27 地域（エリア）別認知機能低下リスク判定結果

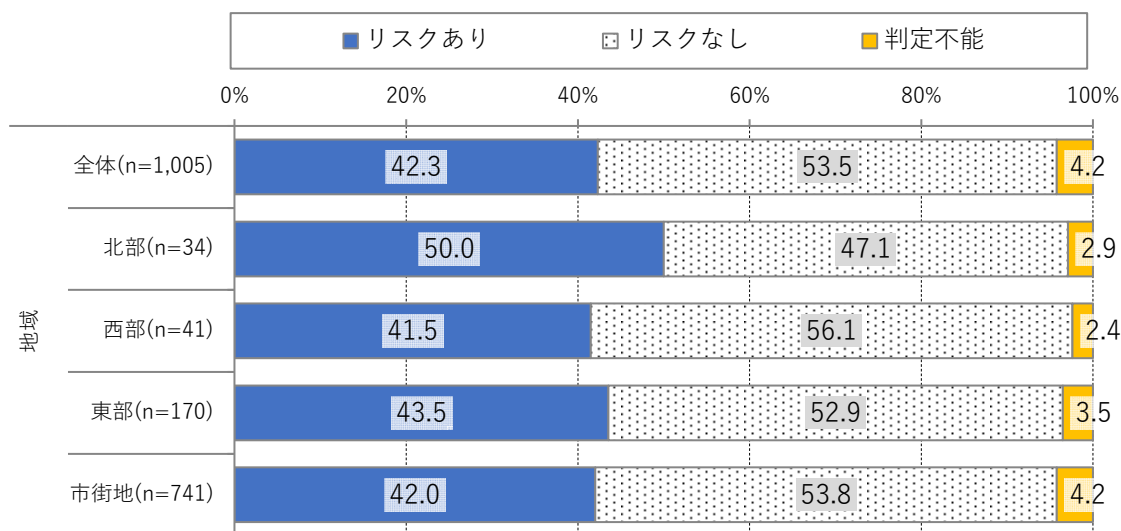
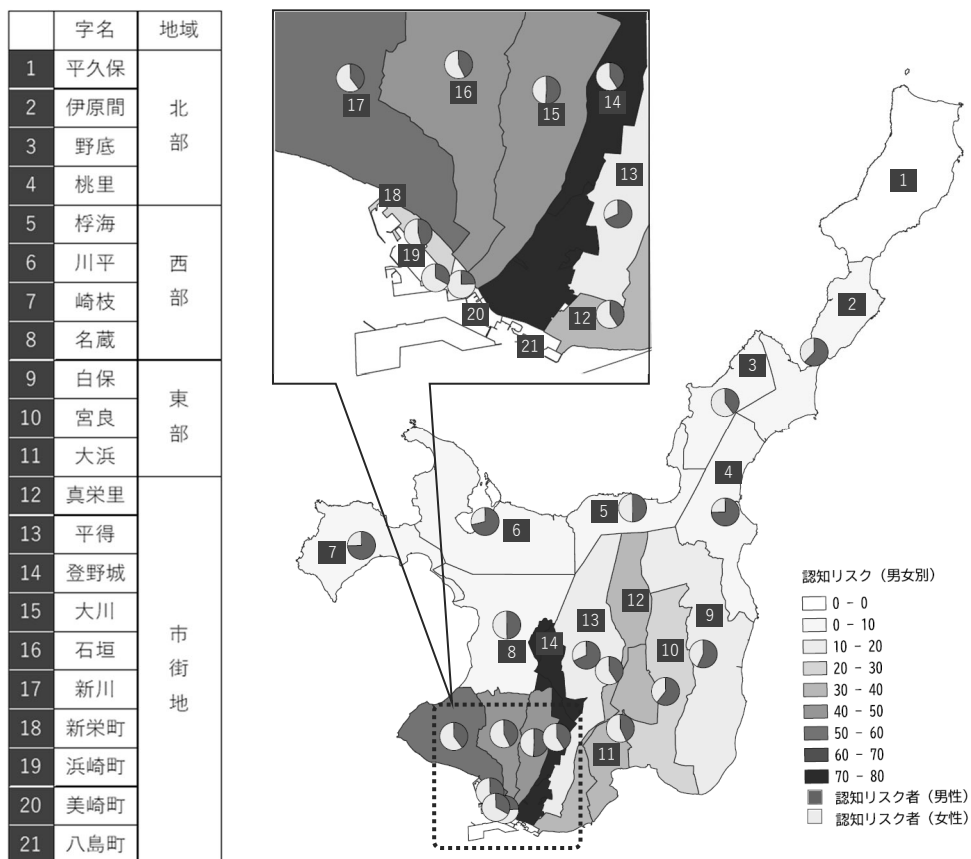


図 28 認知機能の低下リスク者の字分布



3) 認知機能の低下とうつ傾向、閉じこもり傾向との関係

認知機能の低下につながる要因は、「加齢」の他、「疾患や障害」、「生活習慣」、「薬物やアルコールの乱用」、「社会的要因」が考えられます。これらの要因は単独で発生することもあります。しばしば複合的に作用して、認知機能の低下を引き起こすことがあります。

認知機能の低下とうつ傾向との関係は以下の図 29 のとおりで、認知機能の低下リスク者のうちでうつ傾向リスク者の割合は 51.5%で、認知機能の低下なし高齢者のうちでうつ傾向リスク者の割合は 31.6%で、約 1.6 倍となっています。

認知機能の低下と閉じこもり傾向との関係は以下の図 30 のとおりで、認知機能の低下リスク者のうちで閉じこもりリスク者の割合は 24.7%で、認知機能の低下なし高齢者のうちで閉じこもりリスク者の割合は 15.6%で、約 1.6 倍です。

図 29 認知機能の低下とうつ傾向との関係

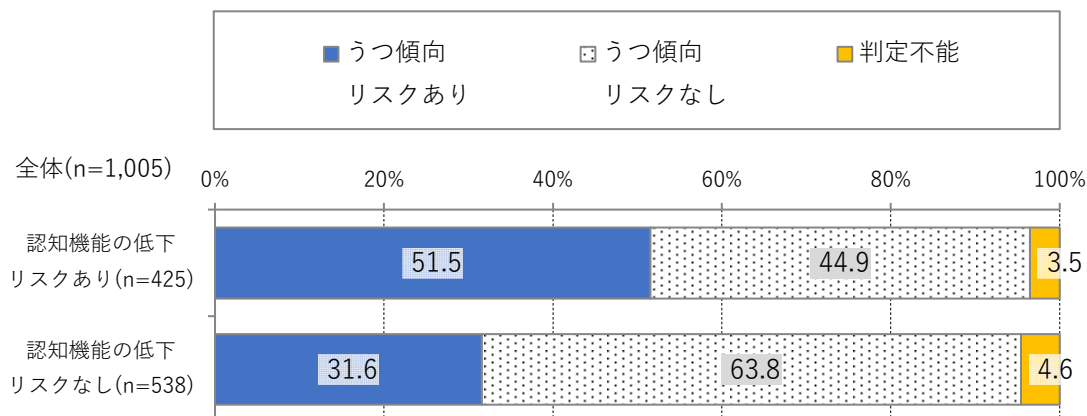
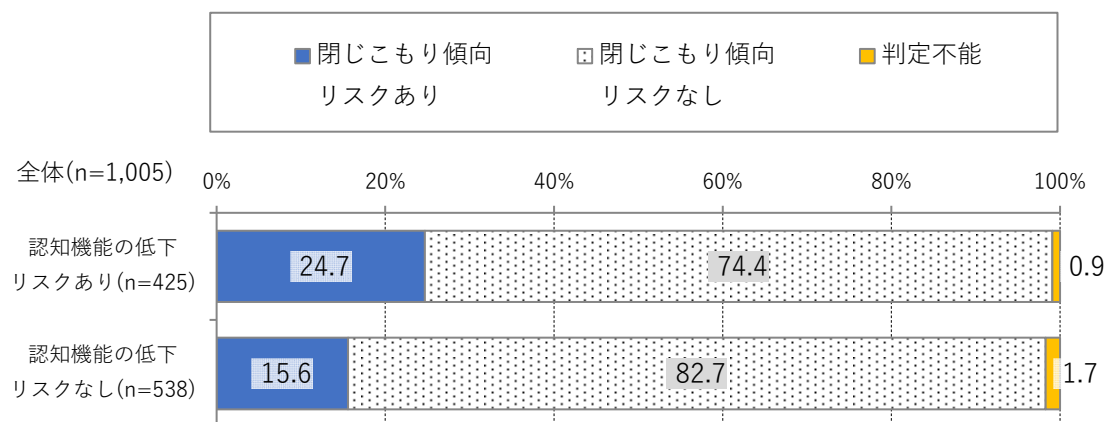


図 30 認知機能の低下と閉じこもり傾向との関係



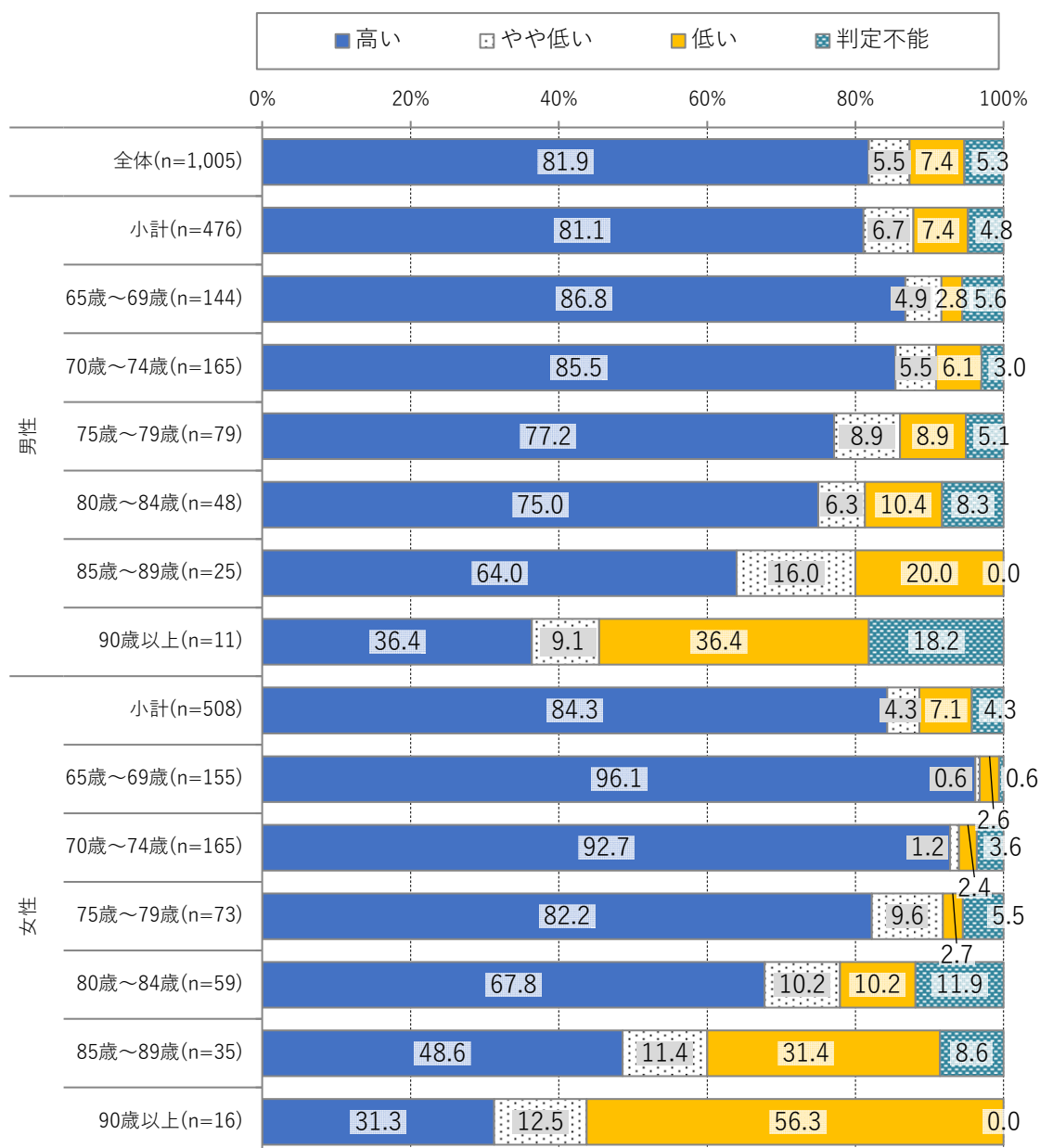
(2) IADLの低下

1) リスク者の性別・年齢別分析

IADL（Instrumental Activities of Daily Living）とは、手段的日常生活動作とも言われ、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、ADL（Activity of Daily Living:日常生活動作）ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するもので、在宅生活の可能性を検討する場合は、ADLの評価だけでは不十分であり、IADLが重要な指標になるとされています。

男女別・年齢階層別の判定の結果は以下の図31のとおりで、IADLが「やや低い」「低い」人の割合は、男女ともに年齢階層が高くなるにつれて高くなる傾向があり、男女ともに75歳以上で急激に高くなっていることがわかります。

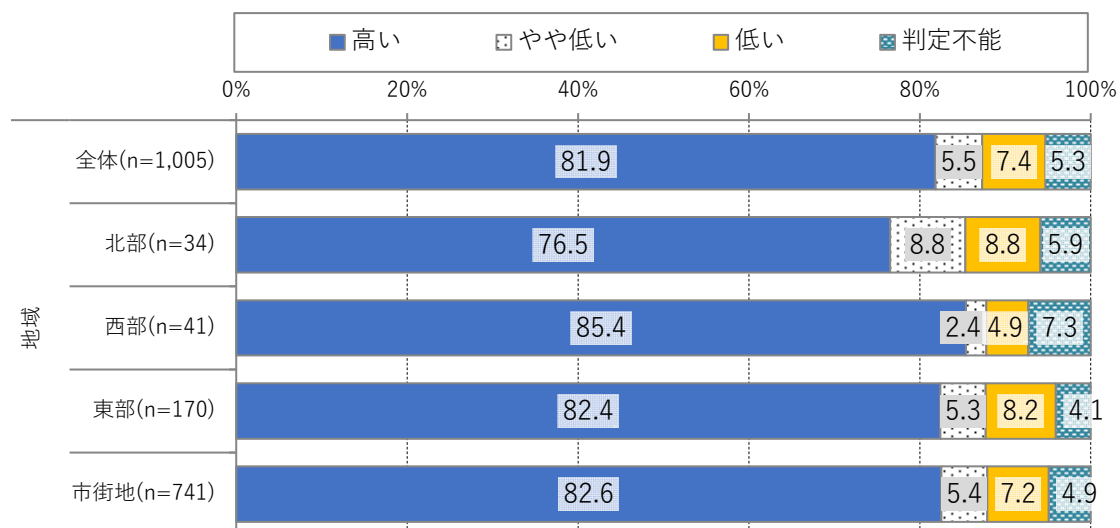
図31 男女別・年齢階層別IADL判定結果



2) リスク者の地域分布

図 32 によれば、I A D Lが「やや低い」「低い」人の割合で、最も割合の高い地域は「北部」で 17.6%、最も割合の低い地域は「西部」で 7.3%、約 2.4 倍となっています。

図 32 地域（エリア）別 I A D L 判定結果



4. 健康

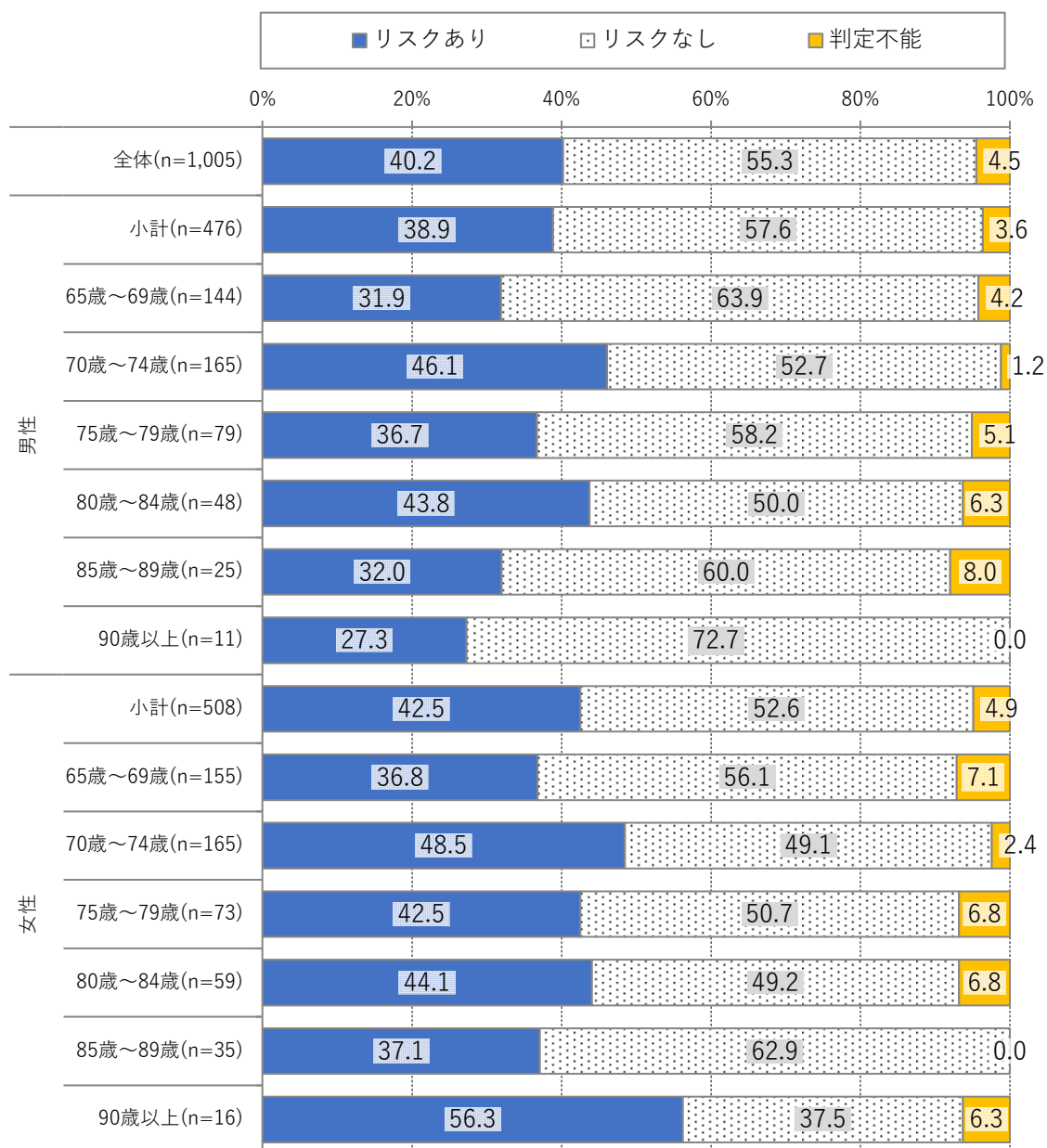
(1) うつ傾向

1) リスク者の性別・年齢別分析

男女別・年齢階層別のリスク判定の結果は以下の図 33 のとおりで、女性は男性に比べて全年齢階層でうつリスク者の割合が高くなっています。

年齢階層別による特性傾向はみられない結果となっています。

図 33 男女別・年齢階層別うつリスク判定結果



2) リスク者の地域分布

図 34 によれば、最もうつリスク者の割合が高い地域は「市街地」で 41.7%、最もうつリスク者の割合が低い地域は「北部」で 32.4%となっています。

リスク者の字ごとの分布は以下の図 35 のとおりです。

図 34 地域（エリア）別うつリスク判定結果

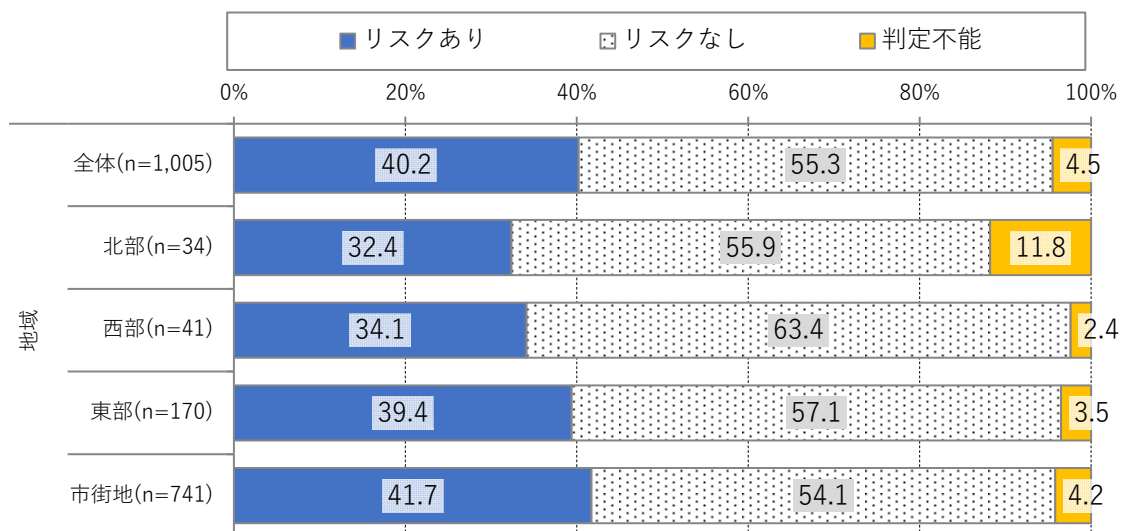
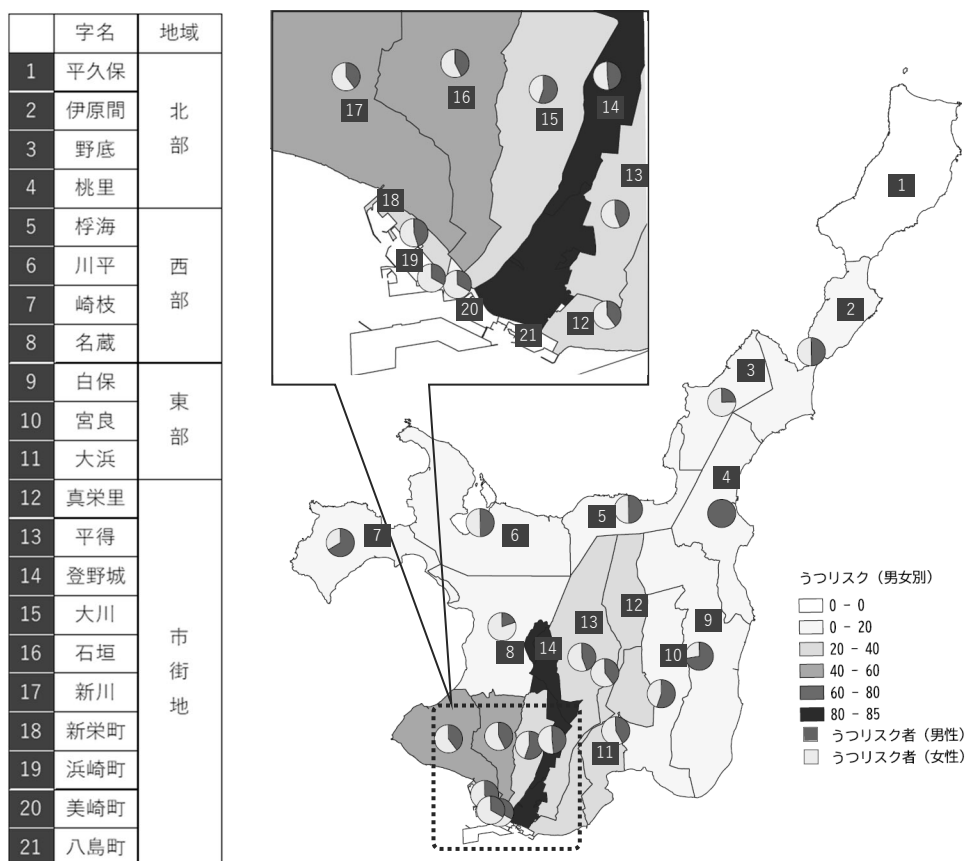


図 35 うつリスク者の字分布



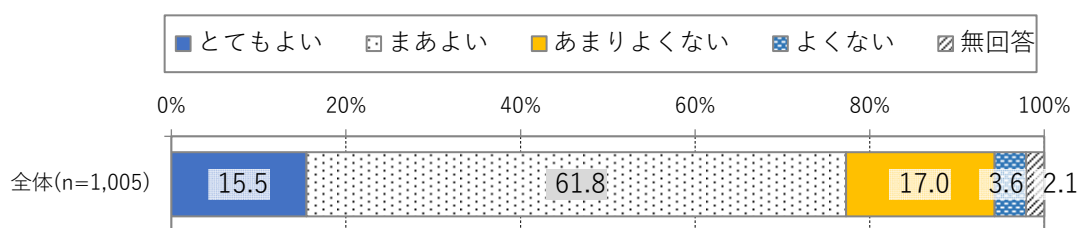
5. 幸せ

これまで見てきた「1. からだを動かす」、「2. 食べる」、「3. 毎日の生活」、「4. 健康」のリスクの発生状況と主観的健康感と幸福感について以下で分析をします。

(1) 主観的健康感

現在の健康状態を尋ねた結果は図 36 のとおりです。

図 36 主観的健康感



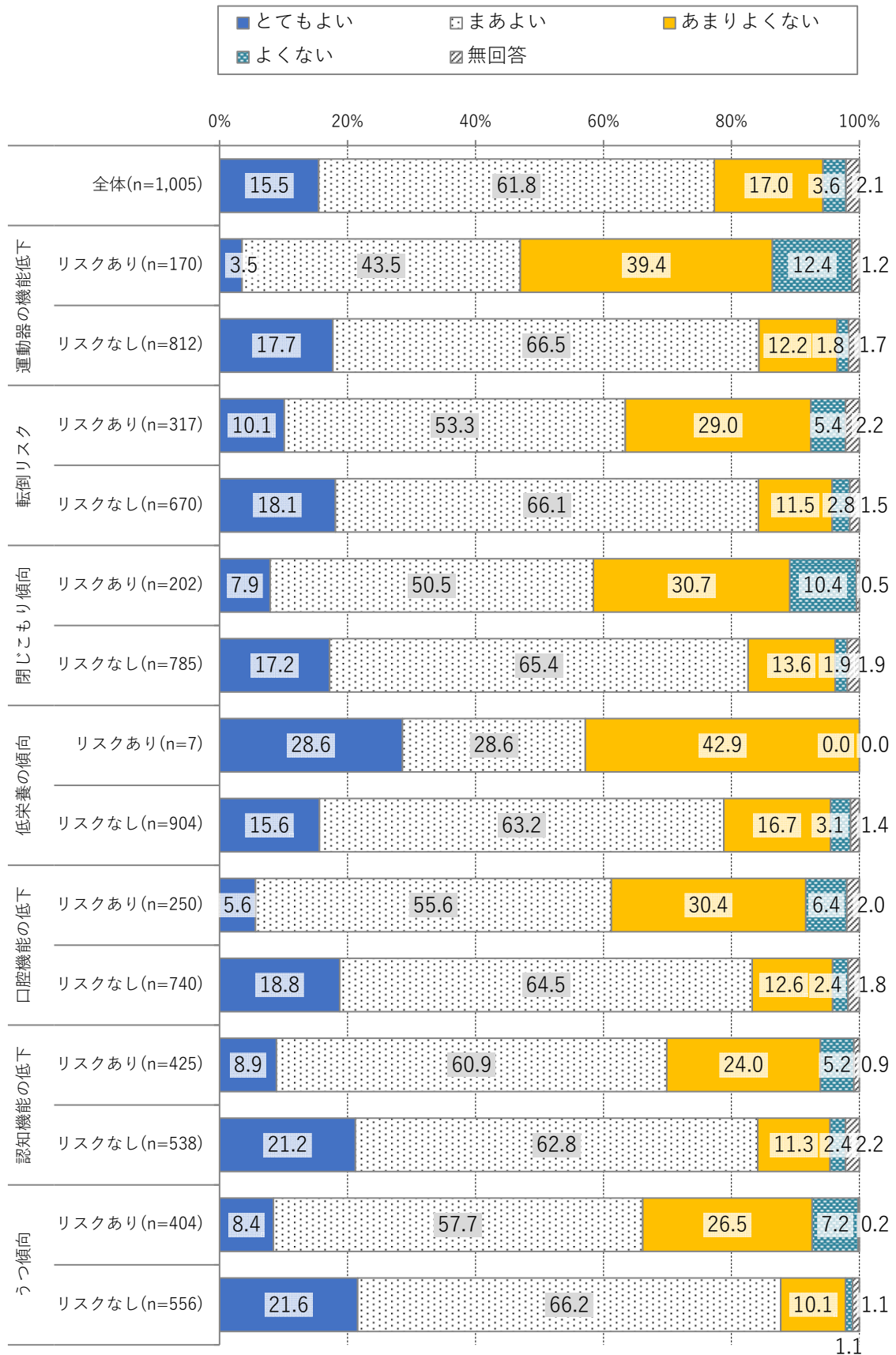
これまで見てきた各リスクの有無と主観的健康感の関係は図 37 のとおりで、低栄養の傾向を除くすべての分野において、「リスクあり」の高齢者に比べ「リスクなし」の高齢者の方が健康状態が良い（「とてもよい」、「まあよい」）と感じている結果となっています。

たとえば、「運動器の機能低下」のリスク者で健康状態を「とてもよい」と回答された方の割合は 3.5%、「運動器の機能低下」のリスクなし高齢者で健康状態を「とてもよい」と回答された方の割合は 17.7%となっており、低栄養の傾向以外の各リスクにおいて、「リスクあり」の高齢者に比べ「リスクなし」の高齢者の方が健康状態が良いと感じている傾向となっています。

また、すべての分野において、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が健康状態が良くない（「よくない」、「あまりよくない」）と感じている結果となっています。

たとえば、「転倒リスク」のリスク者で健康状態を「よくない」と回答された方の割合は 5.4%、「転倒リスク」のリスクなし高齢者で健康状態を「よくない」と回答された方の割合は 2.8%となっており、各リスクにおいて、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が健康状態を良くないと感じている傾向となっています。

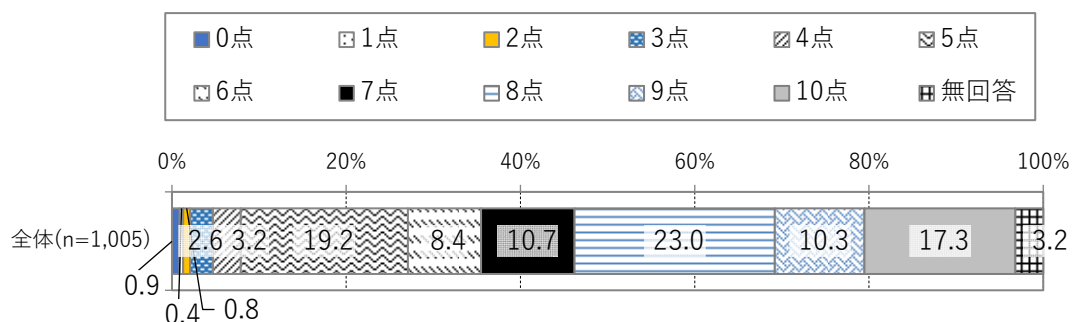
図 37 各リスクの有無別主観的健康感



(2) 主観的幸福感

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在の幸せ度を尋ねた結果は図38のとおりです。

図38 主観的幸福感



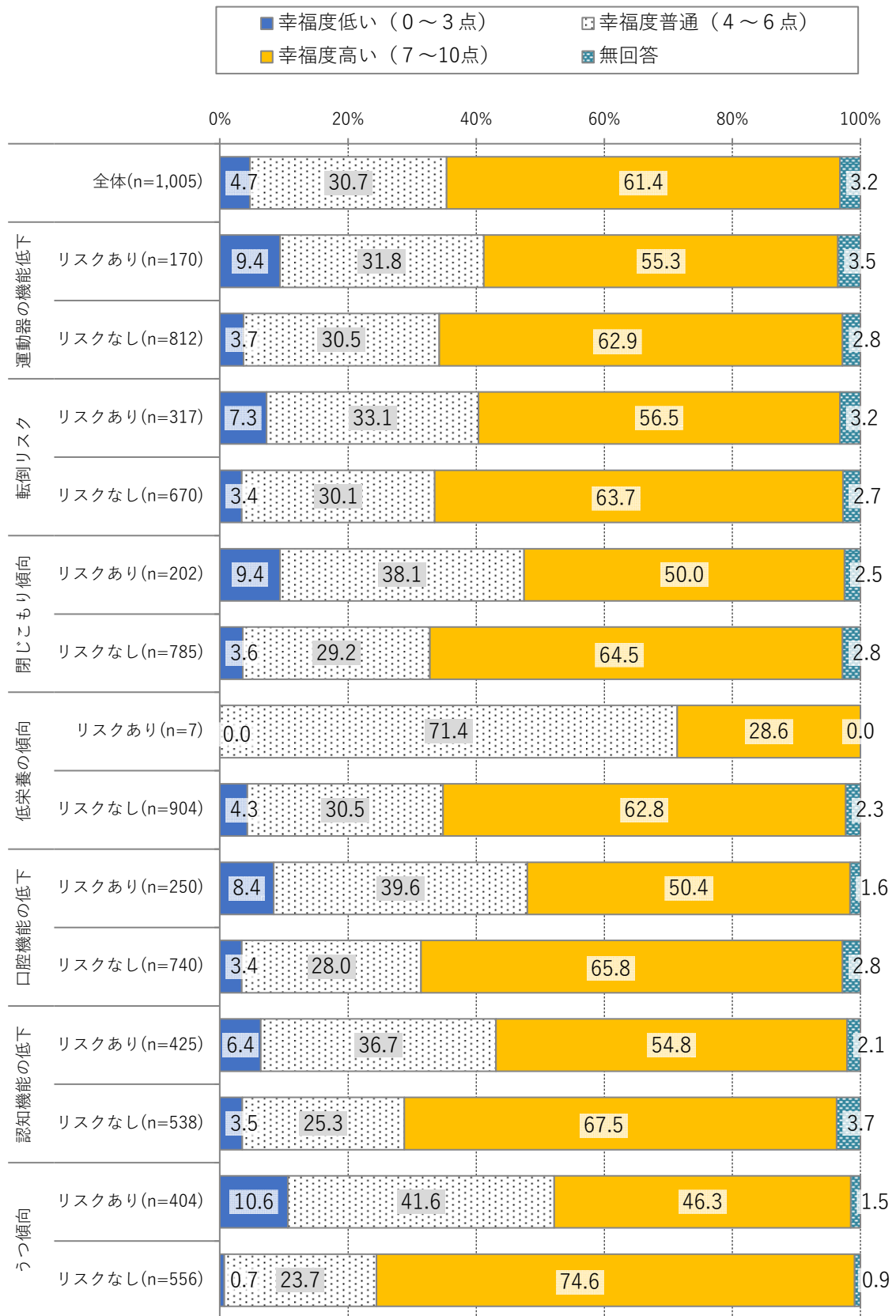
これまで見てきた各リスクの有無と主観的幸福感の関係は図39のとおりで、すべての分野において、「リスクあり」の高齢者に比べ「リスクなし」の高齢者の方が幸福度が高いと感じている結果となっています。

たとえば、「運動器の機能低下」のリスク者で幸福度が高いと回答された方の割合は55.3%、「運動器の機能低下」のリスクなし高齢者で幸福度が高いと回答された方の割合は62.9%となっており、各リスクにおいて、「リスクあり」の高齢者に比べ「リスクなし」の高齢者の方が幸福度が高いと感じている傾向となっています。

また、低栄養の傾向を除くすべての分野において、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が幸福度が低いと感じている結果となっています。

たとえば、「転倒リスク」のリスク者で幸福度が低いと回答された方の割合は7.3%、「転倒リスク」のリスクなし高齢者で幸福度が低いと回答された方の割合は3.4%となっており、低栄養の傾向以外の各リスクにおいて、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が幸福度が低いと感じている傾向となっています。

図 39 各リスクの有無別主観的幸福感



6. 社会的孤立との関係

これまで見てきた「1. からだを動かす」、「2. 食べる」、「3. 毎日の生活」、「4. 健康」のリスクの発生状況と社会的孤立について以下で分析をします。

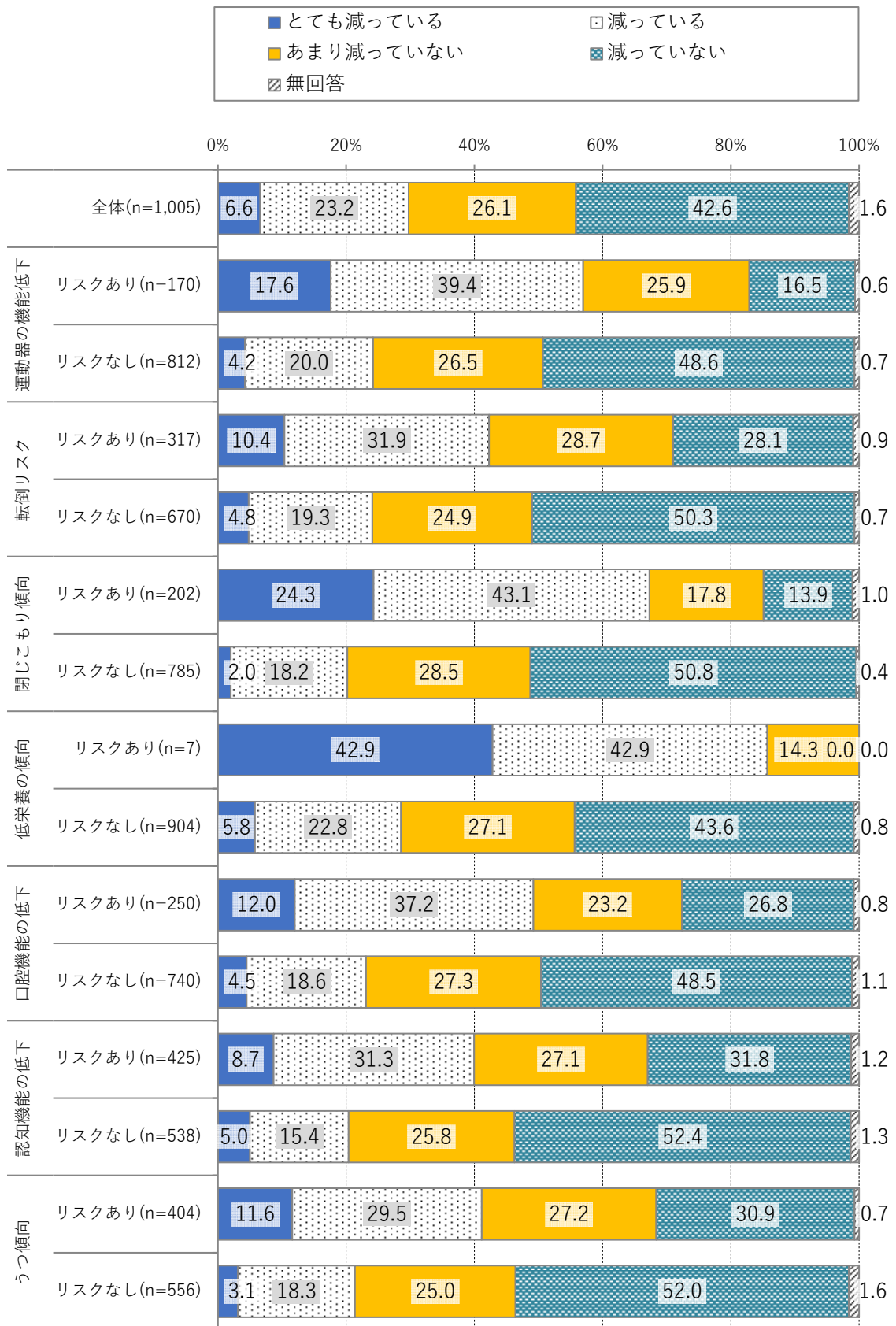
(1) 外出回数減少との関係

「1. からだを動かす」、「2. 食べる」、「3. 毎日の生活」、「4. 健康」のリスクの発生状況と外出回数の減少をそれぞれクロス集計することで、リスクの有無と外出回数の減少の関係を分析することが可能となります。

図 40 によれば、すべての分野において、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者が、外出回数が「とても減っている」「減っている」と回答した方の割合が高い結果となっています。

たとえば、「運動器の機能低下」のリスク者で外出回数が「とても減っている」「減っている」と回答した方の割合は 57.0%、「運動器の機能低下」のリスクなし高齢者で外出回数が「とても減っている」「減っている」と回答した方の割合は 24.2%となっており、各リスクにおいて、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が外出回数が減少している傾向となっています。

図 40 リスクの有無と外出回数減少の関係



（２）孤食との関係

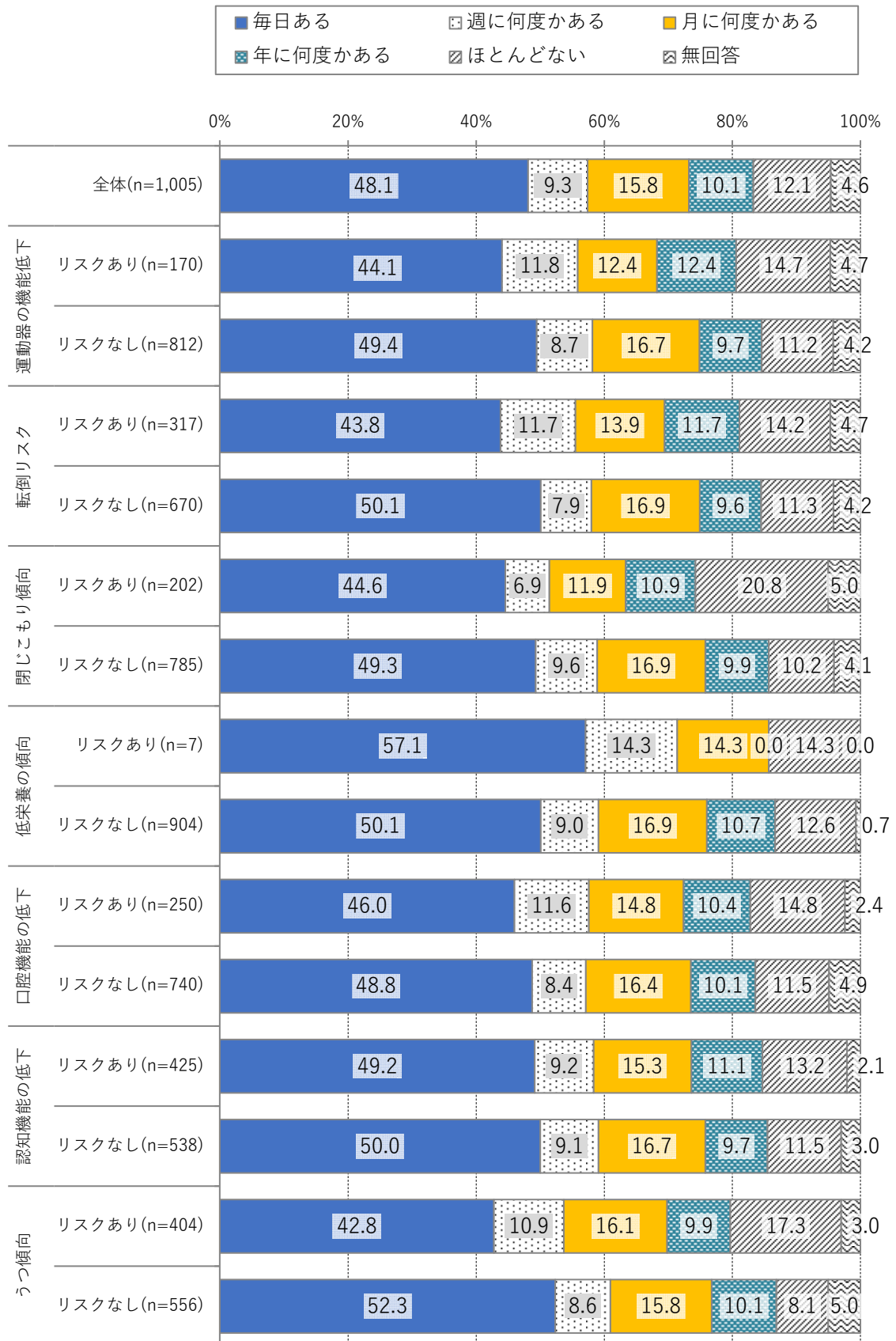
孤食は、身体的・心理的な健康に影響を与える可能性があります。さらに、孤食が長期化すると、うつ病や認知症などの心理的な疾患のリスクが高まることが考えられます。

「１．からだを動かす」、「２．食べる」、「３．毎日の生活」、「４．健康」のリスクの発生状況と孤食をそれぞれクロス集計することで、リスクの有無と孤食の関係を分析することが可能となります。

図 40 によれば、すべての分野において、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者が、食事をともにする機会が「ほとんどない」と回答した方の割合が高い結果となっています。

たとえば、「転倒リスク」のリスク者で食事をともにする機会が「ほとんどない」と回答した方の割合は 14.2%、「転倒リスク」のリスクなし高齢者で食事をともにする機会が「ほとんどない」と回答した方の割合は 11.3%となっており、各リスクにおいて、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が孤食の傾向となっています。

図 41 リスクの有無と孤食の関係



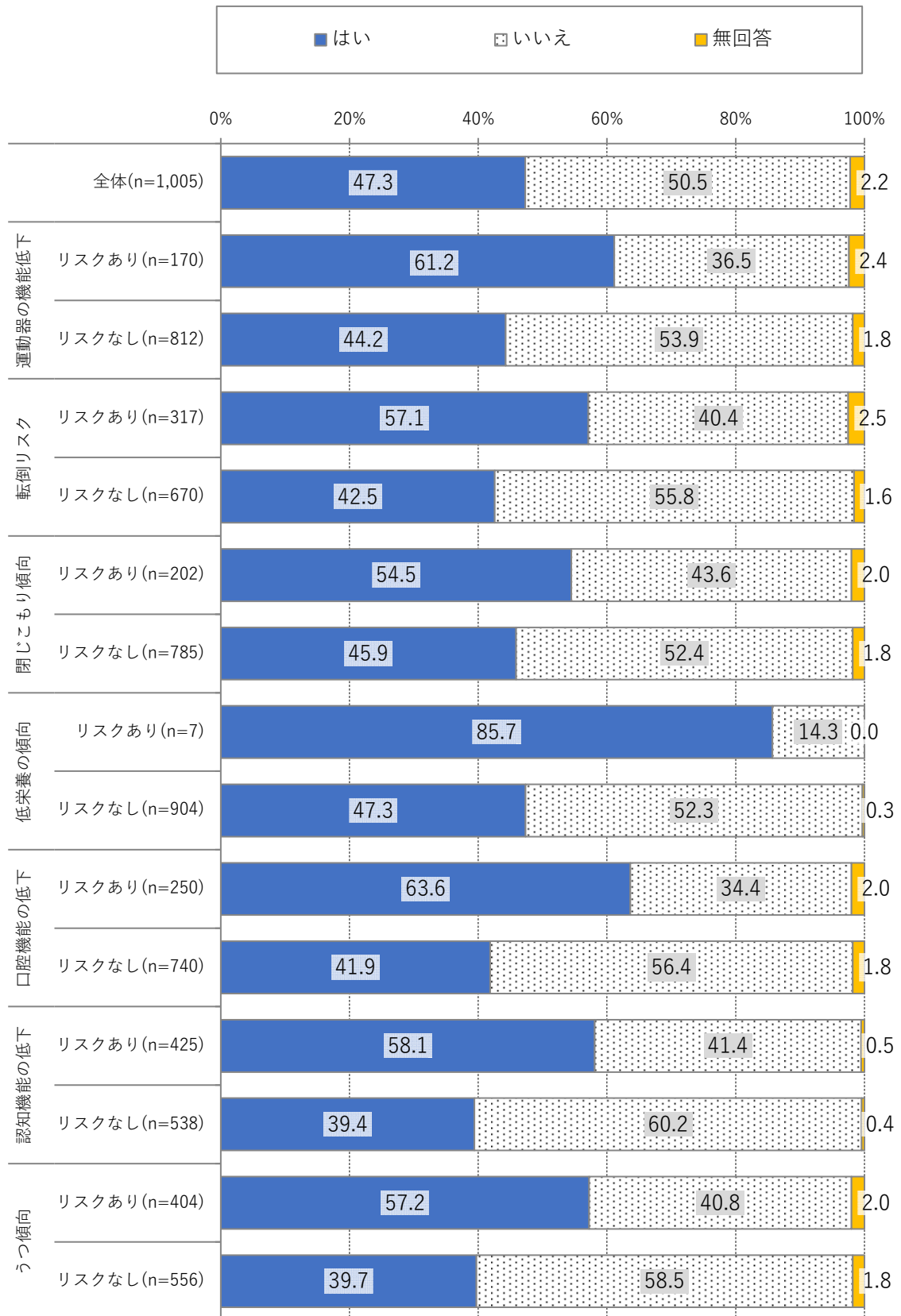
(3) 聞こえにくさとの関係

耳の聞こえにくさがある場合、うつ病のリスクが高まる可能性があることが知られています。「1. からだを動かす」、「2. 食べる」、「3. 毎日の生活」、「4. 健康」のリスクの発生状況と聞こえにくさをそれぞれクロス集計することで、リスクの有無と聞こえにくさの関係を分析することが可能となります。

図 42 によれば、すべての分野において、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者が、「聞こえにくいと感ずることがある」と回答した方の割合が高い結果となっています。

たとえば、「運動器の機能低下」のリスク者で「聞こえにくいと感ずることがある」と回答した方の割合は 61.2%、「運動器の機能低下」のリスクなし高齢者で「聞こえにくいと感ずることがある」と回答した方の割合は 44.2%となっており、各リスクにおいて、「リスクなし」の高齢者に比べ「リスクあり」の高齢者の方が聞こえにくさがある傾向となっています。

図 42 リスクの有無と聞こえにくさの関係



2 社会参加等の状況

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目のうち、「問5 地域での活動について」は、高齢者の社会参加の状況と地域活動への参加意向を把握するための設問となっています。

新しい介護予防・日常生活支援総合事業の展開にあたっては、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を目指すことになりますが、その前提として、高齢者の社会参加の状況と地域活動への参加意向を把握しておくことが必要となります。

そこで、社会参加等の状況については、国が設定したオプション項目も含めた9つの地域での活動（①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、④学習・教養サークル、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事、⑨カラオケ、散歩、もあいなどの外出）への参加状況と、地域づくりに対する「参加者として」「お世話役として」の両方の立場における参加の意向を分析することとします。

1. 地域での活動への参加状況

地域での活動への参加状況を見ると、「参加している」と回答した割合は、「カラオケ、散歩、もあいなどの外出」が最も高く43.1%、次いで、「収入のある仕事」が29.7%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が21.8%となっています。

図43 地域での活動への参加状況

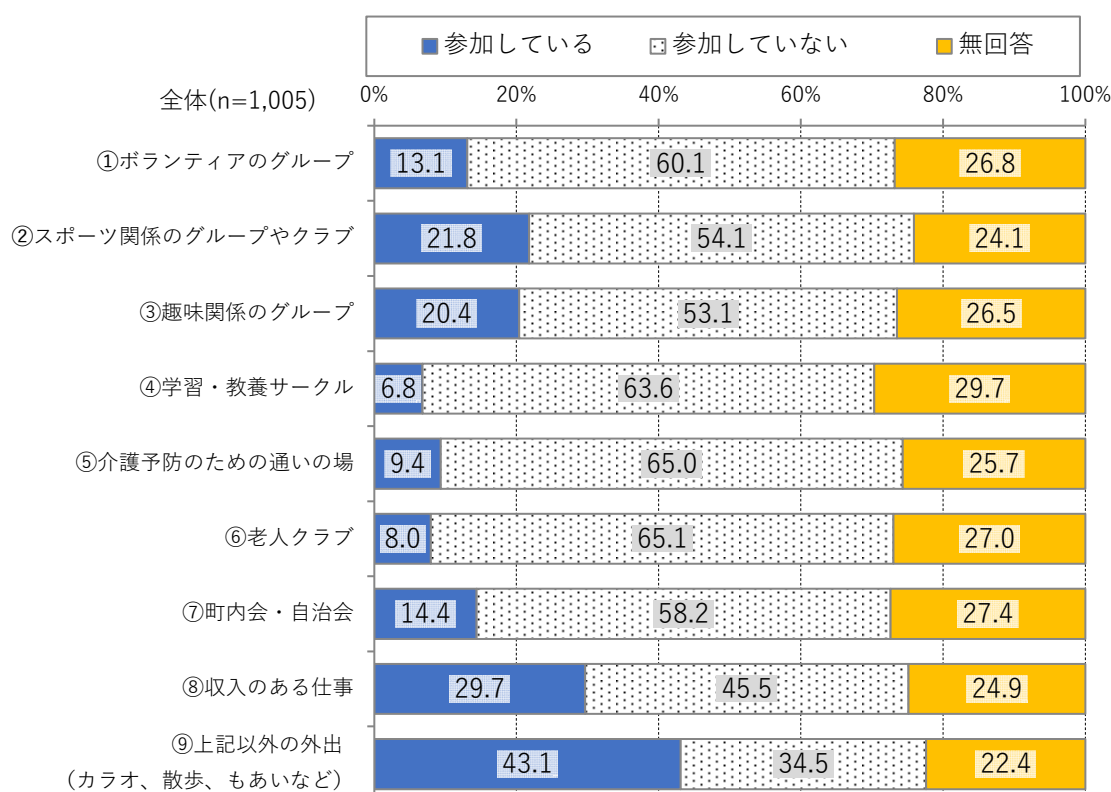


図 44 から図 52 によれば、最も参加者の割合が高い地域（エリア）をみると、ボランティアグループへの参加状況は「北部」で 20.6%、スポーツ関係のグループやクラブは「西部」で 31.7%、趣味関係のグループは「東部」で 24.7%、学習・教養サークルは「市街地」で 7.4%、介護予防のための通いの場は「北部」で 20.6%、老人クラブは「東部」で 16.5%、町内会・自治会は「北部」で 50.0%、収入のある仕事は「西部」で 31.7%、カラオケ、散歩、もあいなどの外出は「西部」で 48.8%となっています。

全体的に「西部」の参加状況は高い傾向になっており、特にスポーツ関係のグループやクラブへの参加者割合が高い傾向になっています。一方で、「北部」では老人クラブ、収入のある仕事、もあいなどの外出が他の地域（エリア）に比べて参加者割合が低い傾向になっています。

図 44 地域（エリア）別ボランティアのグループへの参加状況

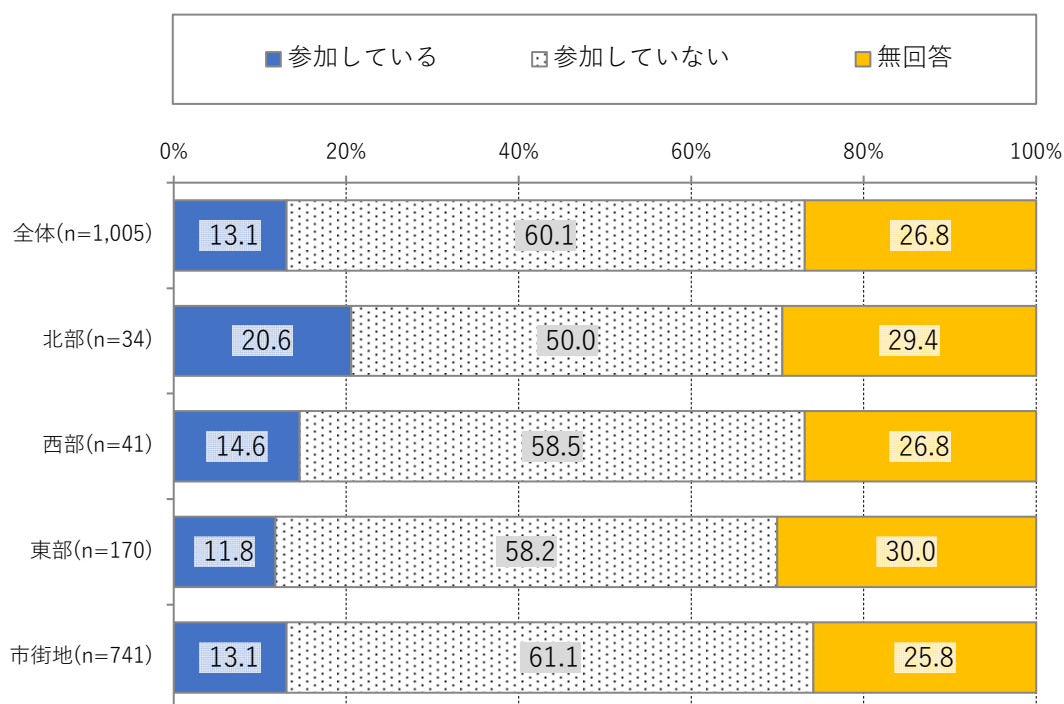


図 45 地域（エリア）別スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況

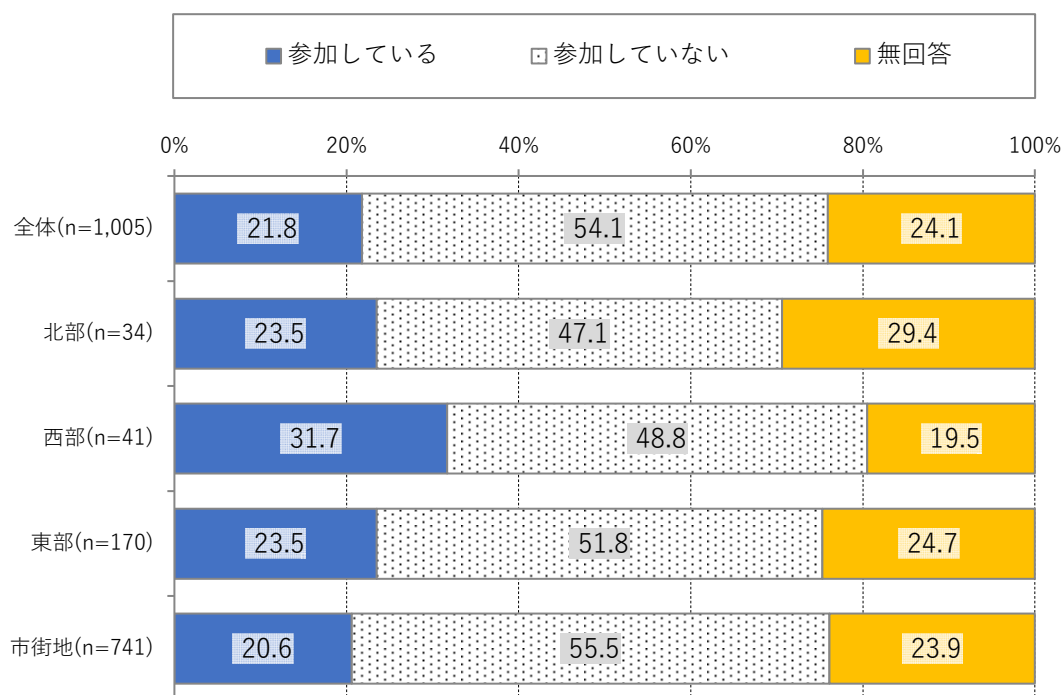


図 46 地域（エリア）別趣味関係のグループへの参加状況

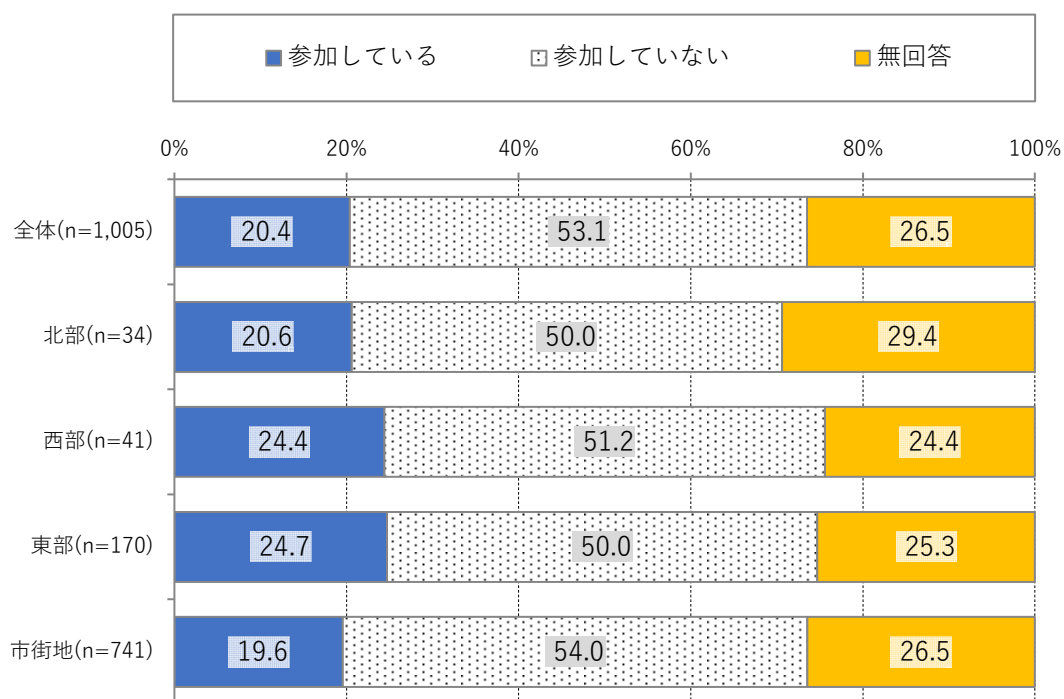


図 47 地域（エリア）別学習・教養サークルへの参加状況

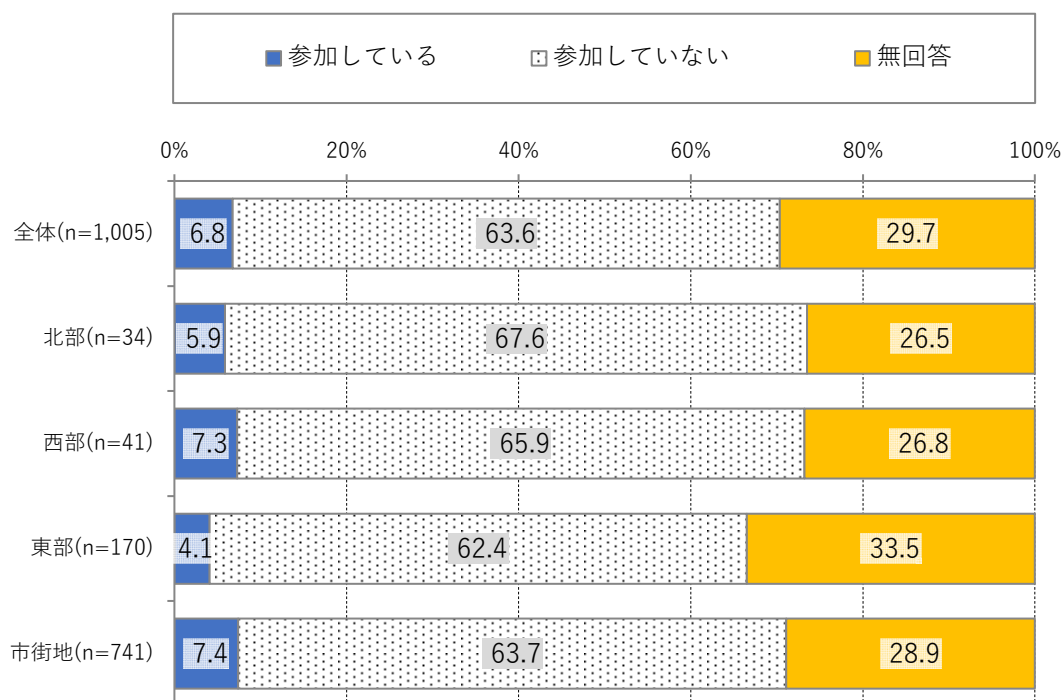


図 48 地域（エリア）別介護予防のための通いの場への参加状況

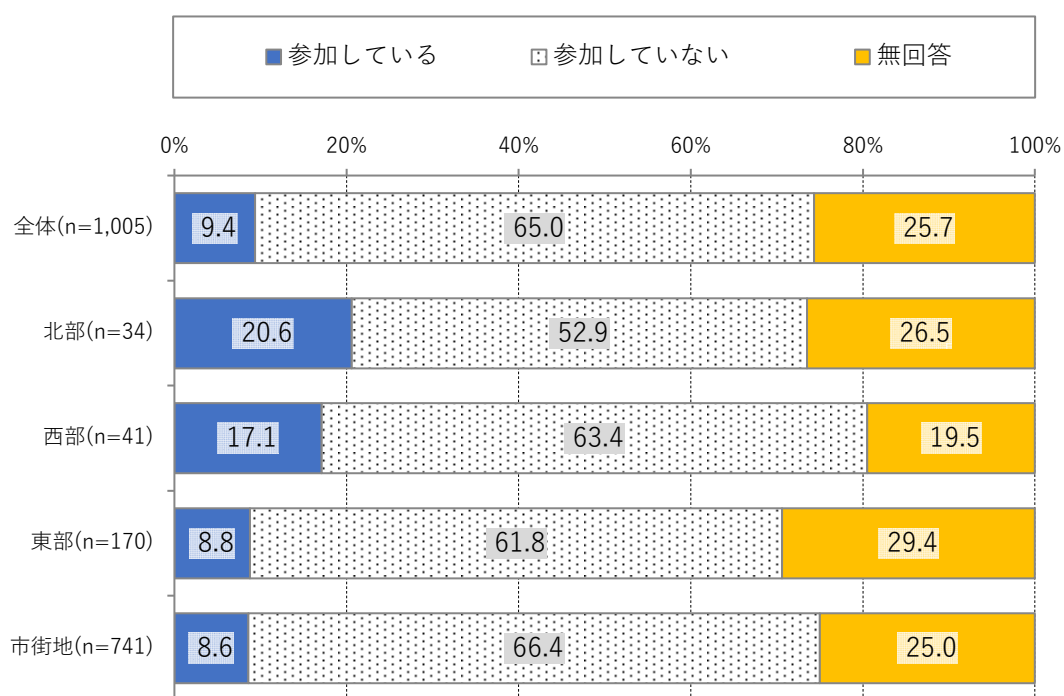


図 49 地域（エリア）別老人クラブへの参加状況

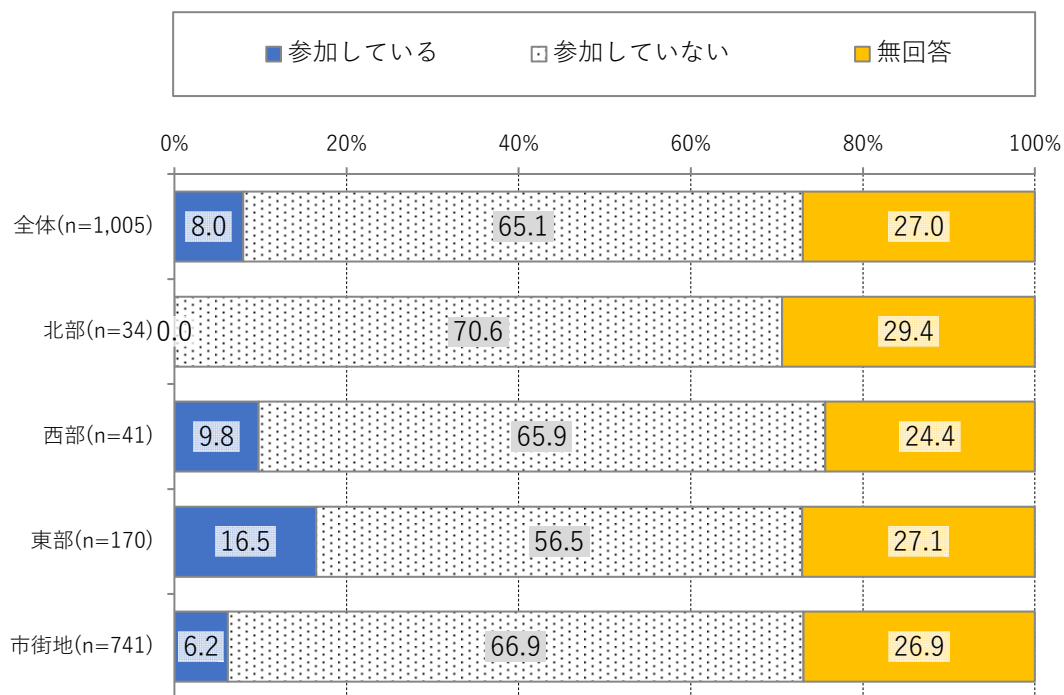


図 50 地域（エリア）別町内会・自治会への参加状況

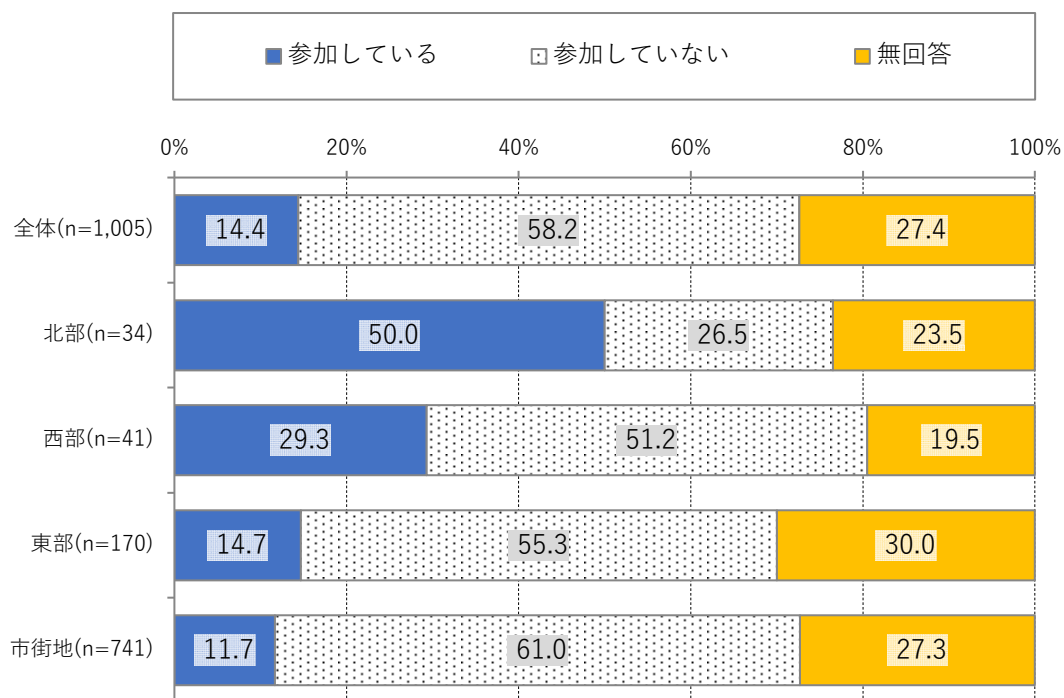


図 51 地域（エリア）別収入のある仕事への参加状況

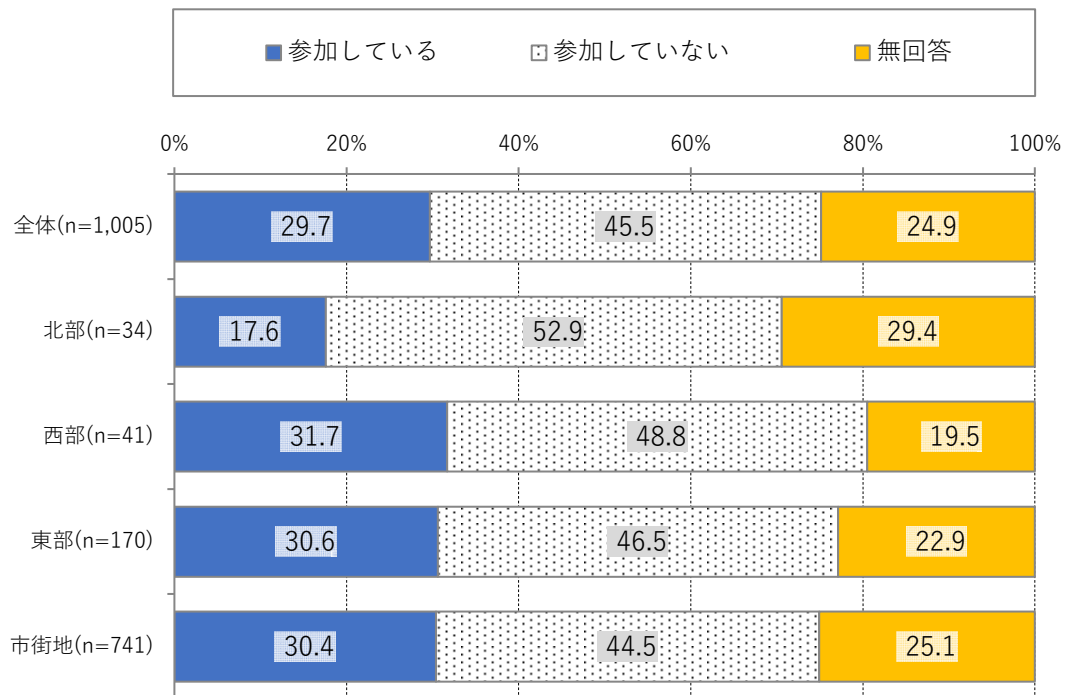
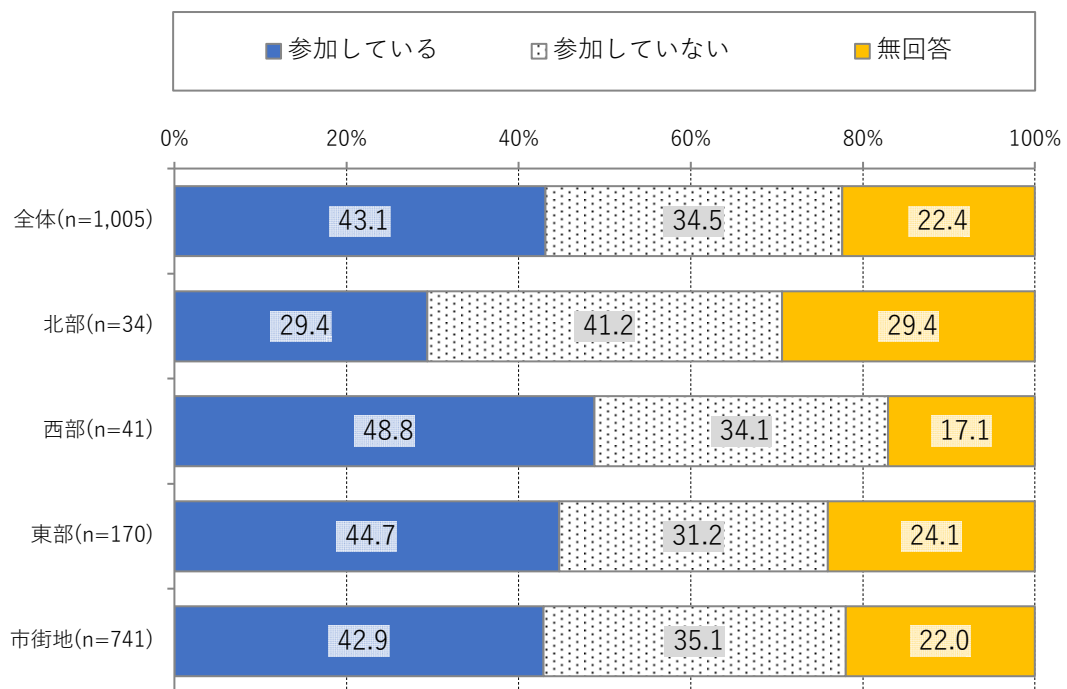


図 52 地域（エリア）別上記以外の外出への参加状況



2. 地域づくりの場への参加意向

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動など、地域づくりについて「是非参加したい」「参加してもよい」と回答した人の割合は、参加者としての参加意向で 58.2%、お世話役としての参加意向で 39.3%となっています。参加者としての参加意向は半数以上あり、どちらも一定数の参加意向があるため、地域づくりに向けた働きかけが重要であると考えます。

図 53 地域づくりの場への参加者としての参加意向

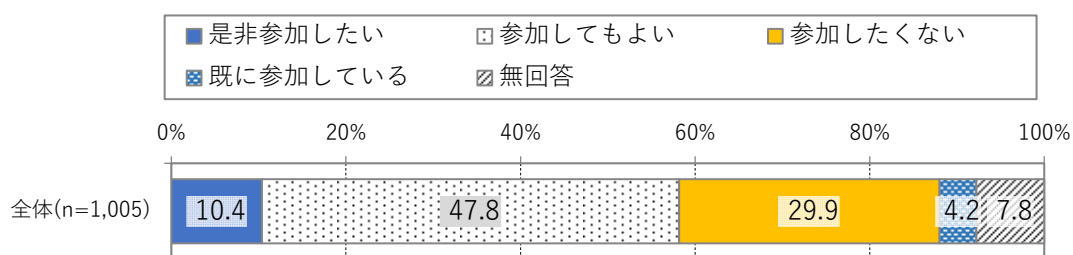
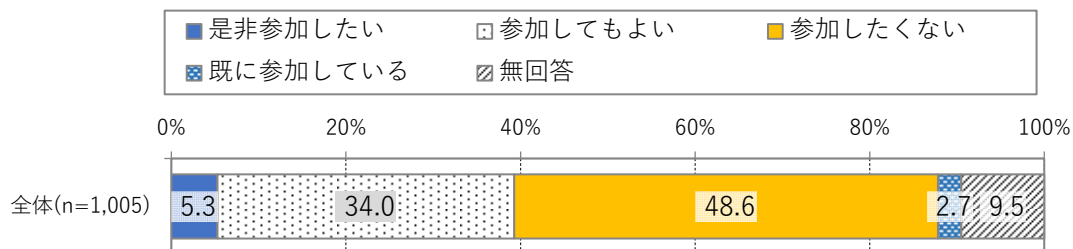


図 54 地域づくりの場へのお世話役としての参加意向



3 身体状態と介護予防への取り組み状況

本市では、介護予防につながる介護予防事業の充実を図ってきました。今回の調査では、介護予防事業への参加意欲を確認する独自の設問項目を設けました。ここでは、現状等をより正確に把握することを目指して、回答結果の分析を行うこととします。

また、これは、健康づくりや認知機能の維持・改善、転倒予防、在宅生活の支援、社会的孤立という側面で「1 リスクの発生状況」、高齢者の社会的孤立の解消という側面で「2 社会参加等の状況」とも密接に関わるものです。

1. 介護予防の取り組み状況

介護予防の取り組み状況を見ると、「意識して取り組んでいる」が37.9%、次いで、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」が12.5%、「きっかけがあれば取り組みたい」が11.8%という結果になっています。一方で、「興味・関心は特にない」は8.1%です（図55参照）。

図56によれば、健康や介護予防のために気をつけていることのうち最も回答割合が高いのは「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」で55.7%、次いで、「口の中を清潔にしている」が54.6%です。

一方で、「特にない」はわずか1.7%と、普段から健康や介護予防のために意識的に取り組んでいることが分かります。

図55 現在の介護予防の取り組み状況

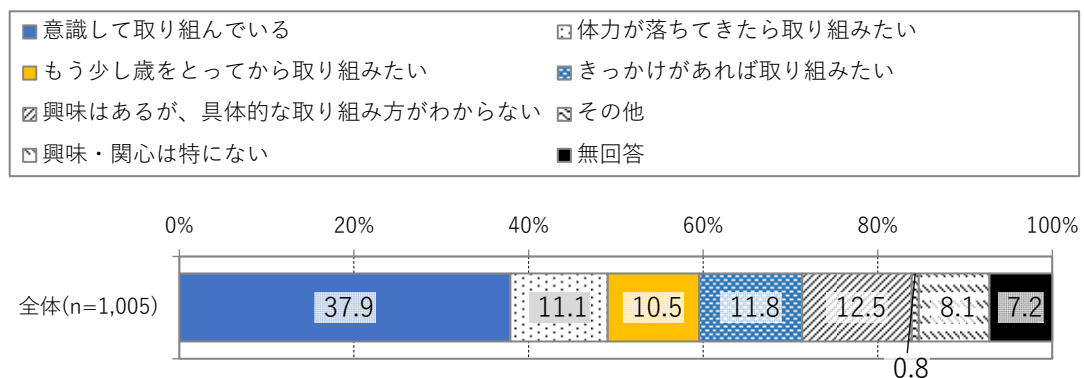
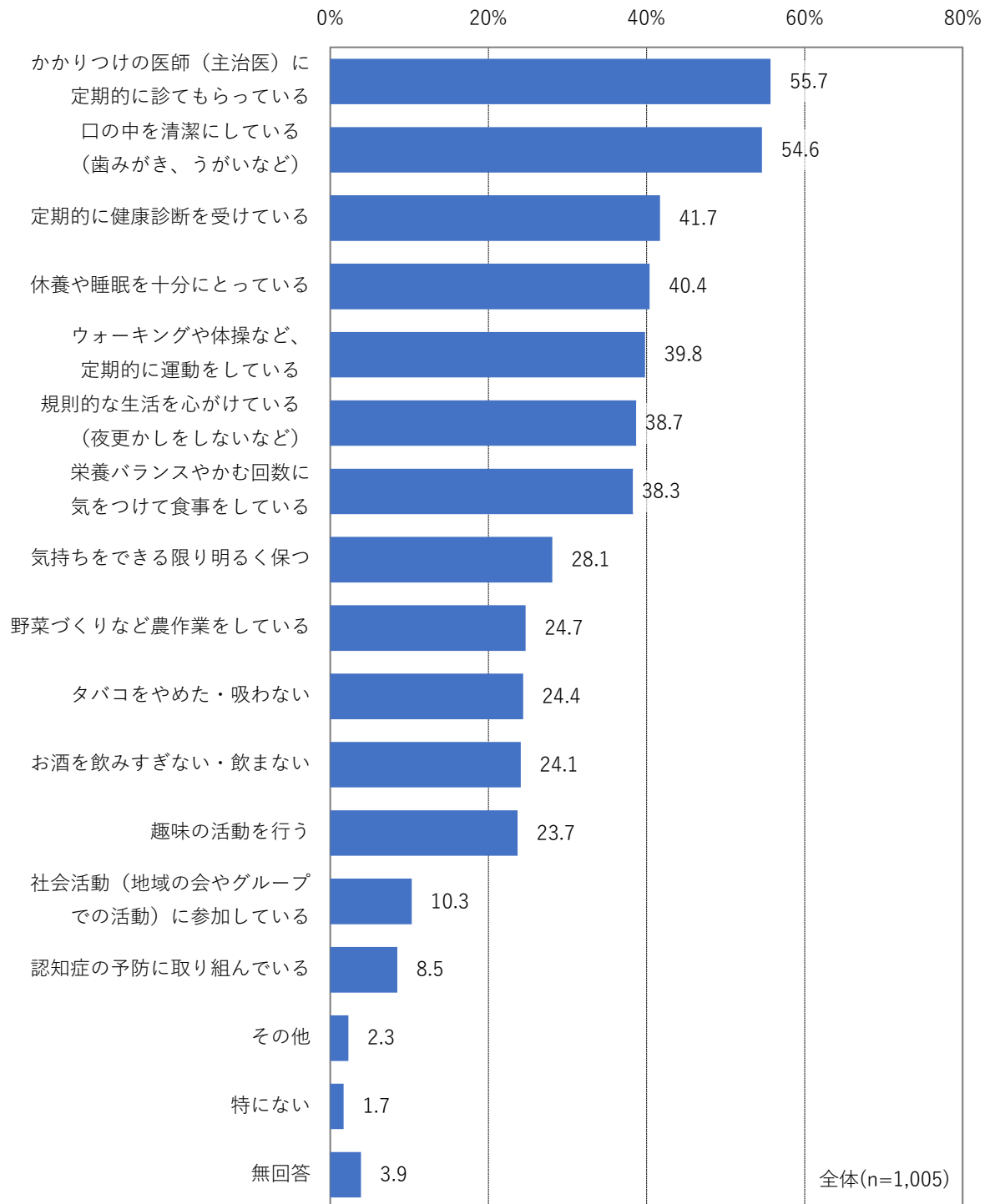


図 56 普段から健康や介護予防のために気をつけていること



また、介護予防の取り組みには、趣味や生きがいを育むことが重要な役割を果たすと考えられています。ここでは、介護予防の取り組み状況と趣味や生きがいとの関係性をみてみます。

以下の図 57、図 58 のとおり、趣味や生きがいのある高齢者は介護予防の取り組みに対する意識が高い傾向にあります。

図 57 介護予防の取り組み状況と趣味との関係

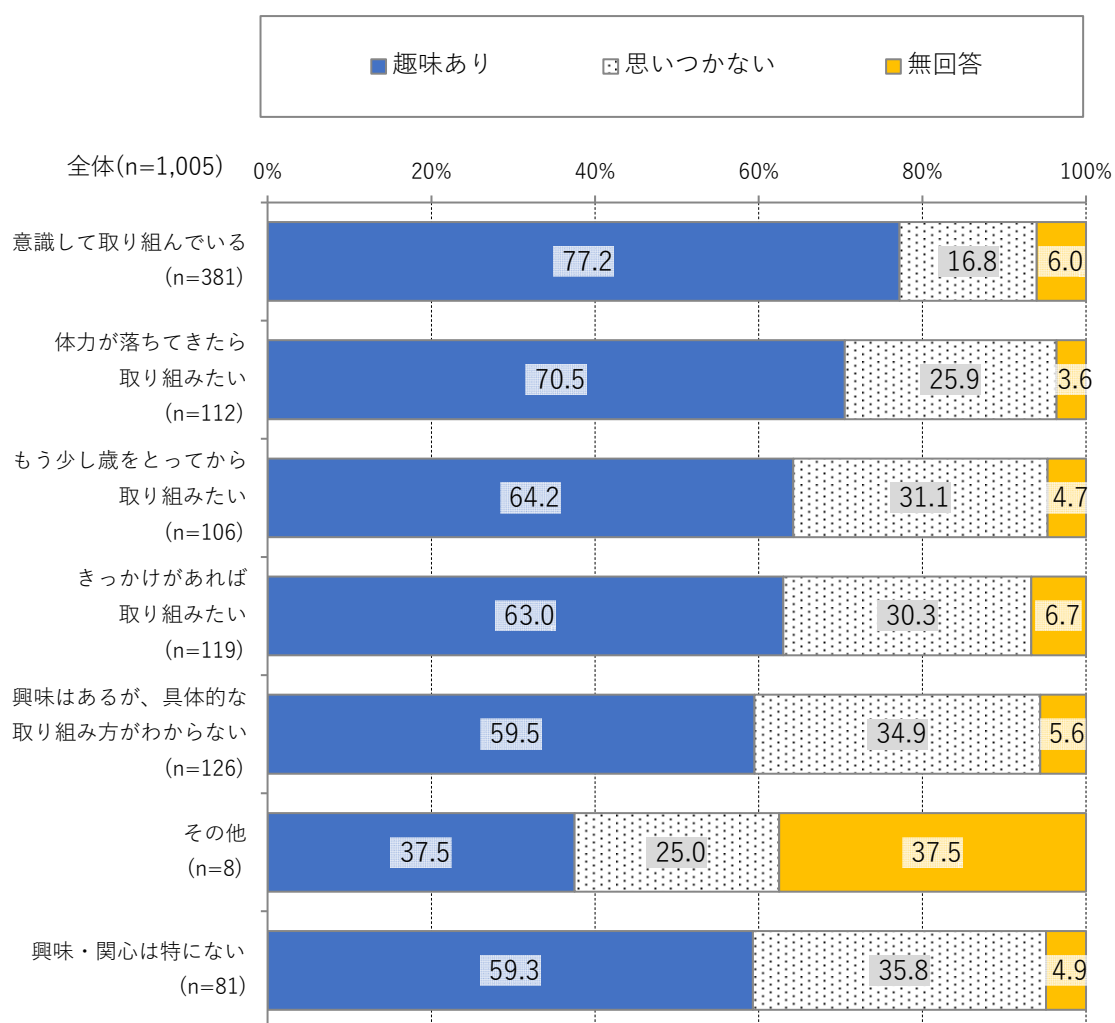
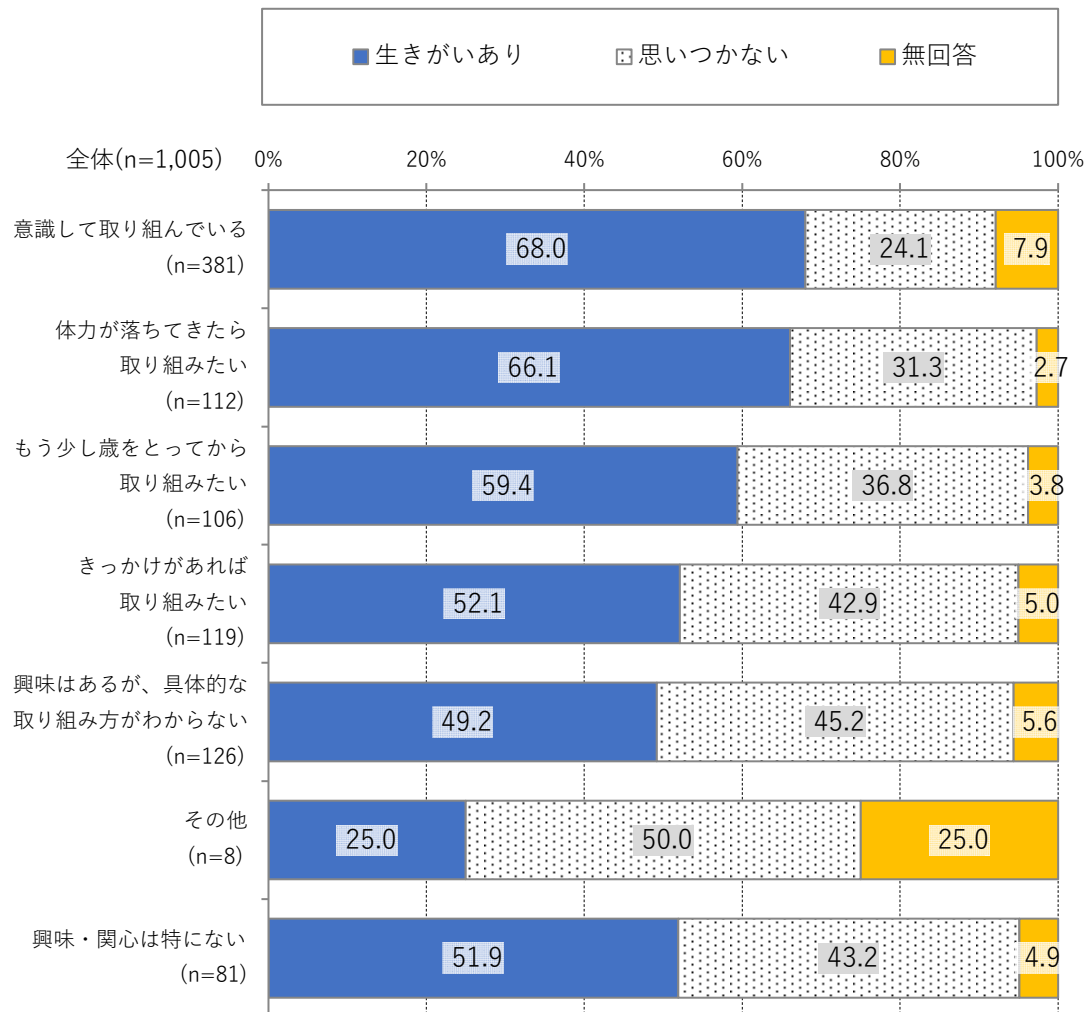


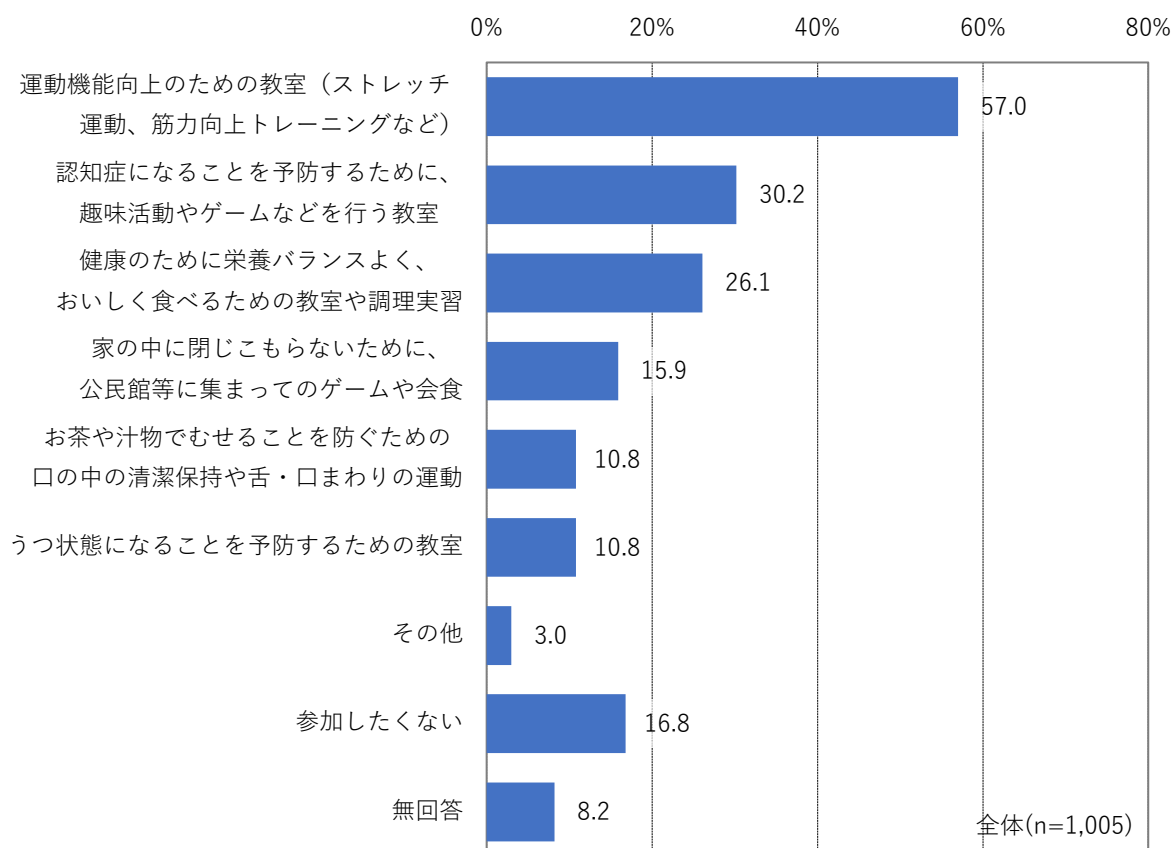
図 58 介護予防の取り組み状況と生きがいとの関係



2. 介護予防事業への参加意欲

介護予防事業への参加意欲を見ると、「運動機能向上のための教室」が 57.0%、次いで、「認知症になることを予防するために、趣味活動やゲームなどを行う教室」が 30.2%、「健康のために栄養バランスよく、おいしく食べるための教室や調理実習」が 26.1%となっています（図 59 参照）。

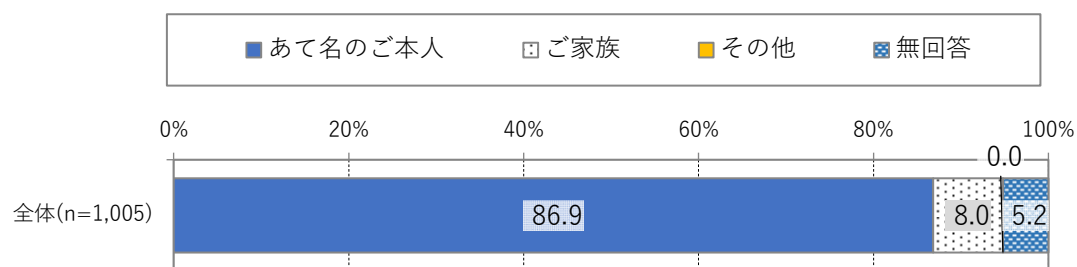
図 59 介護予防事業への参加意欲



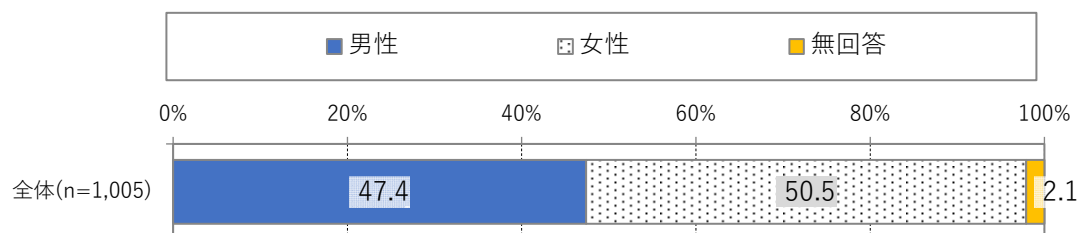
第3章 調査結果

1 基本情報

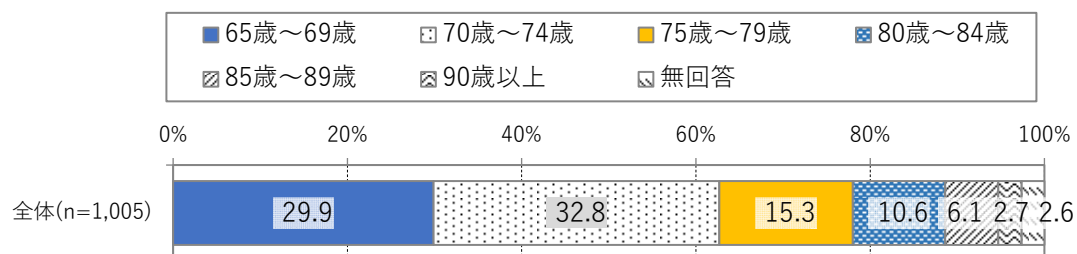
(1) 調査票を記入された方について教えてください（〇は1つ）



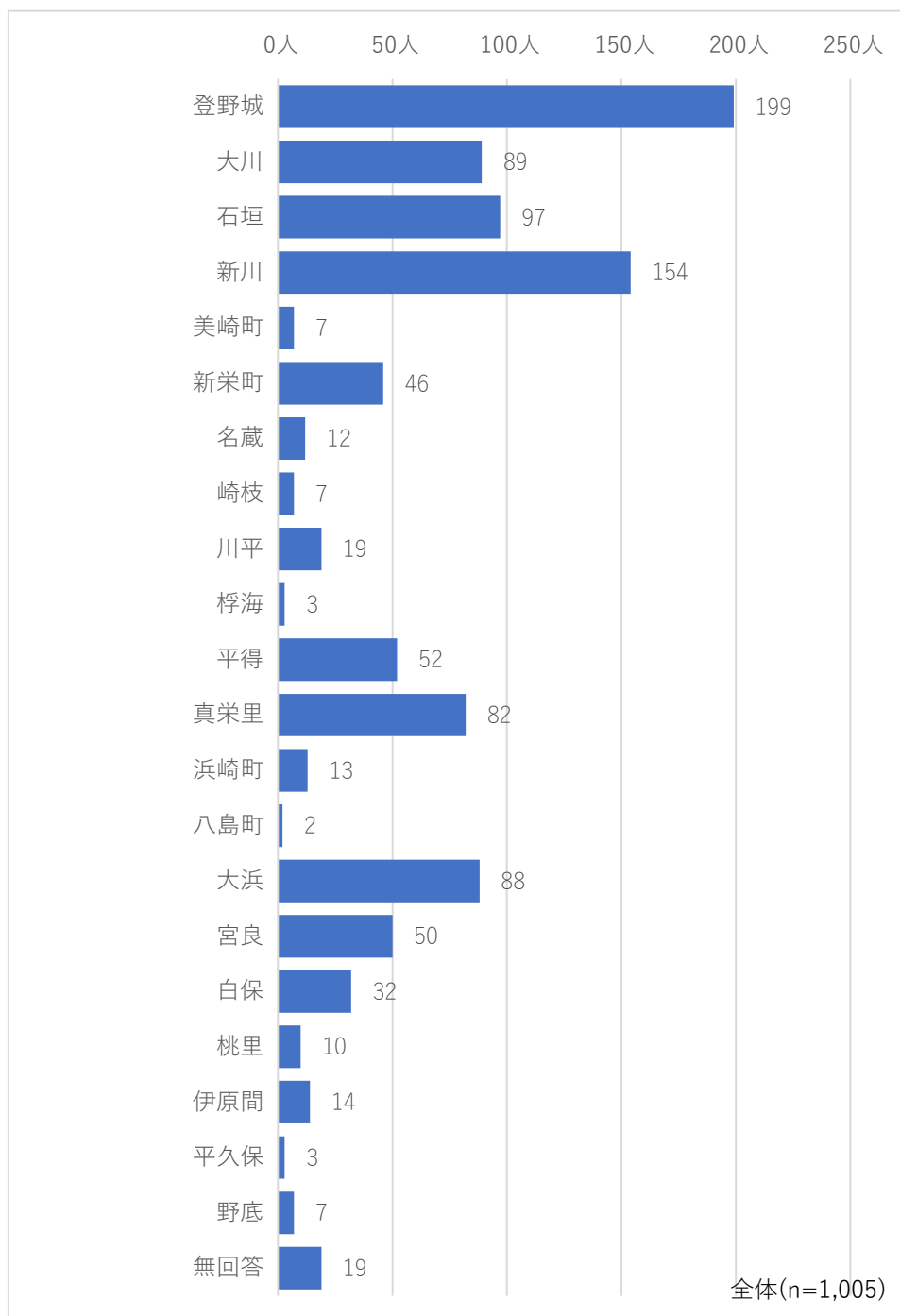
(2) あなた（あて名の方）の性別について教えてください（〇は1つ）



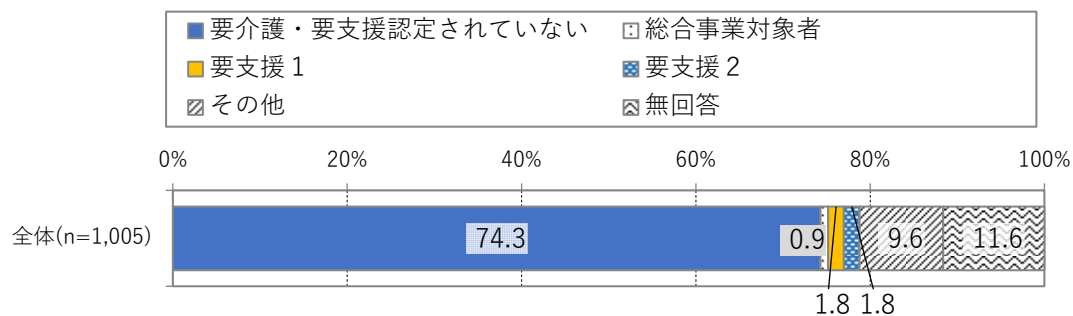
(3) あなた（あて名の方）の年齢について教えてください（〇は1つ）



(4) あなた（あて名の方）のお住いの地区について教えてください（〇は1つ）

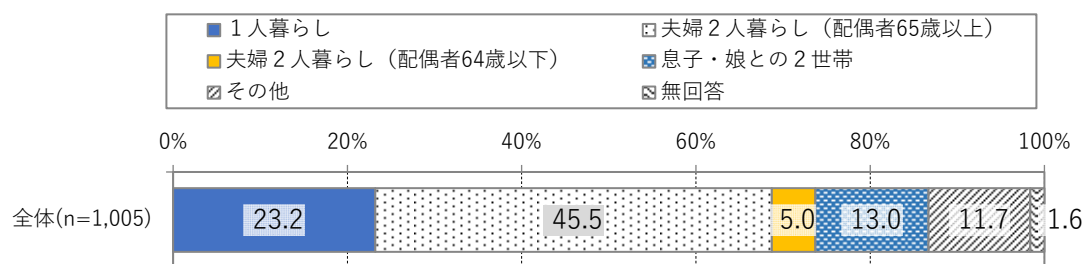


(5) あなた（あて名の方）の介護度について教えてください（〇は1つ）

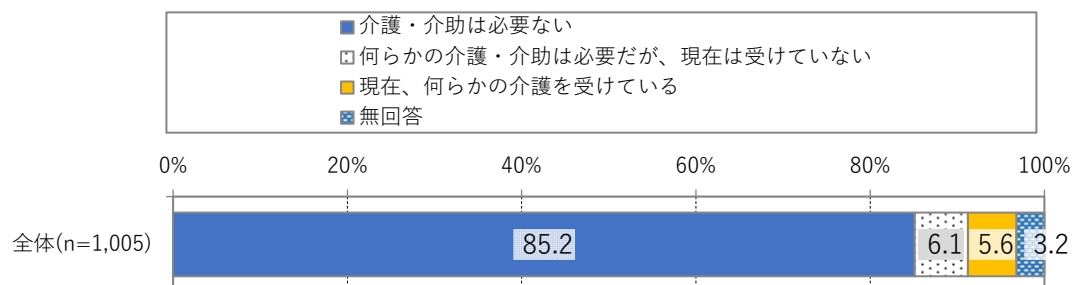


2 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください(○は1つ)

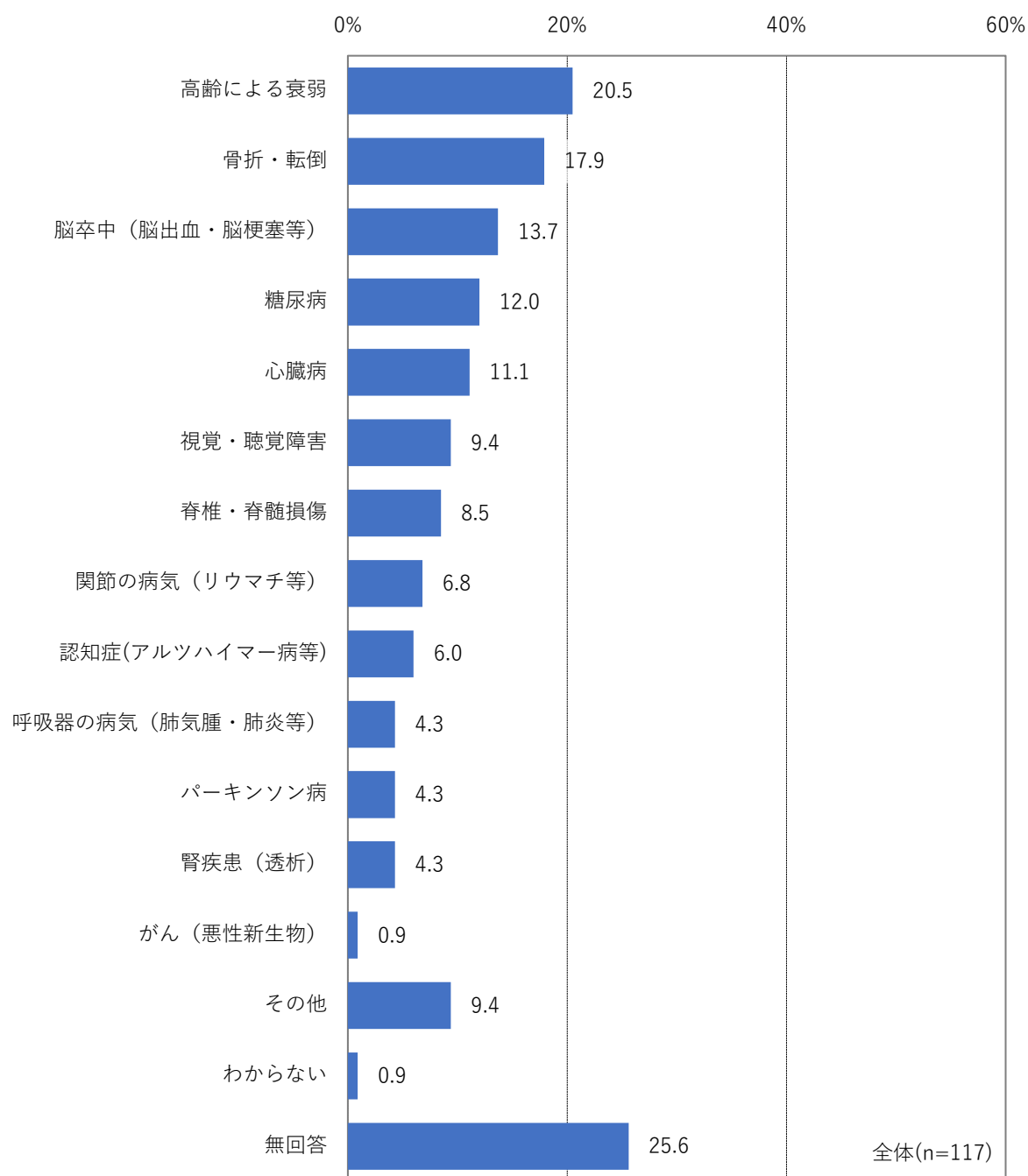


(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(○は1つ)



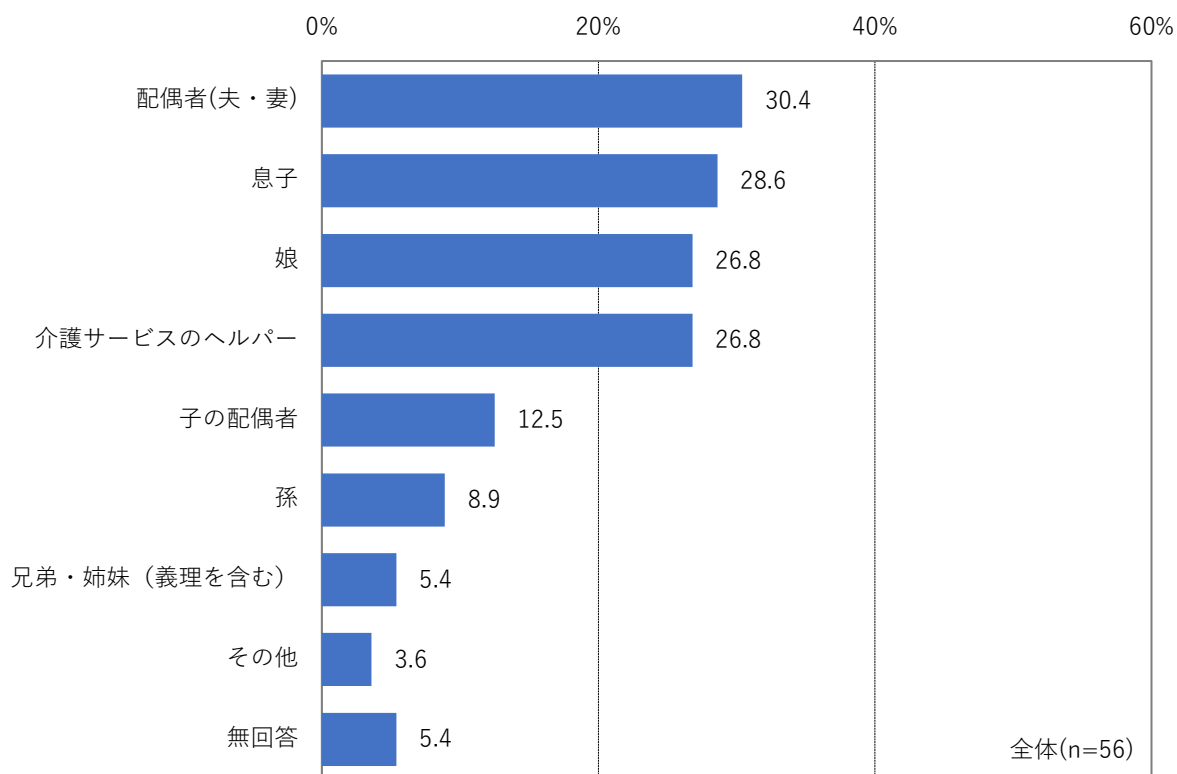
(2) において「1. 介護・介助は必要ない」と答えた以外の方におたずねします

(2)－1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(〇はいくつでも)

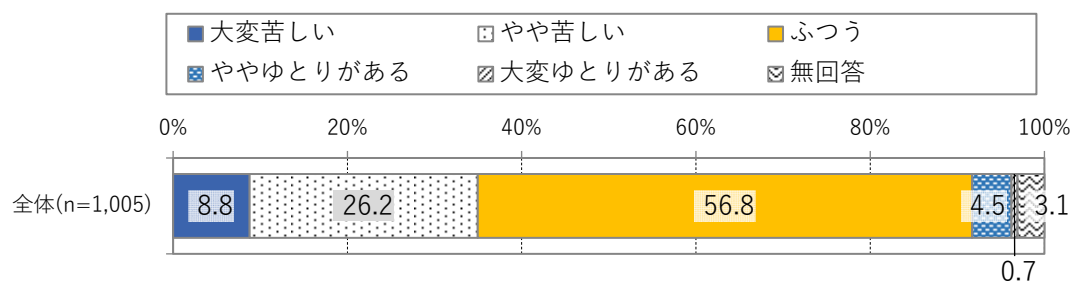


(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方におたずねします

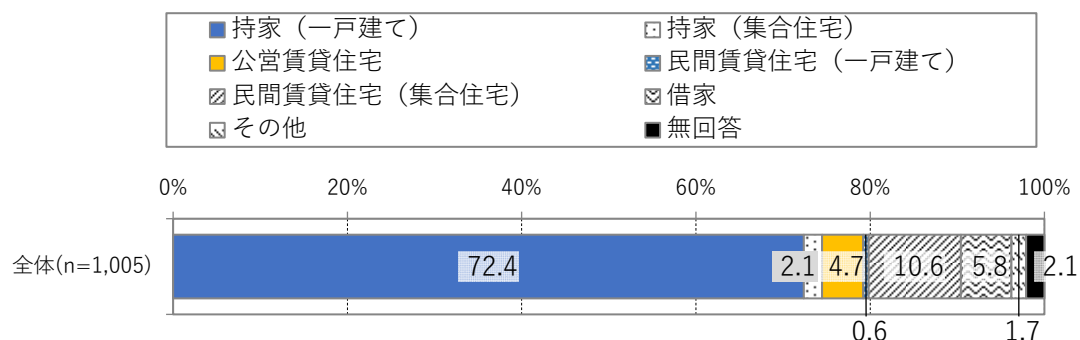
(2)－2 主にどなたの介護、介助を受けていますか (〇はいくつでも)



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

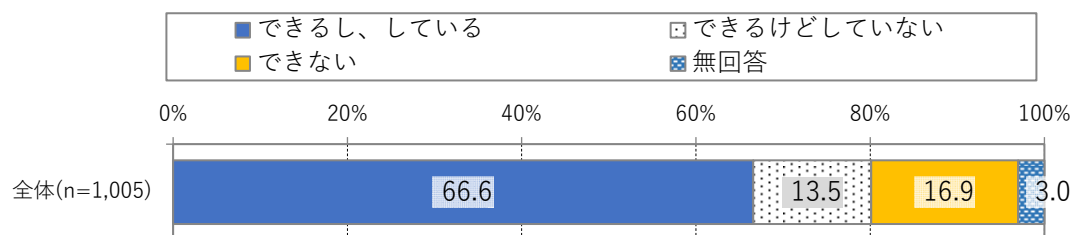


(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)

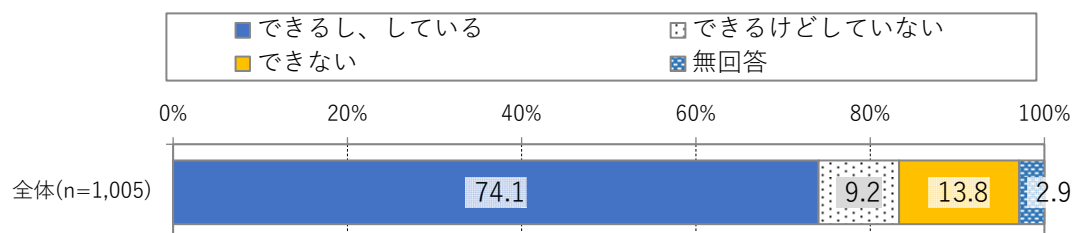


3 問2 からだを動かすことについて

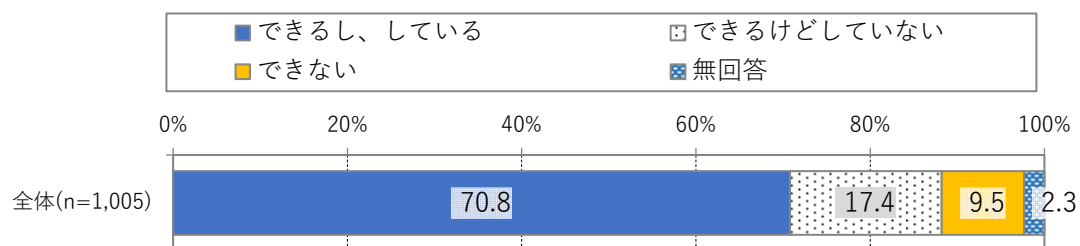
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (〇は1つ)



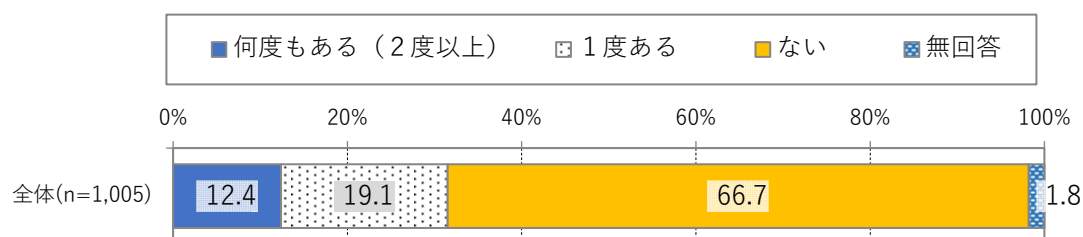
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (〇は1つ)



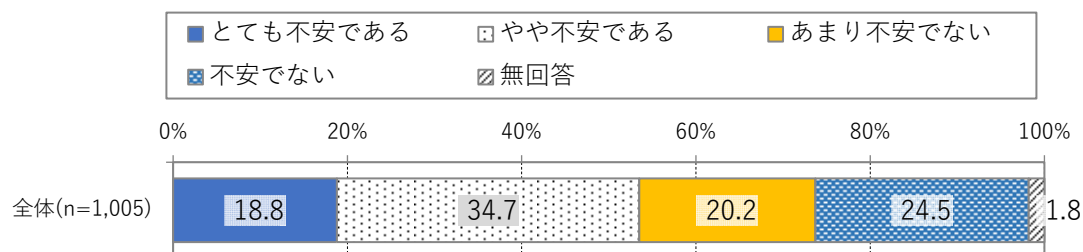
(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)



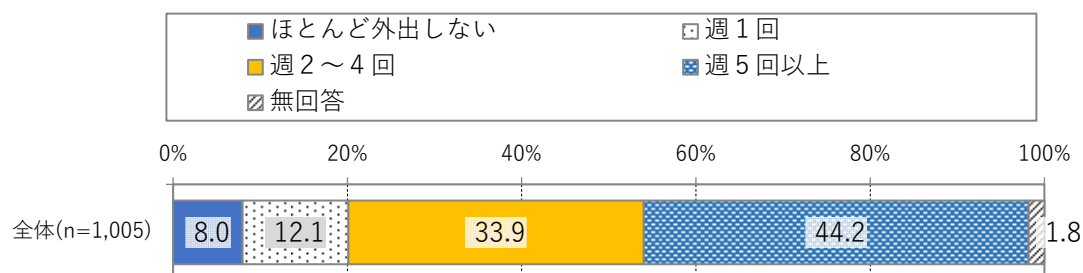
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)



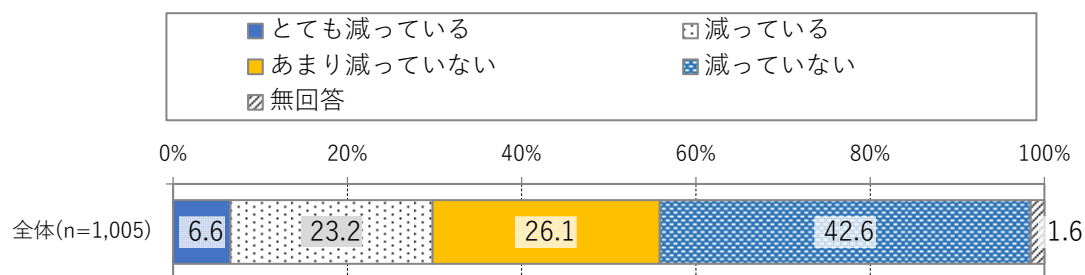
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)



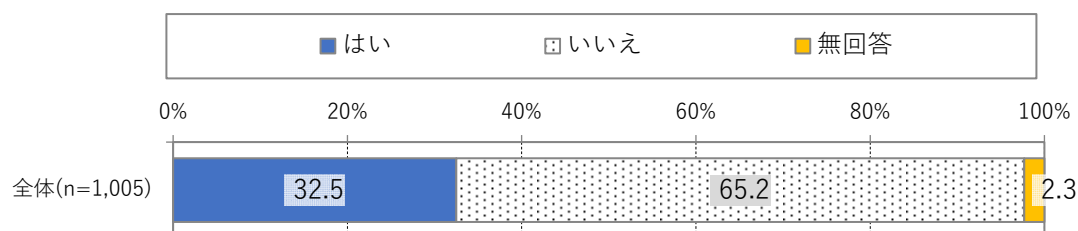
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は1つ)

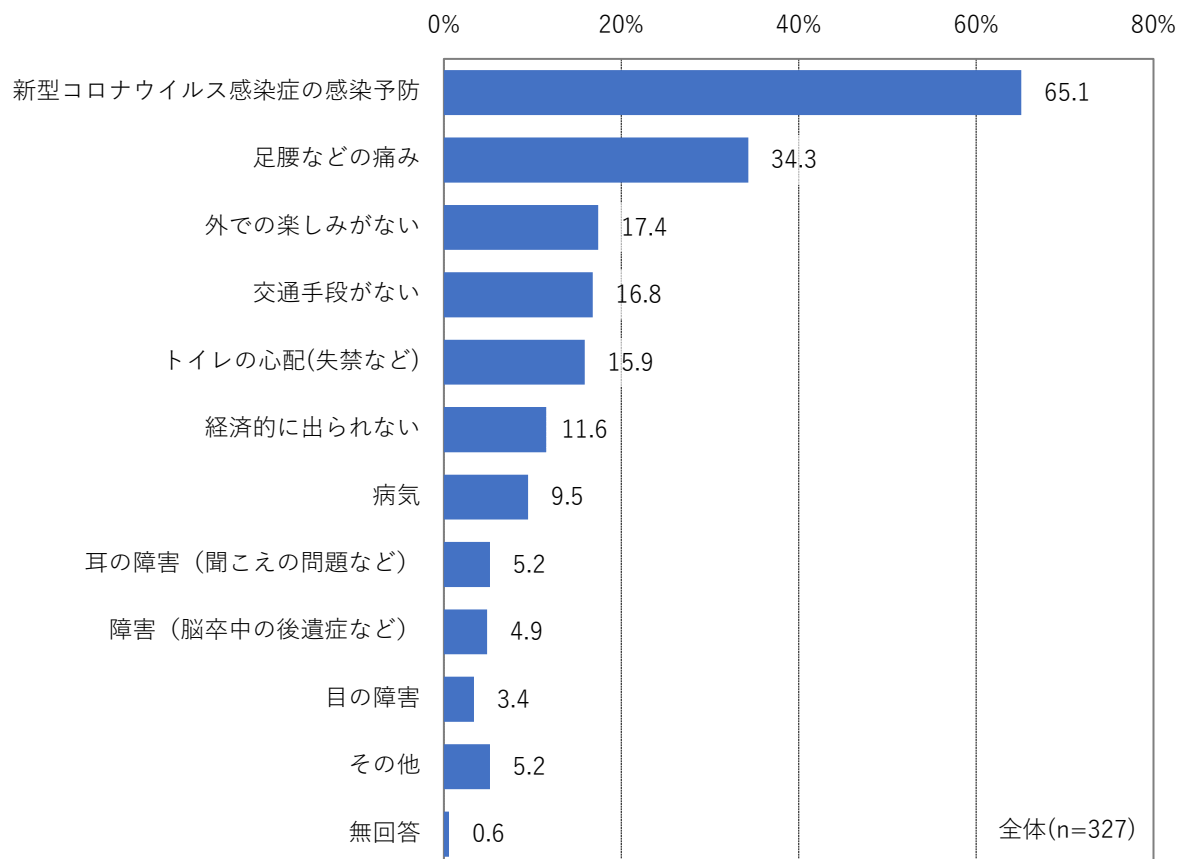


(8) 外出を控えていますか (〇は1つ)

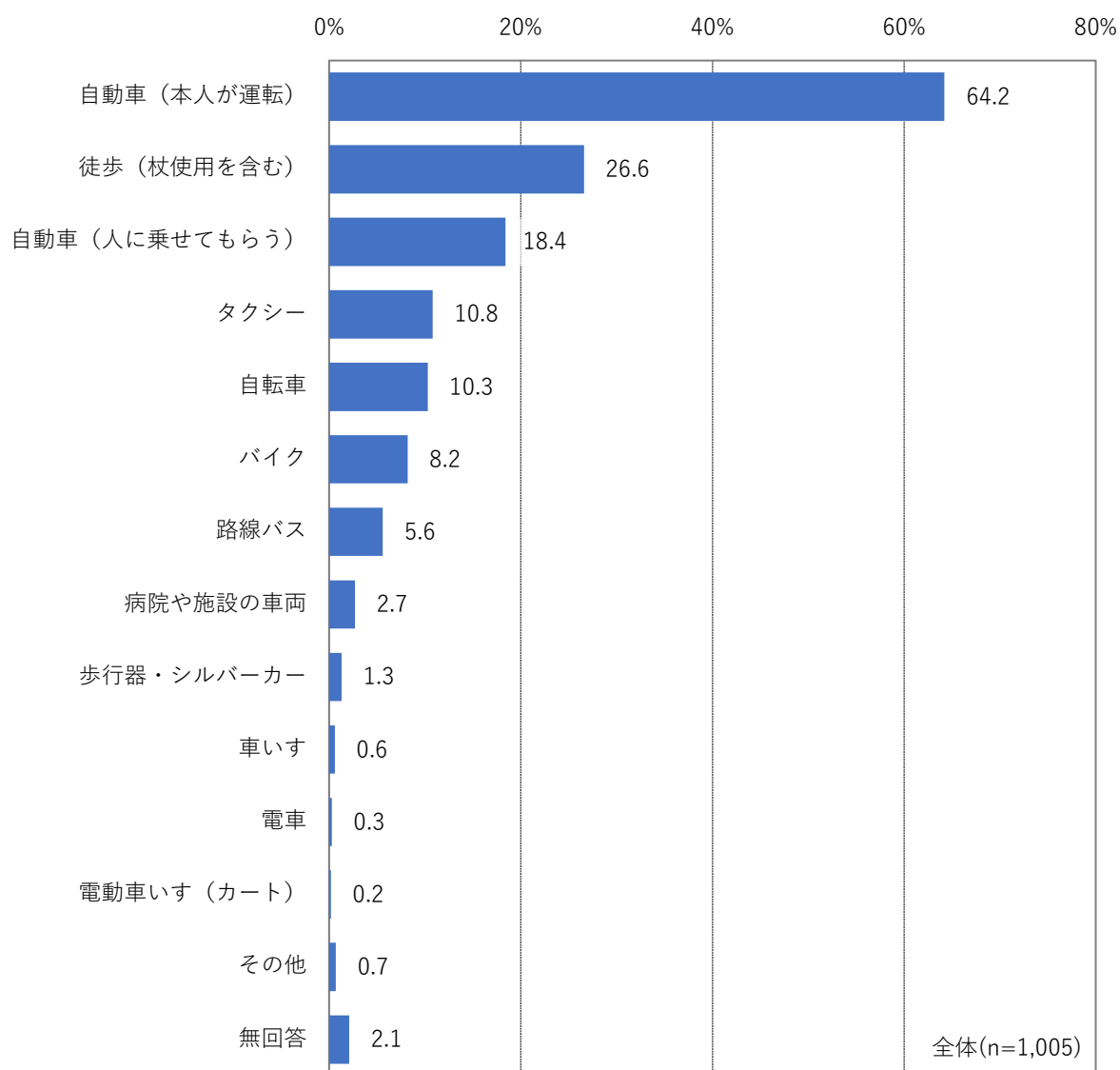


(8) で「1. はい」(外出を控えている) とお答えの方におたずねします

(8) - 1 外出を控えている理由は、次のどれですか (〇はいくつでも)

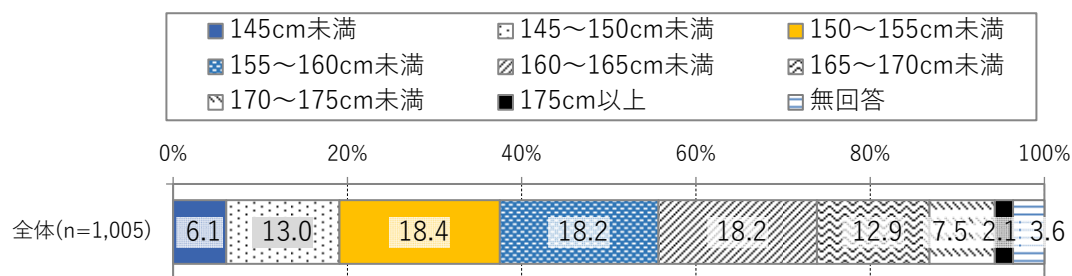


(9) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

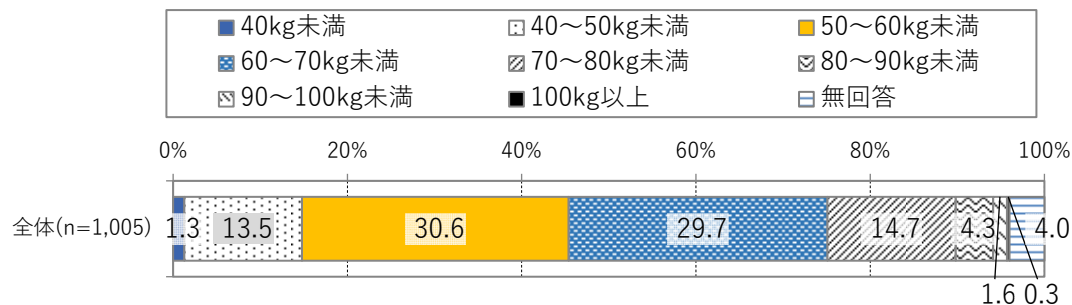


4 問3 食べるについて

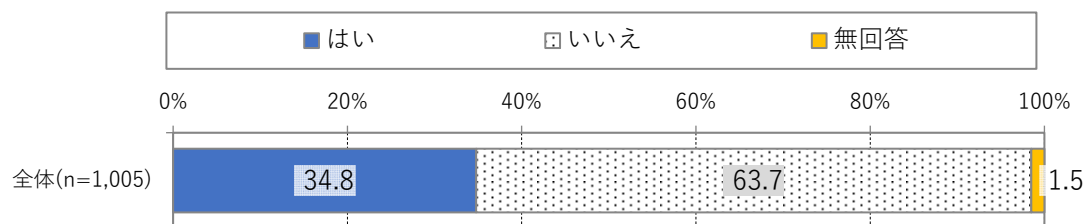
(1) 身長



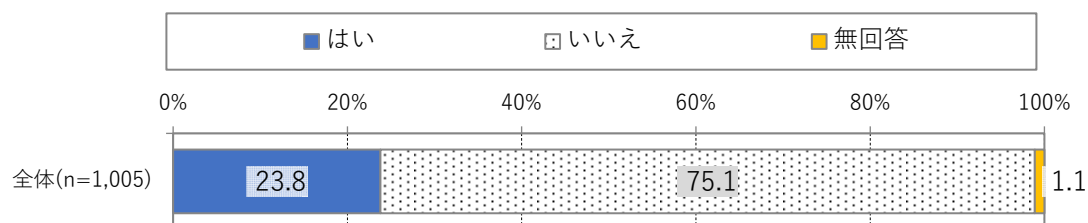
体重



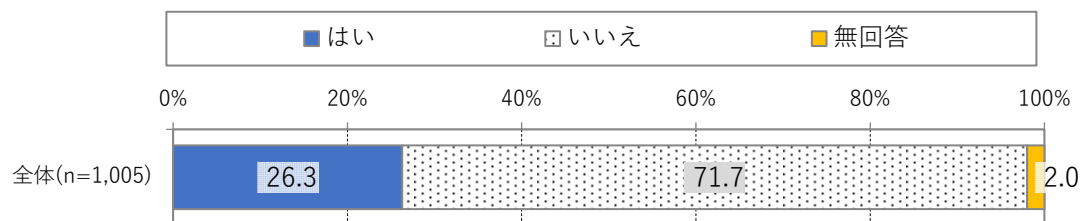
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (〇は1つ)



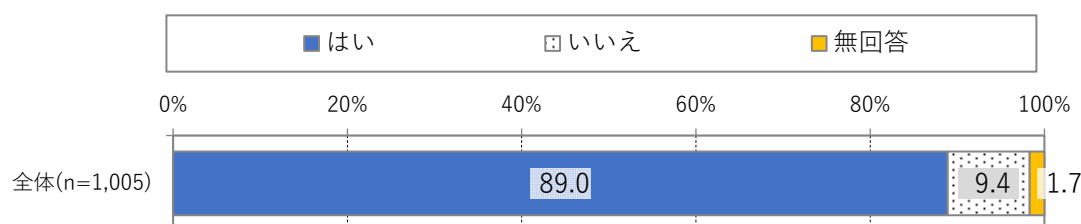
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (〇は1つ)



(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

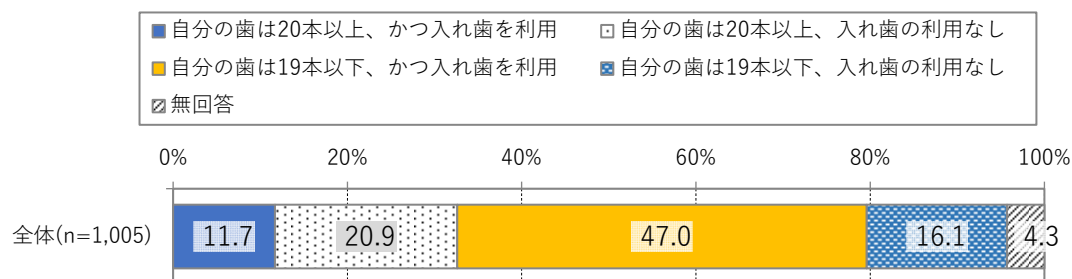


(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)



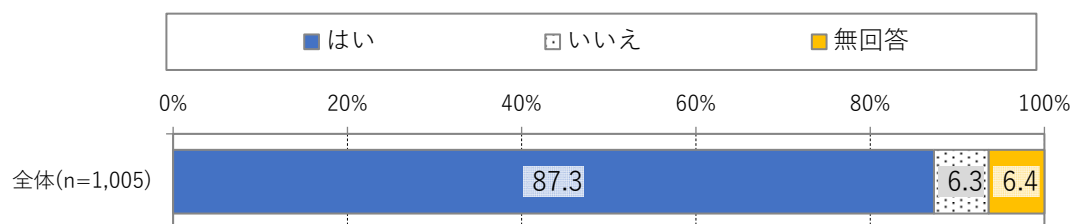
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

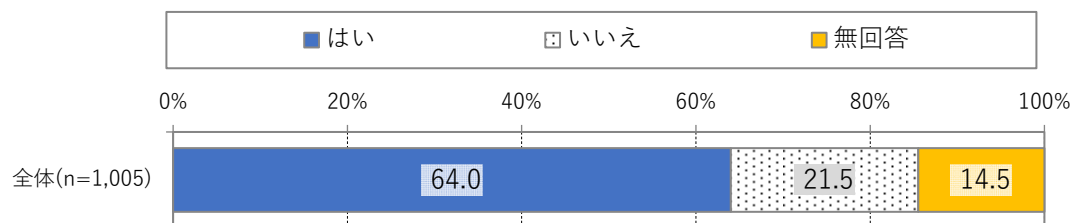


(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方におたずねします

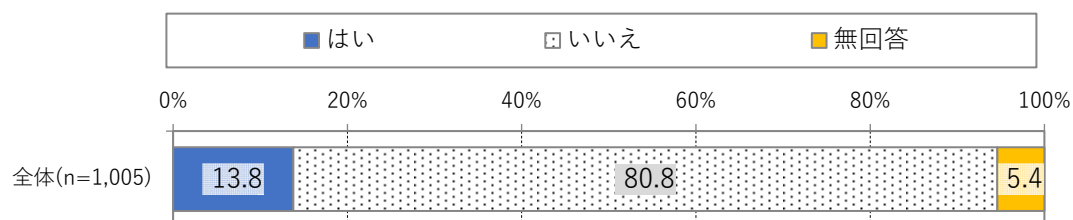
(6) - 1 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)



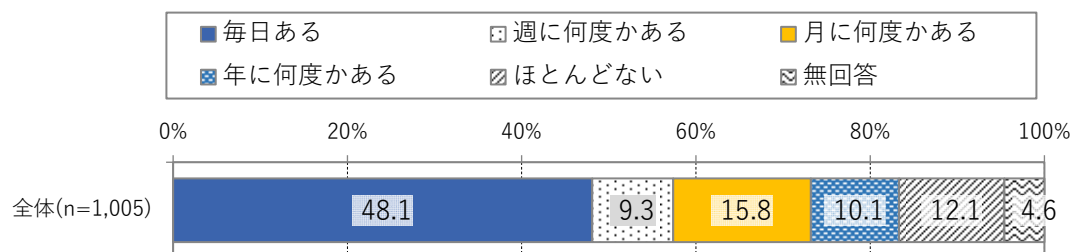
(6) - 2 噛み合わせは良いですか (○は1つ)



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

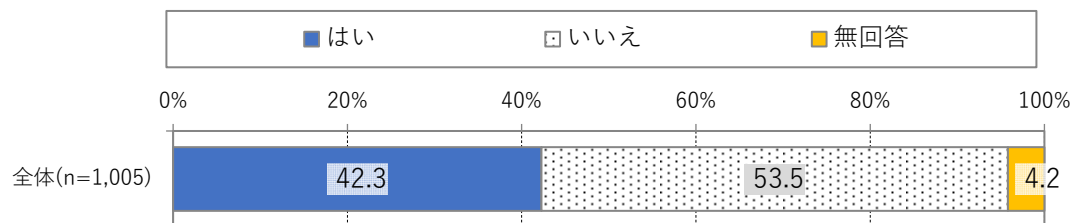


(8) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つ)

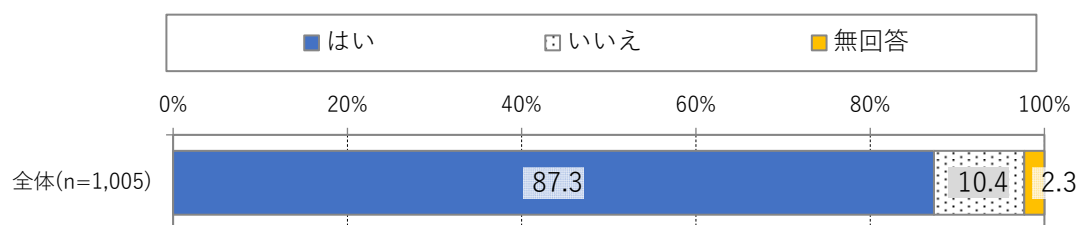


5 問4 毎日の生活について

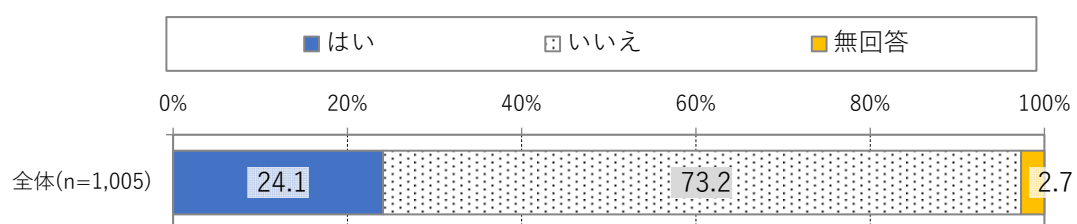
(1) 物忘れが多いと感じますか (〇は1つ)



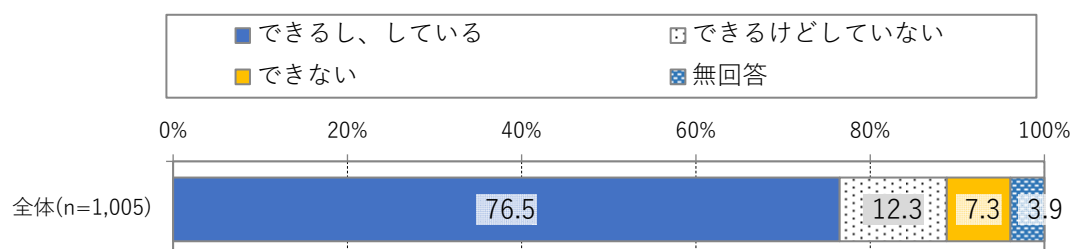
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (〇は1つ)



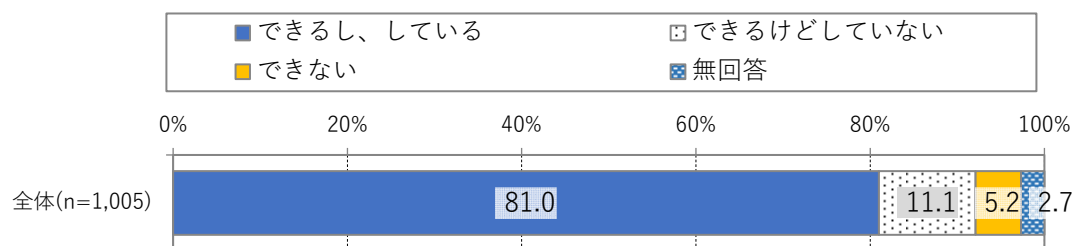
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (〇は1つ)



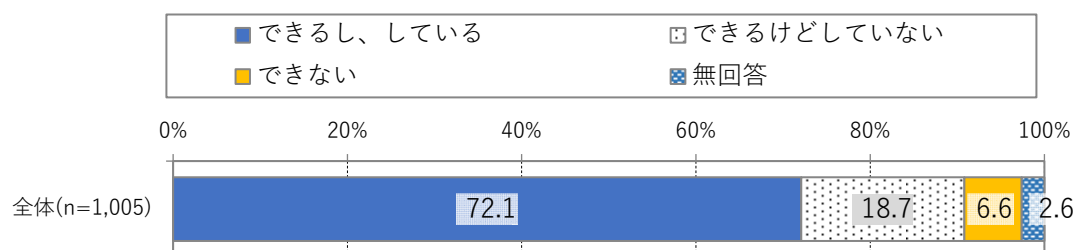
(4) バスなどを使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (〇は1つ)



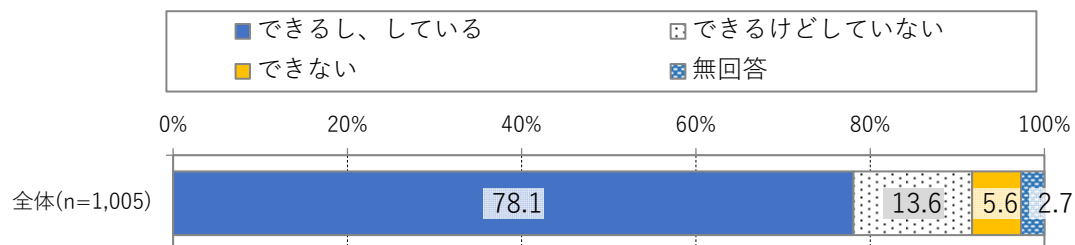
(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (○は1つ)



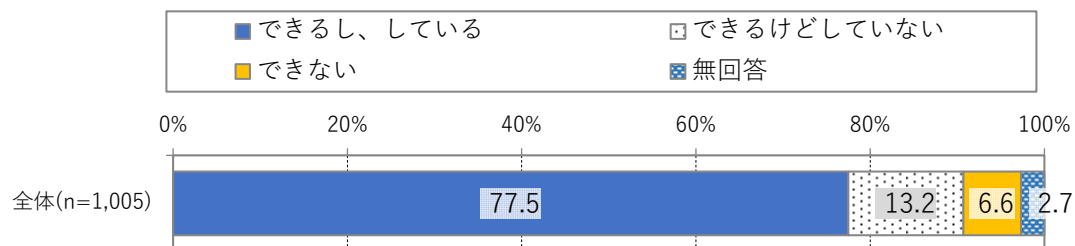
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)



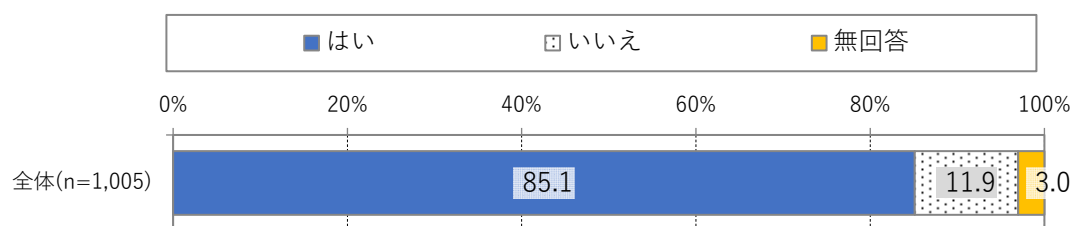
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)



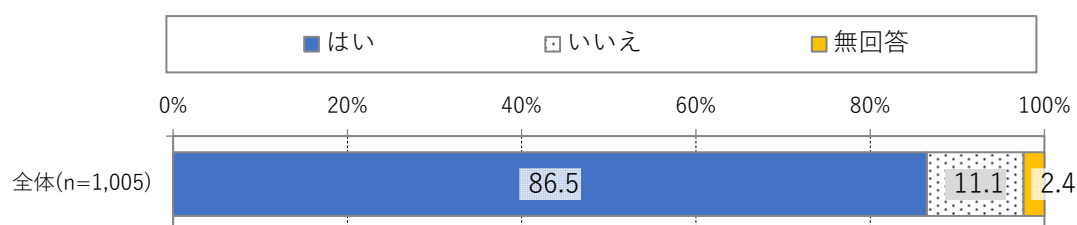
(8) 自分で預貯金のおし入れをしていますか (○は1つ)



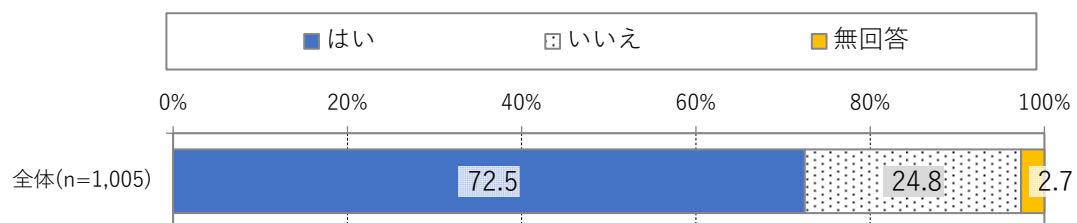
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）



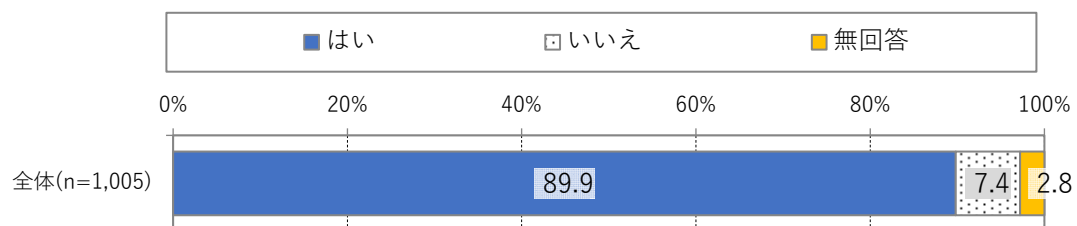
(10) 新聞を読んでいますか（○は1つ）



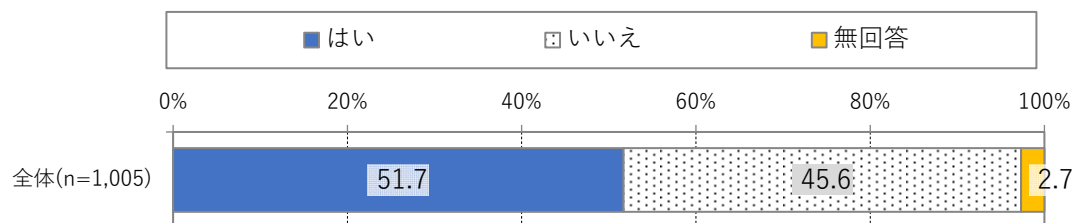
(11) 本や雑誌を読んでいますか（○は1つ）



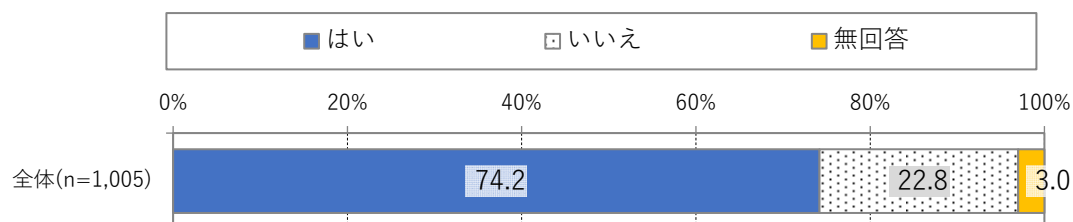
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか（○は1つ）



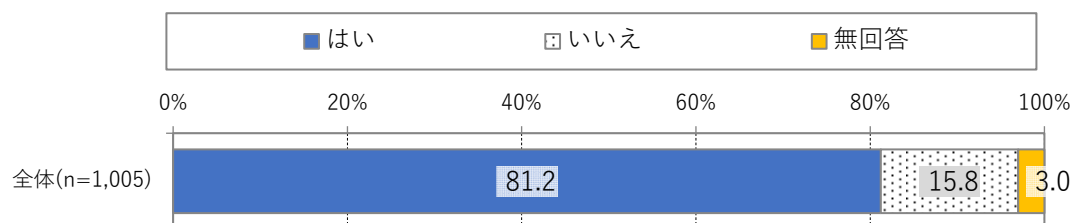
(13) 友人の家を訪れていますか (○は1つ)



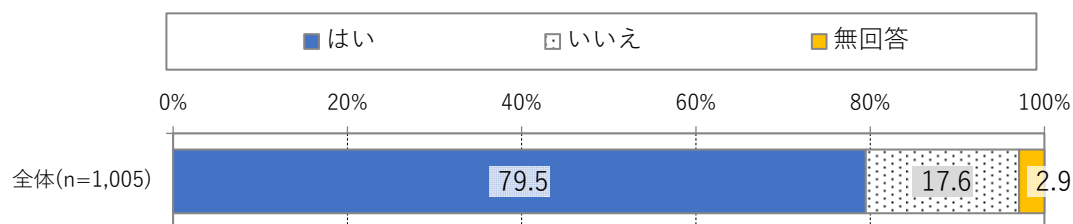
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)



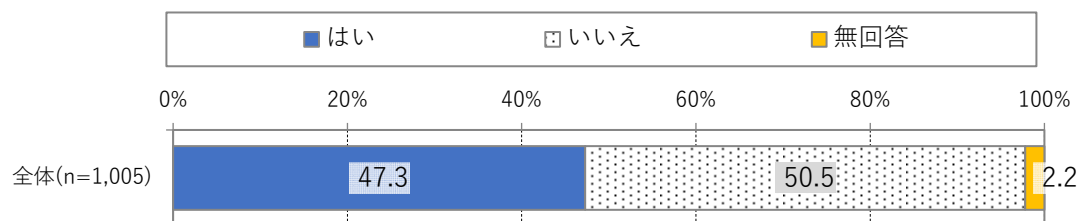
(15) 病人を見舞うことができますか (○は1つ)



(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)

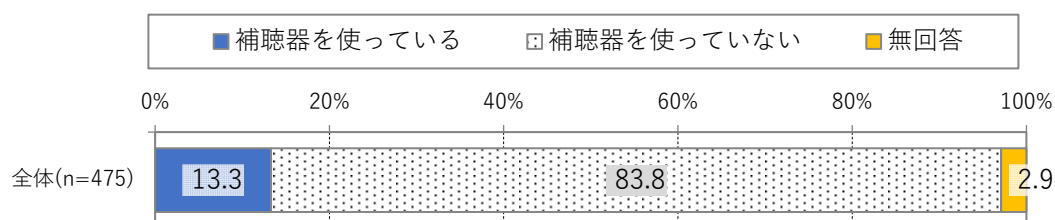


(17) 聞こえにくいと感じることがありますか (〇は1つ)



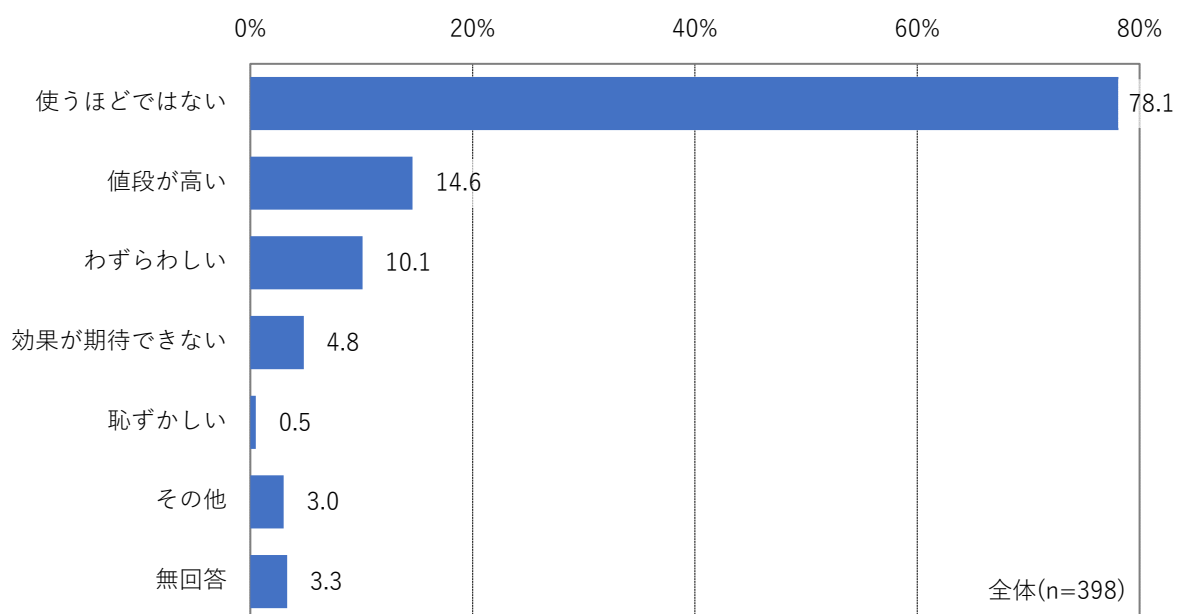
(17) で「1. はい」(聞こえにくいと感じることがある) とお答えの方におたずねします

(17) - 1 現在の状況をおうかがいします (〇は1つ)

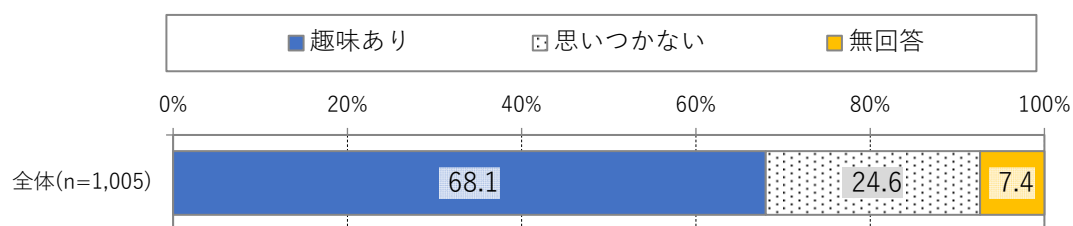


(17) - 1 で「2. 補聴器を使っていない」 とお答えの方におたずねします

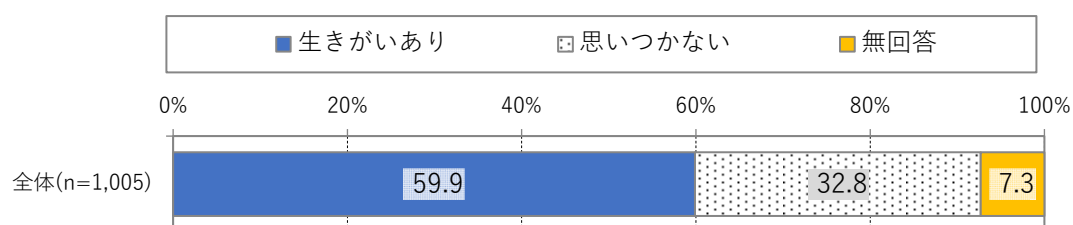
(17) - 2 その理由はなぜですか (〇はいくつでも)



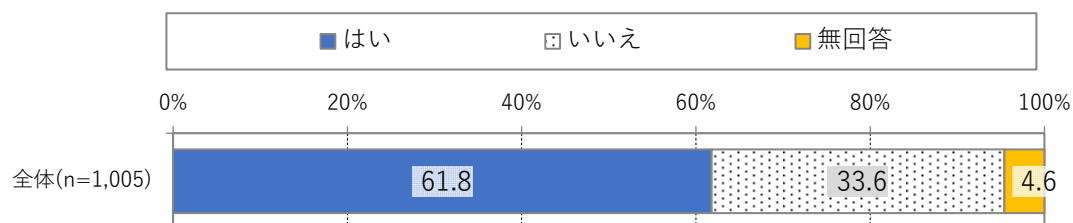
(18) 趣味はありますか (○は1つ)



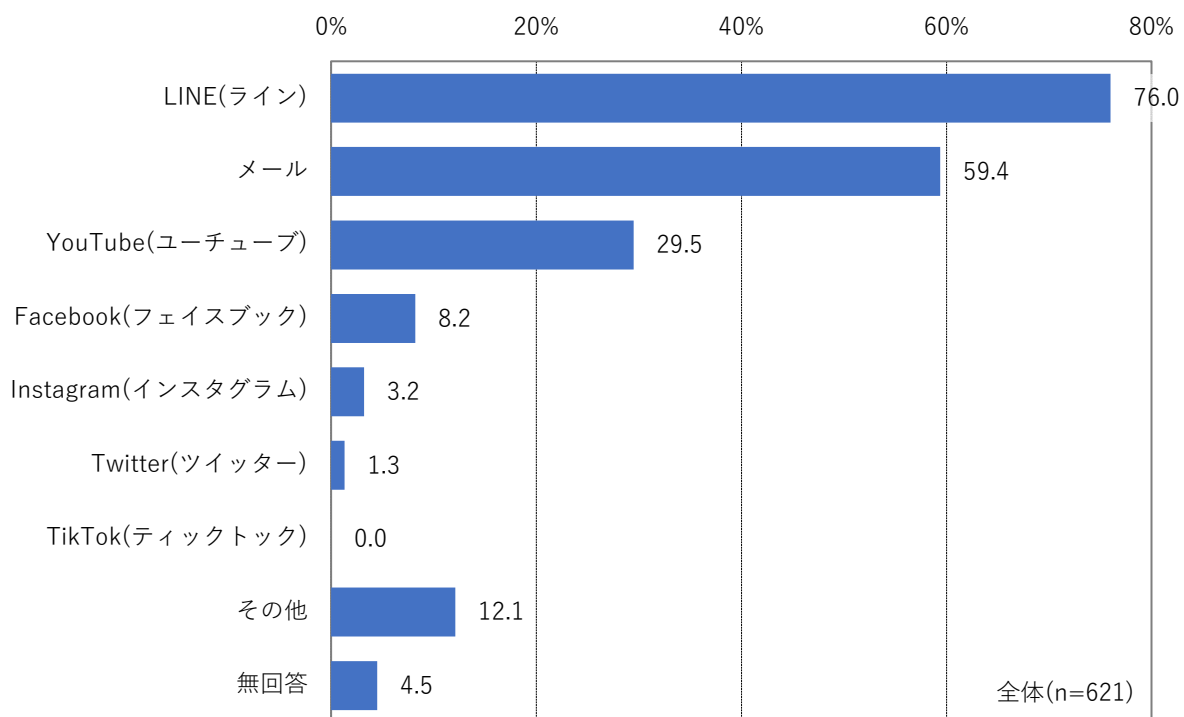
(19) 生きがいがありますか (○は1つ)



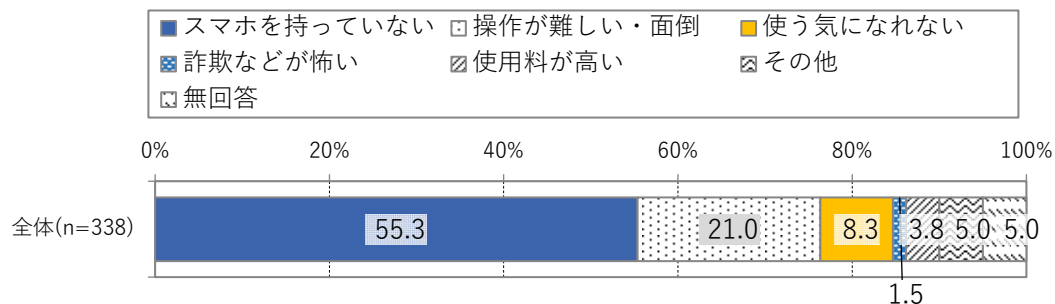
(20) スマートフォンを使用していますか (○は1つ)



(20) で「1. はい」(スマートフォンを使用している)とお答えの方におたずねします
 (20)－1 よく使うアプリを選んでください(○は3つまで)



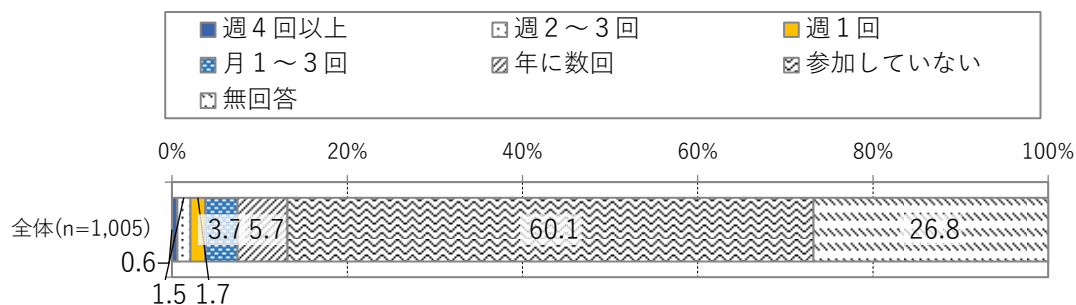
(20) で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします
 (20)－2 使わないのはなぜですか(○は1つ)



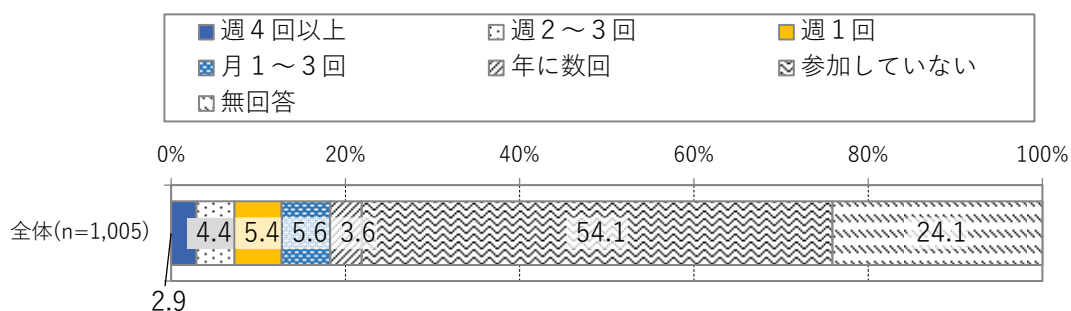
6 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

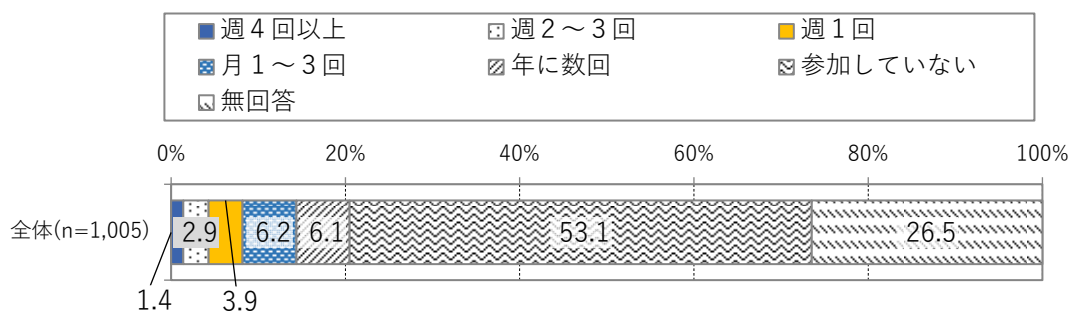
①ボランティアのグループ



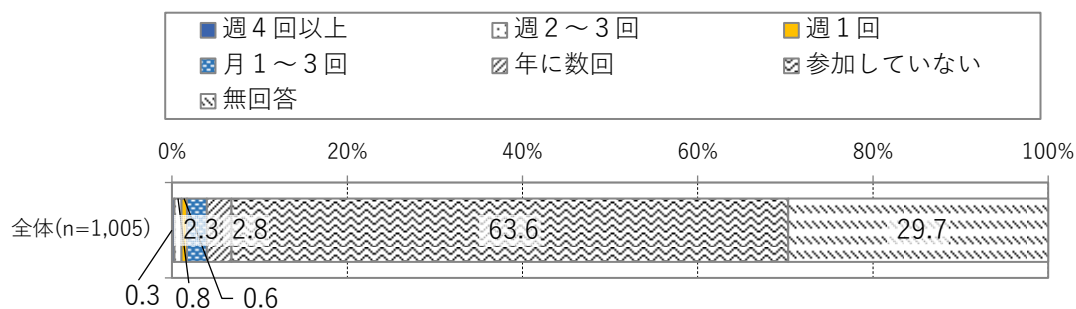
②スポーツ関係のグループやクラブ



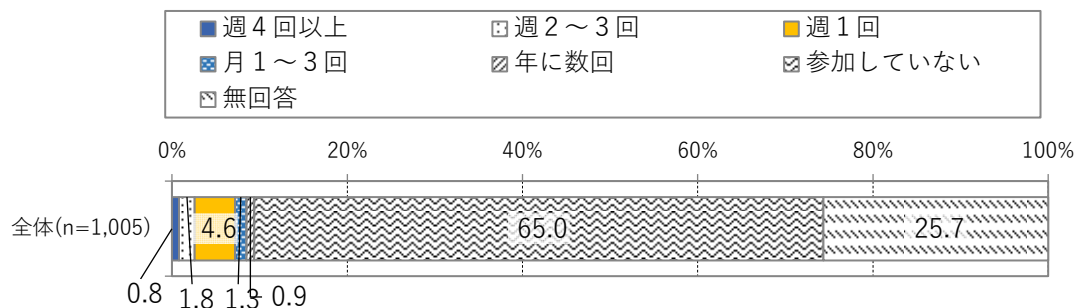
③趣味関係のグループ



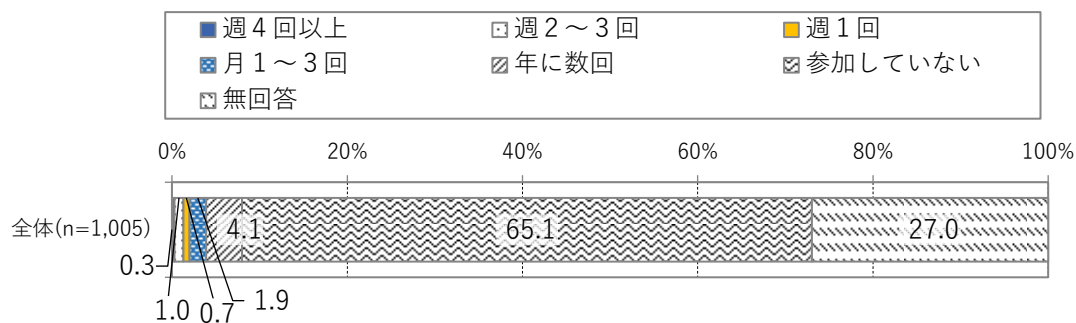
④学習・教養サークル



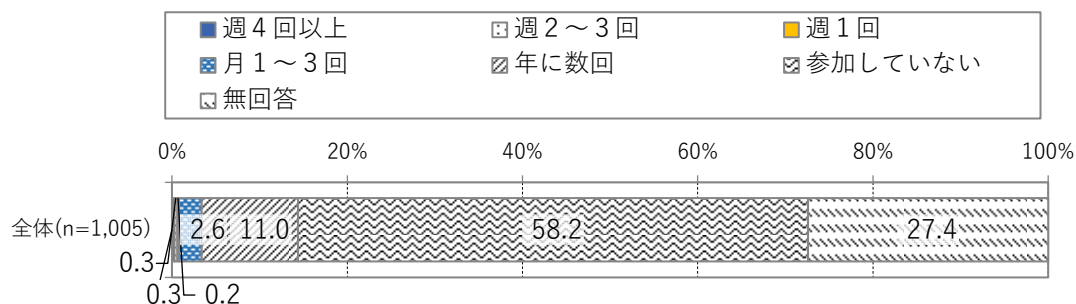
⑤（「いきいき百歳体操や生きがい対応型デイサービス」など）介護予防のための通いの場介護予防のための通いの場



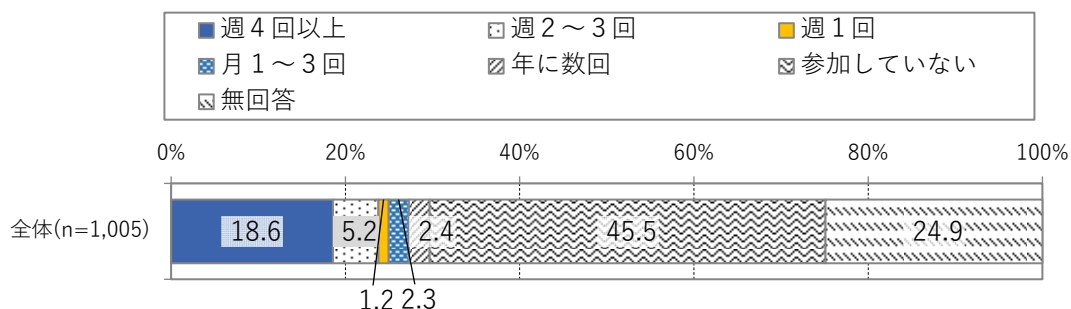
⑥老人クラブ



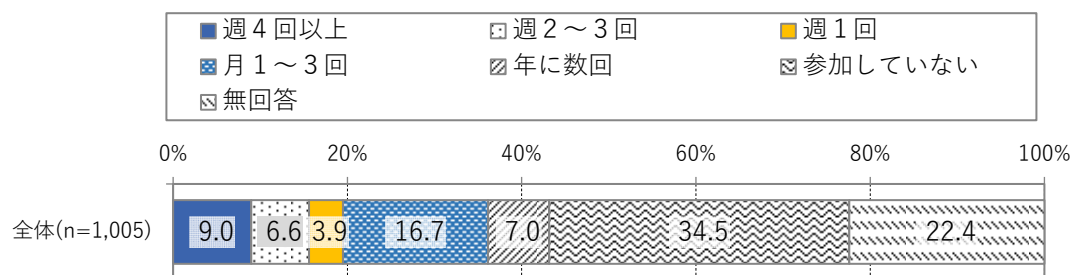
⑦町内会・自治会



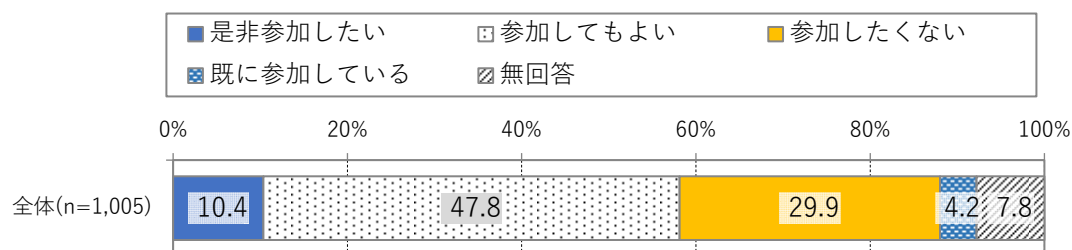
⑧収入のある仕事



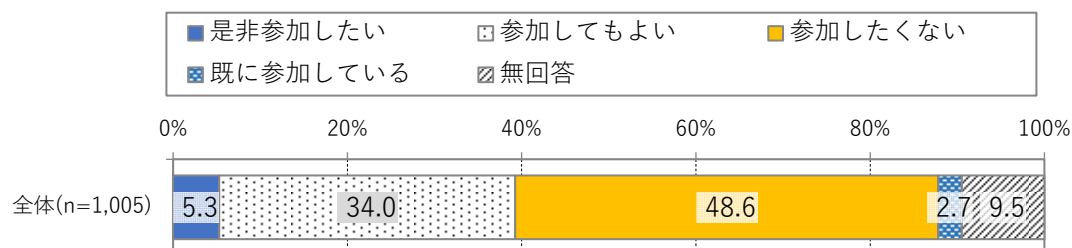
⑨上記以外の外出（カラオケ、散歩、もあいなど）



（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたは参加者としてその活動に参加してみたいと思いますか（〇は１つ）

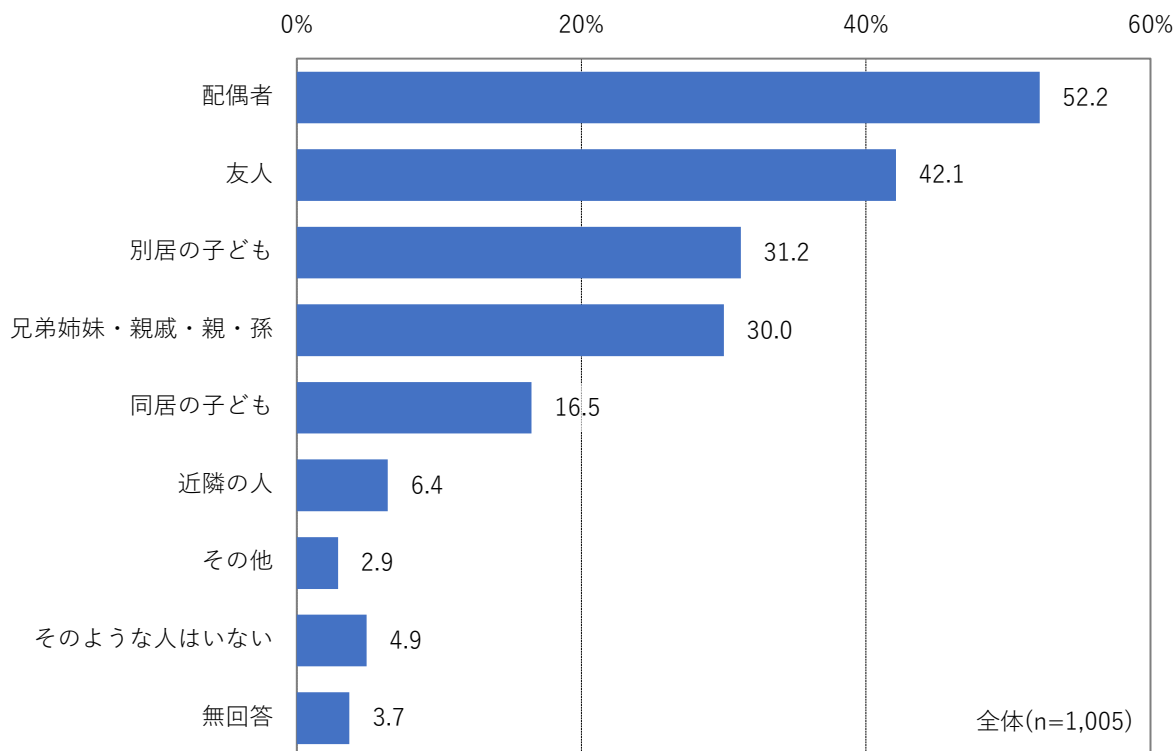


（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたは企画・運営（お世話役）としてその活動に参加してみたいと思いますか（〇は１つ）

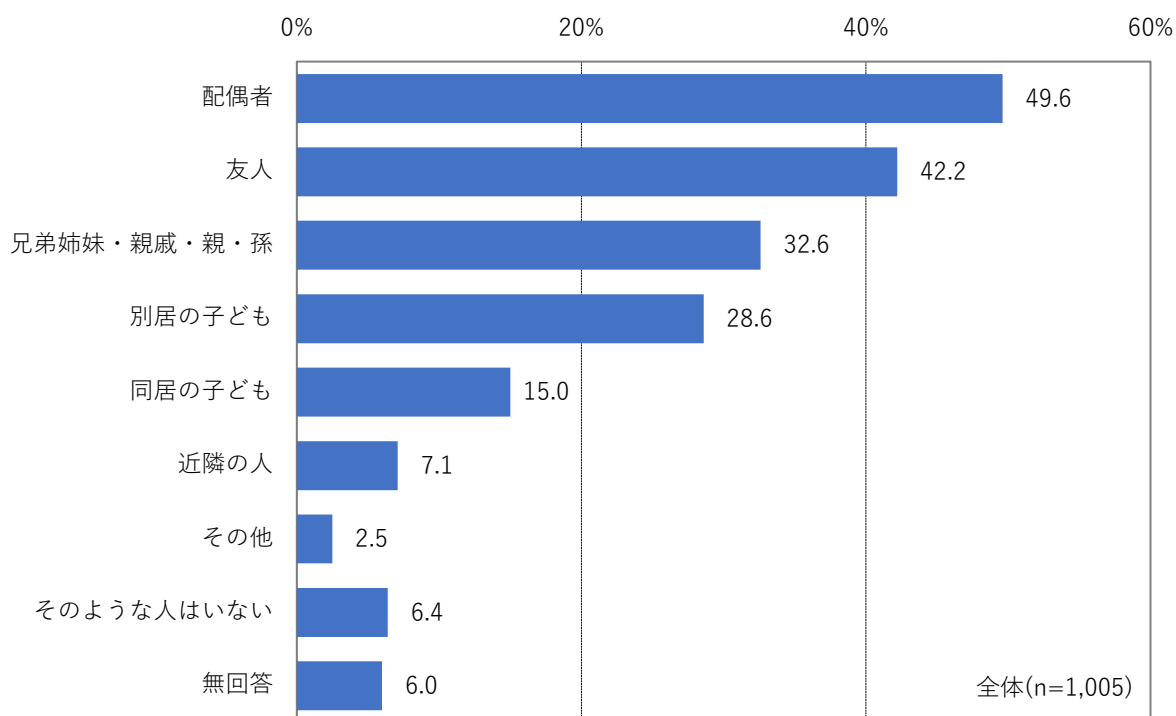


7 問6 助け合いについて

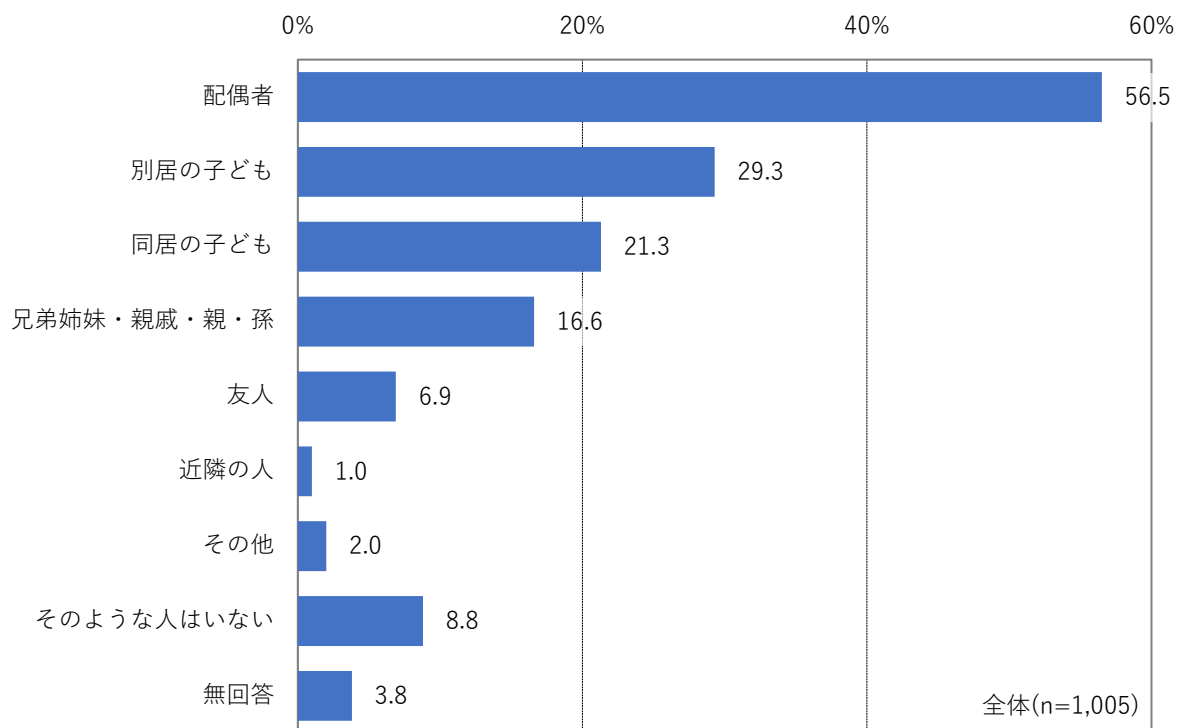
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はだれですか(〇はいくつでも)



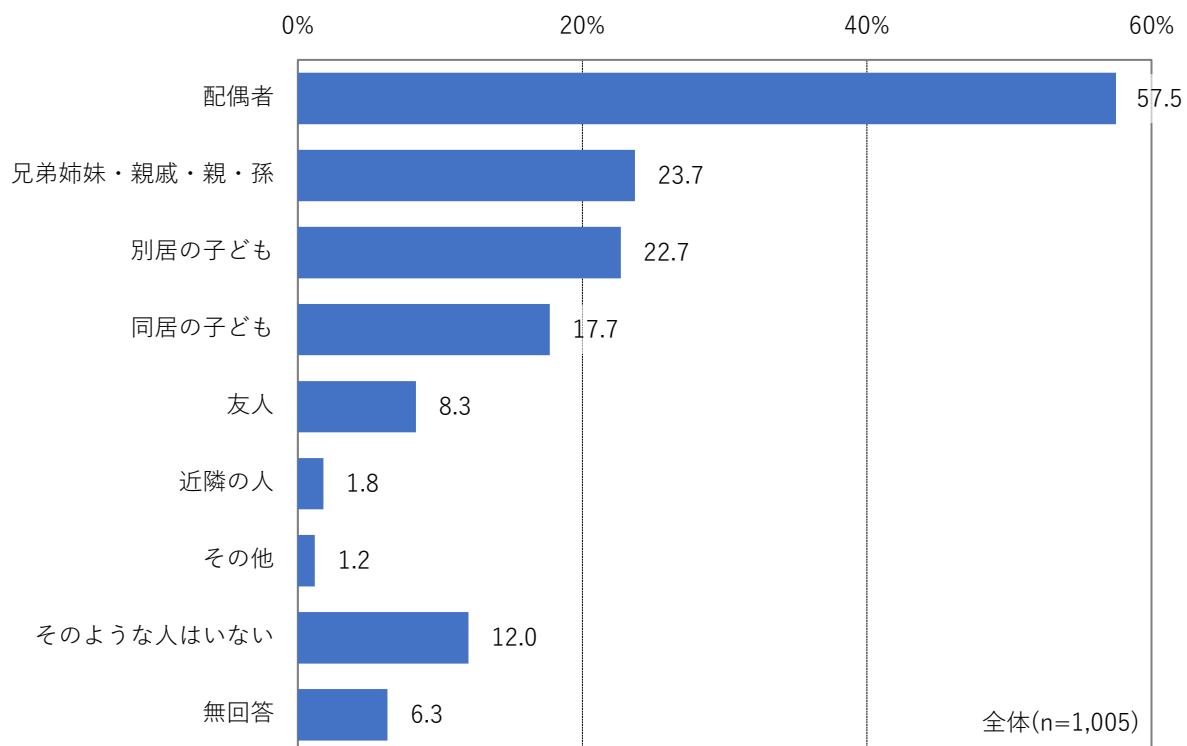
(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はだれですか(〇はいくつでも)



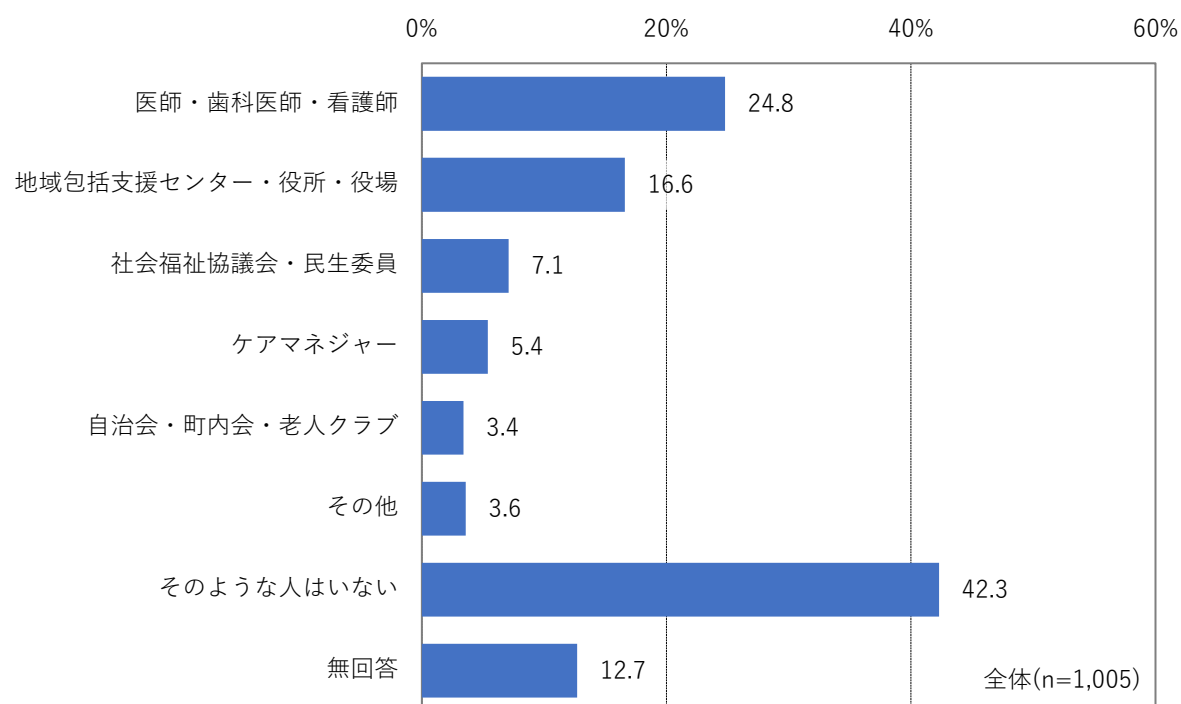
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか(○はいくつでも)



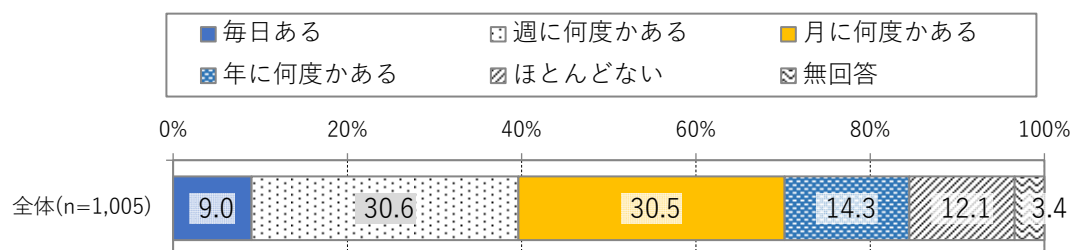
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか(○はいくつでも)



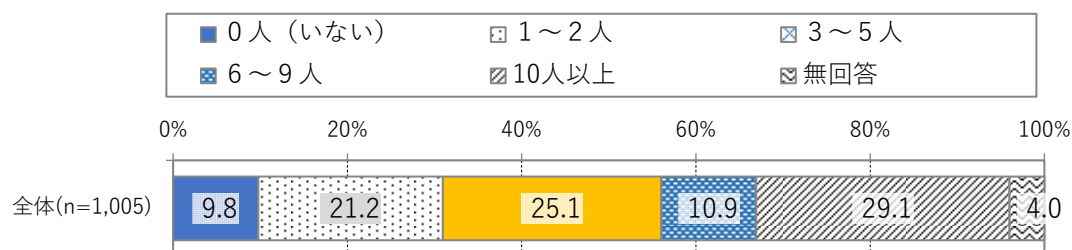
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（〇はいくつでも）



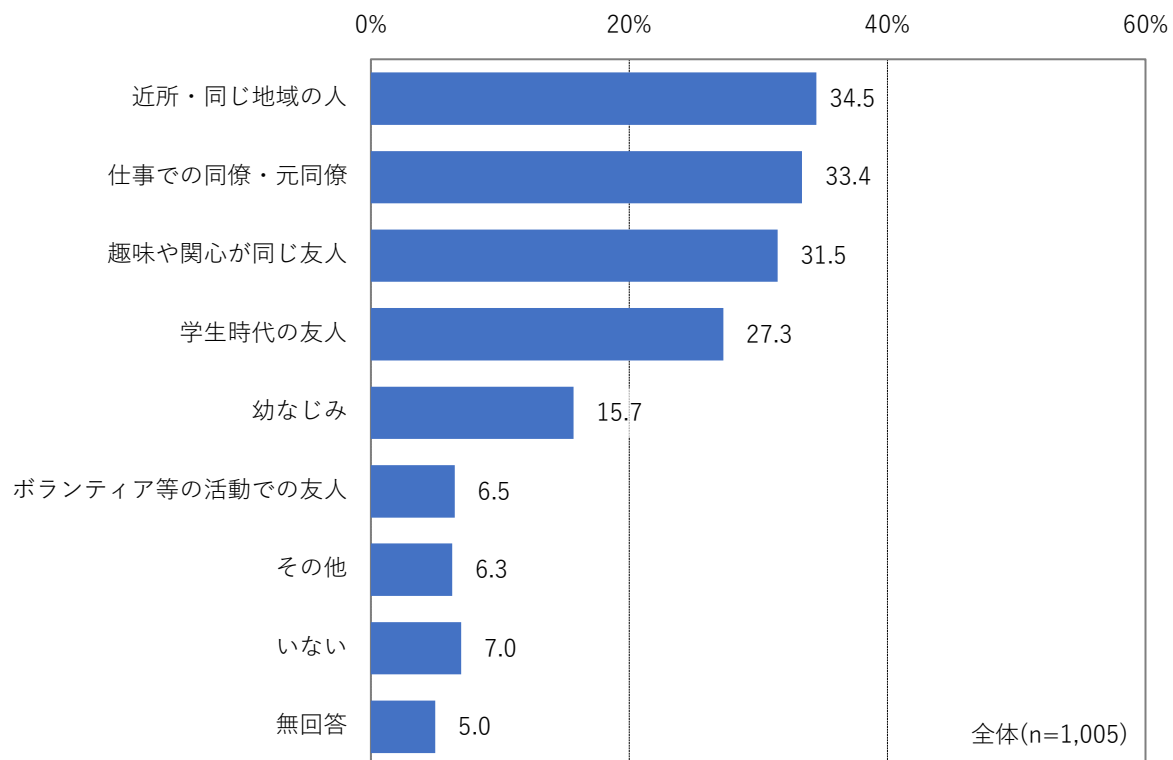
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（〇は1つ）



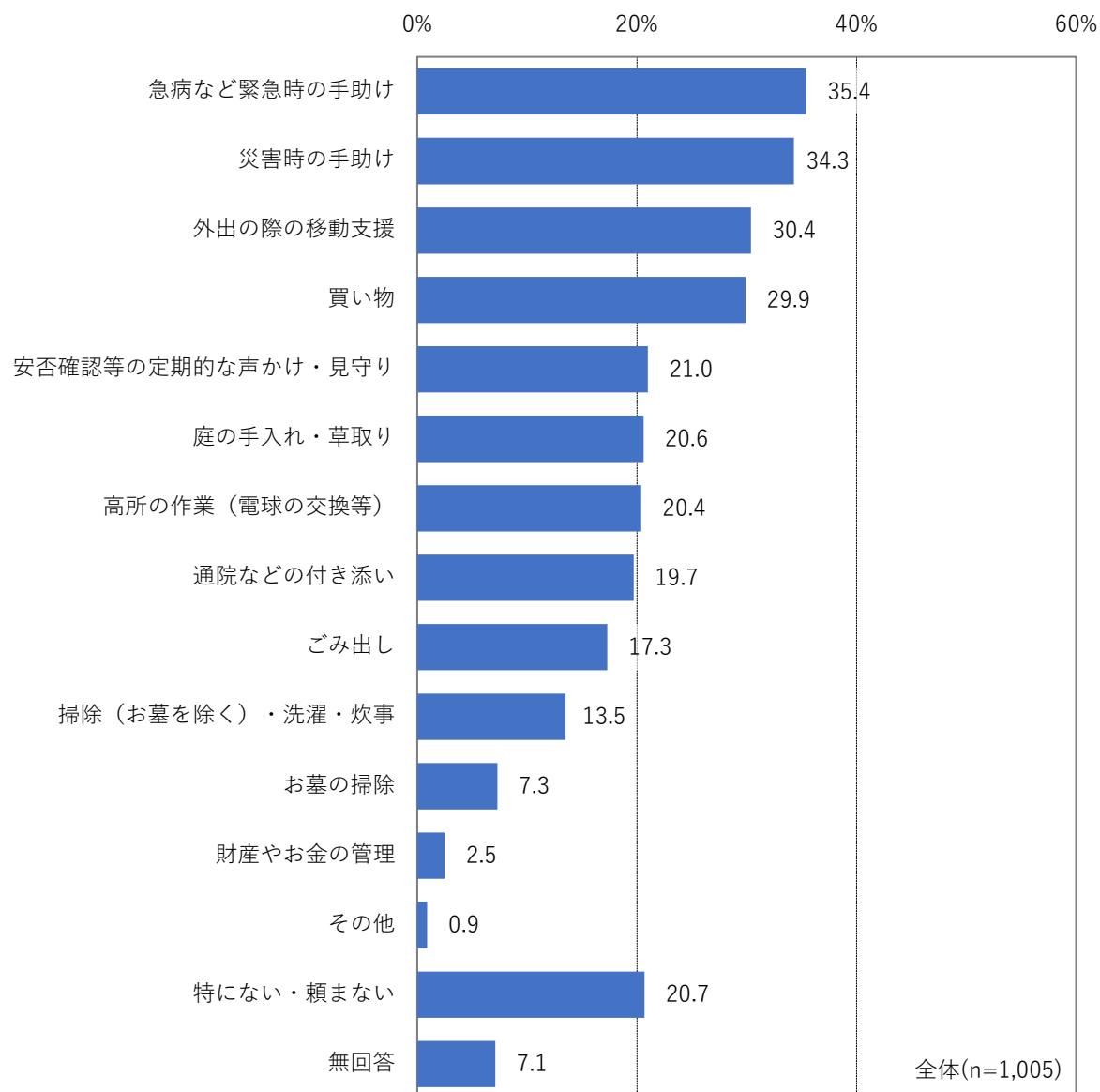
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人に何度会っても1人と数えることとします（〇は1つ）



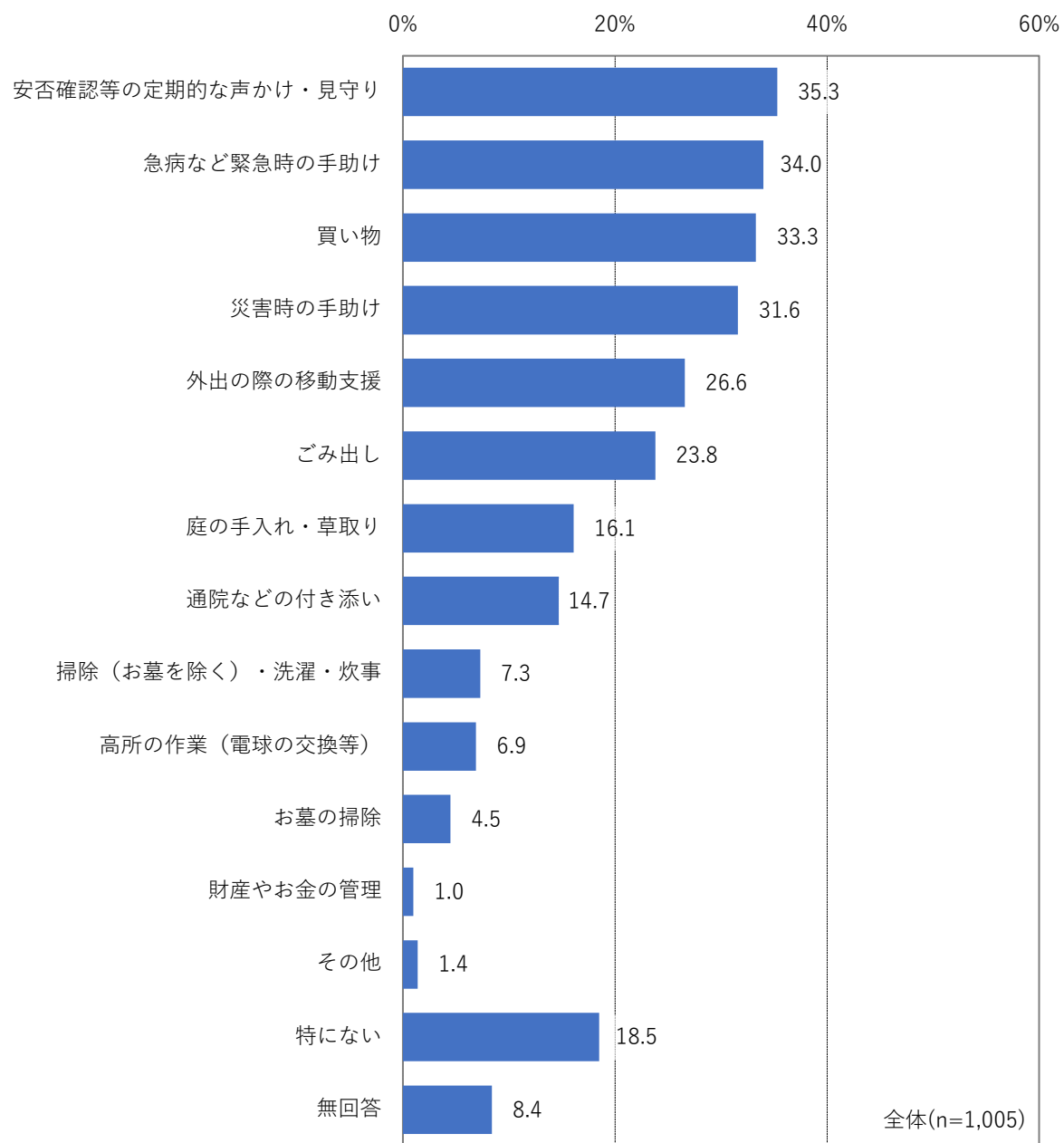
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（〇はいくつでも）



(9) あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になった時、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか（〇はいくつでも）

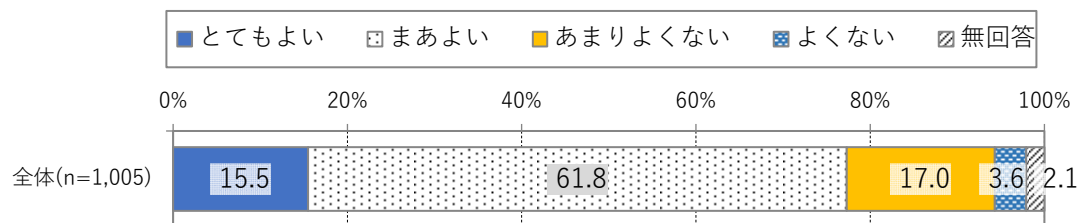


(10) 隣近所に、高齢や病気・障害等で困っている家庭があった場合、どのような支援ができると思いますか（〇はいくつでも）



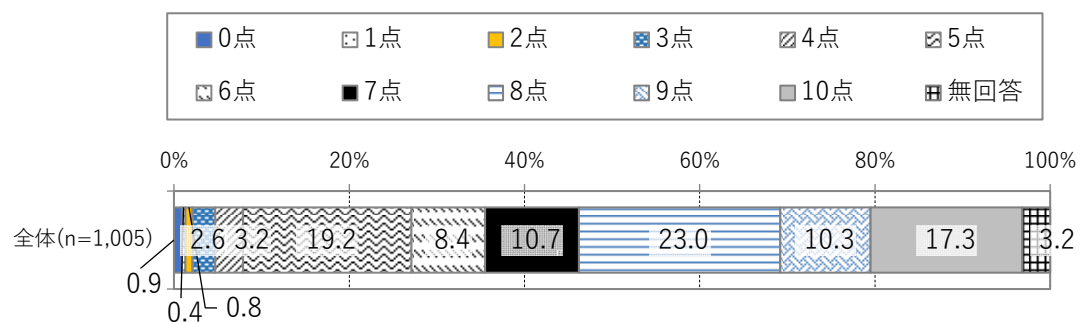
8 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つ)

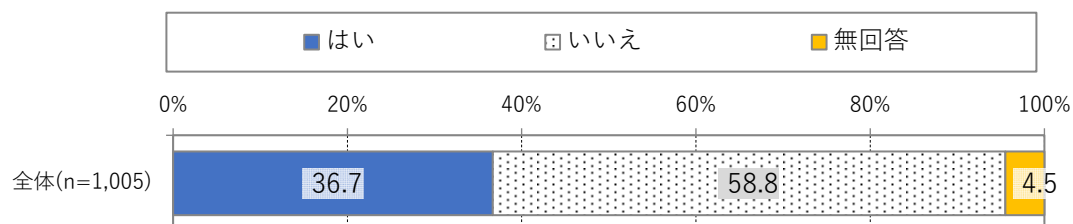


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は点数に1つ)

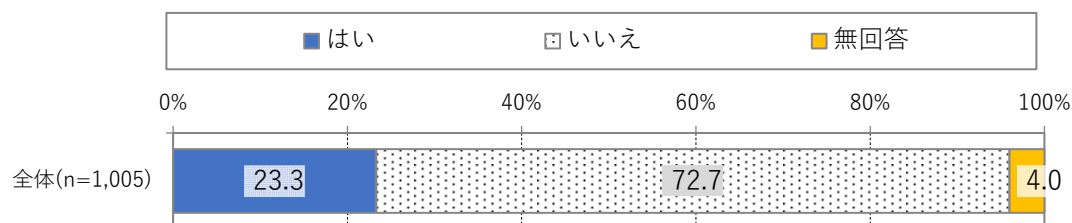
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



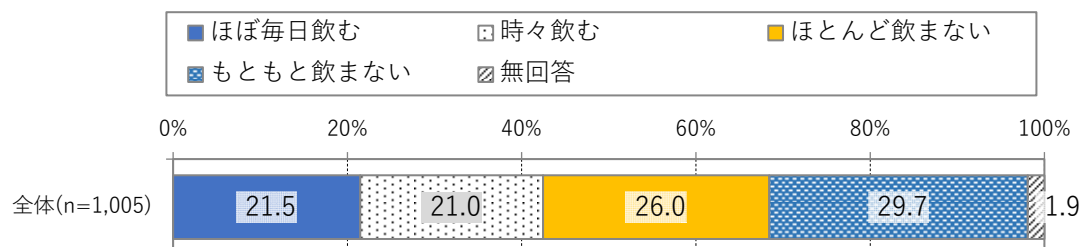
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は1つ)



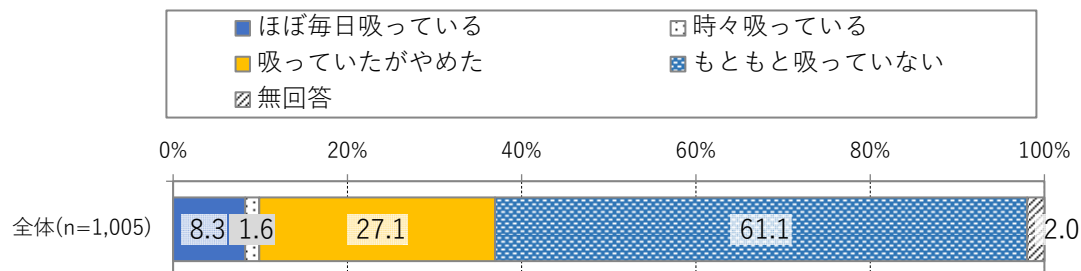
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は1つ)



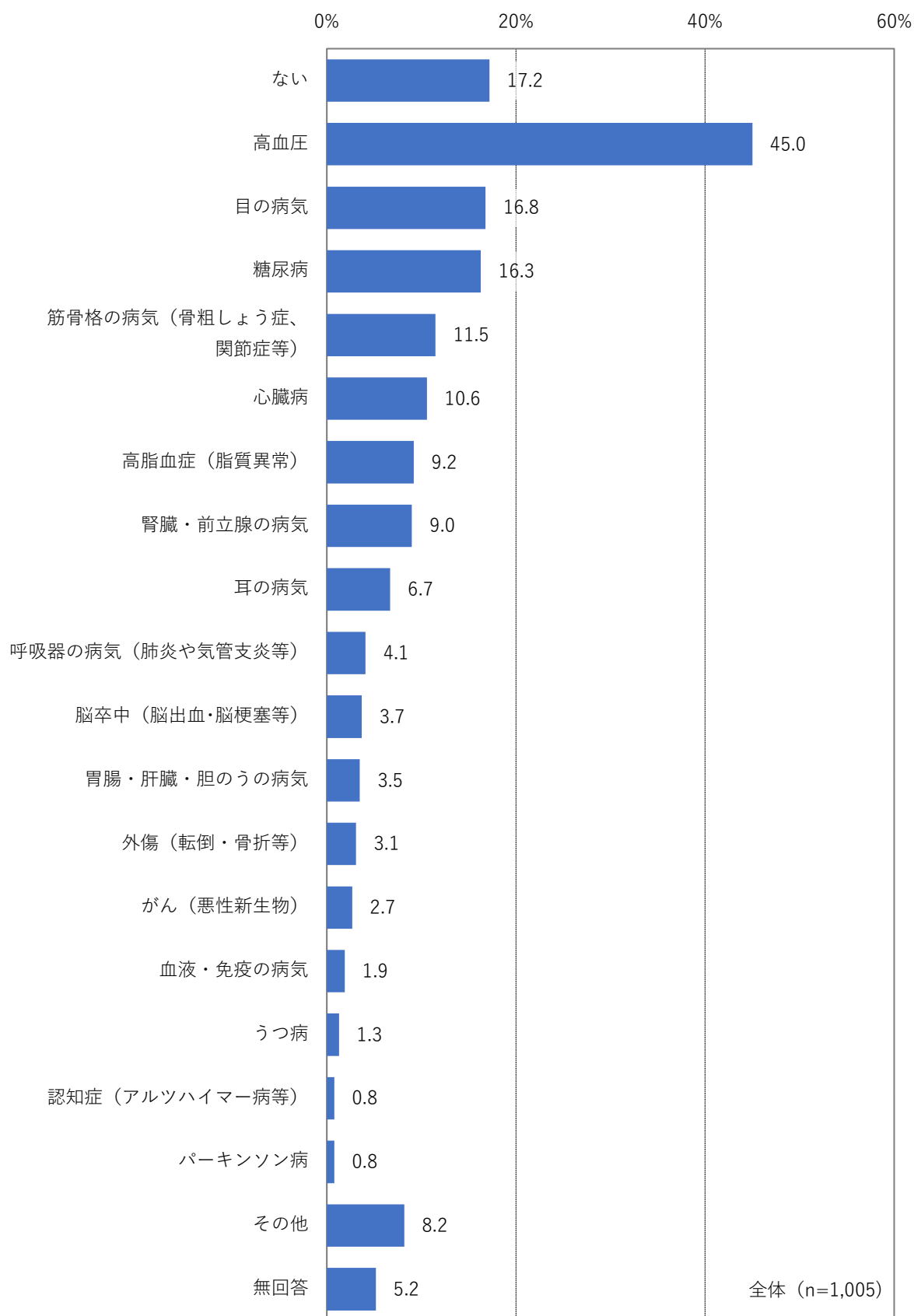
(5) お酒は飲めますか (〇は1つ)



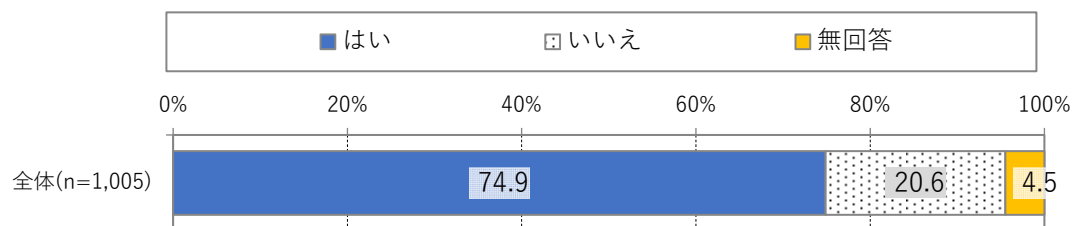
(6) タバコは吸っていますか (〇は1つ)



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

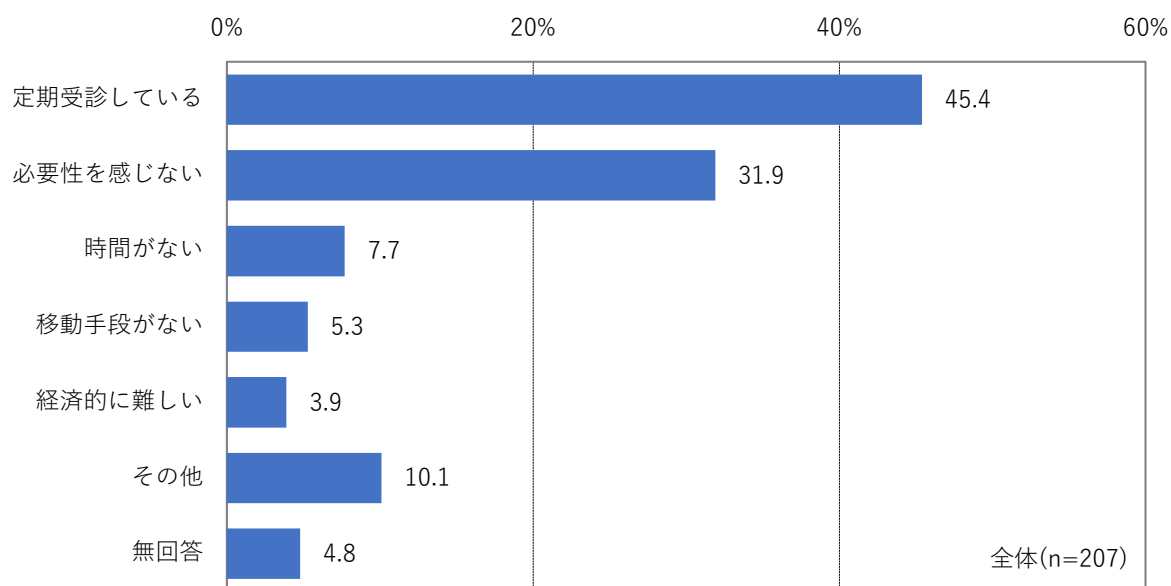


(8) 年に1回以上健康診断を受けていますか (〇は1つ)

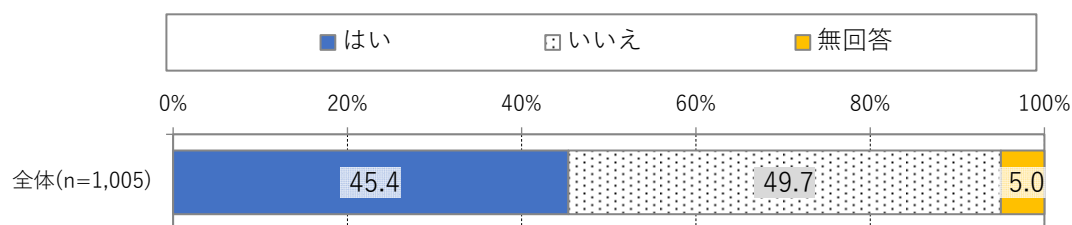


(8) で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします

(8) - 1 受けない理由は何ですか (〇はいくつでも)

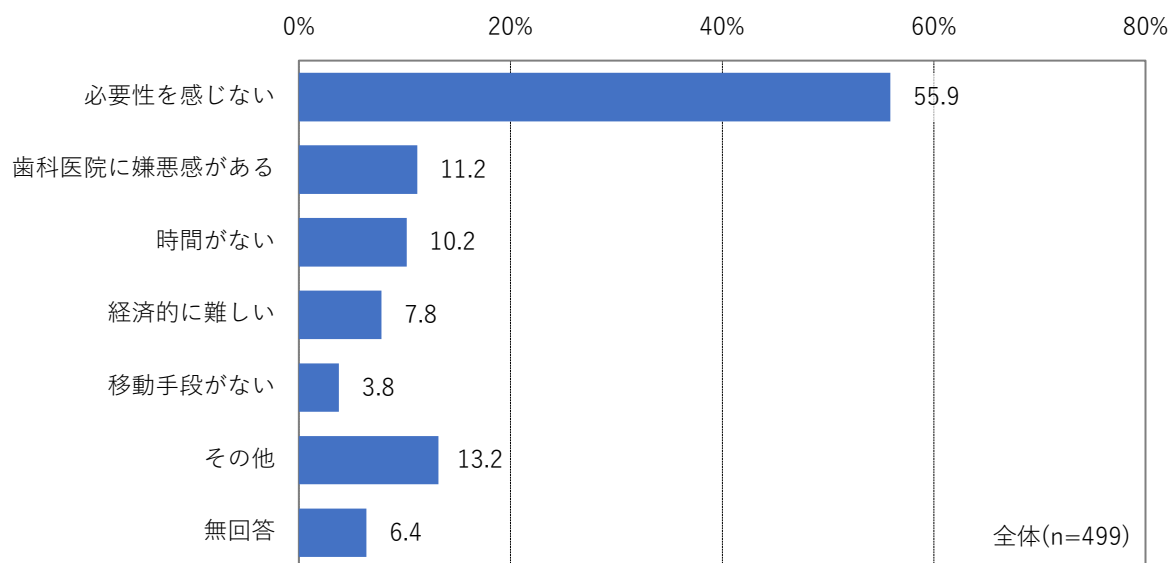


(9) 年に1回以上歯科検診または歯科医院を受診していますか (〇は1つ)

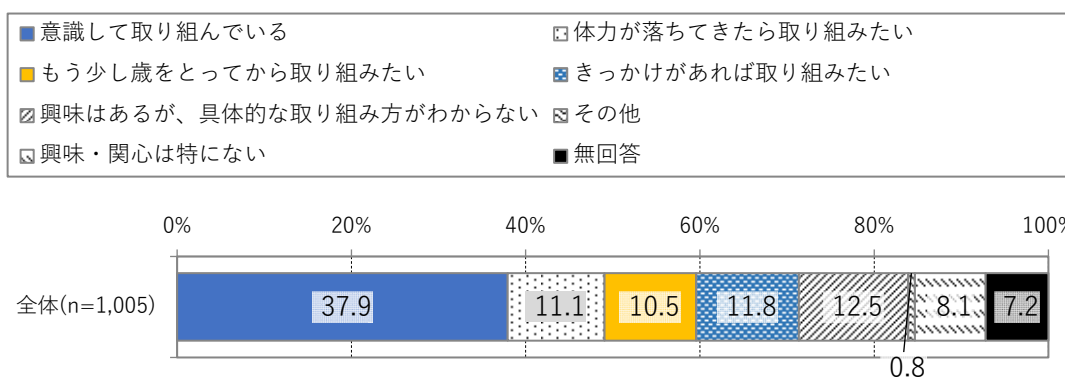


(9) で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします

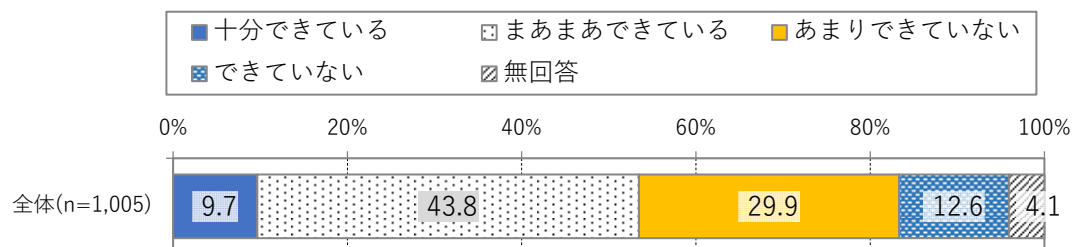
(9)－1 受けない理由は何ですか(○はいくつでも)



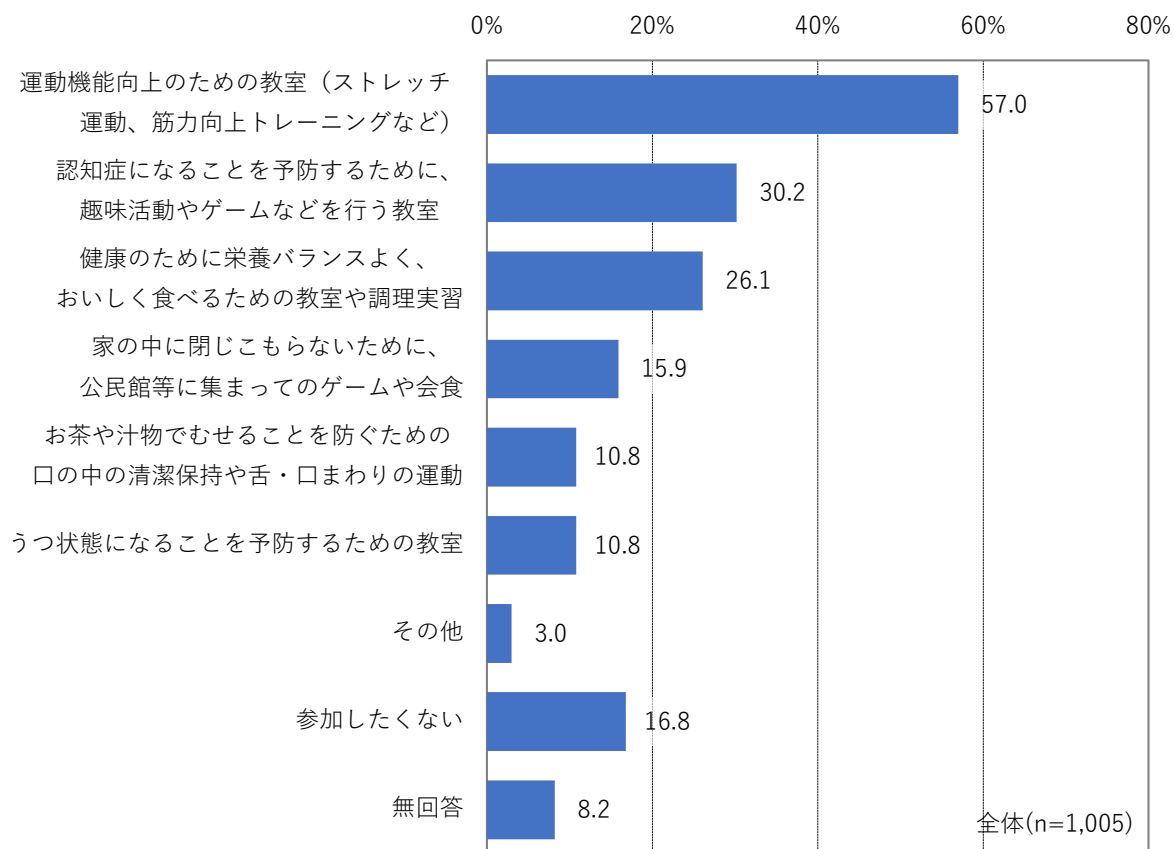
(10) 現在、介護予防に取り組んでいますか(○は最も主なものを1つ)



(11) 体の状態を維持するために、十分な運動ができていると思いますか(○は1つ)

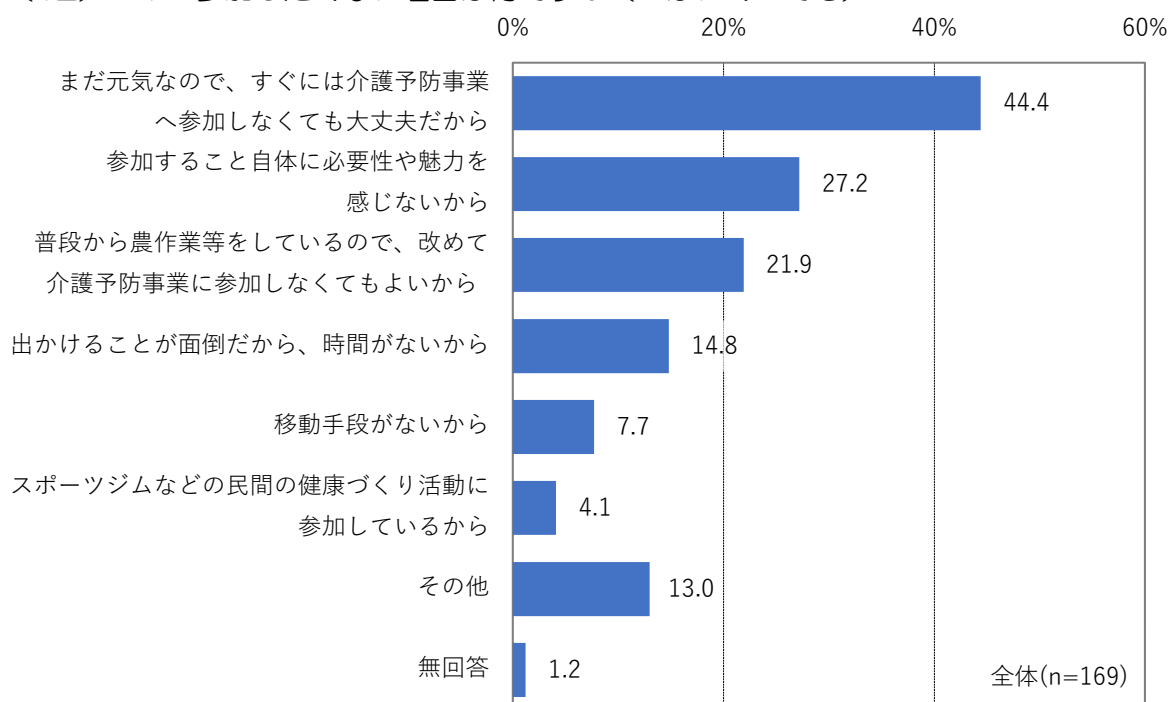


(12) 市では、将来できるだけ要介護状態にならないようにするため、介護予防事業を実施していますが、あなたが今後参加してみたいことは何ですか（〇はいくつでも）

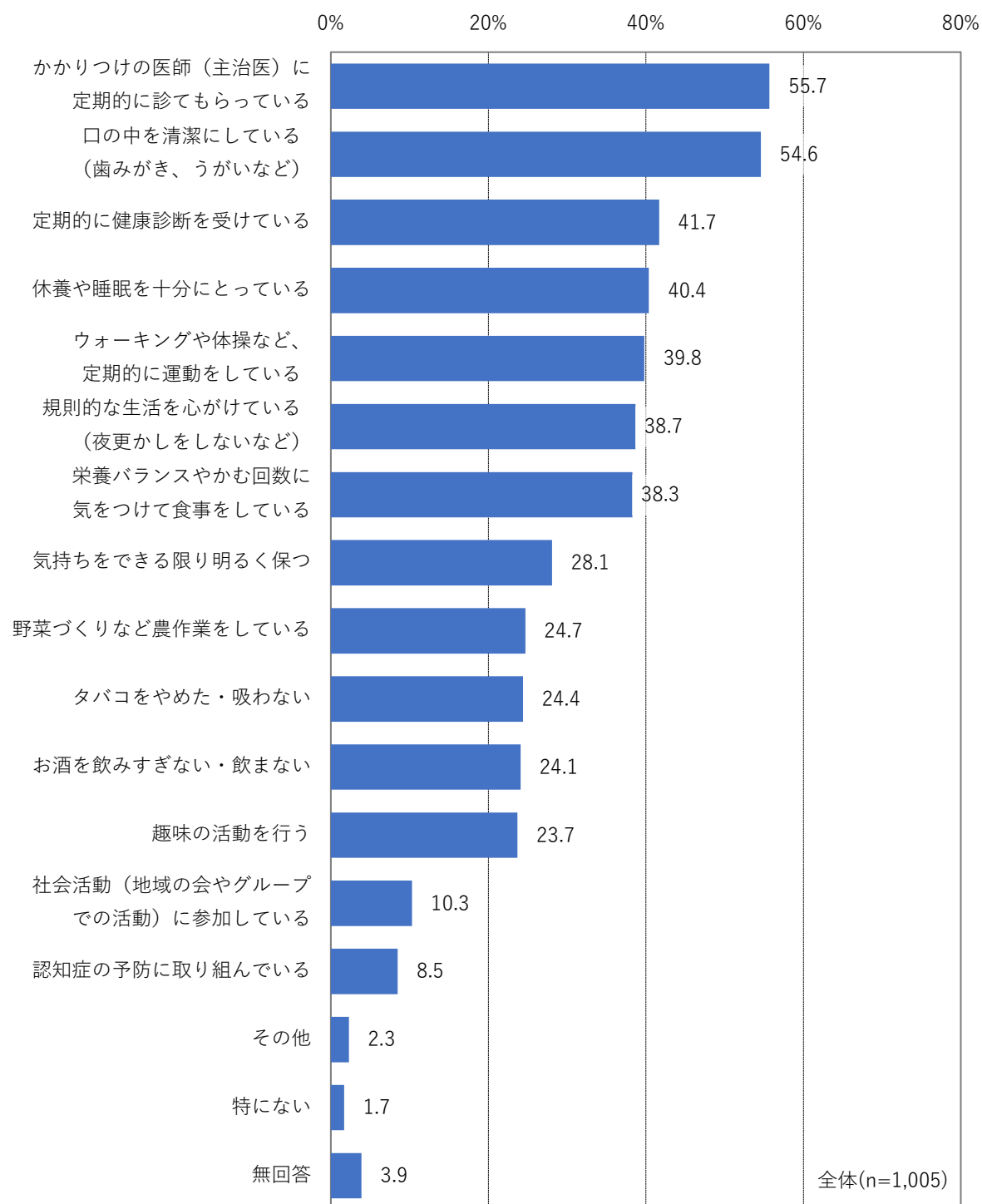


(12) で「8. 参加したくない」とお答えの方におたずねします

(12) - 1 参加したくない理由は何ですか（〇はいくつでも）

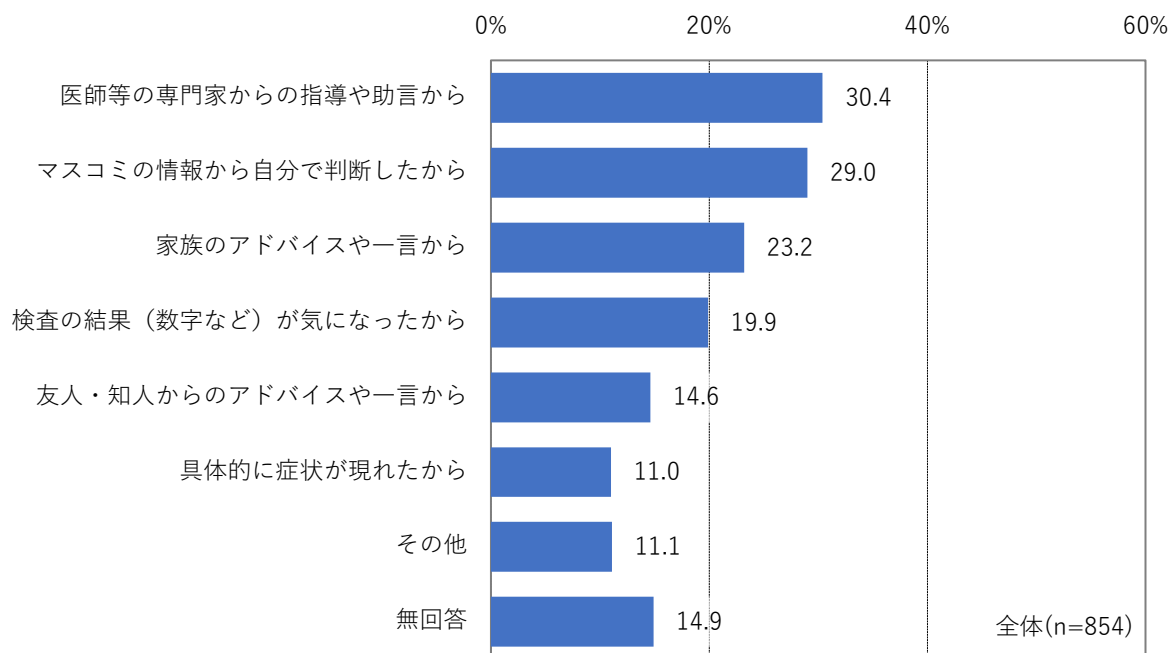


(13) あなたは、普段から健康や介護予防のために気をつけていることはありますか（〇はいくつでも）



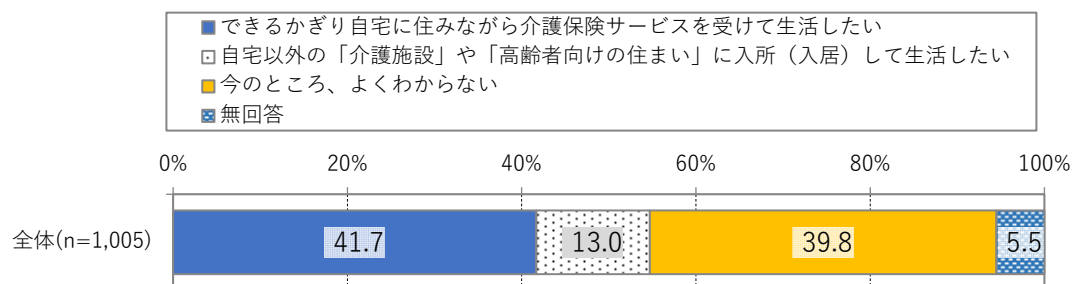
(13) で「1」～「9」とお答えの方におたずねします

(13)－1 取り組むこととなった主なきっかけは何ですか（〇はいくつでも）



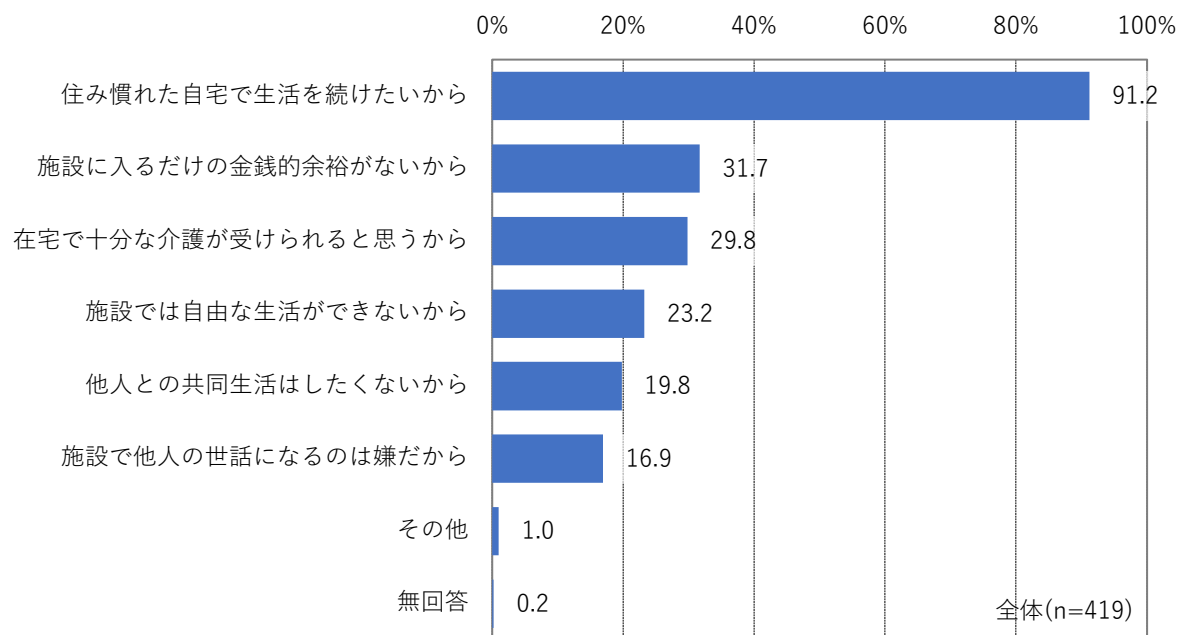
9 問8 希望する介護サービスについて

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか（〇は1つ）



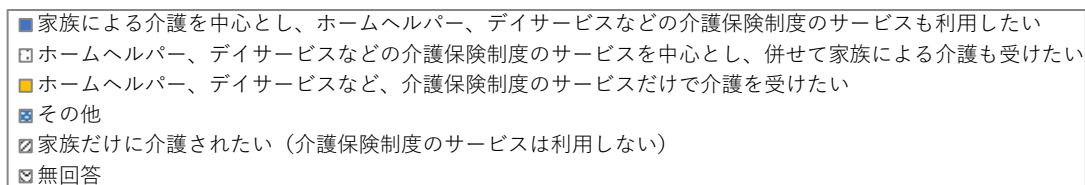
(1) で「1」とお答えの方におたずねします

(1)－1 自宅で介護保険サービスを利用したい理由は何ですか(○はいくつでも)



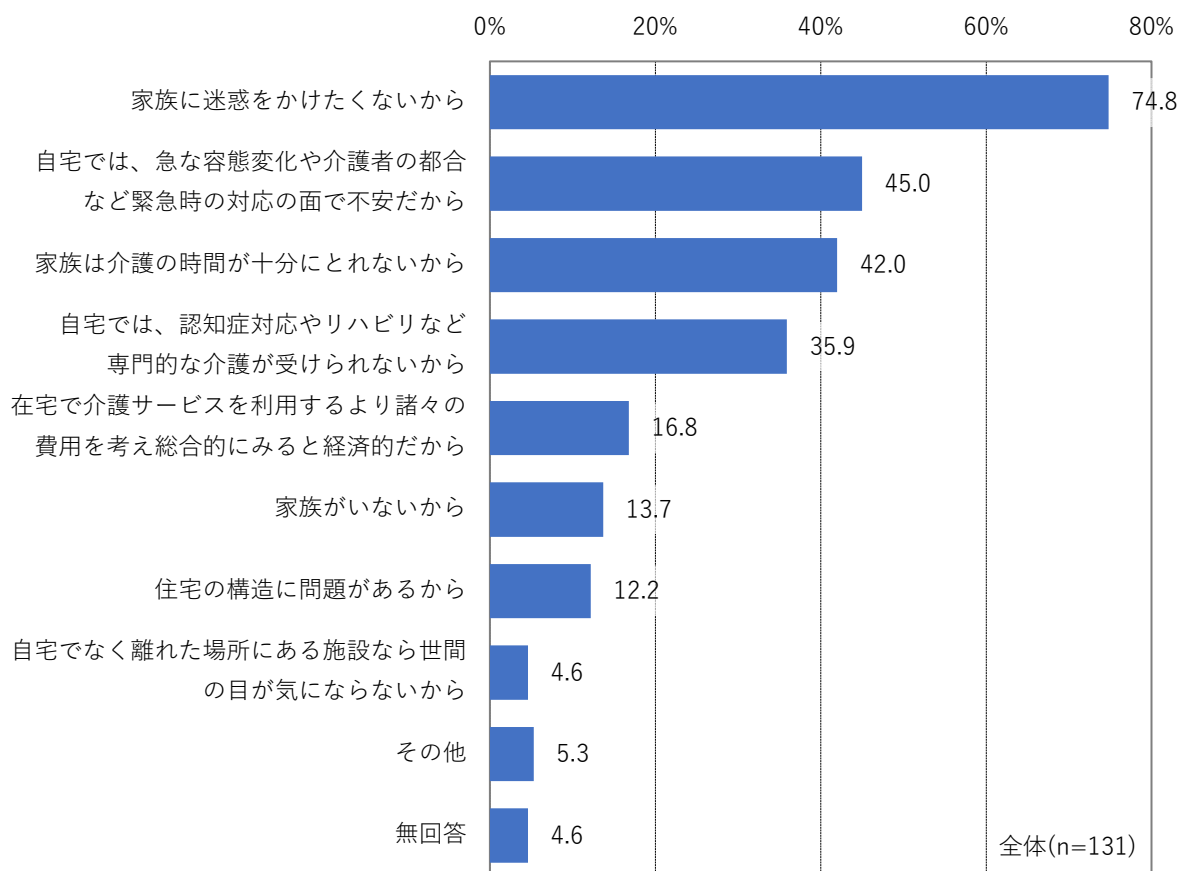
(1) で「1」とお答えの方におたずねします

(1)－2 自宅でどのように介護保険サービスを利用したいですか(○は1つ)



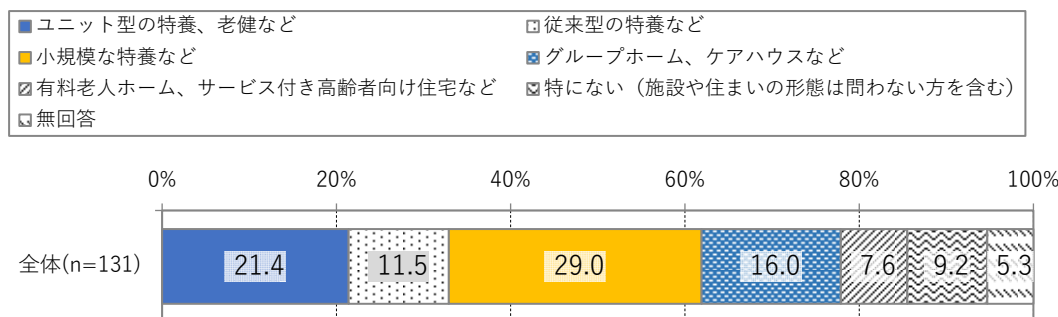
(1) で「2」とお答えの方におたずねします

(1)－3 施設等への入所（入居）を希望する理由は何ですか（〇はいくつでも）

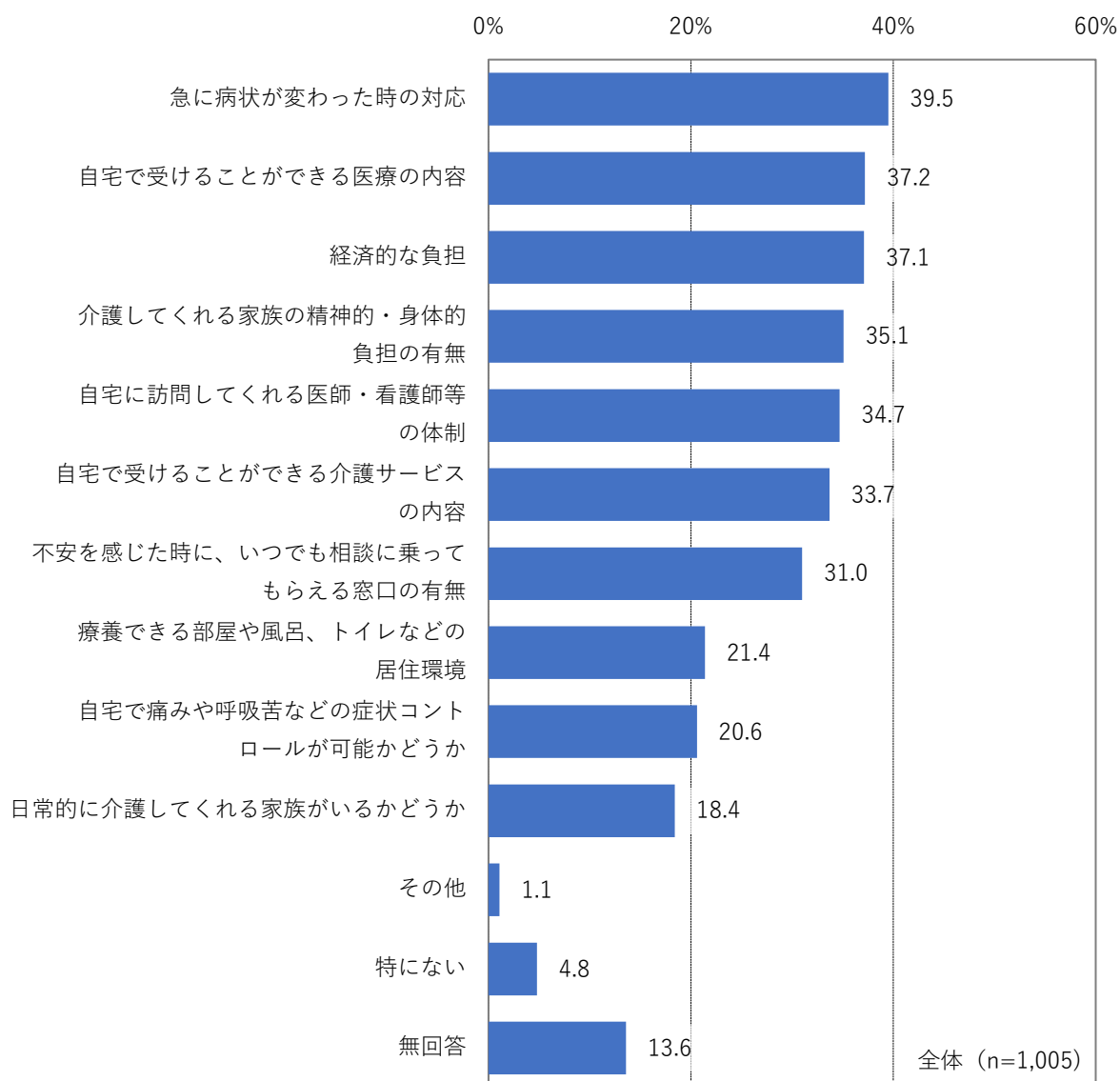


(1) で「2」とお答えの方におたずねします

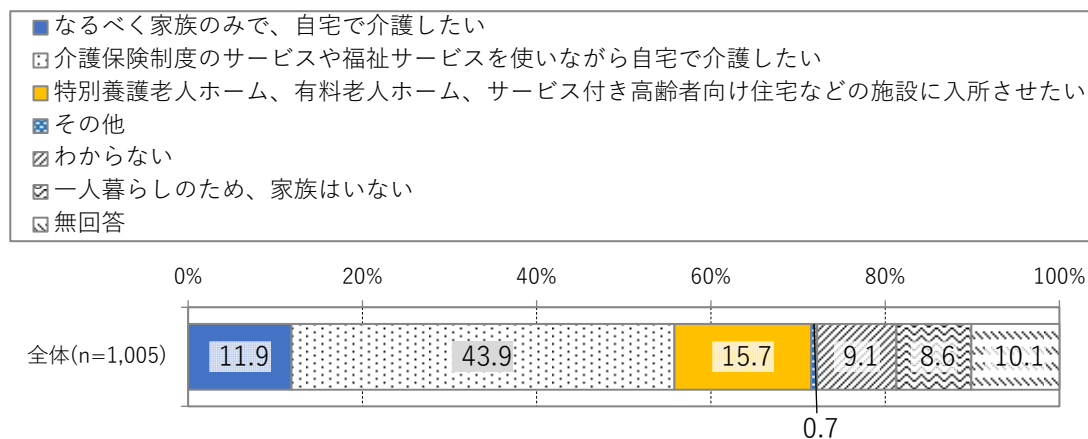
(1)－4 最も希望する「施設」や「住まい」の形態は何ですか（〇は1つ）



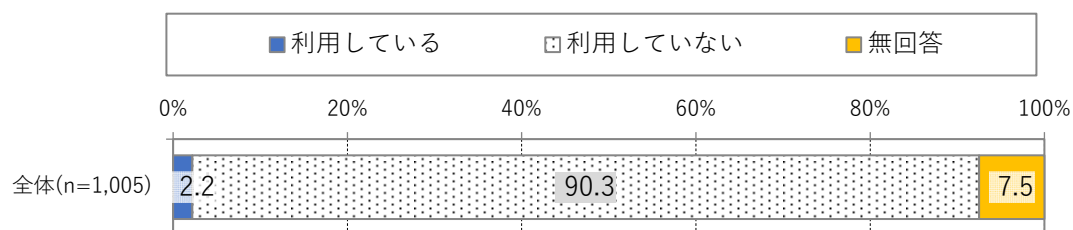
(2) 在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うことは何ですか（〇はいくつでも）



(3) あなたの家族に介護が必要となった場合（介護している場合も含む）、どのように介護したいと思いますか（○は1つ）

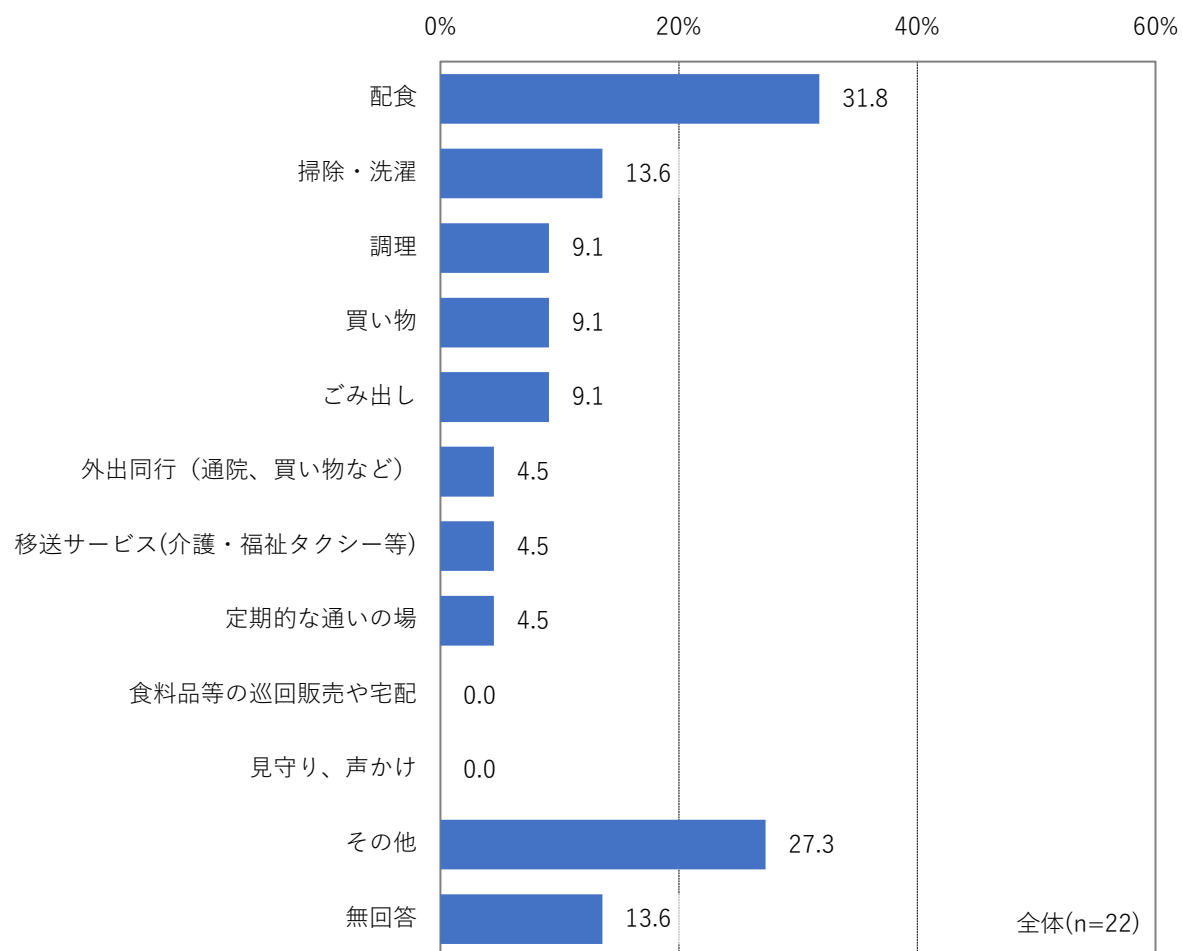


(4) 現在、介護保険サービス以外の支援・サービスを利用していますか（○は1つ）

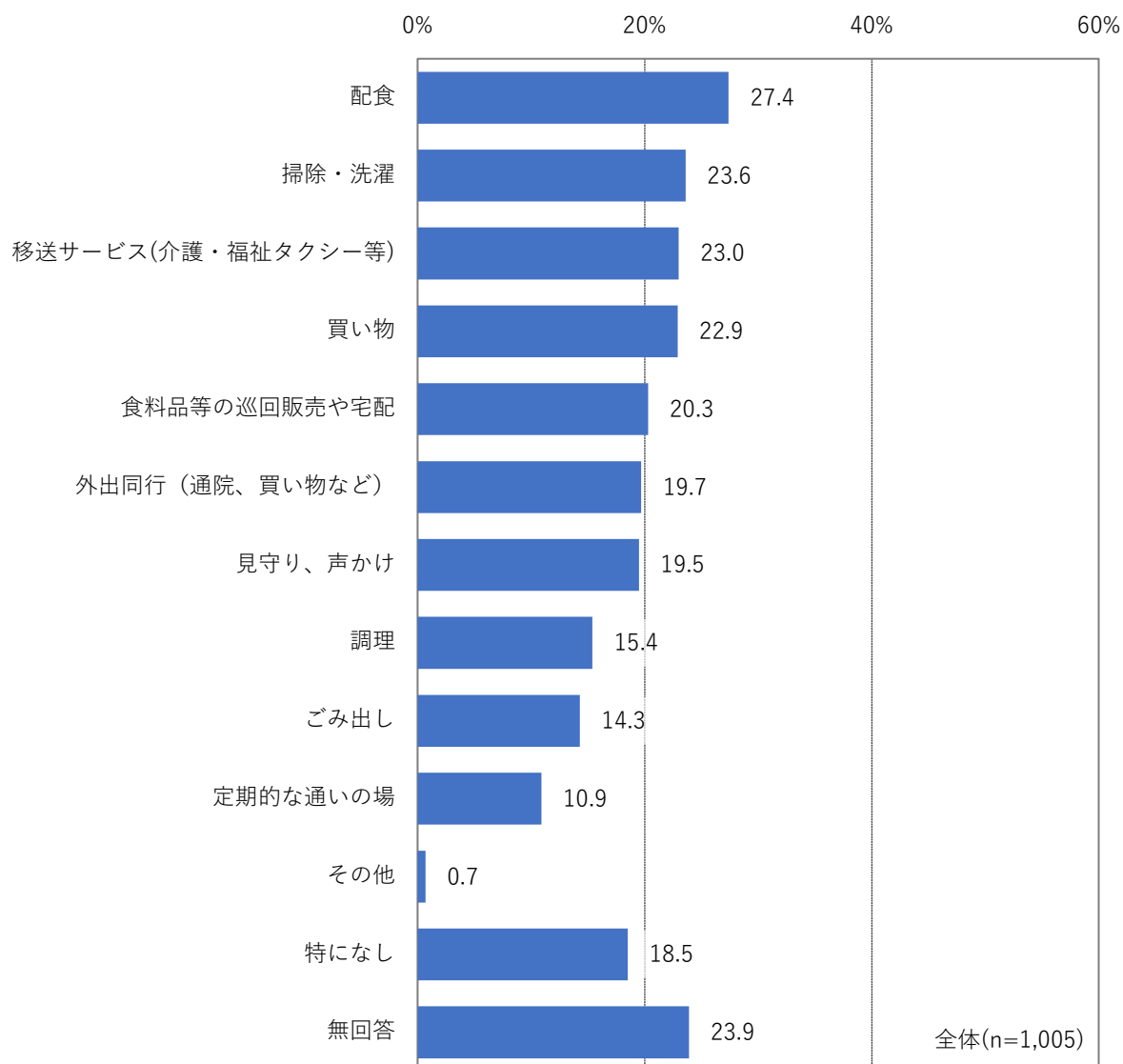


(4) で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします

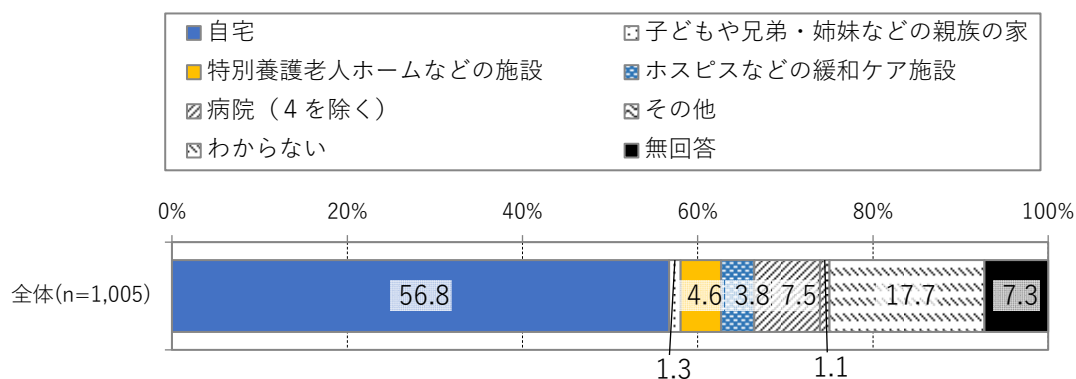
(4)－1 利用している支援・サービスは何ですか(〇はいくつでも)



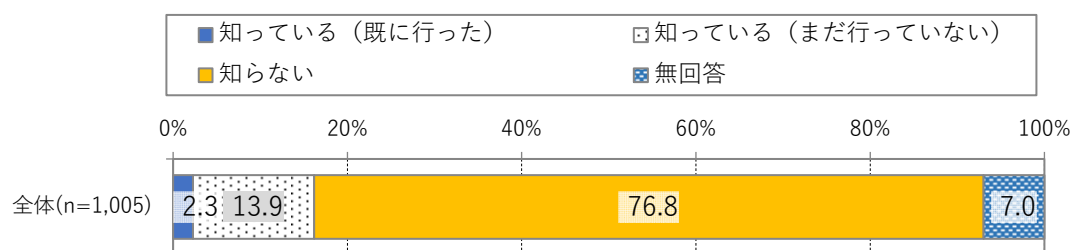
(5) 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何だと思いますか（〇はいくつでも）



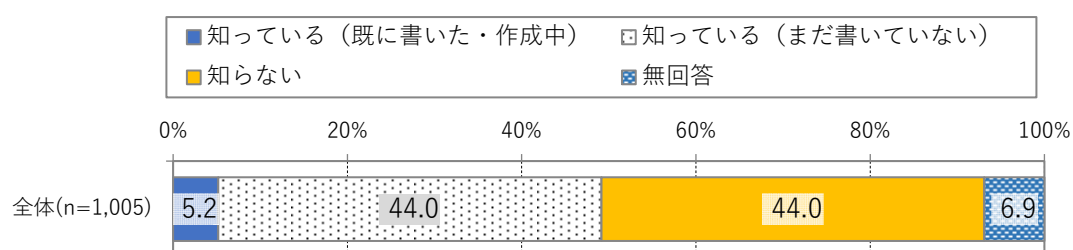
(6) 人生の最期を迎えたい場所はどこですか（〇は1つ）



(7) あなたは人生会議を知っていますか (〇は1つ)

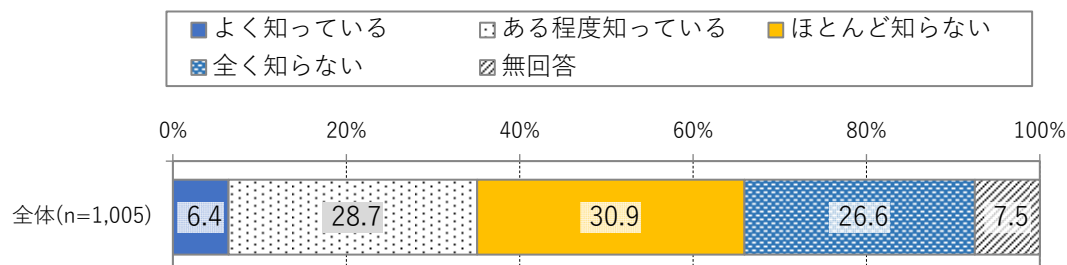


(8) あなたはエンディングノートを知っていますか (〇は1つ)

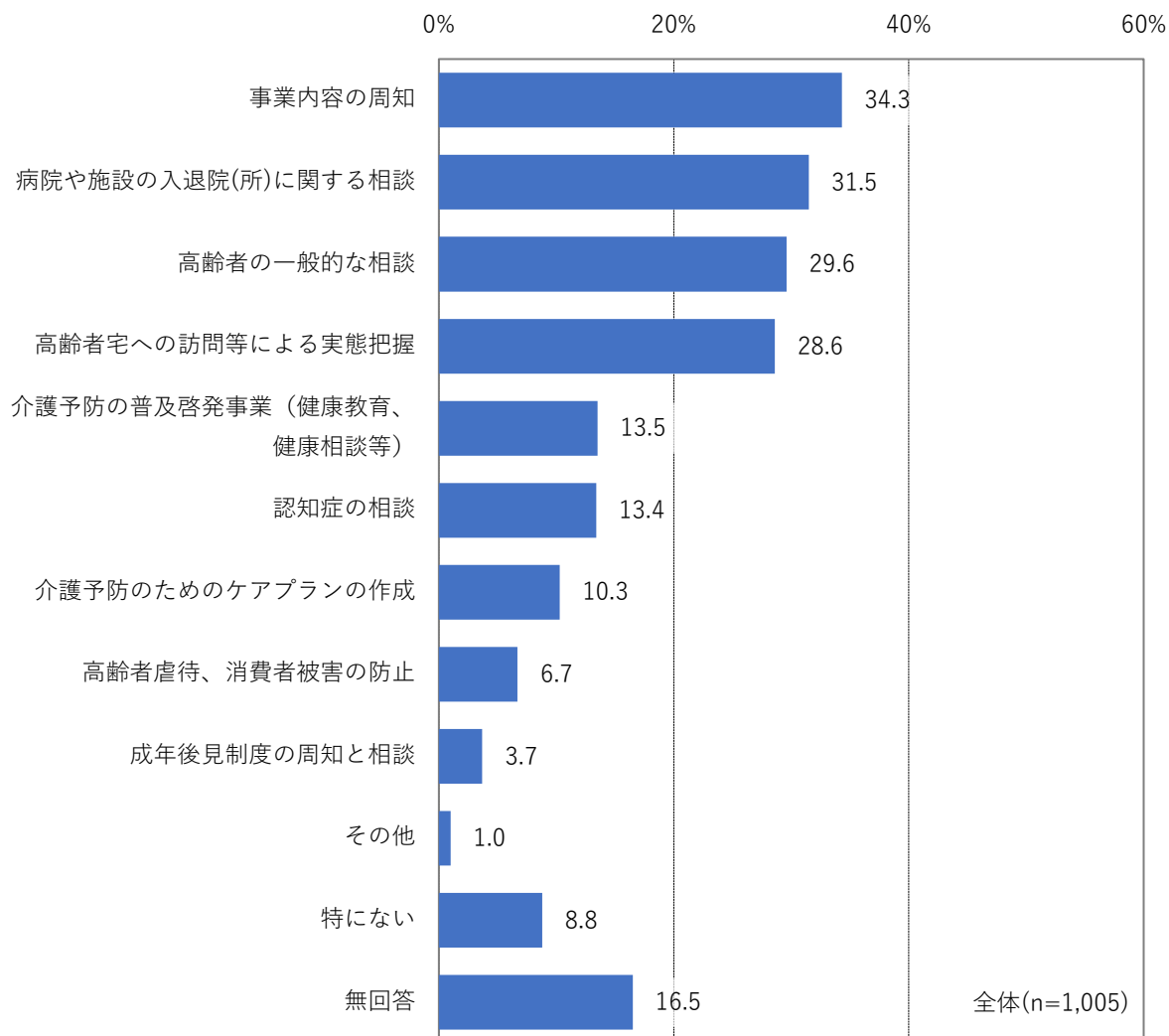


10 問9 地域包括支援センターについて

(1) あなたは、高齢者への総合的な生活支援の窓口である、地域包括支援センターのことを知っていますか（〇は1つ）

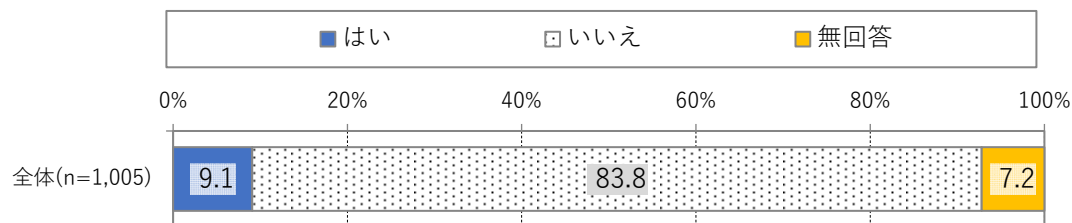


(2) 今後、地域包括支援センターに力を入れてほしい事業は何ですか（〇は3つまで）

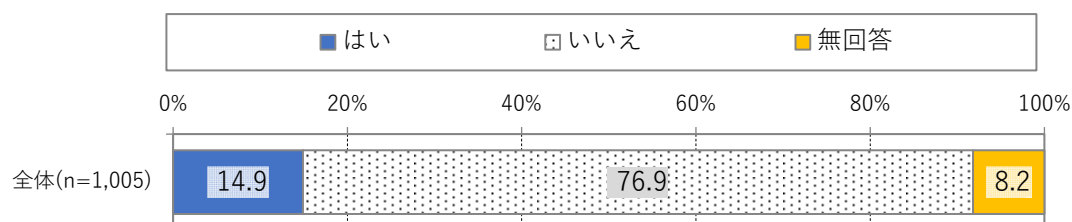


11 問 10 認知症にかかる相談窓口の把握について

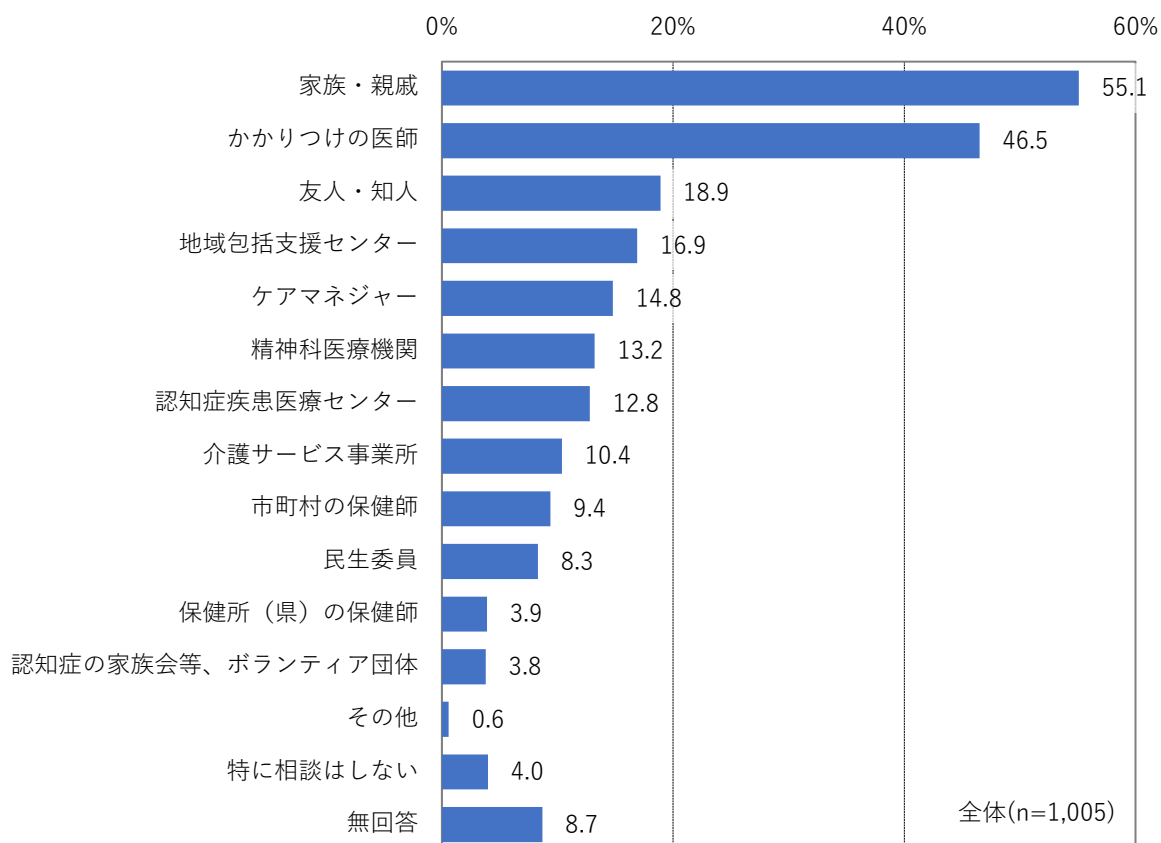
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つ)



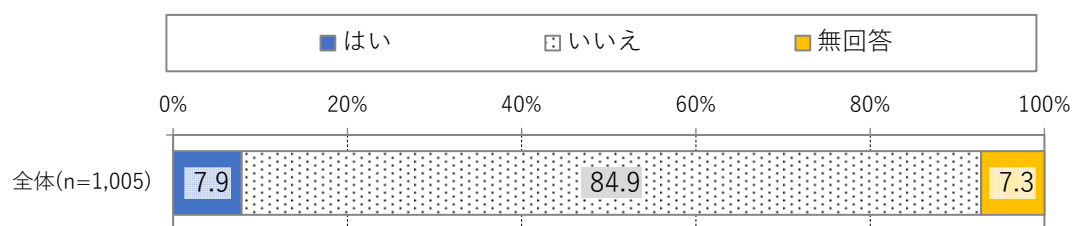
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)



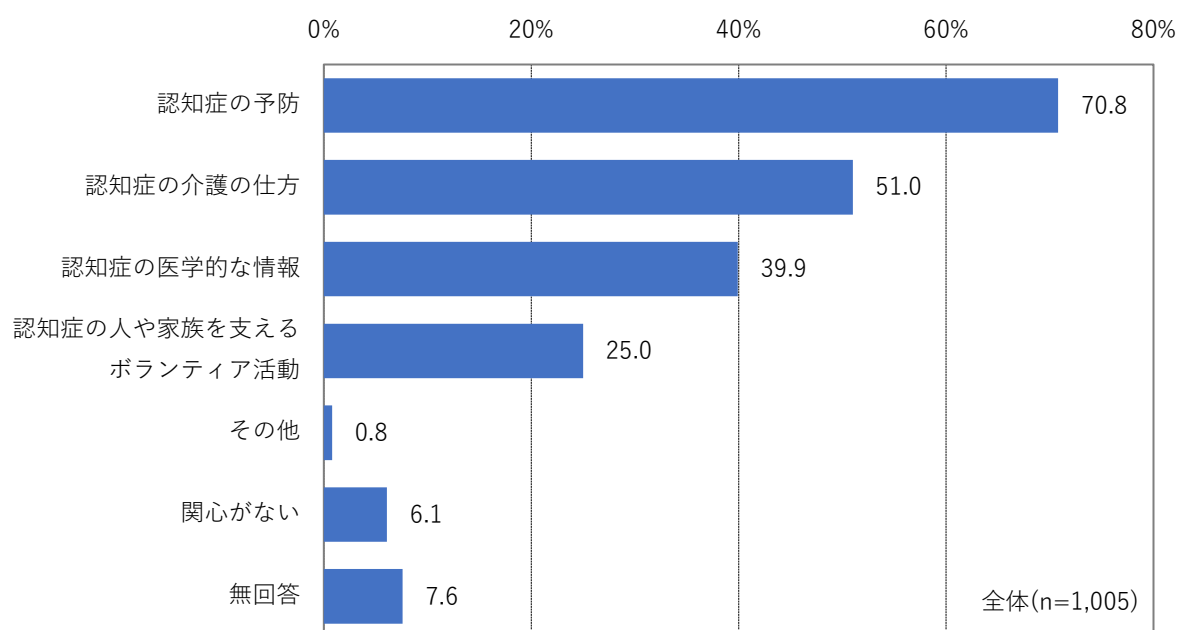
(3) 身近な方に認知症の疑いがある時に、どこに相談しますか (〇はいくつでも)



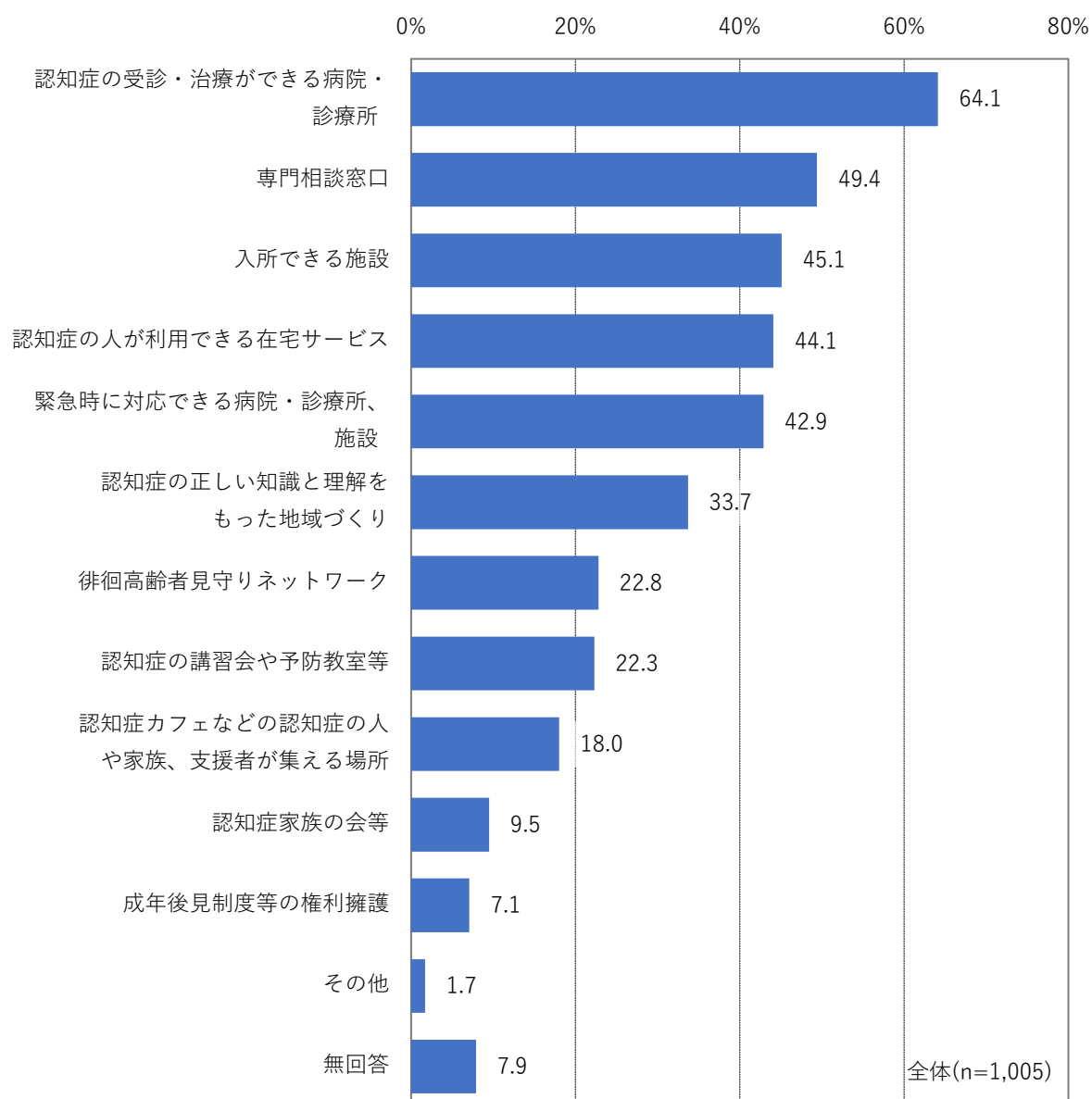
(4) 認知症疾患医療センターを知っていますか (○は1つ)



(5) あなたは、認知症のどんなことに興味がありますか (○はいくつでも)



(6) どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか（〇はいくつでも）



第 2 部

在宅介護実態調査

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、調査結果と要介護データとを組み合わせることにより、在宅生活の継続に効果的なサービス利用や介護者の就労継続等を把握・分析することを目的とします。

2 調査の対象者

在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている人であって、認定調査の対象となる人。

3 調査の方法

認定更新手続き時に係員による聞き取り調査

4 調査の期間

令和4年10月1日から令和5年2月22日まで

5 回収結果

有効回収数：181件

6 調査項目

国から示された調査票（必須項目＋オプション項目）で実施

7 報告書の見方

- (1) グラフ中の「n」は、その項目におけるサンプル数（標本数）を示しており、回答割合算出の基数となる。
- (2) 回答割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答割合が0.05未満の場合には0.0で表している。
- (3) 複数回答の項目は、回答割合の合計が100%を超える場合がある。
- (4) クロス集計は、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。
- (5) 集計によっては、基数（n）が10人未満と非常に少ない場合もあり、このような集計は参考程度として見る必要がある。
- (6) 表およびグラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

第2章 調査結果の分析

本調査は、厚生労働省の「在宅介護実態調査実施のための手引き」に基づき、介護保険事業計画において、従来の「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込み、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を把握することを目的とするものです。

厚生労働省が配布した「集計・分析ソフト」を活用することで、調査対象者の被保険者番号により「調査結果」と「認定データ」を関連付けし、「現在のサービス利用状況」や「要支援・要介護度」、「認知症日常生活自立度」等と、本人・家族等介護者の生活状況を合わせた集計を行うことができます。

ここでは、「集計・分析ソフト」が想定している5つの分析項目、すなわち「1 在宅限界点の向上のための支援・サービス」「2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービス」「3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備」「4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービス」「5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービス」について分析を行うこととします。

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスについて

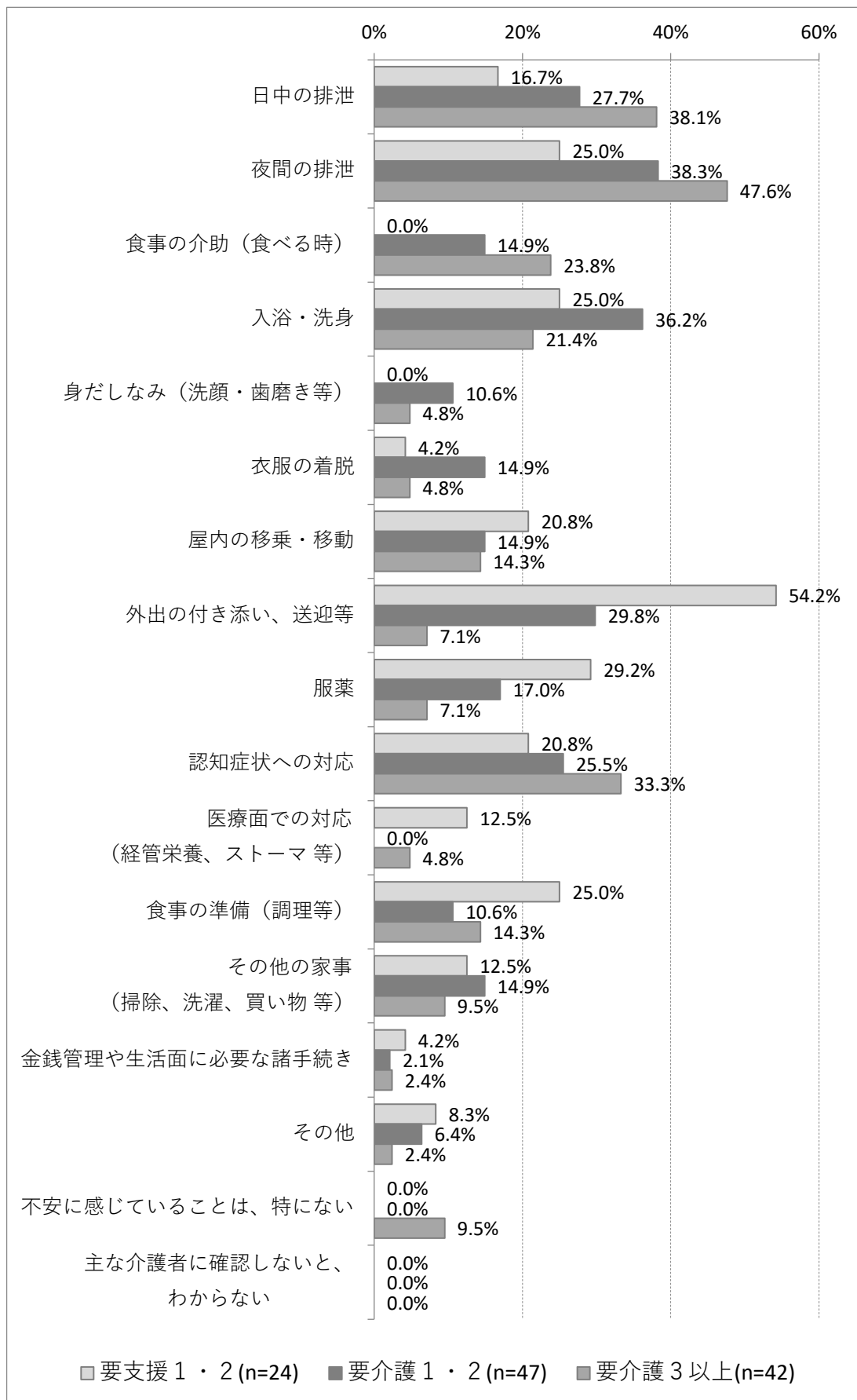
在宅限界点の向上のための支援・サービスについて検討を行うため、ここでは「介護者の不安の軽減」と「在宅生活の継続」に着目します。すなわち、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い介護者の不安が大きくなる介護等に注目することで、在宅限界点に大きな影響を与えると考えられる「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護」を推測することも可能になります。

1. 要介護度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

要介護度別に介護者が不安に感じる介護をみると、要介護3以上では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」について、主な介護者の不安が大きい傾向となっています。

また、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」について、要介護1・2では「夜間の排泄」について主な介護者の不安が大きい傾向となっています（図1参照）。

図1 要介護度別介護者が不安に感じる介護



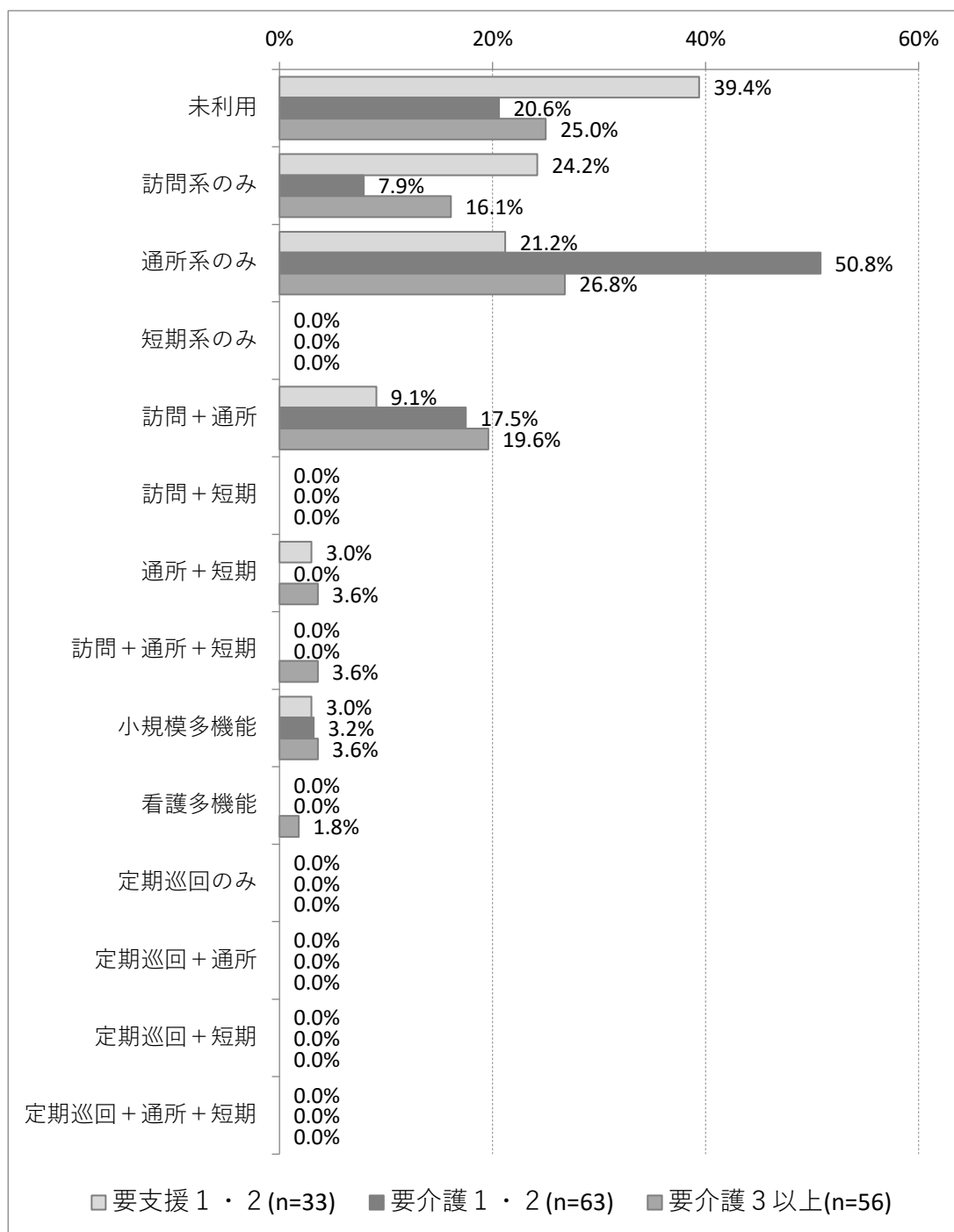
2. 要介護度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

ここでは、「サービス利用の組み合わせ」を「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイトケア機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含む」サービス利用の3種類（未利用除く）に分類し、要介護度別に「サービス利用の組み合わせ」を見ました。

以下の図2のとおり、未利用の割合が最も高いのは要支援1・2となっています。

要支援1・2では「訪問系」、要介護1・2および要介護3以上では「通所系」のサービス利用の割合が高くなっています。

図2 要介護度別サービス利用の組み合わせ



2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスについて

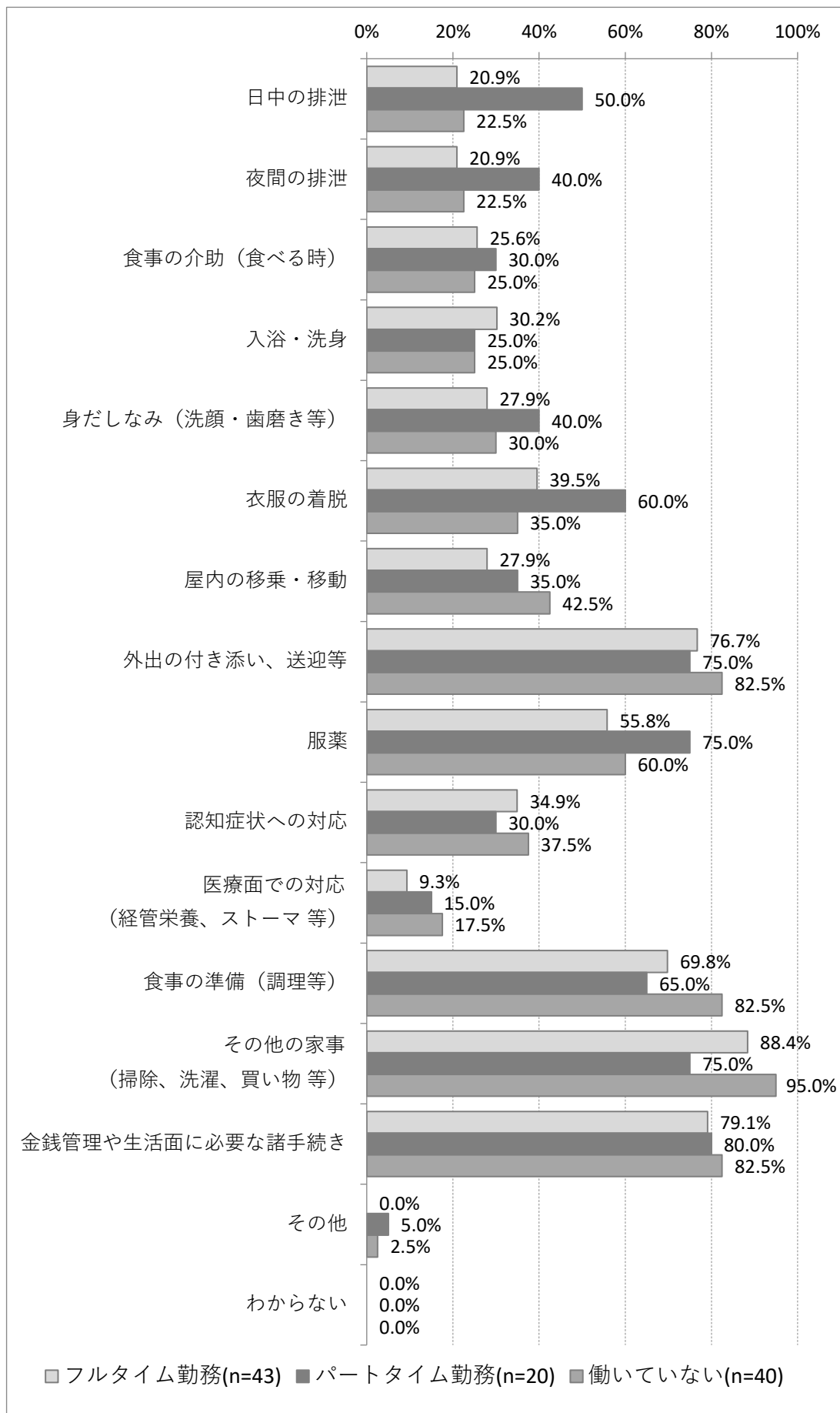
ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行います。

具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。

1. 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

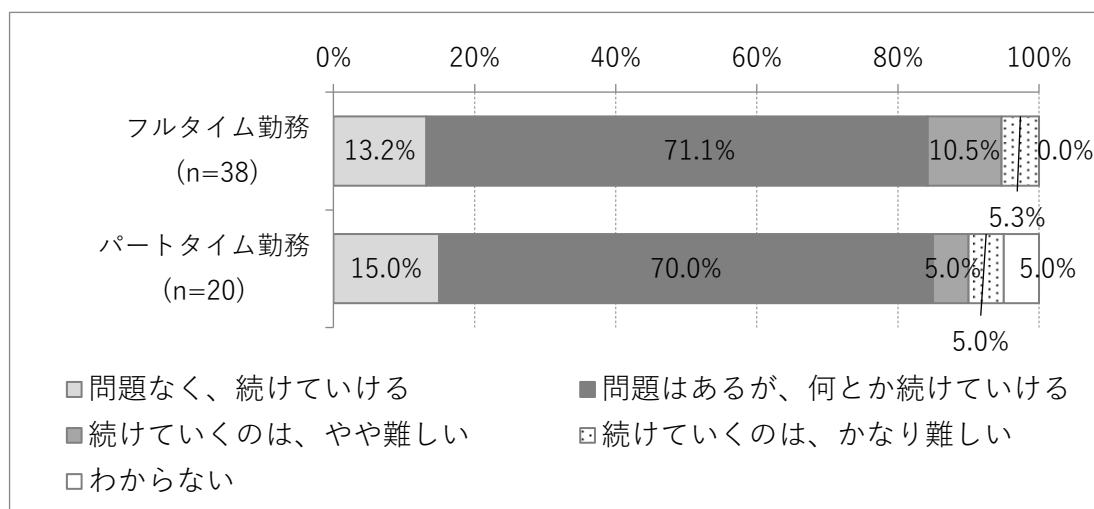
就労状況別に主な介護者が行っている介護をみると、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」では「働いていない」人に比べ、「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「医療面での対応」「食事の準備」「その他の家事」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」などの割合が低くなっています（図3参照）。

図3 就労状況別主な介護者が行っている介護



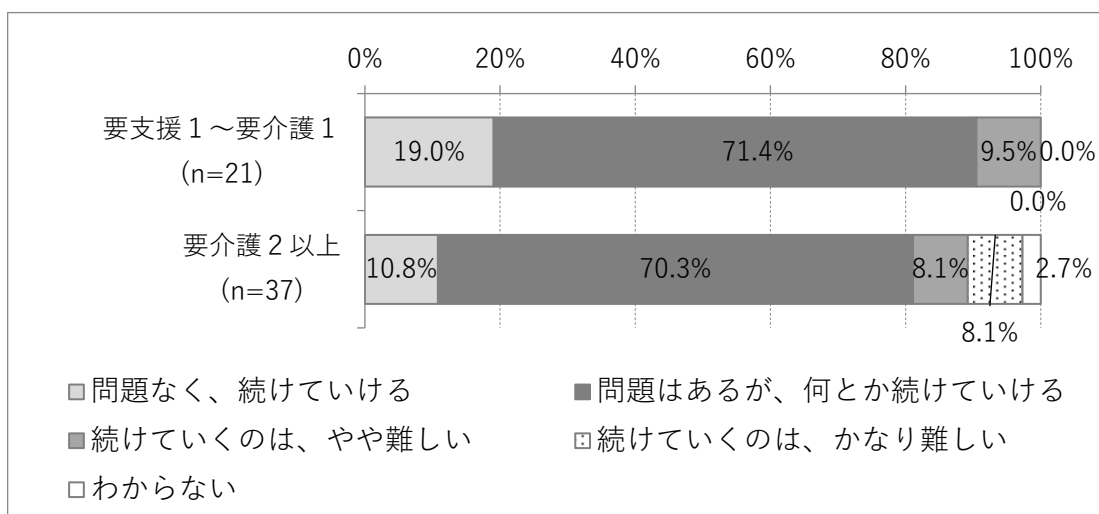
就労継続見込みを就労状況別にみると、両者に大きな差異はみられませんでした（図4参照）。

図4 就労状況別就労継続見込み



要介護度別にみると、要介護者の重度化に伴って「続けていくのは、かなり難しい」と考える人の割合が高くなっています（図5参照）。

図5 要介護度別就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



2. 就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況

フルタイム勤務の方が「利用している保険外の支援・サービス」（図6参照）と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」（図7参照）の差をみると、「サロンなどの定期的な通いの場」以外の多くの生活支援サービスで、必要と感じているが、利用が少ない傾向となっています。

図6 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）

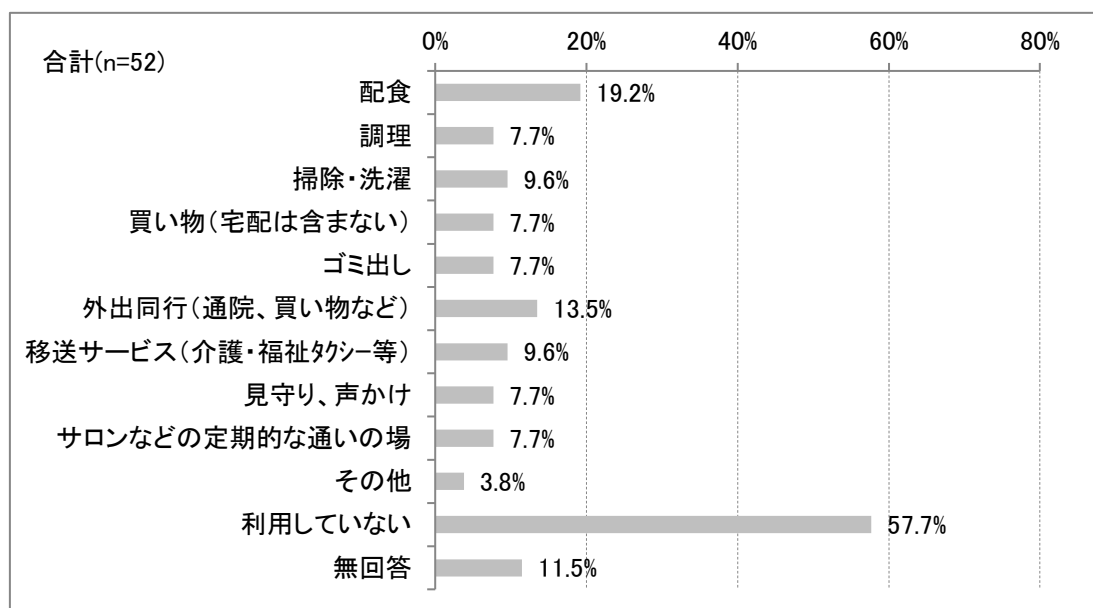
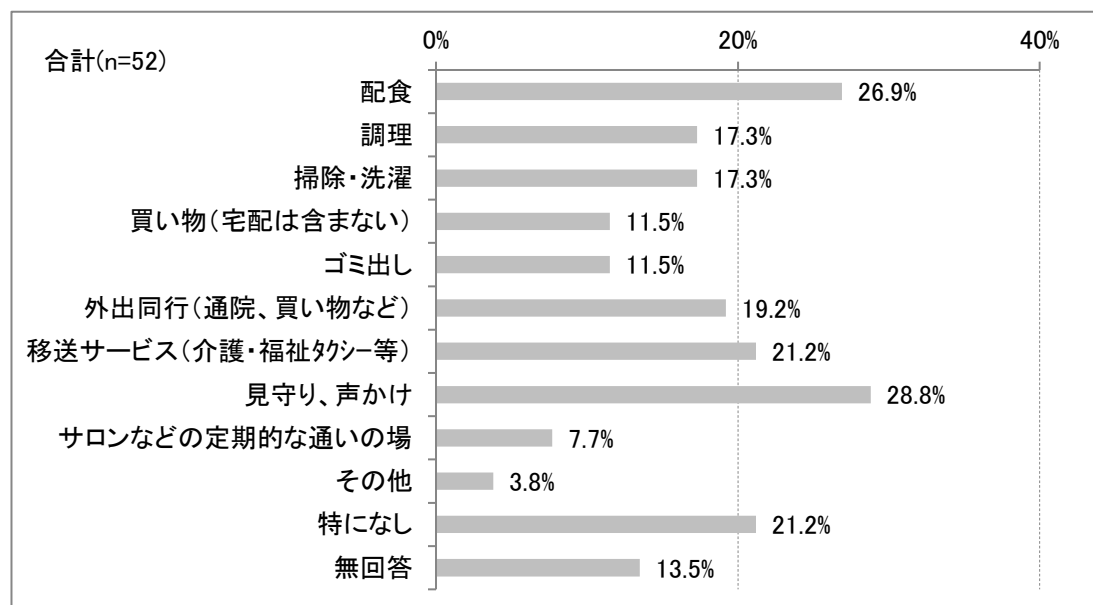


図7 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備について

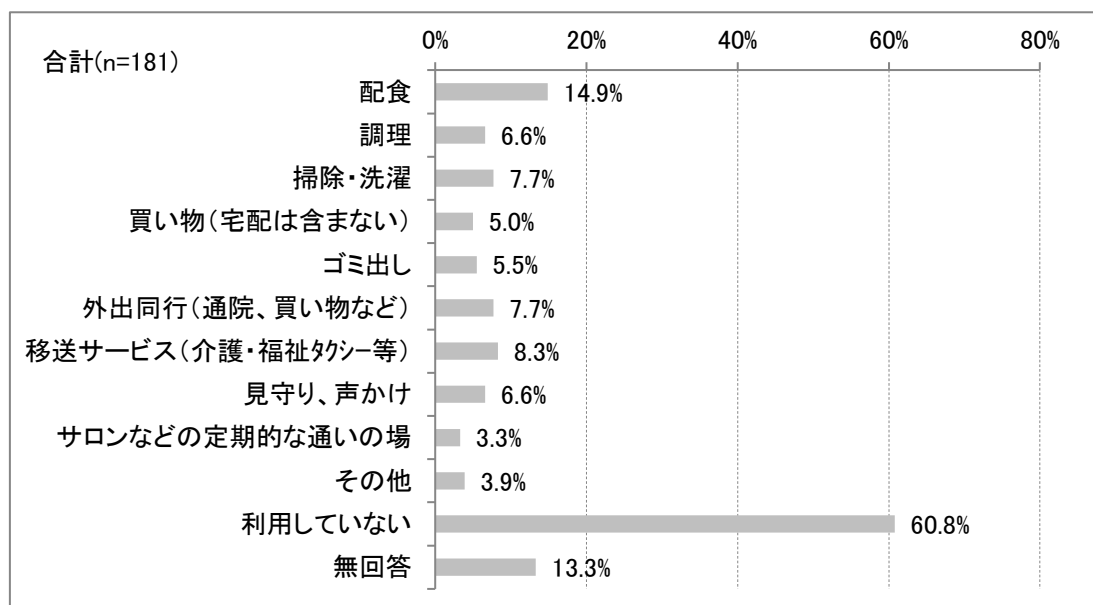
ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。

具体的には、保険外の支援・サービスの現在の利用状況を把握した上で、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別のクロス集計を行い、今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。

1. 保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況をみると、全体の60.8%が「利用していない」と回答しており、何らかのサービスを利用していると回答した人は25.9%となっています。最も利用している割合が高かったのは「配食」で14.9%、最も利用している割合が低かったのは「サロンなどの定期的な通いの場」の3.3%となっています（図8参照）。

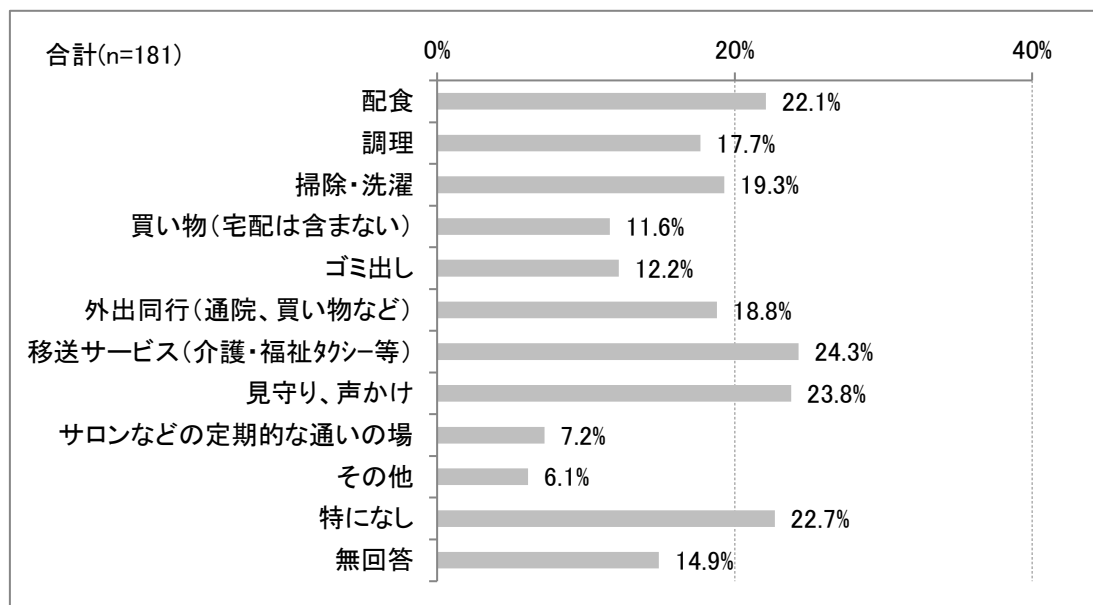
図8 利用している保険外の支援・サービス



2. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス」の24.3%が最も高く、次いで、「見守り、声かけ」の23.8%が高くなっています（図9参照）。

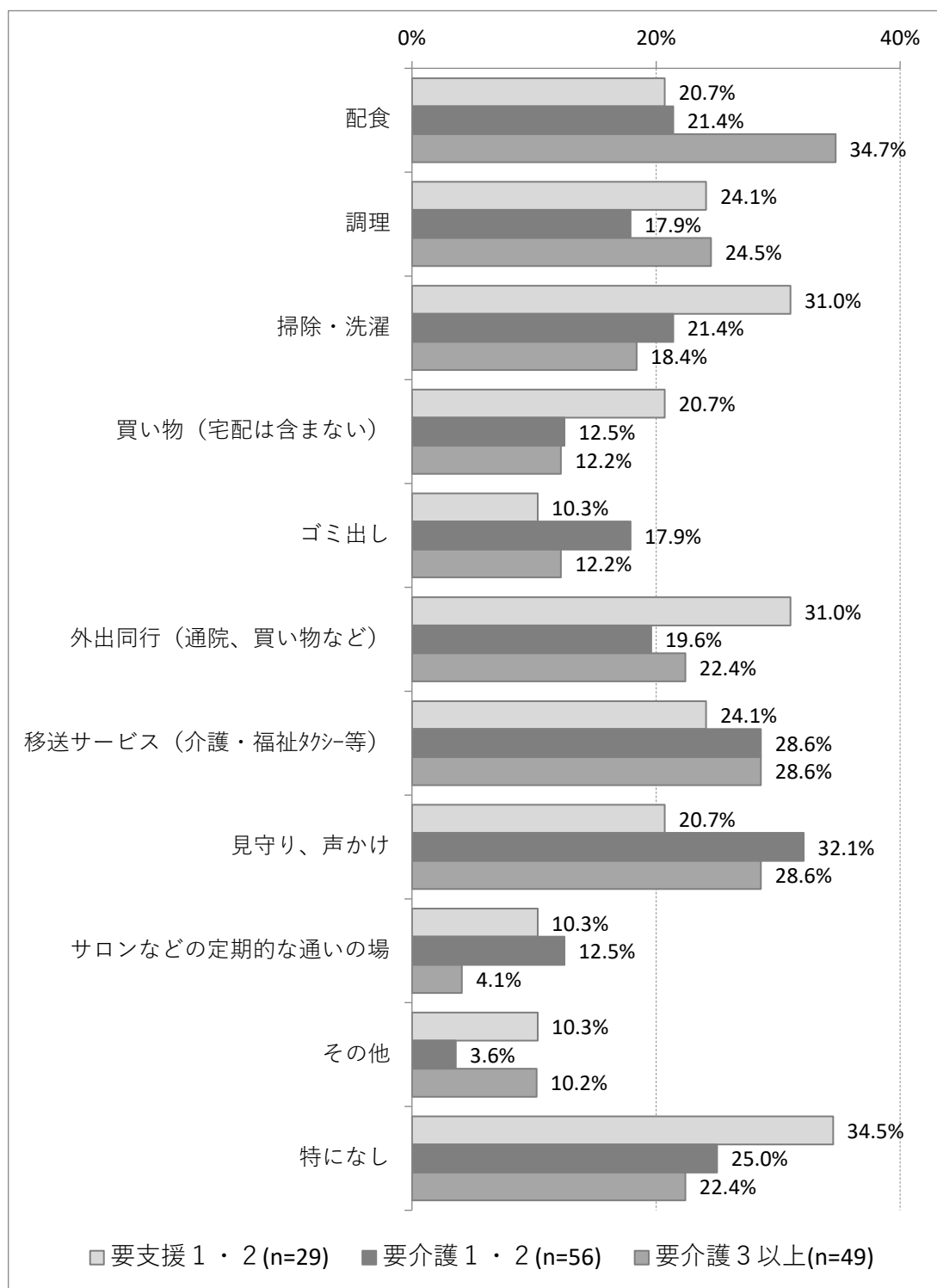
図9 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



利用意向（必要と感じるサービス）と利用実態（利用しているサービス）の乖離が特に大きかったのは、「移送サービス（差16.0%）」と「見守り・声かけ（差17.2%）」です。

要介護度別にみると、要支援１・２では「掃除・洗濯」「外出同行」が31.0%、要介護１・２では「見守り、声かけ」が32.1%や「移送サービス」が28.6%、要介護３以上では「配食」が34.7%や「移送サービス」「見守り、声かけ」が28.6%と回答割合が高くなっています（図10 参照）。

図10 要介護度別在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスについて

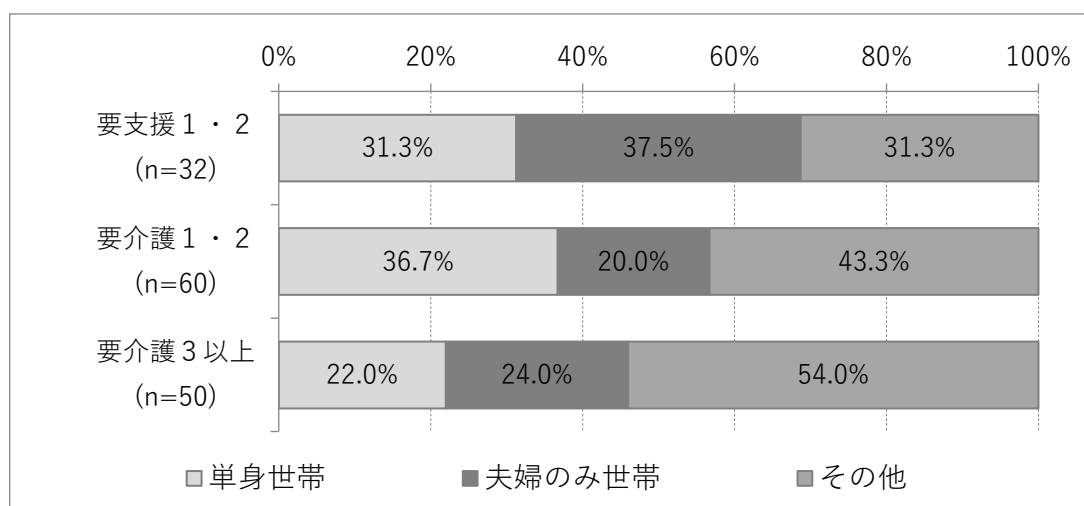
ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」に焦点を当てた集計を行っています。

具体的には、世帯類型別の「サービス利用の組み合わせ」の分析を行います。

要介護度別に世帯類型をみると、単身世帯が要支援１・２では 31.3%を占めているのに対し、要介護１・２では 36.7%、要介護３以上では 22.0%となっています。

一方、その他の世帯は、要支援１・２では 31.3%、要介護１・２では 43.3%、要介護３以上では 54.0%となっています（図 11 参照）。

図 11 要介護度別世帯類型



世帯類型ごとにサービス利用の組み合わせをみると、単身世帯は他の世帯類型に比べ「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています（図 12・13・14 参照）。

図 12 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）

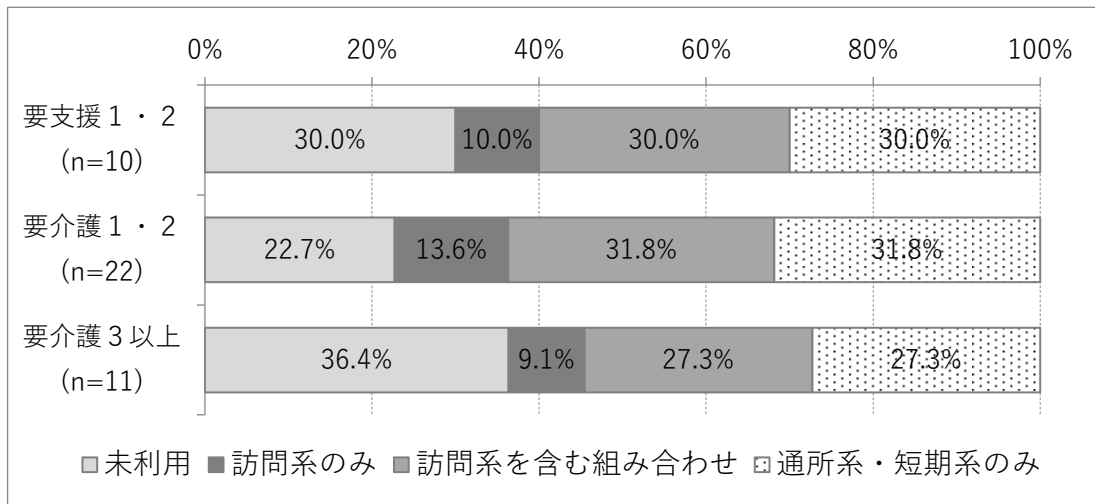


図 13 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

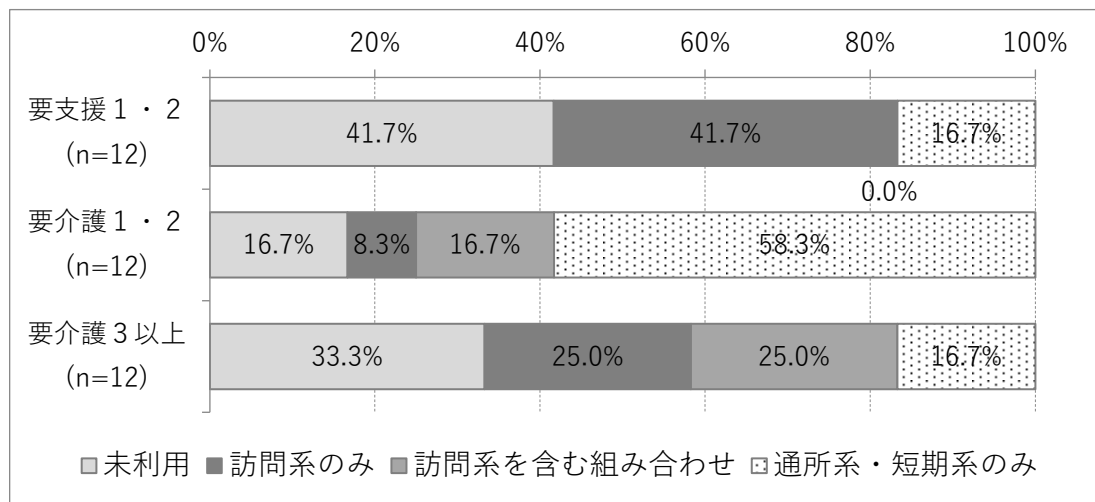
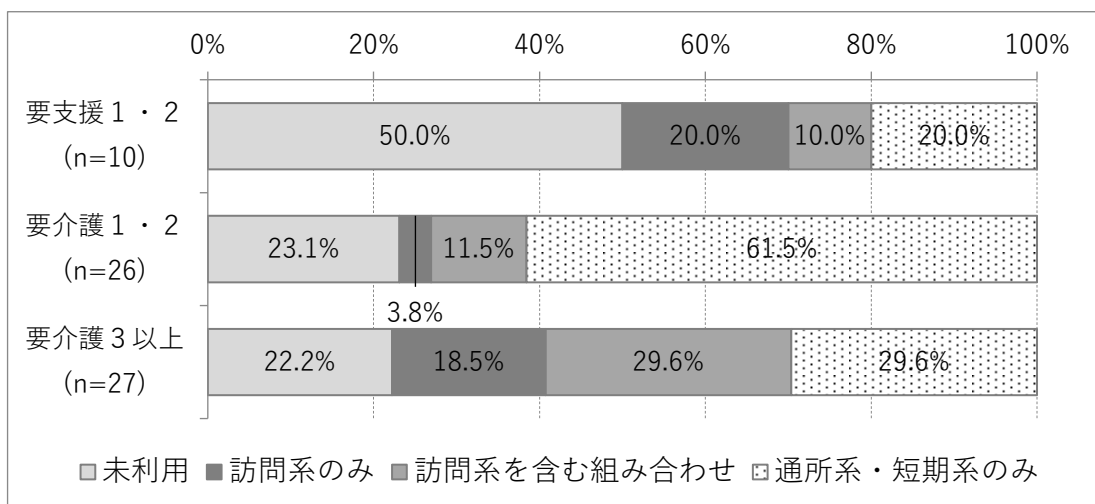


図 14 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスについて

ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。

具体的には、要介護度別の「訪問診療の利用の有無」について分析を行います。

訪問診療を「利用している」と回答した人の割合は全体の14.4%で（図15参照）、要介護度別にみると、要介護4以上で利用率が高くなっており、要介護5では40.0%となっています（図16参照）。

図15 訪問診療の利用の有無

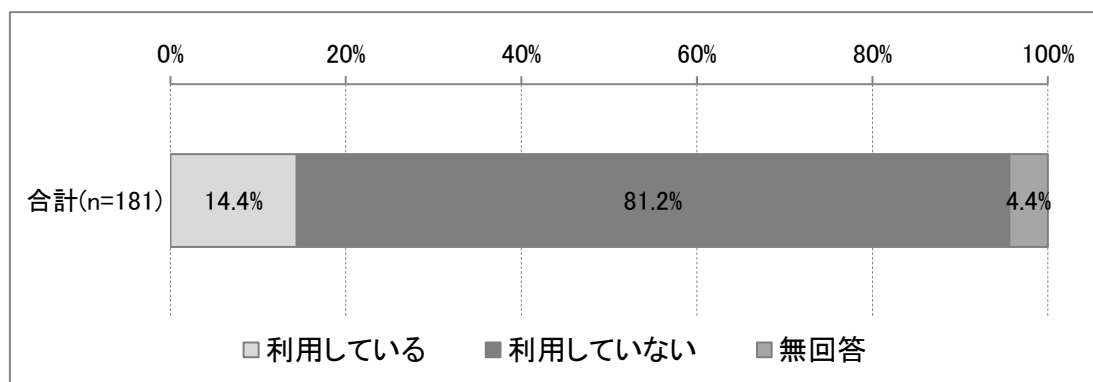
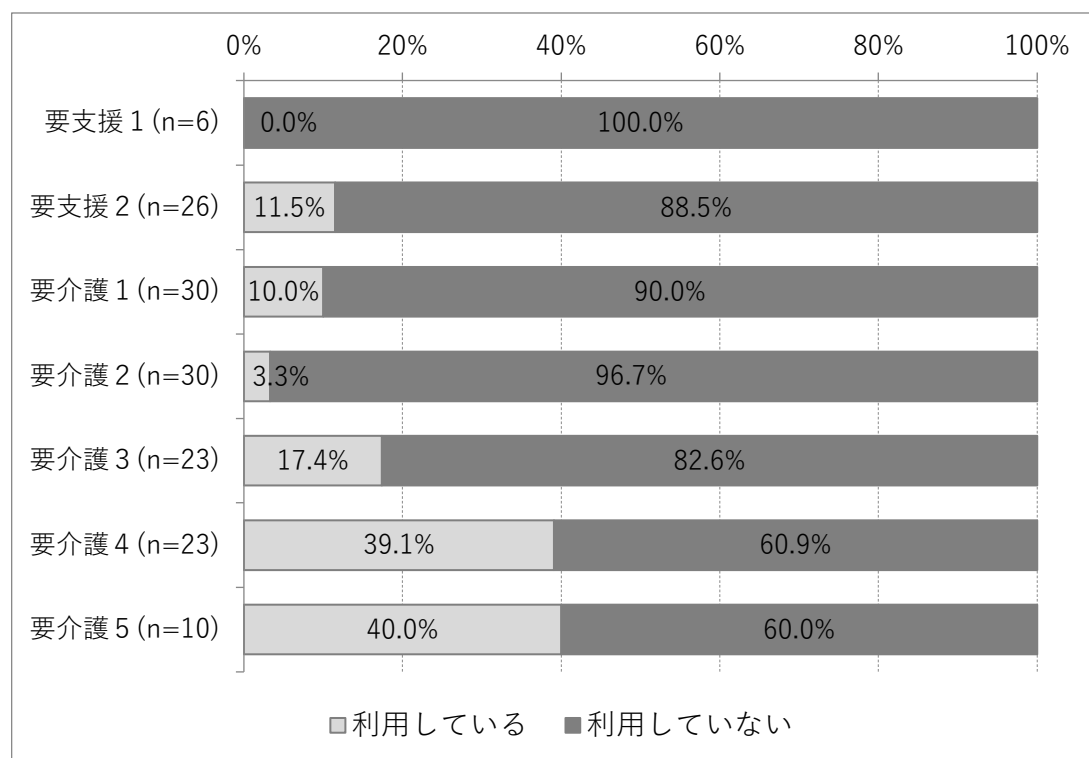


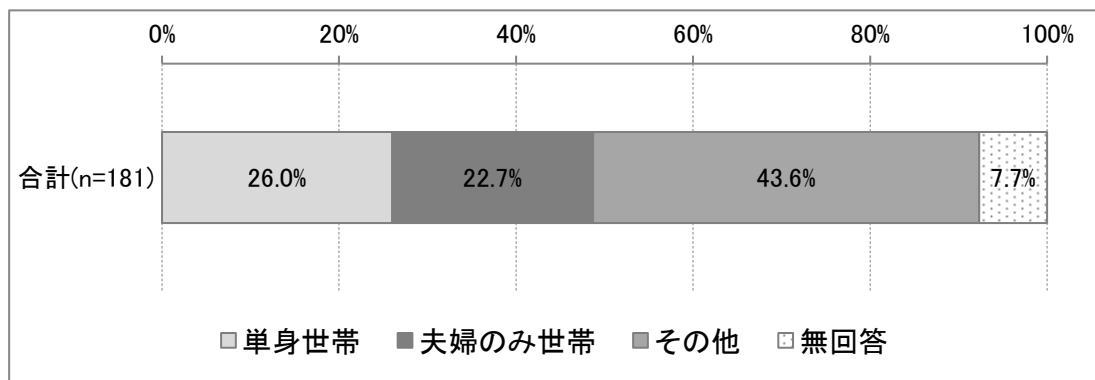
図16 要介護度別訪問診療の利用割合



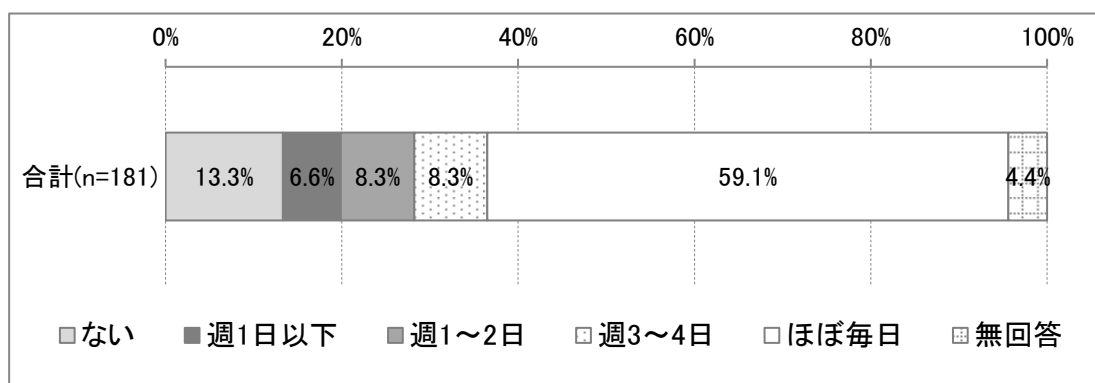
第3章 調査結果

1 概況調査項目

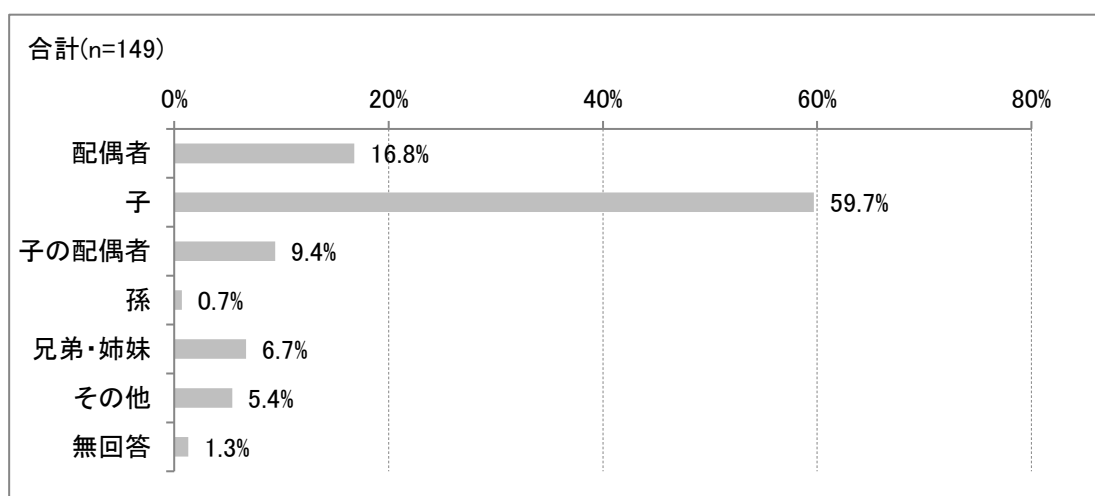
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



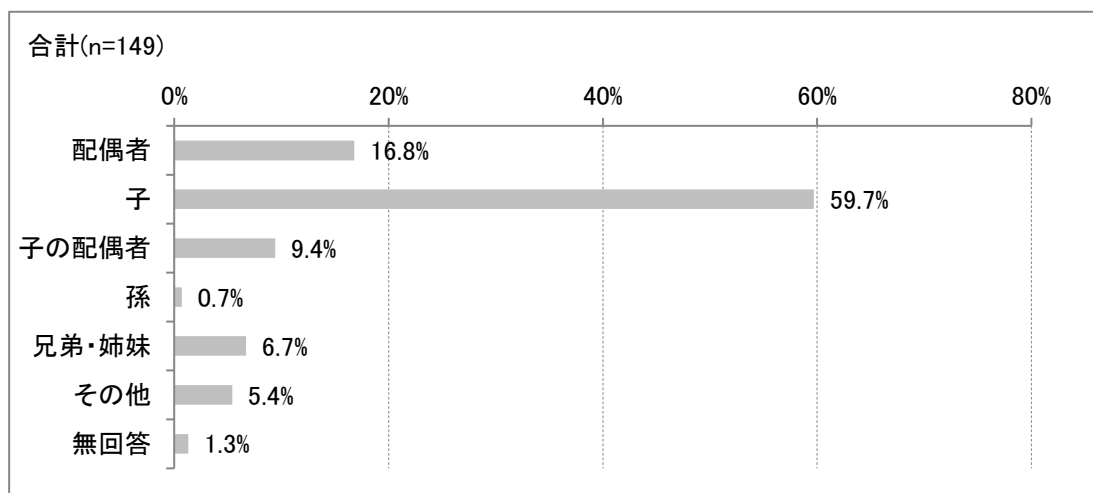
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



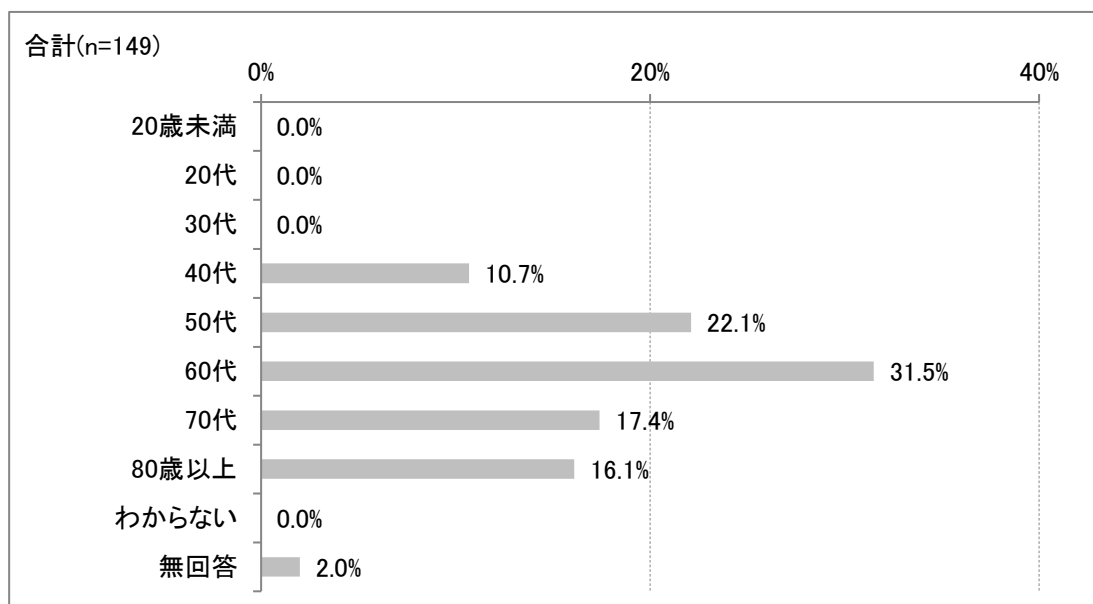
問3 【問13で「2.」「3.」「4.」「5.」を回答した場合は、以下問7まで】
主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



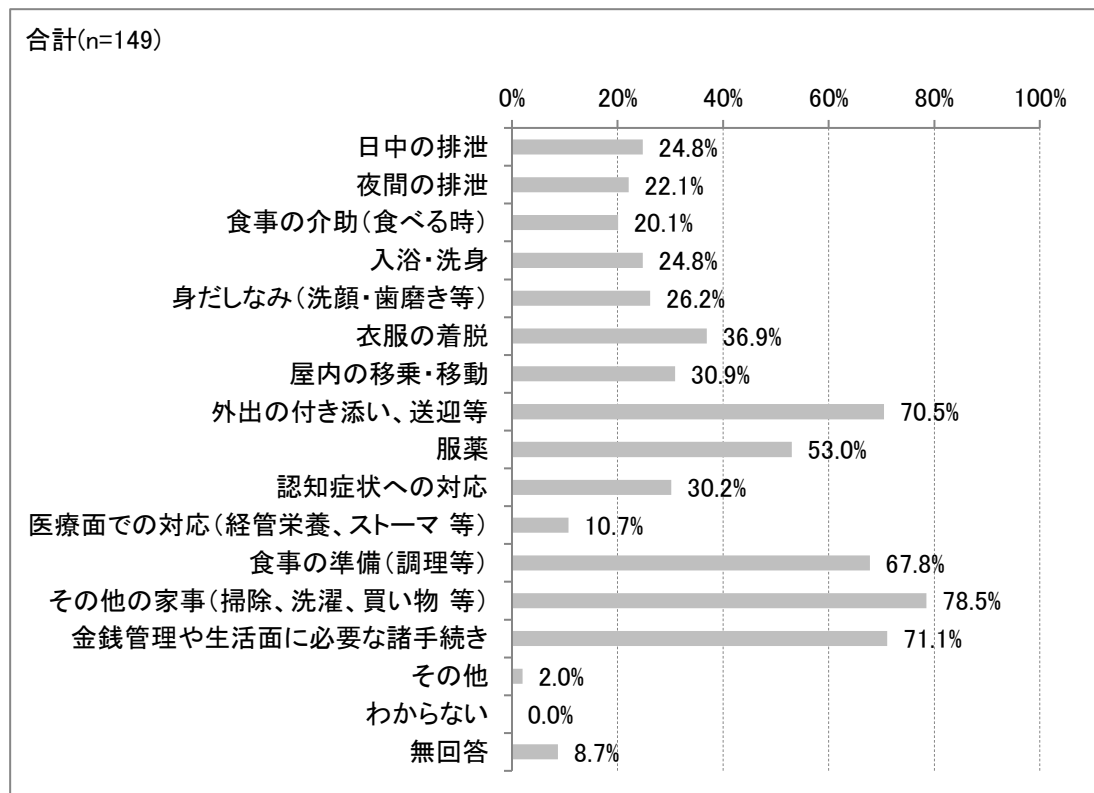
問 4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



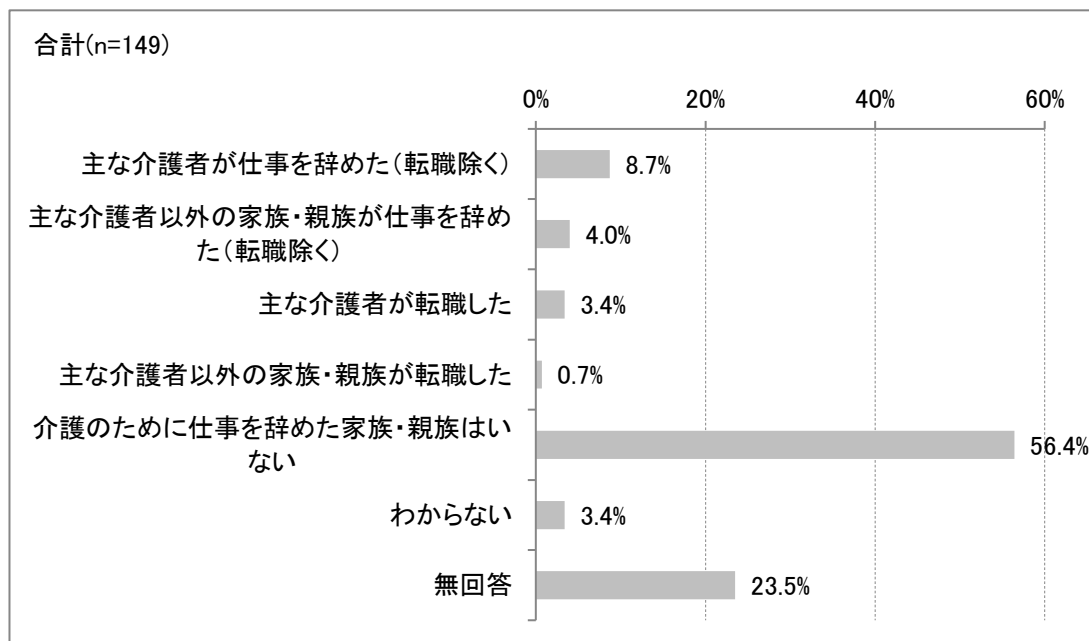
問 5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



問 6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

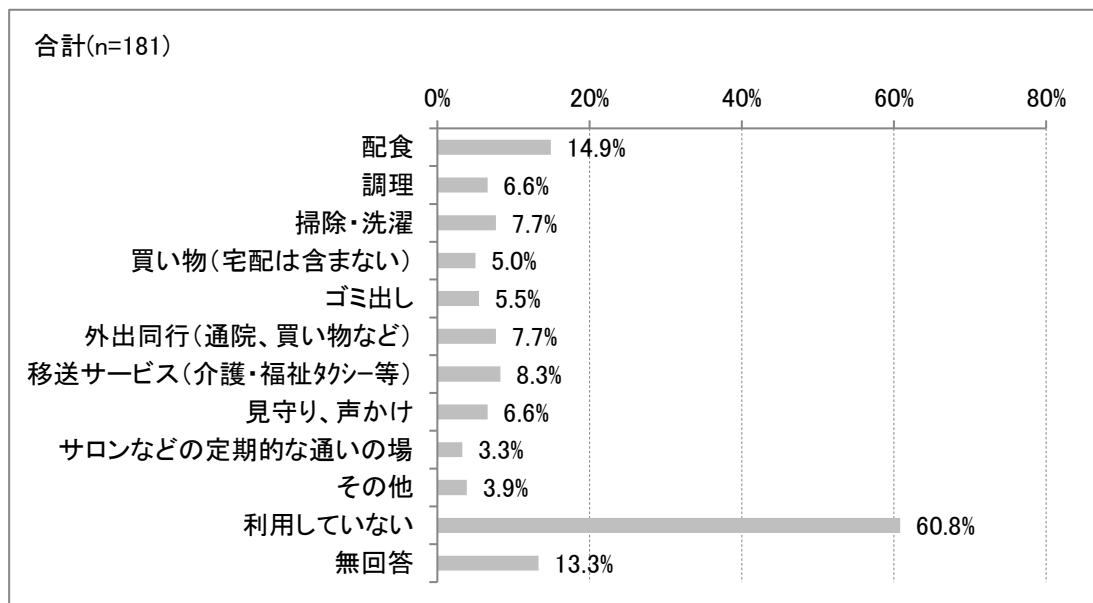


問 7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

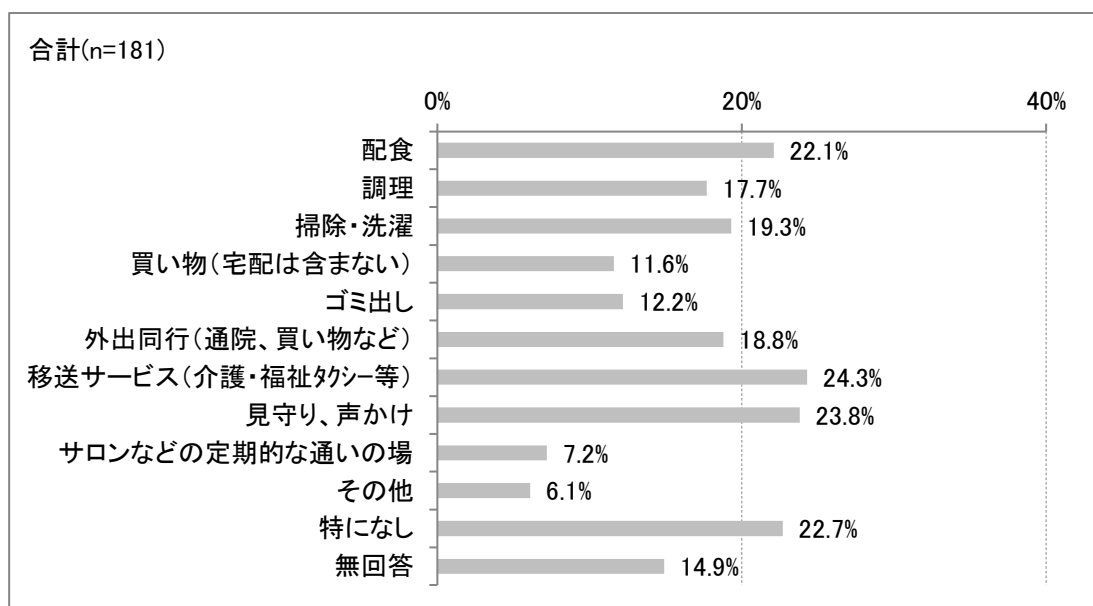


問 8 【ここから再び、全員の方に調査】

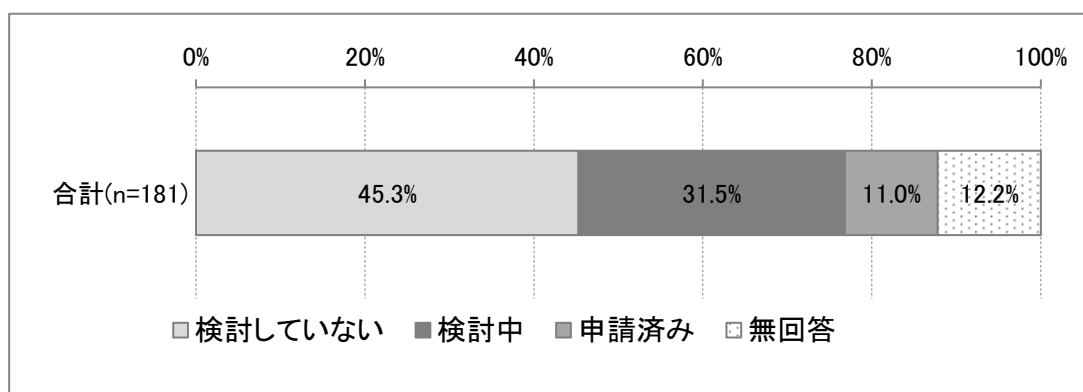
現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



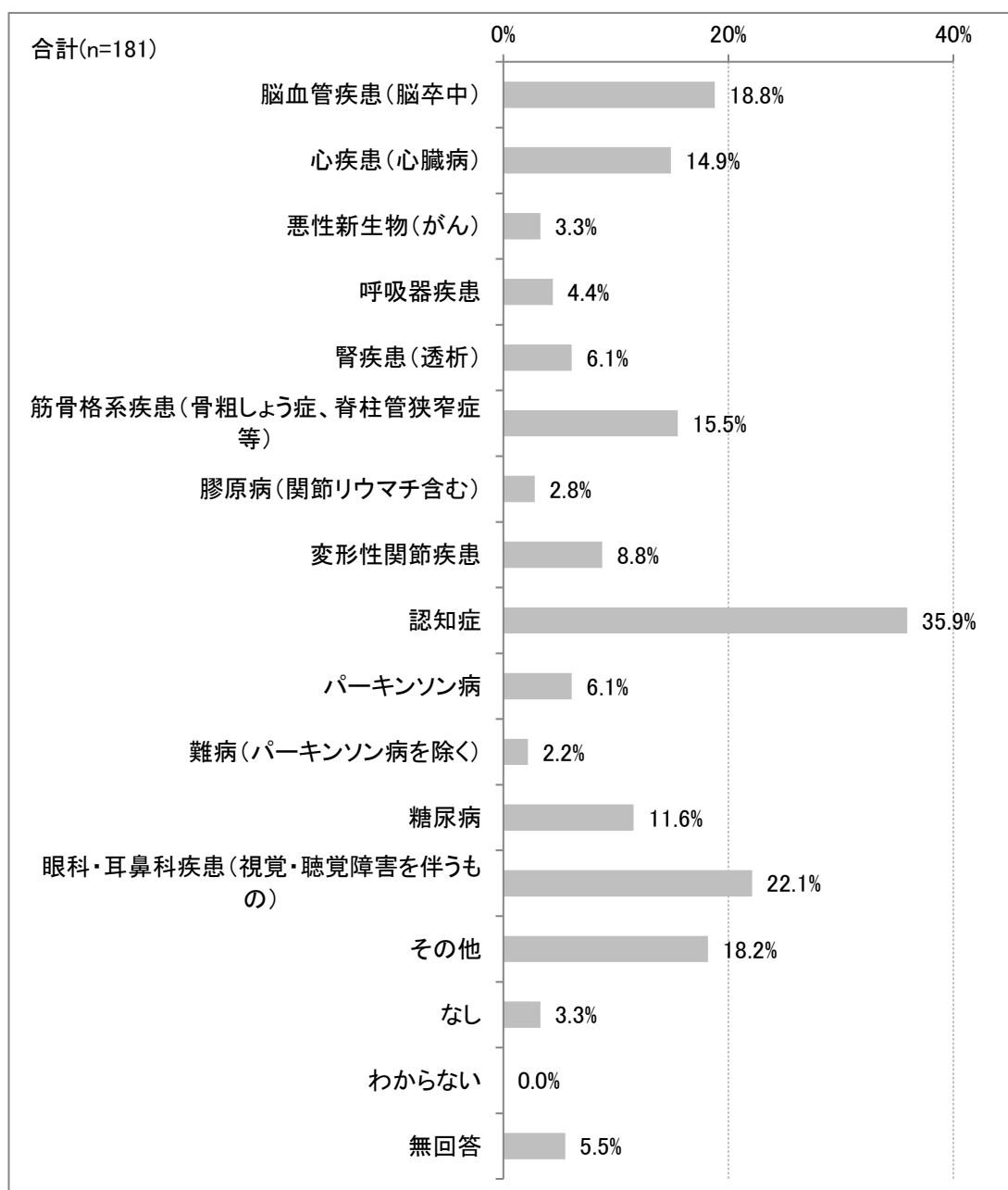
問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



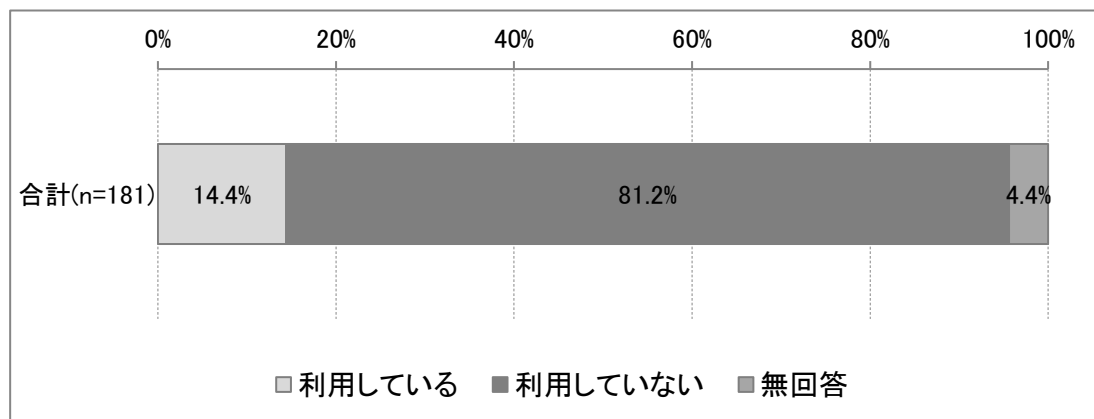
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）



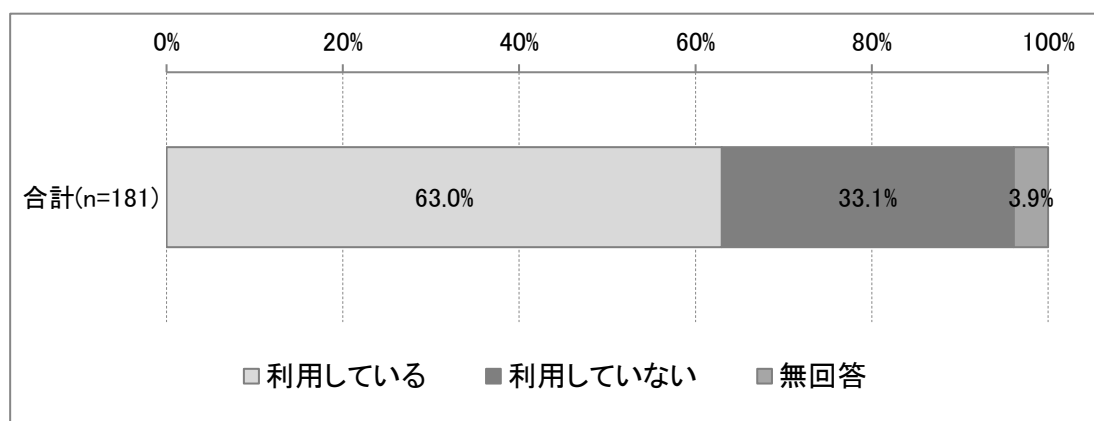
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）



問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

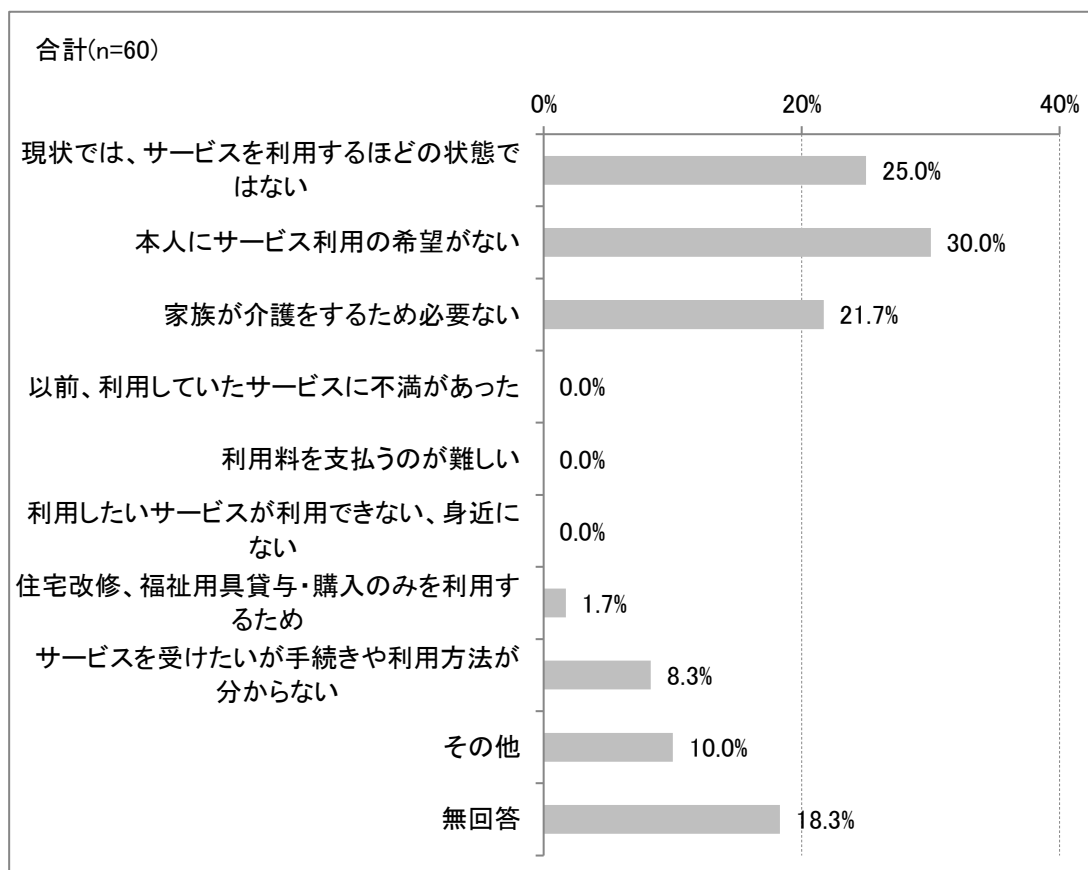


問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）



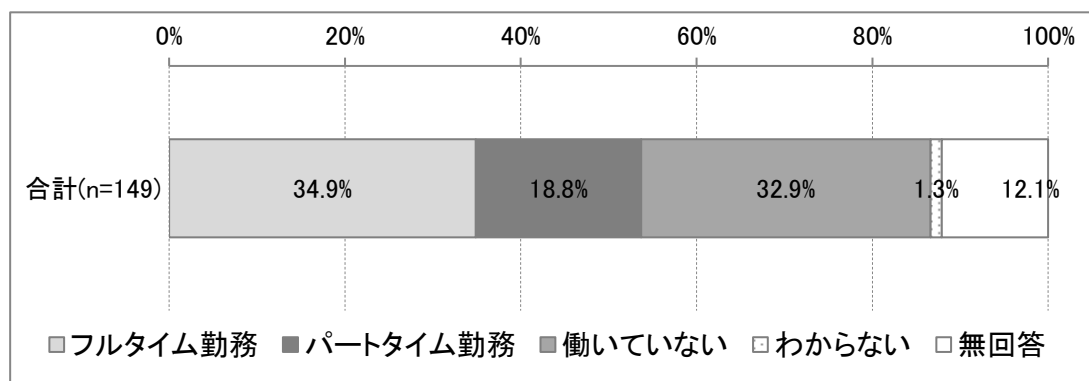
問 14 【問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も回答してください。】

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



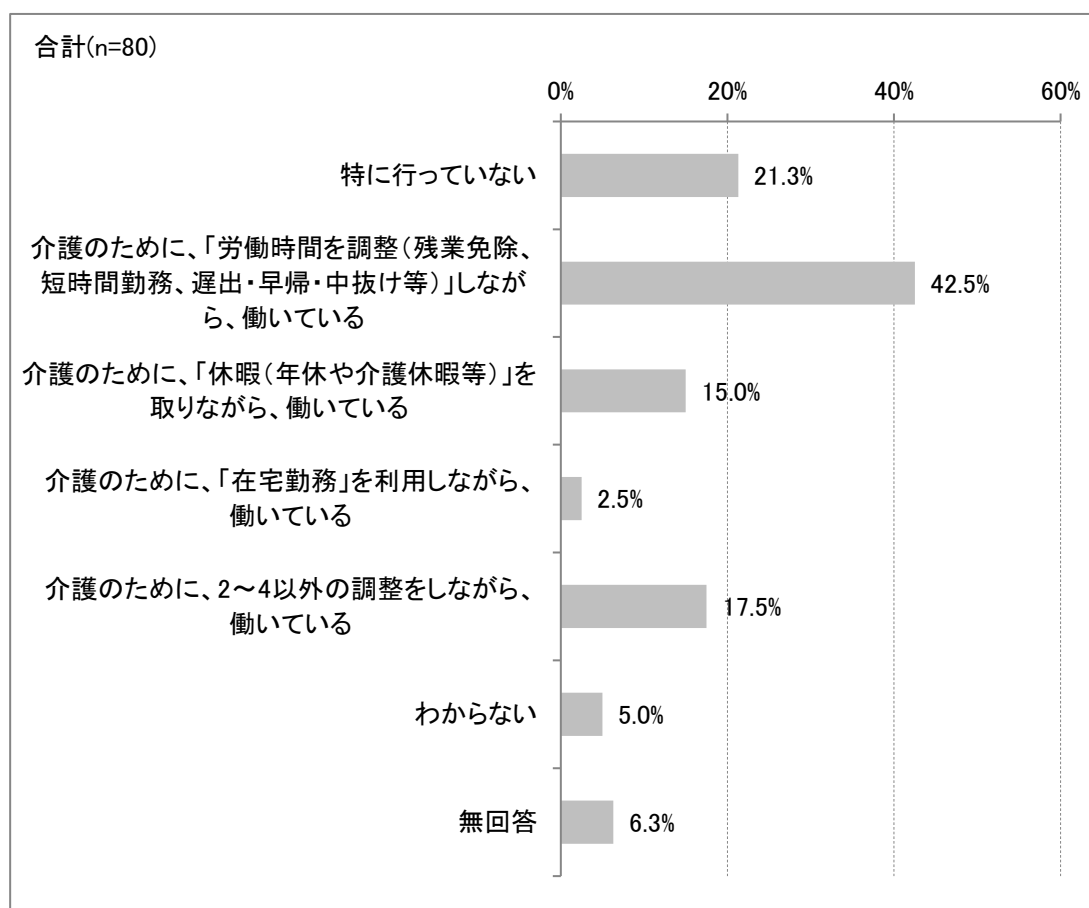
2 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



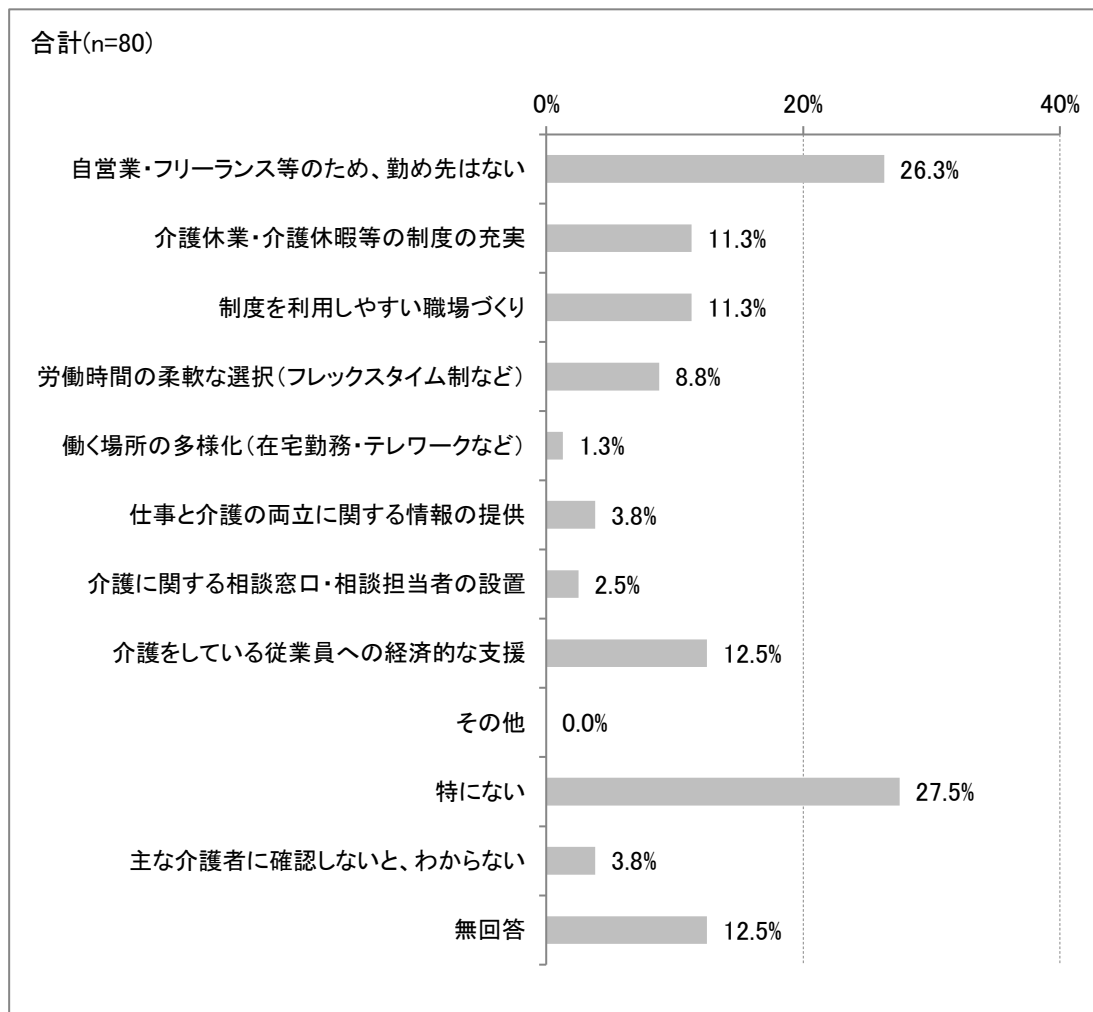
問2 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



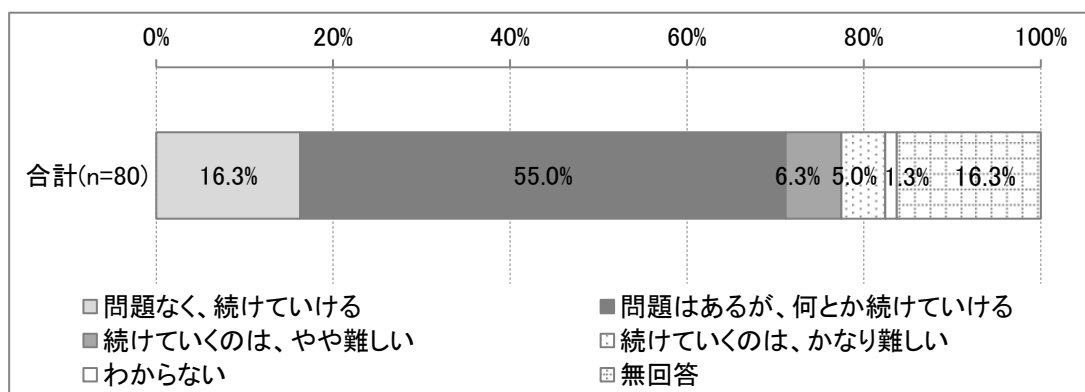
問3 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



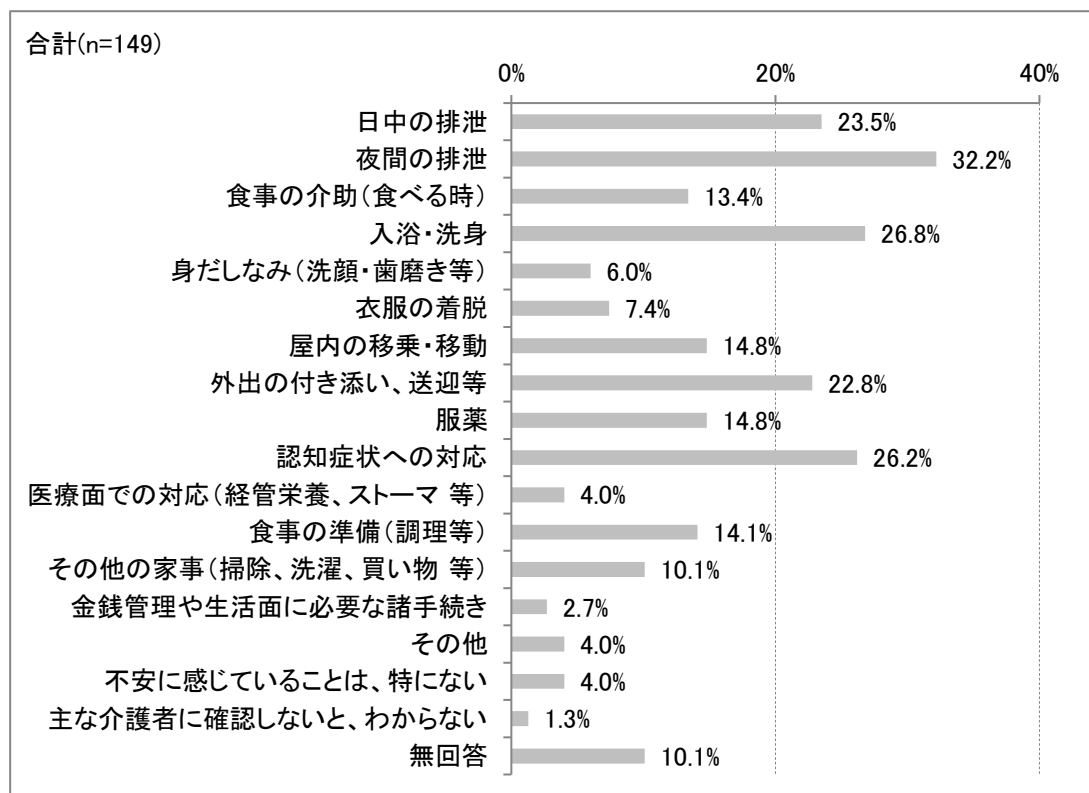
問4 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



問5 【ここから再び、全員の方にお伺いします。】

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



資料編

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票

石垣市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【調査票】

石垣市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査ご協力のお願い

皆さまには、日頃から石垣市の介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この調査は、地域を中心として社会全体で介護を支えていくために、皆さまの生活状況や健康状態などをお伺いし、今後の保健福祉行政に活かすことを目的として実施するものです。

調査の対象者は、市が作成した65歳以上の対象者データから無作為抽出された約2,500人の方です。なお、収集した個人情報には石垣市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

項目数が多くお手数をお掛けしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

石垣市役所 福祉部 介護長寿課

ご記入にあたってのお願い

- あて名のご本人がお答えください。（ご本人が記入することが困難な場合は、ご家族の方等が聞き取りの上、記入してください。聞き取りも困難な場合は、ご家族の方等がご本人の意向を踏まえて、記入してください。）
- インターネット（スマートフォン）でも回答できます。詳しくは裏面をご覧ください。
- この調査票は、**今現在**の状況を基に記入してください。

ご記入がおわりましたら

- ご記入いただきました調査票は、同封されている返信用封筒（切手は必要ありません）にて、**2月22日（水）**までにポストへご投函ください。（ご住所、お名前を記入する必要はありません）

●お問い合わせ先

石垣市役所 福祉部 介護長寿課 介護保険係
沖縄県石垣市字真栄里 672 番地
電話：0980-82-7158

回 答 方 法

【紙で回答する場合】

次のページへ進んでください

【スマートフォンから回答する場合】

- STEP 1 二次元バーコードから回答ページへ
- STEP 2 順番に質問項目への回答（所要時間 30 分程度）
- STEP 3 利用規約に同意し、回答を提出



スマホで回答

下記、二次元バーコードから、
回答ページへおすすみください。



【パソコンから回答する場合】

WEB検索から回答ページを開くことはできませんので以下を直接入力し、
回答ページを開いてください。

URL <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=ishigaki-121>

回答期限は2月22日（水）です

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、石垣市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、石垣市内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する石垣市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をすることがあります。

基本情報

あなたご自身のことについて



(1) 調査票を記入された方について教えてください (○は1つ)

1. あて名のご本人
2. ご家族 (あて名のご本人からみた続柄:
3. その他 (

)
)

(2) あなた (あて名の方) の性別について教えてください (○は1つ)

1. 男性
2. 女性

(3) あなた (あて名の方) の年齢について教えてください (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 |
| 4. 80歳～84歳 | 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳以上 |

(4) あなた (あて名の方) のお住いの地区について教えてください (○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 登野城 | 2. 大川 | 3. 石垣 |
| 4. 新川 | 5. 美崎町 | 6. 新栄町 |
| 7. 名蔵 | 8. 崎枝 | 9. 川平 |
| 10. 桴海 | 11. 平得 | 12. 真栄里 |
| 13. 浜崎町 | 14. 八島町 | 15. 大浜 |
| 16. 宮良 | 17. 白保 | 18. 桃里 |
| 19. 伊原間 | 20. 平久保 | 21. 野底 |

(5) あなた (あて名の方) の介護度について教えてください (○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 要介護・要支援認定されていない | 2. 総合事業対象者 |
| 3. 要支援1 | 4. 要支援2 |
| 5. その他 (|) |

【注意】

問1以降、「あて名の方」についてお答えください

問1 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について



（１）家族構成を教えてください（○は１つ）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は１つ）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

（２）において「1. 介護・介助は必要ない」と答えた以外の方におたずねします

→（２）－１ 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（○はいくつでも）

- | | | |
|--------------------|---------------------------------|-------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 2. 心臓病 | 3. がん（悪性新生物） |
| 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等） | 5. 関節の病気（リウマチ等） | 6. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患（透析） |
| 10. 視覚・聴覚障害 | 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎・脊髄損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他（ ） | 15. わからない |

（２）において「3. 現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方におたずねします

（２）－２ 主にどなたの介護、介助を受けていますか（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹（義理を含む） |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | |

（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は１つ）

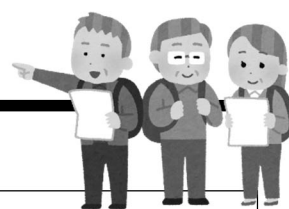
- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

（４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は１つ）

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅 | 4. 民営賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民営賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他（ ） | |

※本人以外の持家でも、名義人と同居していたり、名義人から無償で借りていたりする場合は、
「1. 持家（一戸建て）」または「2. 持家（集合住宅）」を選択してください。

問2 からだを動かすことについて



(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

1. 何度もある (2度以上) 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) で「1. はい」(外出を控えている) とお答えの方におたずねします

(8) - 1 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁など) |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. 新型コロナウイルス感染症の感染予防 |
| 11. その他 (|) |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 徒歩 (杖使用を含む) | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車 (本人が運転) |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設の車両 |
| 9. 車いす | 10. 電動車いす (カート) |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 (|) |

問3 食べることについて



(1) 身長・体重

身長

--	--	--

 cm

体重

--	--	--

 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

- | |
|--------------------------|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし |

(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方におたずねします

(6) - 1 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) - 2 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について



(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) バスなどを使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(10) 新聞を読んでいますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(11) 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(13) 友人の家を訪れていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(15) 病人を見舞うことができますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(17) 聞こえにくいと感じることがありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(17) で「1. はい」(聞こえにくいと感じることがある) とお答えの方におたずねします
(17) - 1 現在の状況をおうかがいします (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 補聴器を使っている | 2. 補聴器を使っていない |
|--------------|---------------|

(17) - 1 で「2. 補聴器を使っていない」とお答えの方におたずねします
(17) - 2 その理由はなぜですか (○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. わずらわしい | 2. 効果が期待できない | 3. 使うほどではない |
| 4. 恥ずかしい | 5. 値段が高い | 6. その他 |

(18) 趣味はありますか (○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 趣味あり → | 【趣味の内容をご記入ください】 |
| 2. 思いつかない | |

(19) 生きがいがありますか (○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 生きがいあり → | 【生きがいの内容をご記入ください】 |
| 2. 思いつかない | |

(20) スマートフォンを使用していますか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(20) で「1. はい」(スマートフォンを使用している)とお答えの方におたずねします

(20) - 1 よく使うアプリを選んでください (○は3つまで)

1. LINE(ライン)	2. Facebook(フェイスブック)	3. Instagram(インスタグラム)
4. YouTube(ユーチューブ)	5. TikTok(ティックトック)	6. Twitter(ツイッター)
7. メール	8. その他()	

(20) で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします

(20) - 2 使わないのはなぜですか (○は1つ)

1. スマホを持っていない	2. 操作が難しい・面倒	3. 使う気になれない
4. 詐欺などが怖い	5. 使用料が高い	6. その他()

問5 地域での活動について



(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(「いきいき百歳体操や生きがい対応型デイサービス」など) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑨上記以外の外出(カラオケ、散歩、もあいなど)	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたは**参加者**としてその活動に参加してみたいと思いますか（○は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたは**企画・運営（お世話役）**としてその活動に参加してみたいと思いますか（○は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

問6 助け合いについて あなたとまわりの人の「助け合い」についてお伺いします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はだれですか（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |



(2) 反対に、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はだれですか（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人に何度会っても1人と数えることとします (○は1つ)

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 () | 8. いない |

(9) あなたやご家族が日常生活上の支援が必要になった時、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 外出の際の移動支援 | 2. 財産やお金の管理 |
| 3. 買い物 | 4. ごみ出し |
| 5. 庭の手入れ・草取り | 6. お墓の掃除 |
| 7. 掃除 (お墓を除く)・洗濯・炊事 | 8. 高所の作業 (電球の交換等) |
| 9. 通院などの付き添い | 10. 急病など緊急時の手助け |
| 11. 災害時の手助け | 12. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り |
| 13. その他 () | 14. 特にない・頼まない |

(10) 隣近所に、高齢や病気・障害等で困っている家庭があった場合、どのような支援ができだと思いますか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 外出の際の移動支援 | 2. 財産やお金の管理 |
| 3. 買い物 | 4. ごみ出し |
| 5. 庭の手入れ・草取り | 6. お墓の掃除 |
| 7. 掃除 (お墓を除く)・洗濯・炊事 | 8. 高所の作業 (電球の交換等) |
| 9. 通院などの付き添い | 10. 急病など緊急時の手助け |
| 11. 災害時の手助け | 12. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り |
| 13. その他 () | 14. 特にない |

問7 健康について



(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は点数に1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸 ←————→ とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 (|) |

(8) 年に1回以上健康診断を受けていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※ここでは特定健診、長寿健診（後期高齢者健診）、人間ドックのことをいいます

(8) で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします

(8) - 1 受けない理由は何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 定期受診している | 2. 必要性を感じない | 3. 移動手段がない |
| 4. 経済的に難しい | 5. 時間がない | 6. その他() |

(9) 年に1回以上歯科検診または歯科医院を受診していますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(9) で「2. いいえ」とお答えの方におたずねします

(9) - 1 受けない理由は何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-------------|------------|
| 1. 歯科医院に嫌悪感がある | 2. 必要性を感じない | 3. 移動手段がない |
| 4. 経済的に難しい | 5. 時間がない | 6. その他() |

(10) 現在、介護予防に取り組んでいますか (○は最も主なもの1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 意識して取り組んでいる |
| 2. 体力が落ちてきたら取り組みたい |
| 3. もう少し歳をとってから取り組みたい |
| 4. きっかけがあれば取り組みたい |
| 5. 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない |
| 6. その他() |
| 7. 興味・関心は特にない |

(11) 体の状態を維持するために、十分な運動ができていると思いますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 十分できている | 2. まあまあできている |
| 3. あまりできていない | 4. できていない |

(12) 市では、将来できるだけ要介護状態にならないようにするため、介護予防事業を実施していますが、あなたが今後参加してみたいことは何ですか (○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 運動機能向上のための教室（ストレッチ運動、筋力向上トレーニングなど） |
| 2. 健康のために栄養バランスよく、おいしく食べるための教室や調理実習 |
| 3. お茶や汁物でむせることを防ぐための口の中の清潔保持や舌・口まわりの運動 |
| 4. 家の中に閉じこもらないために、公民館等に集まってのゲームや会食 |
| 5. 認知症になることを予防するために、趣味活動やゲームなどを行う教室 |
| 6. うつ状態になることを予防するための教室 |
| 7. その他() |

(12) で「8. 参加したくない」とお答えの方におたずねします
(12) - 1 参加したくない理由は何ですか (○はいくつでも)

1. 普段から農作業等をしているので、改めて介護予防事業に参加しなくてもよいから
2. まだ元気なので、すぐには介護予防事業へ参加しなくても大丈夫だから
3. 移動手段がないから
4. 出かけることが面倒だから、時間がないから
5. 参加すること自体に必要性や魅力を感じないから
6. スポーツジムなどの民間の健康づくり活動に参加しているから
7. その他 ()

(13) あなたは、普段から健康や介護予防のために気をつけていることはありますか
(○はいくつでも)

1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている (歯みがき、うがいなど)
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている (夜更かしをしないなど)
5. タバコをやめた・吸わない
6. お酒を飲みすぎない・飲まない
7. 認知症の予防に取り組んでいる
8. 社会活動 (地域の会やグループでの活動) に参加している
9. 野菜づくりなど農作業をしている
10. 定期的に健康診断を受けている
11. かかりつけの医師 (主治医) に定期的に診てもらっている
12. 気持ちをできる限り明るく保つ
13. 休養や睡眠を十分にとっている
14. 趣味の活動を行う
15. その他 ()
16. 特にない

(13) で「1」～「9」とお答えの方におたずねします

➡ (13) - 1 取り組むこととなった主なきっかけは何ですか (○はいくつでも)

1. 家族のアドバイスや一言から
2. 友人・知人からのアドバイスや一言から
3. 医師等の専門家からの指導や助言から
4. 具体的に症状が現れたから
5. 検査の結果 (数字など) が気になったから
6. マスコミの情報から自分で判断したから
7. その他 ()

問8 希望する介護サービスについて

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか (○は1つ)

1. できるかぎり自宅に住みながら介護保険サービスを受けて生活したい
2. 自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所(入居)して生活したい
3. 今のところ、よくわからない

(1) で「1」とお答えの方におたずねします

(1) - 1 自宅で介護保険サービスを利用したい理由は何ですか (○はいくつでも)

1. 住み慣れた自宅で生活を続けたいから
2. 施設で他人の世話になるのは嫌だから
3. 他人との共同生活はしたくないから
4. 施設に入るだけの金銭的余裕がないから
5. 施設では自由な生活ができないから
6. 在宅で十分な介護が受けられると思うから
7. その他 ()



(1) で「1」とお答えの方におたずねします

(1) - 2 自宅でどのように介護保険サービスを利用したいですか (○は1つ)

1. 家族による介護を中心とし、ホームヘルパー、デイサービスなどの介護保険制度のサービスも利用したい
2. ホームヘルパー、デイサービスなどの介護保険制度のサービスを中心とし、併せて家族による介護も受けたい
3. ホームヘルパー、デイサービスなど、介護保険制度のサービスだけで介護を受けたい
4. その他 ()
5. 家族だけに介護されたい (介護保険制度のサービスは利用しない)

(1) で「2」とお答えの方におたずねします

(1) - 3 施設等への入所(入居)を希望する理由は何ですか (○はいくつでも)

1. 家族に迷惑をかけたくないから
2. 自宅では、認知症対応やリハビリなど専門的な介護が受けられないから
3. 家族は介護の時間が十分にとれないから
4. 自宅では、急な容態変化や介護者の都合など緊急時の対応の面で不安だから
5. 在宅で介護サービスを利用するより諸々の費用を考え総合的にみると経済的だから
6. 住宅の構造に問題があるから
7. 自宅でなく離れた場所にある施設なら世間の目が気にならないから
8. 家族がいないから
9. その他 ()

(1) で「2」とお答えの方におたずねします

(1) - 4 最も希望する「施設」や「住まい」の形態は何ですか (○は1つ)

1. 常時介護が受けられる大規模 (定員30~100人程度) な施設で、少人数ごとに家庭的な生活を送れる個室の施設 (ユニット型の特養、老健など)
2. 常時介護が受けられる大規模 (定員30~100人程度) な施設で、個室に比べて利用料金が比較的低額な相部屋 (4人1部屋程度) の多い施設 (従来型の特養など)
3. 住み慣れた地域や自宅近くで常時介護が受けられ、小規模 (定員5~29人程度) で家庭的な雰囲気の個室の施設 (小規模な特養など)
4. 一人暮らしの不安や身体・認知機能の低下を補うため、高齢者が必要に応じて介護を受けながら生活する小規模施設 (グループホーム、ケアハウスなど)
5. 希望に応じて食事や清掃などのサービスが提供される集合住宅 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など)
6. 特にない (施設や住まいの形態は問わない方を含む)

※本人や家族の経済状況は考慮に入れず、入所 (入居) 希望の施設をご回答ください

※施設や住まいの形態は問わない方は「6. 特にない」を選択してください

(2) 在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うことは何ですか (○はいくつでも)

1. 自宅で受けることができる医療の内容
2. 自宅に訪問してくれる医師・看護師等の体制
3. 急に病状が変わった時の対応
4. 自宅で痛みや呼吸苦などの症状コントロールが可能かどうか
5. 不安を感じた時に、いつでも相談に乗ってもらえる窓口の有無
6. 自宅で受けることができる介護サービスの内容
7. 日常的に介護してくれる家族がいるかどうか
8. 介護してくれる家族の精神的・身体的負担の有無
9. 療養できる部屋や風呂、トイレなどの居住環境
10. 経済的な負担
11. その他 ()
12. 特にない

(3) あなたの家族に介護が必要となった場合 (介護している場合も含む)、どのように介護したいと思いますか (○は1つ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい
2. 介護保険制度のサービス (デイサービスや短期の宿泊サービスなど) や福祉サービス (生きがい支援や緊急通報サービスなど) を使いながら自宅で介護したい
3. 特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの施設に入所させたい
4. その他 ()
5. わからない
6. 一人暮らしのため、家族はいない

(4) 現在、介護保険サービス以外の支援・サービスを利用していますか (○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

(4) で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします

(4) - 1 利用している支援・サービスは何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物 |
| 5. 食料品等の巡回販売や宅配 | 6. 外出同行 (通院、買い物など) |
| 7. ごみ出し | 8. 見守り、声かけ |
| 9. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 10. 定期的な通いの場 |
| 11. その他 () | |

(5) 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) は何だと思えますか

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物 |
| 5. 食料品等の巡回販売や宅配 | 6. 外出同行 (通院、買い物など) |
| 7. ごみ出し | 8. 見守り、声かけ |
| 9. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 10. 定期的な通いの場 |
| 11. その他 () | 12. 特になし |

(6) 人生の最期を迎えたい場所はどこですか (○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 自宅 | 2. 子どもや兄弟・姉妹などの親族の家 |
| 3. 特別養護老人ホームなどの施設 | 4. ホスピスなどの緩和ケア施設 |
| 5. 病院 (4を除く) | 6. その他 () |
| 7. わからない | |

(7) あなたは人生会議を知っていますか (○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 知っている (既に行った) | 2. 知っている (まだ行っていない) |
| 3. 知らない | |

※人生会議とは、人生の終末期における医療ケアの内容について、事前に家族や医師などの信頼できる人たちと話し合うことをいいます。

(8) あなたはエンディングノートを知っていますか (○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 知っている (既に行った・作成中) | 2. 知っている (まだ書いていない) |
| 3. 知らない | |

※エンディングノートとは、終活をする中でこれまでの人生を振り返り、自分の考えや家族への想いをまとめて残しておくことを目的に作成する備忘録のことをいいます。

問9 地域包括支援センターについて

(1) あなたは、高齢者への総合的な生活支援の窓口である、地域包括支援センターのことを知っていますか (○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. ほとんど知らない | 4. 全く知らない |

(2) 今後、地域包括支援センターに力を入れてほしい事業は何ですか (○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 事業内容の周知 | 2. 高齢者宅への訪問等による実態把握 |
| 3. 高齢者の一般的な相談 | 4. 認知症の相談 |
| 5. 病院や施設の入退院(所)に関する相談 | 6. 介護予防の普及啓発事業 (健康教育、健康相談等) |
| 7. 介護予防のためのケアプランの作成 | 8. 高齢者虐待、消費者被害の防止 |
| 9. 成年後見制度の周知と相談 | 10. その他 () |
| 11. 特にない | |

問10 認知症にかかる相談窓口の把握について



(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 身近な方に認知症の疑いがある時に、どこに相談しますか (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 民生委員 | 4. かかりつけの医師 |
| 5. ケアマネジャー | 6. 市町村の保健師 |
| 7. 精神科医療機関 | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 保健所 (県) の保健師 | 10. 認知症疾患医療センター |
| 11. 介護サービス事業所 | 12. 認知症の家族会等、ボランティア団体 |
| 13. その他 () | 14. 特に相談はしない |

(4) 認知症疾患医療センターを知っていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※認知症疾患医療センターとは、認知症が疑われるときの相談、認知症かどうかの診断、認知症と診断された後の相談・支援などを行っている。

(5) あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか (○はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 認知症の介護の仕方 | 2. 認知症の医学的な情報 |
| 3. 認知症の予防 | 4. 認知症の人や家族を支えるボランティア活動 |
| 5. その他 () | 6. 関心がない |

(6) どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができるとおもいますか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 専門相談窓口 | 2. 認知症の受診・治療ができる病院・診療所 |
| 3. 緊急時に対応できる病院・診療所、施設 | 4. 入所できる施設 |
| 5. 認知症の人が利用できる在宅サービス | 6. 認知症家族の会等 |
| 7. 成年後見制度等の権利擁護 | 8. 徘徊高齢者見守りネットワーク |
| 9. 認知症の講習会や予防教室等 | |
| 10. 認知症の正しい知識と理解をもった地域づくり | |
| 11. 認知症カフェなどの認知症の人や家族、支援者が集える場所 | |
| 12. その他 () | |

これで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、2月22日(水)までにご投函ください

2 在宅介護実態調査票

★：オプション項目

基本調査項目＋オプション項目

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[_____]

【A票のアンケートを行った方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票 概況調査項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- | | | | |
|----------------------------|---|---------|---------|
| 1. ない | } | 問8(裏面)へ | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | | | |
| 3. 週に1～2日ある | | } | 問3～問13へ |
| 4. 週に3～4日ある | | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | | |

★ 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

★ 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

★ 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査

★ 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★ 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

★ 問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

★ 問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2. 」を回答した場合は、問 14 も回答してください。

★ 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

● 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いします。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票**主な介護者様、もしくはご本人様にご回答項目**

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3 リスク評価項目

1. からだを動かす

(1) 運動器の機能低下

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある(2度以上) 2. 1度ある 3. ない
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

国の判定基準によると、上記の設問のうち、3問以上該当する選択肢(上の表の網掛け箇所)が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者(リスク者)と判定されます。

(2) 転倒リスク

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

国の判定基準によると、上記の設問で「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者と判定されます。

(3) 閉じこもり傾向

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問 2 (6)	週に 1 回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週 1 回 3. 週 2～4 回 4. 週 5 回以上

国の判定基準によれば、上記の設問で「1. ほとんど外出しない」「2. 週 1 回」に該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者（リスク者）と判定されます。

2. 食べる

(1) 低栄養の傾向

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問 3 (1)	身長・体重	() cm () kg →BMI 18.5 以下
問 3 (7)	6 ヶ月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、問 3 (1) 身長・体重から算出される BMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。低栄養状態を確認する場合は、上記のオプション項目も併せて確認し、2 設問ともに該当した場合は、低栄養状態にある高齢者（リスク者）になります。

(2) 口腔機能の低下

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問 3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問 3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

問3 (4)	口の渇きが気になりますか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ
-----------	---------------------------	-----------------

国の判定基準によれば、問3(2)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。口腔機能の低下を確認する場合は、上記オプション項目の嚥下機能の低下を把握する問3(3)、肺炎発症リスクを把握する問3(4)も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は口腔機能の低下している高齢者(リスク者)になります。

3. 毎日の生活

(1) 認知機能の低下

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、上記の設問で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者(リスク者)になります。物忘れが多いと感じるかどうかのみで判定されるため、認知機能の低下が見られるといっても必ずしも認知症の状態ではあるとはいえません。

(2) IADLの低下

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
-----------	--------------------	--

I A D L (Instrumental Activities of Daily Living) とは、手段的日常生活動作とも言われ、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、A D L (Activity of Daily Living: 日常生活動作) ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するもので、在宅生活の可能性を検討する場合は、A D L の評価だけでは不十分であり、I A D L が重要な指標になるとされています。

国の判定基準によれば、上記の設問で、「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でI A D L を評価します。(5点を「1. 高い」、4点を「2. やや低い」、0～3点を「3. 低い (リスク者)」とします)

4. 健康

(1) うつ傾向

1) リスク判定方法

設問番号	設問内容	選択肢
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、上記の設問でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者 (リスク者) になります。

石垣市介護予防・日常生活圏域二エズ調査 及び石垣市在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

◆発行 沖縄県石垣市
〒907-8501 沖縄県石垣市字真栄里 672 番地
事務局：福祉部 介護長寿課
TEL 0980-82-7158
FAX 0980-83-5525
